

令和3年度使用

中学校教科用図書選定資料

令和2年6月

大分県教育委員会

***** も く じ *****

< 種 目 >	< 掲載ページ >
基本方針	1
調査研究の観点	2
国 語	3～ 5
書 写	7～ 9
社 会（地理的分野）	11～13
地 図	15～16
社 会（歴史的分野）	17～21
社 会（公民的分野）	23～26
数 学	27～31
理 科	33～36
音 楽（一般）	37～38
音 楽（器楽合奏）	39～40
美 術	41～43
保健体育	45～47
技術・家庭（技術分野）	49～51
技術・家庭（家庭分野）	53～55
英 語	57～60
道 徳	61～65

※種目の掲載は、大分県教育委員会による

令和3年度使用教科用図書採択に関する基本方針

- 1 採択権者は、その権限と責任において、主体的に採択を行うこと。
- 2 調査研究のための組織の構成、調査員の人選等は公正中立に行い、法令の趣旨に沿って採択の手順、手続きの適正化を図ること。
- 3 採択に当たっては、採択権者は教科書についての十分かつ綿密な調査研究に基づいて適正かつ公正な採択を行うこととし、宣伝等にまどわされることなく採択の適正を期すること。
- 4 地域の実態や自然的・文化的諸条件を考慮し、地区内の児童生徒に適した教科書の採択を行うこと。
- 5 採択終了後は採択結果及び採択理由等を公表するなど、採択に関する情報の公開に努め、開かれた採択を推進すること。

調査研究の観点 [中学校]

教育基本法、学校教育法に示す教育の目標の達成に資するよう、調査研究にあたり、次の主眼を設定する。

- 1 学習指導要領に示された目標や内容に基づいて、そのねらいを達成しやすくするために、編集の上でどのような配慮がなされているか。
- 2 生徒が、学習内容を人生や社会の在り方と結び付けて深く理解し、これからの時代に求められる資質・能力を身に付け、能動的に学び続けることができるように配慮されているか。

また、主眼に基づき全教科共通観点及び各教科独自観点を設定して調査することとし、全ての教科書を比較検討し、それぞれの特色をまとめる。

【全教科共通観点】

- 1 単元・題材の構成及び内容の取扱い
 - (1) 学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。
 - (2) 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。
 - (3) 思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。
 - (4) 学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。
- 2 資料等
 - (1) 資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。
- 3 挿絵・図表・統計等
 - (1) 挿絵・図表・統計等はどのように示されているか。

【各教科（種目）独自観点】

- | |
|--|
| <p>○ 学習指導要領に示された目標に基づいた各教科（種目）独自の観点を設定する。
※各教科（種目）独自観点は、事務局が指定した日までに種目責任者が設定し、第2回教科用図書選定審議会において説明する。</p> |
|--|

1 学習指導要領に示された目標

【国語科の目標】

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語を正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

【各学年の目標】

	第1学年	第2学年	第3学年
知識及び技能	(1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	(1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	(1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
思考力、判断力、表現力等	(2) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにするようにする。	(2) 論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
学びに向かう力、人間性等	(3) 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	(3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	(3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

2 教科独自の調査研究の観点

(1) 「情報の扱い方に関する事項」の内容	①文章等に含まれている情報と情報との関係を捉えて理解したり、情報と情報との関係を明確にして文章等で表現したりすることについて、どのように示されているか。 ②情報の取り出し方や整理の仕方及びそのための具体的な手段について、どのように示されているか。
(2) 「A 話すこと・聞くこと」の内容	①指導事項を身に付けるために、どのような言語活動が示されているか。 ②話し合いを効果的に進め、互いの発言を踏まえて考えをまとめたり広げたり深めたりすることについて、どのように示されているか。
(3) 「B 書くこと」の内容	①指導事項を身に付けるために、どのような言語活動が示されているか。 ②伝えたい内容や自分の考えについて根拠を明確にして書くことや根拠の明確さや表現の仕方等を評価することについて、どのように示されているか。
(4) 「C 読むこと」の内容	①指導事項を身に付けるために、どのような言語活動が示されているか。 ②【知識及び技能】の「読書」に関する事項との関連を図り、生徒の日常の読書活動に結び付けることについて、どのように示されているか。

【 国 語 】

観 点		発 行 者	2 東 書	1 5 三 省 堂																																																																						
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	<p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。</p> <p>④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。</p>	<p>・各学年の単元数は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>単元数</td><td>7</td><td>7</td><td>7</td><td>21</td></tr> </table> <p>※単元は各章の表題となっているもの</p> <p>・各学年、各領域の教材数は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>領域</th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>話・聞</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>9</td></tr> <tr><td>書く</td><td>6</td><td>6</td><td>4</td><td>16</td></tr> <tr><td>読む</td><td>18</td><td>18</td><td>18</td><td>54</td></tr> <tr><td>知・技</td><td>20</td><td>18</td><td>19</td><td>57</td></tr> </table> <p>・各教材の「言葉の力」や「まとめ」の中で、各教材で学習した内容や学習を振り返って再確認すべき事項が整理されている。</p> <p>・各教材の「てびき」の中で読み取ったことを図表にまとめたり、文章を踏まえて考えたことを条件に従って書いていく設問を設けている。</p> <p>・各教材の「てびき」の中で目標や学習内容、振り返りが示されている。</p>		1年	2年	3年	合計	単元数	7	7	7	21	領域	1年	2年	3年	合計	話・聞	3	3	3	9	書く	6	6	4	16	読む	18	18	18	54	知・技	20	18	19	57	<p>・各学年の単元数は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>単元数</td><td>9</td><td>9</td><td>8</td><td>26</td></tr> </table> <p>※単元は各章の表題となっているもの</p> <p>・各学年、各領域の教材数は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>領域</th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>話・聞</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>15</td></tr> <tr><td>書く</td><td>7</td><td>7</td><td>5</td><td>19</td></tr> <tr><td>読む</td><td>18</td><td>17</td><td>17</td><td>52</td></tr> <tr><td>知・技</td><td>8</td><td>7</td><td>8</td><td>23</td></tr> </table> <p>・各学年のはじめにプレ教材を設定したり、「何をどのように読めば力が付くのか」という読みの方略を図解で示した「読み方を学ぼう」の項を設けたりしている。</p> <p>・各教材において「思考の方法」として、言葉による見方・考え方を働かせ、考えを整理したり深めたりする方法が示されている。</p> <p>・各教材の「学びの道しるべ」で目標を確認したり、学習の見直しをもったり学びの振り返りをしたりする項目がある。</p>		1年	2年	3年	合計	単元数	9	9	8	26	領域	1年	2年	3年	合計	話・聞	5	5	5	15	書く	7	7	5	19	読む	18	17	17	52	知・技	8	7	8	23
		1年	2年	3年	合計																																																																					
	単元数	7	7	7	21																																																																					
領域	1年	2年	3年	合計																																																																						
話・聞	3	3	3	9																																																																						
書く	6	6	4	16																																																																						
読む	18	18	18	54																																																																						
知・技	20	18	19	57																																																																						
	1年	2年	3年	合計																																																																						
単元数	9	9	8	26																																																																						
領域	1年	2年	3年	合計																																																																						
話・聞	5	5	5	15																																																																						
書く	7	7	5	19																																																																						
読む	18	17	17	52																																																																						
知・技	8	7	8	23																																																																						
資料等	<p>①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。</p>	<p>・学習に関する音声や映像、練習問題などの資料が活用できる二次元コードを付している。</p> <p>・二次元コードが付されている教材数は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>二次元コード数</td><td>26</td><td>22</td><td>22</td><td>70</td></tr> </table>		1年	2年	3年	合計	二次元コード数	26	22	22	70	<p>・古典や読書の広場に関する資料が活用できる二次元コードを付している。</p> <p>・二次元コードが付されている教材数は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>二次元コード数</td><td>6</td><td>5</td><td>4</td><td>15</td></tr> </table>		1年	2年	3年	合計	二次元コード数	6	5	4	15																																																			
	1年	2年	3年	合計																																																																						
二次元コード数	26	22	22	70																																																																						
	1年	2年	3年	合計																																																																						
二次元コード数	6	5	4	15																																																																						
等表挿 ・統 ・計 ・図	<p>①挿絵・図表・統計等はどのように示されているか。</p>	<p>・教材文と関連して取上げられている図表、統計資料数は次のとおりである。（写真は含まない）</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>資料数</td><td>6</td><td>11</td><td>4</td><td>21</td></tr> </table>		1年	2年	3年	合計	資料数	6	11	4	21	<p>・教材文と関連して取上げられている図表、統計資料数は次のとおりである。（写真は含まない）</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>資料数</td><td>4</td><td>15</td><td>8</td><td>27</td></tr> </table>		1年	2年	3年	合計	資料数	4	15	8	27																																																			
	1年	2年	3年	合計																																																																						
資料数	6	11	4	21																																																																						
	1年	2年	3年	合計																																																																						
資料数	4	15	8	27																																																																						
教科独自	事項情報の扱い方に関する	<p>①文章等に含まれている情報と情報との関係を捉えて理解したり、情報と情報との関係を明確にして文章等で表現したりすることについて、どのように示されているか。</p> <p>②情報の取り出し方や整理の仕方及びそのための具体的な手段について、どのように示されているか。</p>	<p>・各領域を扱う単元の中で、情報を比較したり情報の関連性を理解したりすることについて、図や表を用いて示されている。</p> <p>・巻末の資料編において、インタビューやアンケートなどによる情報の集め方やメディアの特徴の比較による情報の信頼性の確かめ方が示されている。</p>	<p>・情報に特化したページが設けられており、情報の整理や情報の関連付けなどについて、図や表を用いて示されている。</p> <p>・巻末の資料編において、検索エンジンや図書館の活用、アンケートやインタビューによる情報収集の方法や手順が示されている。</p>																																																																						
	A 話すこと・聞くこと	<p>①指導事項を身に付けるために、どのような言語活動が示されているか。</p> <p>②話し合いを効果的に進め、互いの発言を踏まえて考えをまとめたり広げたり深めたりすることについて、どのように示されているか。</p>	<p>・特徴的な言語活動は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>1年</th><td>インタビュー、スピーチ、グループディスカッション</td></tr> <tr><th>2年</th><td>メモを取りながら聞く、プレゼンテーション、リンクマップによる話し合い</td></tr> <tr><th>3年</th><td>評価しながら聞く、条件スピーチ、合意形成を目指す話し合い</td></tr> </table> <p>・各学年とも「聞く→話す→話し合う」の順で3つの単元が設定されている。</p> <p>・各学年の資料編に、発達段階に応じた「話すこと・書くこと」の題材が例示されている。</p>	1年	インタビュー、スピーチ、グループディスカッション	2年	メモを取りながら聞く、プレゼンテーション、リンクマップによる話し合い	3年	評価しながら聞く、条件スピーチ、合意形成を目指す話し合い	<p>・特徴的な言語活動は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>1年</th><td>グループディスカッション、スピーチ、グループ新聞の編集会議</td></tr> <tr><th>2年</th><td>グループディスカッション、プレゼンテーション、情報誌の編集会議</td></tr> <tr><th>3年</th><td>グループディスカッション、パブリックスピーキング、名言集の編集会議</td></tr> </table> <p>・各学年とも「話し合い→スピーチ→情報を扱った話し合い→読書活動→編集会議」という順で、編集会議でこれまでの学習で身に付けた力を発揮する構成となっている。</p> <p>・話し合いを「つなげる（1年）」「深める（2年）」「計画的に進める（3年）」ための発言例が示されている。</p>	1年	グループディスカッション、スピーチ、グループ新聞の編集会議	2年	グループディスカッション、プレゼンテーション、情報誌の編集会議	3年	グループディスカッション、パブリックスピーキング、名言集の編集会議																																																										
	1年	インタビュー、スピーチ、グループディスカッション																																																																								
2年	メモを取りながら聞く、プレゼンテーション、リンクマップによる話し合い																																																																									
3年	評価しながら聞く、条件スピーチ、合意形成を目指す話し合い																																																																									
1年	グループディスカッション、スピーチ、グループ新聞の編集会議																																																																									
2年	グループディスカッション、プレゼンテーション、情報誌の編集会議																																																																									
3年	グループディスカッション、パブリックスピーキング、名言集の編集会議																																																																									
B 書くこと	<p>①指導事項を身に付けるために、どのような言語活動が示されているか。</p> <p>②伝えたい内容や自分の考えについて根拠を明確にして書くことや根拠の明確さや表現の仕方等を評価することについて、どのように示されているか。</p>	<p>・特徴的な言語活動は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>1年</th><td>意見文(レポート)・通信・手紙(案内文や報告文)を書くこと、推敲すること</td></tr> <tr><th>2年</th><td>紹介文・意見文・手紙(依頼状やお礼状)を書くこと、他者に伝わるよう物語の人物描写を書くこと</td></tr> <tr><th>3年</th><td>詩歌の創作、新聞の編集、批評文や手紙(中学校生活を振り返る)を書くこと</td></tr> </table> <p>・根拠に基づいて意見文を書く単元が設定され、適切な根拠の選択や情報の吟味の方法が示されている。</p>	1年	意見文(レポート)・通信・手紙(案内文や報告文)を書くこと、推敲すること	2年	紹介文・意見文・手紙(依頼状やお礼状)を書くこと、他者に伝わるよう物語の人物描写を書くこと	3年	詩歌の創作、新聞の編集、批評文や手紙(中学校生活を振り返る)を書くこと	<p>・特徴的な言語活動は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>1年</th><td>レポート・リーフレット(行事の案内)・意見文を書くこと、グループ新聞を作ること</td></tr> <tr><th>2年</th><td>手紙やメール・投稿文・論説文を書くこと、地域の魅力を伝える情報誌を作成すること</td></tr> <tr><th>3年</th><td>課題作文や批評文を書くこと、ポスターや名言集(中学校生活を振り返って)を作成すること</td></tr> </table> <p>・根拠に基づいて意見文や投稿文を書く単元が設定され、三角ロジックを使って考えさせたりデータを引用したりする方法が示されている。</p>	1年	レポート・リーフレット(行事の案内)・意見文を書くこと、グループ新聞を作ること	2年	手紙やメール・投稿文・論説文を書くこと、地域の魅力を伝える情報誌を作成すること	3年	課題作文や批評文を書くこと、ポスターや名言集(中学校生活を振り返って)を作成すること																																																											
1年	意見文(レポート)・通信・手紙(案内文や報告文)を書くこと、推敲すること																																																																									
2年	紹介文・意見文・手紙(依頼状やお礼状)を書くこと、他者に伝わるよう物語の人物描写を書くこと																																																																									
3年	詩歌の創作、新聞の編集、批評文や手紙(中学校生活を振り返る)を書くこと																																																																									
1年	レポート・リーフレット(行事の案内)・意見文を書くこと、グループ新聞を作ること																																																																									
2年	手紙やメール・投稿文・論説文を書くこと、地域の魅力を伝える情報誌を作成すること																																																																									
3年	課題作文や批評文を書くこと、ポスターや名言集(中学校生活を振り返って)を作成すること																																																																									
C 読んでいること	<p>①指導事項を身に付けるために、どのような言語活動が示されているか。</p> <p>②【知識及び技能】の「読書」に関する事項との関連を図り、生徒の日常の読書活動に結び付けることについて、どのように示されているか。</p>	<p>・特徴的な言語活動は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>1年</th><td>・説明文「ニュースの見方を考えよう」を読み、ニュースの見方について自分の考えをもつ</td></tr> <tr><th>2年</th><td>・解説文「『正しい』言葉は言じられるか」を読み、事実の述べ方による印象の違いを理解し、新聞を書き換える</td></tr> <tr><th>3年</th><td>・小説とそのもととなった古典作品を読み比べて批評する</td></tr> </table> <p>・本の魅力を伝えるポップ作り（1年）</p> <p>・おすすめ本を紹介するビブリオバトル（2年）</p> <p>・印象に残ったことや疑問点を話し合う読書会（3年）</p>	1年	・説明文「ニュースの見方を考えよう」を読み、ニュースの見方について自分の考えをもつ	2年	・解説文「『正しい』言葉は言じられるか」を読み、事実の述べ方による印象の違いを理解し、新聞を書き換える	3年	・小説とそのもととなった古典作品を読み比べて批評する	<p>・特徴的な言語活動は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>1年</th><td>・説明文「玄関扉」を読み、筆者の考えに対する自分の考えを200字程度でまとめる</td></tr> <tr><th>2年</th><td>・小説「走れメロス」を映画化すると想定し、そのキャッチコピーを作る</td></tr> <tr><th>3年</th><td>・評論「間の文化」を批判的に読み、筆者の主張についての自分の意見をまとめ発表する</td></tr> </table> <p>・感想などを交流し読み進めるブッククラブ（1年）</p> <p>・「チャン本」を決定するビブリオバトル（2年）</p> <p>・選んだ本を順番で紹介するブックトーク（3年）</p>	1年	・説明文「玄関扉」を読み、筆者の考えに対する自分の考えを200字程度でまとめる	2年	・小説「走れメロス」を映画化すると想定し、そのキャッチコピーを作る	3年	・評論「間の文化」を批判的に読み、筆者の主張についての自分の意見をまとめ発表する																																																											
1年	・説明文「ニュースの見方を考えよう」を読み、ニュースの見方について自分の考えをもつ																																																																									
2年	・解説文「『正しい』言葉は言じられるか」を読み、事実の述べ方による印象の違いを理解し、新聞を書き換える																																																																									
3年	・小説とそのもととなった古典作品を読み比べて批評する																																																																									
1年	・説明文「玄関扉」を読み、筆者の考えに対する自分の考えを200字程度でまとめる																																																																									
2年	・小説「走れメロス」を映画化すると想定し、そのキャッチコピーを作る																																																																									
3年	・評論「間の文化」を批判的に読み、筆者の主張についての自分の意見をまとめ発表する																																																																									

【 国 語 】

観 点		発 行 者	17 教 出	38 光 村																																																																						
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	<p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。</p> <p>④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。</p>	<p>・各学年の単元数は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>単元数</td><td>9</td><td>9</td><td>8</td><td>26</td></tr> </table> <p>※単元は各章の表題となっているもの</p> <p>・各学年、各領域の教材数は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>領域</th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>話・聞</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>15</td></tr> <tr><td>書く</td><td>7</td><td>6</td><td>5</td><td>18</td></tr> <tr><td>読む</td><td>17</td><td>18</td><td>21</td><td>56</td></tr> <tr><td>知・技</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>30</td></tr> </table> <p>・各教材の「学びナビ」の中で「読みの扉を開く」として、その教材で付きたい力の基礎的・基本的な知識が解説されている。</p> <p>・各単元とSDGsの関連を示すとともに、日本と世界の国々が抱える課題について自分の考えをもたせる「総合」単元が各学年に設定されている。</p> <p>・各教材の「学びナビ」に課題を追求する方法や目標、学習の流れが示されている。</p>		1年	2年	3年	合計	単元数	9	9	8	26	領域	1年	2年	3年	合計	話・聞	5	5	5	15	書く	7	6	5	18	読む	17	18	21	56	知・技	10	10	10	30	<p>・各学年の単元数は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>単元数</td><td>8</td><td>8</td><td>8</td><td>24</td></tr> </table> <p>※単元は各章の表題となっているもの</p> <p>・各学年、各領域の教材数は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>領域</th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>話・聞</td><td>7</td><td>6</td><td>6</td><td>19</td></tr> <tr><td>書く</td><td>14</td><td>11</td><td>8</td><td>33</td></tr> <tr><td>読む</td><td>19</td><td>20</td><td>18</td><td>57</td></tr> <tr><td>知・技</td><td>21</td><td>22</td><td>20</td><td>63</td></tr> </table> <p>・「知識及び技能」と「思考力、判断力、表現力等」を関連させた構成となっており、「レッスン」「学習の窓」で語彙力の育成を含めた学びのポイントが示されている。</p> <p>・思考を広げたり深めたりするための手立てとして、「思考の地図」や「情報整理のレッスン」が図解で示されている。</p> <p>・各教材の「学習」に「学習活動」「目標」「学習の流れ」が示されている。</p>		1年	2年	3年	合計	単元数	8	8	8	24	領域	1年	2年	3年	合計	話・聞	7	6	6	19	書く	14	11	8	33	読む	19	20	18	57	知・技	21	22	20	63
		1年	2年	3年	合計																																																																					
	単元数	9	9	8	26																																																																					
	領域	1年	2年	3年	合計																																																																					
話・聞	5	5	5	15																																																																						
書く	7	6	5	18																																																																						
読む	17	18	21	56																																																																						
知・技	10	10	10	30																																																																						
	1年	2年	3年	合計																																																																						
単元数	8	8	8	24																																																																						
領域	1年	2年	3年	合計																																																																						
話・聞	7	6	6	19																																																																						
書く	14	11	8	33																																																																						
読む	19	20	18	57																																																																						
知・技	21	22	20	63																																																																						
資料等	<p>①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。</p>	<p>・学びを広げるための資料、自分の力で取り組むための資料が活用できる二次元コードを付している。</p> <p>・二次元コードが付けられている教材数は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>二次元コード数</td><td>57</td><td>68</td><td>69</td><td>194</td></tr> </table>		1年	2年	3年	合計	二次元コード数	57	68	69	194	<p>・話し合いの動画資料、作家へのインタビューなど、参考資料として活用できる二次元コードを付している。</p> <p>・二次元コードが付けられている教材数は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>二次元コード数</td><td>25</td><td>23</td><td>21</td><td>69</td></tr> </table>		1年	2年	3年	合計	二次元コード数	25	23	21	69																																																			
	1年	2年	3年	合計																																																																						
二次元コード数	57	68	69	194																																																																						
	1年	2年	3年	合計																																																																						
二次元コード数	25	23	21	69																																																																						
等表・統計	<p>①挿絵・図表・統計等どのように示されているか。</p>	<p>・教材文と関連して取上げられている図表、統計資料数は次のとおりである。（写真は含まない）</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>資料数</td><td>7</td><td>9</td><td>4</td><td>20</td></tr> </table>		1年	2年	3年	合計	資料数	7	9	4	20	<p>・教材文と関連して取上げられている図表、統計資料数は次のとおりである。（写真は含まない）</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>資料数</td><td>15</td><td>15</td><td>3</td><td>33</td></tr> </table>		1年	2年	3年	合計	資料数	15	15	3	33																																																			
	1年	2年	3年	合計																																																																						
資料数	7	9	4	20																																																																						
	1年	2年	3年	合計																																																																						
資料数	15	15	3	33																																																																						
事項の扱い方に関する	<p>①文章等に含まれている情報と情報との関係を捉えて理解したり、情報と情報との関係を明確にして文章等で表現したりすることについて、どのように示されているか。</p> <p>②情報の取り出し方や整理の仕方及びそのための具体的な手段について、どのように示されているか。</p>	<p>・各領域を扱う単元の中で、情報を比較したり情報の関連性を理解したりすることについて、図や表を用いて示されている。</p> <p>・単元の中にある「学びナビ」において、思考ツールなどの例を用い、情報の取り出し方や情報の整理の仕方などの方法が示されている。</p>	<p>・情報に特化したページが設けられており、情報の整理や情報の関連付けなどについて、図や表を用いて示されている。</p> <p>・巻頭で、思考ツールなどの例を用い、情報の可視化について示されるとともに、単元「情報化社会を生きる」において、情報活用する方法や手順が示されている。</p>																																																																							
教科独自	A 話す・聞く	<p>①指導事項を身に付けるために、どのような言語活動が示されているか。</p> <p>②話し合いを効果的に進め、互いの発言を踏まえて考えをまとめたり広げたり深めたりすることについて、どのように示されているか。</p>	<p>・特徴的な言語活動は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>1年</th><td>紹介・説明・質問・報告(スピーチ)、話し合い(パネルディスカッション)</td></tr> <tr><th>2年</th><td>説明・質問(スピーチ)、提案(プレゼンテーション)、討論(パネルディスカッション)</td></tr> <tr><th>3年</th><td>説明・スピーチ、対話(パネルディスカッション)、討論(グループディスカッション)</td></tr> </table> <p>・各学年とも「話す・聞く→話し合う」の順で5つの単元が設定されている。</p> <p>・各学年とも「話す」単元を2つ設定し、「わかりやすく相手に伝えるためのポイント」が示されている。</p>	1年	紹介・説明・質問・報告(スピーチ)、話し合い(パネルディスカッション)	2年	説明・質問(スピーチ)、提案(プレゼンテーション)、討論(パネルディスカッション)	3年	説明・スピーチ、対話(パネルディスカッション)、討論(グループディスカッション)	<p>・特徴的な言語活動は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>1年</th><td>スピーチ・対話、グループディスカッション、フリップディスカッション</td></tr> <tr><th>2年</th><td>プレゼンテーション、インタビュー、壁新聞を作るための話し合い</td></tr> <tr><th>3年</th><td>スピーチ、対談、会議、3年間の学びについての発表会</td></tr> </table> <p>・各学年とも「話すこと・聞くこと」の最初の単元でメモを取りながら聞き取る活動が設定されている。</p> <p>・各学年とも「情報を集める→整理する→組み立てる→伝え合う」の順で学習活動が構成されている。</p>	1年	スピーチ・対話、グループディスカッション、フリップディスカッション	2年	プレゼンテーション、インタビュー、壁新聞を作るための話し合い	3年	スピーチ、対談、会議、3年間の学びについての発表会																																																										
	1年	紹介・説明・質問・報告(スピーチ)、話し合い(パネルディスカッション)																																																																								
	2年	説明・質問(スピーチ)、提案(プレゼンテーション)、討論(パネルディスカッション)																																																																								
3年	説明・スピーチ、対話(パネルディスカッション)、討論(グループディスカッション)																																																																									
1年	スピーチ・対話、グループディスカッション、フリップディスカッション																																																																									
2年	プレゼンテーション、インタビュー、壁新聞を作るための話し合い																																																																									
3年	スピーチ、対談、会議、3年間の学びについての発表会																																																																									
B 書く	<p>①指導事項を身に付けるために、どのような言語活動が示されているか。</p> <p>②伝えたい内容や自分の考えについて根拠を明確にして書くことや根拠の明確さや表現の仕方等を評価することについて、どのように示されているか。</p>	<p>・特徴的な言語活動は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>1年</th><td>意見文・案内文(学校行事)・報告文を書くこと、体験をもとに随筆を書くこと</td></tr> <tr><th>2年</th><td>新聞への投書、手紙(お礼状)や意見文を書くこと、新聞を作成すること</td></tr> <tr><th>3年</th><td>説明文・批評文(ポスターの比較)・自己PR文を書くこと、中学校生活を振り返る作品集を作ること</td></tr> </table> <p>・根拠に基づいて意見文を書く単元が設定され、情報の比較や自己の経験や体験との関連付けをする方法が示されている。</p>	1年	意見文・案内文(学校行事)・報告文を書くこと、体験をもとに随筆を書くこと	2年	新聞への投書、手紙(お礼状)や意見文を書くこと、新聞を作成すること	3年	説明文・批評文(ポスターの比較)・自己PR文を書くこと、中学校生活を振り返る作品集を作ること	<p>・特徴的な言語活動は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>1年</th><td>レポートや書評を書くこと、詩を創作すること、体験をもとに随筆を書くこと</td></tr> <tr><th>2年</th><td>職業ガイドを作成すること、短歌を創作すること、手紙やメール(依頼文やお礼状)・意見文を書くこと</td></tr> <tr><th>3年</th><td>修学旅行記を書くこと、俳句を創作すること、中学校生活を振り返る冊子を作ること</td></tr> </table> <p>・根拠に基づいて意見文やレポートを書く単元が設定され、資料を引用したり反論を想定して考えさせたりする方法が示されている。</p>	1年	レポートや書評を書くこと、詩を創作すること、体験をもとに随筆を書くこと	2年	職業ガイドを作成すること、短歌を創作すること、手紙やメール(依頼文やお礼状)・意見文を書くこと	3年	修学旅行記を書くこと、俳句を創作すること、中学校生活を振り返る冊子を作ること																																																											
1年	意見文・案内文(学校行事)・報告文を書くこと、体験をもとに随筆を書くこと																																																																									
2年	新聞への投書、手紙(お礼状)や意見文を書くこと、新聞を作成すること																																																																									
3年	説明文・批評文(ポスターの比較)・自己PR文を書くこと、中学校生活を振り返る作品集を作ること																																																																									
1年	レポートや書評を書くこと、詩を創作すること、体験をもとに随筆を書くこと																																																																									
2年	職業ガイドを作成すること、短歌を創作すること、手紙やメール(依頼文やお礼状)・意見文を書くこと																																																																									
3年	修学旅行記を書くこと、俳句を創作すること、中学校生活を振り返る冊子を作ること																																																																									
C 読む	<p>①指導事項を身に付けるために、どのような言語活動が示されているか。</p> <p>②【知識及び技能】の「読書」に関する事項との関連を図り、生徒の日常の読書活動に結び付けることについて、どのように示されているか。</p>	<p>・特徴的な言語活動は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>1年</th><td>・説明文「子どもの権利」を読み、筆者の主張を踏まえて自分の考えをもち、話し合う</td></tr> <tr><th>2年</th><td>・評論「学ぶ力」を読み、学力について考えたことを自分の知識や経験と関係付けてまとめる</td></tr> <tr><th>3年</th><td>・社会のあり方等についての2つの文章を読み、筆者の主張の違いを捉えて自分の考えをまとめ、それをもとに話し合う</td></tr> </table> <p>・作品の一節を引用したポップづくり(1年)</p> <p>・課題を見付けた図書館を活用したレポートづくり(2年)</p> <p>・「チャンプ本」を決定するビブリオバトル(3年)</p>	1年	・説明文「子どもの権利」を読み、筆者の主張を踏まえて自分の考えをもち、話し合う	2年	・評論「学ぶ力」を読み、学力について考えたことを自分の知識や経験と関係付けてまとめる	3年	・社会のあり方等についての2つの文章を読み、筆者の主張の違いを捉えて自分の考えをまとめ、それをもとに話し合う	<p>・特徴的な言語活動は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>1年</th><td>・小説「少年の日の思い出」を読み、文章から捉えた登場人物の心情をもとに、別の登場人物の視点で物語を書く</td></tr> <tr><th>2年</th><td>・「最後の晩餐」について書かれた2つの文章を読み、読み取ったことをもとに自分の好きな作品について論ずる</td></tr> <tr><th>3年</th><td>・人間と人工知能の関わりについて述べた2つの文章を批判的に読み、自分の意見をもつ</td></tr> </table> <p>・一冊の本の感想を共有する読書掲示板(1年)</p> <p>・本の魅力を紹介する紹介合戦(2年)</p> <p>・テーマを決めて本を紹介するブックトーク(3年)</p>	1年	・小説「少年の日の思い出」を読み、文章から捉えた登場人物の心情をもとに、別の登場人物の視点で物語を書く	2年	・「最後の晩餐」について書かれた2つの文章を読み、読み取ったことをもとに自分の好きな作品について論ずる	3年	・人間と人工知能の関わりについて述べた2つの文章を批判的に読み、自分の意見をもつ																																																											
1年	・説明文「子どもの権利」を読み、筆者の主張を踏まえて自分の考えをもち、話し合う																																																																									
2年	・評論「学ぶ力」を読み、学力について考えたことを自分の知識や経験と関係付けてまとめる																																																																									
3年	・社会のあり方等についての2つの文章を読み、筆者の主張の違いを捉えて自分の考えをまとめ、それをもとに話し合う																																																																									
1年	・小説「少年の日の思い出」を読み、文章から捉えた登場人物の心情をもとに、別の登場人物の視点で物語を書く																																																																									
2年	・「最後の晩餐」について書かれた2つの文章を読み、読み取ったことをもとに自分の好きな作品について論ずる																																																																									
3年	・人間と人工知能の関わりについて述べた2つの文章を批判的に読み、自分の意見をもつ																																																																									

1 学習指導要領に示された目標

【国語科の目標】

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

【各学年の書写に関する事項】

	第1学年	第2学年	第3学年
(ア)	字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと。	漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くこと。	身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くこと。
(イ)	漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書くこと。	目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書くこと。	

【書写の指導における配慮事項】

- (ア) 文字を正しく整えて速く書くことができるようにするとともに、書写の能力を学習や生活に役立てる態度を育てるよう配慮すること。
- (イ) 硬筆を使用する書写の指導は各学年で行うこと。
- (ウ) 毛筆を使用する書写の指導は各学年で行い、硬筆による書写の能力の基礎を養うよう指導すること。
- (エ) 書写の指導に配当する授業時数は、第1学年及び第2学年では年間20単位時間程度、第3学年では年間10単位時間程度とすること。

2 教科独自の調査研究の観点

(1) 楷書の基本と仮名の書き方	①「字形」「文字の大きさ」「配列」など、文字を正しく整えて書く楷書の基本とそれに調和した仮名の書き方について、どのように示されているか。
(2) 行書の基本と仮名の書き方	①「連続」「形や方向の変化」「省略」など、文字を正しく整えて速く書く行書の基本とそれに調和した仮名の書き方について、どのように示されているか。
(3) 言語文化	①文字文化に親しんだり、実生活や学習場面に効果的に役立てたりすることについて、どのように示されているか。

【書 写】

観点		発行者	2 東 書	15 三省堂																																
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	<p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。</p> <p>③思考力、判断力、表現力等をはぐくむ学習(言語活動等)が促されるよう、どのように示されているか。</p> <p>④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。</p>	<p>・学年ごとのページ数及び大単元数 第1学年47(3単元) 第2学年33(3単元) 第3学年25(1単元) ページ数(単元数)</p> <p>・各学年の文字指導・文字文化・日常化のページ数及び割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年内容</th> <th>第1学年</th> <th>第2学年</th> <th>第3学年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>文字指導</td> <td>26 (55%)</td> <td>13 (40%)</td> <td>2 (8%)</td> </tr> <tr> <td>文字文化</td> <td>12 (26%)</td> <td>10 (30%)</td> <td>16 (64%)</td> </tr> <tr> <td>日常化</td> <td>9 (19%)</td> <td>10 (30%)</td> <td>7 (28%)</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">ページ数(割合)</p> <p>・単元配列 第1学年「小学校の振り返り」→「楷書」→「行書」 第2学年「行書」→「行書と仮名」→「楷書と行書」 第3学年「効果的に文字を書こう」 ・毛筆教材の学習後に関連する硬筆教材が示されている。</p> <p>・大単元と小単元の学習過程が巻頭に示されている。「目標→見つけよう→確かめよう→生かそう→振り返って話そう→生活に広げよう」</p> <p>・自己評価の観点の小単元ごとに示されている。</p> <p>・楷書と行書を交えて書くことや場面や目的に応じた書き方を話し合う活動や、年賀状や本のポップなど生活に広げる活動が示されている。</p>	学年内容	第1学年	第2学年	第3学年	文字指導	26 (55%)	13 (40%)	2 (8%)	文字文化	12 (26%)	10 (30%)	16 (64%)	日常化	9 (19%)	10 (30%)	7 (28%)	<p>・学年ごとのページ数と大単元数 第1学年36(3単元) 第2学年22(3単元) 第3学年9(1単元) ページ数(単元数)</p> <p>・各学年の文字指導・文字文化・日常化のページ数及び割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年内容</th> <th>第1学年</th> <th>第2学年</th> <th>第3学年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>文字指導</td> <td>29 (81%)</td> <td>16 (73%)</td> <td>0 (0%)</td> </tr> <tr> <td>文字文化</td> <td>3 (8%)</td> <td>2 (9%)</td> <td>1 (11%)</td> </tr> <tr> <td>日常化</td> <td>4 (11%)</td> <td>4 (18%)</td> <td>9 (89%)</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">ページ数(割合)</p> <p>・単元配列 第1学年「楷書」→「楷書と仮名」→「行書」 第2学年「行書」→「行書と仮名」→「楷書と行書」 第3学年「文字文化の豊かさ」 ・毛筆教材の学習後に関連する硬筆教材が示されている。</p> <p>・小単元の学習過程が巻頭に示されている。「目標→書き方のポイント→毛筆→振り返り→硬筆→活用→まとめ」</p> <p>・自己評価の観点の小単元ごとに示されている。</p> <p>・楷書と行書の使い分けを話し合う活動や、生徒が書いた新聞や情報誌などを交流する活動が示されている。</p>	学年内容	第1学年	第2学年	第3学年	文字指導	29 (81%)	16 (73%)	0 (0%)	文字文化	3 (8%)	2 (9%)	1 (11%)	日常化	4 (11%)	4 (18%)	9 (89%)
	学年内容	第1学年	第2学年	第3学年																																
	文字指導	26 (55%)	13 (40%)	2 (8%)																																
文字文化	12 (26%)	10 (30%)	16 (64%)																																	
日常化	9 (19%)	10 (30%)	7 (28%)																																	
学年内容	第1学年	第2学年	第3学年																																	
文字指導	29 (81%)	16 (73%)	0 (0%)																																	
文字文化	3 (8%)	2 (9%)	1 (11%)																																	
日常化	4 (11%)	4 (18%)	9 (89%)																																	
資料等	<p>①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。</p>	<p>・資料の文字指導・文字文化・日常化のページ数及び割合、二次元コードの数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>文字指導</th> <th>文字文化</th> <th>日常化</th> <th>二次元コード数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23 (72%)</td> <td>3 (9%)</td> <td>6 (19%)</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">ページ数(割合)</p> <p>・資料は「書写活用ブック」として巻末に示されている。ページ数は32。内容は「手紙」「新聞」「リーフレット」「ポスター」「原稿用紙」「その他の書式」「行書の部分の形」等。</p> <p>・コラム等の読みもの教材の数は14。内容は「文字の成り立ちと移り変わり」「伝統的な用具・用材」「仕事での「手書き文字」」等。</p> <p>・関連する資料閲覧のための二次元コード数は1。但し含まれるコンテンツ数は36。</p>	文字指導	文字文化	日常化	二次元コード数	23 (72%)	3 (9%)	6 (19%)	1	<p>・資料の文字指導・文字文化・日常化のページ数及び割合、二次元コードの数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>文字指導</th> <th>文字文化</th> <th>日常化</th> <th>二次元コード数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>25 (56%)</td> <td>12 (27%)</td> <td>8 (17%)</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">ページ数(割合)</p> <p>・資料は「資料編」として教科書の巻末に示されている。ページ数は45。内容は「便箋・封筒・はがき」「送り状・のし袋」「願書」原稿用紙「楷書・行書一覧表」「書初め」等。</p> <p>・コラム等の読みもの教材の数は3。内容は「文字の変遷」「身の回りの文字」「書の古典」等。</p> <p>・関連する資料閲覧のための二次元コード数は3。</p>	文字指導	文字文化	日常化	二次元コード数	25 (56%)	12 (27%)	8 (17%)	3																	
文字指導	文字文化	日常化	二次元コード数																																	
23 (72%)	3 (9%)	6 (19%)	1																																	
文字指導	文字文化	日常化	二次元コード数																																	
25 (56%)	12 (27%)	8 (17%)	3																																	
挿絵・図表・統計等	<p>①挿絵・図表・統計等はどのように示されているか。</p>	<p>・写真や図表の数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>第1学年</th> <th>第2学年</th> <th>第3学年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>写真</td> <td>86</td> <td>32</td> <td>56</td> </tr> <tr> <td>図表</td> <td>67</td> <td>57</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table> <p>・姿勢や筆の持ち方が写真とイラストで示されている。</p> <p>・筆使いが二色の薄墨と解説、写真、イラストで示されている。</p>	内容	第1学年	第2学年	第3学年	写真	86	32	56	図表	67	57	13	<p>・写真や図表の数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>第1学年</th> <th>第2学年</th> <th>第3学年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>写真</td> <td>9</td> <td>0</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>図表</td> <td>58</td> <td>23</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>・姿勢や筆の持ち方が写真とイラストで示されている。</p> <p>・筆使いが二色の薄墨と解説、写真で示されている。</p>	内容	第1学年	第2学年	第3学年	写真	9	0	38	図表	58	23	5									
内容	第1学年	第2学年	第3学年																																	
写真	86	32	56																																	
図表	67	57	13																																	
内容	第1学年	第2学年	第3学年																																	
写真	9	0	38																																	
図表	58	23	5																																	
教科独自	楷書の基本と仮名の書き方	<p>①「字形」「文字の大きさ」「配列」など、文字を正しく整えて書く楷書の基本とそれに調和した仮名の書き方について、どのように示されているか。</p>	<p>・指導事項別のページ数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指導事項</th> <th>ページ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>姿勢や筆記用具</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>楷書の基本点画</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>字形</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>文字の大きさ</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>配列</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>楷書に調和した仮名</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>・文字の中心が分かるように手本の上下に▼印が施され、必要に応じて筆脈が示されている。</p>	指導事項	ページ数	姿勢や筆記用具	2	楷書の基本点画	9	字形	7	文字の大きさ	5	配列	6	楷書に調和した仮名	2	<p>・指導事項別のページ数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指導事項</th> <th>ページ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>姿勢や筆記用具</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>楷書の基本点画</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>字形</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>文字の大きさ</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>配列</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>楷書に調和した仮名</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table> <p>・文字の中心が分かるように手本の上下に▼印が施され、必要に応じて筆脈が示されている。</p>	指導事項	ページ数	姿勢や筆記用具	4	楷書の基本点画	12	字形	11	文字の大きさ	6	配列	4	楷書に調和した仮名	8				
	指導事項	ページ数																																		
	姿勢や筆記用具	2																																		
楷書の基本点画	9																																			
字形	7																																			
文字の大きさ	5																																			
配列	6																																			
楷書に調和した仮名	2																																			
指導事項	ページ数																																			
姿勢や筆記用具	4																																			
楷書の基本点画	12																																			
字形	11																																			
文字の大きさ	6																																			
配列	4																																			
楷書に調和した仮名	8																																			
行書の基本と仮名の書き方	<p>①「連続」「形や方向の変化」「省略」など、文字を正しく整えて速く書く行書の基本とそれに調和した仮名の書き方について、どのように示されているか。</p>	<p>・指導事項別のページ数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指導事項</th> <th>ページ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>連続</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>形や方向の変化</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>省略</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>筆順の変化</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>行書に調和した仮名</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> <p>・行書の導入は、「文字のいずみ」の「文字の成り立ちと移り変わり」で書体が紹介され、その特徴が示されている。</p>	指導事項	ページ数	連続	7	形や方向の変化	6	省略	4	筆順の変化	4	行書に調和した仮名	9	<p>・指導事項別のページ数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指導事項</th> <th>ページ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>連続</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>形や方向の変化</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>省略</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>筆順の変化</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>行書に調和した仮名</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table> <p>・行書の導入は、「学びを広げる」の「文字の変遷」で書体が紹介され、その特徴が示されている。</p>	指導事項	ページ数	連続	7	形や方向の変化	6	省略	6	筆順の変化	6	行書に調和した仮名	6									
指導事項	ページ数																																			
連続	7																																			
形や方向の変化	6																																			
省略	4																																			
筆順の変化	4																																			
行書に調和した仮名	9																																			
指導事項	ページ数																																			
連続	7																																			
形や方向の変化	6																																			
省略	6																																			
筆順の変化	6																																			
行書に調和した仮名	6																																			
言語文化	<p>①文字文化に親しんだり、実生活や学習場面に効果的に役立てたりすることについて、どのように示されているか。</p>	<p>・指導事項別のページ数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指導事項</th> <th>ページ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>文字文化</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>学習場面への活用</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>実生活場面への活用</td> <td>17</td> </tr> </tbody> </table> <p>・文字文化に親しむ内容は、「いろは歌」「文字の成り立ちと移り変わり」「伝統的な用具・用材」「書初め」等。</p> <p>・学んだことを実生活や学習場面に活用する内容は、「案内の手紙を書こう」「職場訪問の依頼状・礼状」「本のポップを書こう」等。</p>	指導事項	ページ数	文字文化	10	学習場面への活用	11	実生活場面への活用	17	<p>・指導事項別のページ数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指導事項</th> <th>ページ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>文字文化</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>学習場面への活用</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>実生活場面への活用</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table> <p>・文字文化に親しむ内容は、「文字の変遷」「身のまわりの文字」「書の古典」「文房四宝」等。</p> <p>・学んだことを実生活や学習場面に活用する内容は、「グループ新聞を作ろう」「情報誌を作ろう」「名言集を作ろう」等。</p>	指導事項	ページ数	文字文化	8	学習場面への活用	8	実生活場面への活用	10																	
指導事項	ページ数																																			
文字文化	10																																			
学習場面への活用	11																																			
実生活場面への活用	17																																			
指導事項	ページ数																																			
文字文化	8																																			
学習場面への活用	8																																			
実生活場面への活用	10																																			

【書 写】

観 点		発 行 者	17 教 出	38 光 村																																
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	<p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。</p> <p>③思考力、判断力、表現力等をはぐくむ学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。</p> <p>④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。</p>	<p>・学年ごとのページ数と大単元数 第1学年 42 (4単元) 第2学年 32 (4単元) 第3学年 13 (4単元) ページ数(単元数)</p> <p>・各学年の文字指導・文字文化・日常化のページ数及び割合</p> <table border="1"> <tr> <th>学年内容</th> <th>第1学年</th> <th>第2学年</th> <th>第3学年</th> </tr> <tr> <td>文字指導</td> <td>24 (56%)</td> <td>18 (58%)</td> <td>7 (54%)</td> </tr> <tr> <td>文字文化</td> <td>11 (26%)</td> <td>6 (19%)</td> <td>4 (31%)</td> </tr> <tr> <td>日常化</td> <td>8 (18%)</td> <td>7 (23%)</td> <td>2 (15%)</td> </tr> </table> <p>ページ数(割合)</p> <p>・単元配列 第1学年「楷書」→「楷書と仮名」→「行書」 第2学年「行書」→「行書と仮名」→「日常活動」 第3学年「行書」→「行書と仮名」→「文字文化」 ・毛筆教材の学習後に関連する硬筆教材が示されている。</p> <p>・小単元の学習過程が巻頭に示されている。「目標→考えよう→生かそう→振り返ろう→生かそう」</p> <p>・自己評価の観点の小単元ごとに示されている。</p> <p>・場面に応じた書き方をする際の注意点を話し合う活動や、身のまわりの多様な文字の表現を取材しレポートを作成する活動が示されている。</p>	学年内容	第1学年	第2学年	第3学年	文字指導	24 (56%)	18 (58%)	7 (54%)	文字文化	11 (26%)	6 (19%)	4 (31%)	日常化	8 (18%)	7 (23%)	2 (15%)	<p>・学年ごとのページ数と大単元数 第1学年 27 (2単元) 第2学年 25 (2単元) 第3学年 18 (2単元) ページ数(単元数)</p> <p>・各学年の文字指導・文字文化・日常化のページ数及び割合</p> <table border="1"> <tr> <th>学年内容</th> <th>第1学年</th> <th>第2学年</th> <th>第3学年</th> </tr> <tr> <td>文字指導</td> <td>22 (81%)</td> <td>14 (56%)</td> <td>4 (22%)</td> </tr> <tr> <td>文字文化</td> <td>4 (15%)</td> <td>6 (24%)</td> <td>9 (50%)</td> </tr> <tr> <td>日常化</td> <td>1 (4%)</td> <td>5 (25%)</td> <td>5 (28%)</td> </tr> </table> <p>ページ数(割合)</p> <p>・単元配列 第1学年「楷書」→「行書」 第2学年「行書」→「文字の使い分け」 第3学年「文字の使い分け」 ・毛筆教材の学習後に関連する硬筆教材が示されている。</p> <p>・大単元と小単元の学習過程が巻頭に示されている。「目標→考えよう→確かめよう→生かそう→振り返り」</p> <p>・自己評価の観点の小単元ごとに示されている。</p> <p>・場面に応じて楷書か行書かを選択する理由を話し合う活動や、文字の使い分けの効果についてまとめる活動が示されている。</p>	学年内容	第1学年	第2学年	第3学年	文字指導	22 (81%)	14 (56%)	4 (22%)	文字文化	4 (15%)	6 (24%)	9 (50%)	日常化	1 (4%)	5 (25%)	5 (28%)
	学年内容	第1学年	第2学年	第3学年																																
	文字指導	24 (56%)	18 (58%)	7 (54%)																																
文字文化	11 (26%)	6 (19%)	4 (31%)																																	
日常化	8 (18%)	7 (23%)	2 (15%)																																	
学年内容	第1学年	第2学年	第3学年																																	
文字指導	22 (81%)	14 (56%)	4 (22%)																																	
文字文化	4 (15%)	6 (24%)	9 (50%)																																	
日常化	1 (4%)	5 (25%)	5 (28%)																																	
資料等	<p>①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。</p>	<p>・資料の文字指導・文字文化・日常化のページ数及び割合、二次元コードの数</p> <table border="1"> <tr> <th>文字指導</th> <th>文字文化</th> <th>日常化</th> <th>二次元コード数</th> </tr> <tr> <td>14 (32%)</td> <td>26 (59%)</td> <td>4 (9%)</td> <td>1</td> </tr> </table> <p>ページ数(割合)</p> <p>・資料は巻末に示されている。ページ数は44。内容は「手紙」「原稿用紙」「願書」「案内文」「情報の整理」等。</p> <p>・コラム等の読みもの教材の数は8。内容は「季節の行事と書写」「書の古典の鑑賞」「あの人が残した文字」「短冊と色紙」等。</p> <p>・関連する資料閲覧のための二次元コード数は1。但し含まれるコンテンツ数は29。</p>	文字指導	文字文化	日常化	二次元コード数	14 (32%)	26 (59%)	4 (9%)	1	<p>・資料の文字指導・文字文化・日常化のページ数及び割合、二次元コードの数</p> <table border="1"> <tr> <th>文字指導</th> <th>文字文化</th> <th>日常化</th> <th>二次元コード数</th> </tr> <tr> <td>13 (17%)</td> <td>49 (66%)</td> <td>12 (17%)</td> <td>40</td> </tr> </table> <p>ページ数(割合)</p> <p>・資料は巻末及び別冊「書写ブック」に示されている。ページ数は巻末47。「書写ブック」27。内容は「都道府県名」「年賀状」「入学願書」「送り状」等。</p> <p>・コラム等の読みもの教材の数は3。内容は「文字の歴史を探る」「物語を千年書き継ぐ」等。</p> <p>・関連する資料閲覧のための二次元コード数は40。</p>	文字指導	文字文化	日常化	二次元コード数	13 (17%)	49 (66%)	12 (17%)	40																	
文字指導	文字文化	日常化	二次元コード数																																	
14 (32%)	26 (59%)	4 (9%)	1																																	
文字指導	文字文化	日常化	二次元コード数																																	
13 (17%)	49 (66%)	12 (17%)	40																																	
等	挿絵・図表・統計等はどのように示されているか。	<p>・写真や図表の数</p> <table border="1"> <tr> <th>内容</th> <th>第1学年</th> <th>第2学年</th> <th>第3学年</th> </tr> <tr> <td>写真</td> <td>77</td> <td>57</td> <td>67</td> </tr> <tr> <td>図表</td> <td>30</td> <td>16</td> <td>10</td> </tr> </table> <p>・姿勢や筆の持ち方が写真で示されている。</p> <p>・筆使いが二色の薄墨と解説で示されている。</p>	内容	第1学年	第2学年	第3学年	写真	77	57	67	図表	30	16	10	<p>・写真や図表の数</p> <table border="1"> <tr> <th>内容</th> <th>第1学年</th> <th>第2学年</th> <th>第3学年</th> </tr> <tr> <td>写真</td> <td>7</td> <td>26</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td>図表</td> <td>19</td> <td>11</td> <td>8</td> </tr> </table> <p>・姿勢や筆の持ち方が写真で示されている。</p> <p>・筆使いが二色の薄墨と解説、イラストで示されている。</p>	内容	第1学年	第2学年	第3学年	写真	7	26	58	図表	19	11	8									
内容	第1学年	第2学年	第3学年																																	
写真	77	57	67																																	
図表	30	16	10																																	
内容	第1学年	第2学年	第3学年																																	
写真	7	26	58																																	
図表	19	11	8																																	
教科独自	楷書の基本と仮名の書き方	<p>①「字形」「文字の大きさ」「配列」など、文字を正しく整えて書く楷書の基本とそれに調和した仮名の書き方について、どのように示されているか。</p>	<p>・指導事項別のページ数</p> <table border="1"> <tr> <th>指導事項</th> <th>数</th> </tr> <tr> <td>姿勢や筆記用具</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>楷書の基本点画</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>字形</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>文字の大きさ</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>配列</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>楷書に調和した仮名</td> <td>12</td> </tr> </table> <p>・文字の中心が分かるように手本の上下に▼印が施され、必要に応じて筆順と筆脈が示されている。</p>	指導事項	数	姿勢や筆記用具	2	楷書の基本点画	6	字形	7	文字の大きさ	5	配列	6	楷書に調和した仮名	12	<p>・指導事項別のページ数</p> <table border="1"> <tr> <th>指導事項</th> <th>ページ数</th> </tr> <tr> <td>姿勢や筆記用具</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>楷書の基本点画</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>字形</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>文字の大きさ</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>配列</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>楷書に調和した仮名</td> <td>2</td> </tr> </table> <p>・文字の中心が分かるように手本の上下に▼印が施され、必要に応じて筆脈が示されている。</p>	指導事項	ページ数	姿勢や筆記用具	2	楷書の基本点画	6	字形	19	文字の大きさ	2	配列	6	楷書に調和した仮名	2				
	指導事項	数																																		
	姿勢や筆記用具	2																																		
楷書の基本点画	6																																			
字形	7																																			
文字の大きさ	5																																			
配列	6																																			
楷書に調和した仮名	12																																			
指導事項	ページ数																																			
姿勢や筆記用具	2																																			
楷書の基本点画	6																																			
字形	19																																			
文字の大きさ	2																																			
配列	6																																			
楷書に調和した仮名	2																																			
行書の基本と仮名の書き方	<p>①「連続」「形や方向の変化」「省略」など、文字を正しく整えて速く書く行書の基本とそれに調和した仮名の書き方について、どのように示されているか。</p>	<p>・指導事項別のページ数</p> <table border="1"> <tr> <th>指導事項</th> <th>ページ数</th> </tr> <tr> <td>連続</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>形や方向の変化</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>省略</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>筆順の変化</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>行書に調和した仮名</td> <td>17</td> </tr> </table> <p>・行書の導入は、「コラム」の「文字の変遷」や表札等の写真で書体が紹介され、その特徴が示されている。</p>	指導事項	ページ数	連続	6	形や方向の変化	4	省略	4	筆順の変化	2	行書に調和した仮名	17	<p>・指導事項別のページ数</p> <table border="1"> <tr> <th>指導事項</th> <th>ページ数</th> </tr> <tr> <td>連続</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>形や方向の変化</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>省略</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>筆順の変化</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>行書に調和した仮名</td> <td>6</td> </tr> </table> <p>・行書の導入は、「コラム」の「文字の歴史を探る」で、楷書と行書を比較することで書体の特徴が示されている。</p>	指導事項	ページ数	連続	4	形や方向の変化	6	省略	4	筆順の変化	4	行書に調和した仮名	6									
指導事項	ページ数																																			
連続	6																																			
形や方向の変化	4																																			
省略	4																																			
筆順の変化	2																																			
行書に調和した仮名	17																																			
指導事項	ページ数																																			
連続	4																																			
形や方向の変化	6																																			
省略	4																																			
筆順の変化	4																																			
行書に調和した仮名	6																																			
言語文化	<p>①文字文化に親しんだり、実生活や学習場面に効果的に役立てたりすることについて、どのように示されているか。</p>	<p>・指導事項別のページ数</p> <table border="1"> <tr> <th>指導事項</th> <th>ページ数</th> </tr> <tr> <td>文字文化</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>学習場面への活用</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>実生活場面への活用</td> <td>7</td> </tr> </table> <p>・文字文化に親しむ内容は、「短冊と色紙」「文字の変遷」「書の古典の鑑賞」「書初め」等。</p> <p>・学んだことを実生活や学習場面に活用する内容は、「ポスターを書く」「新聞を書く」「学習内容を効果的にノートに書こう」等。</p>	指導事項	ページ数	文字文化	17	学習場面への活用	14	実生活場面への活用	7	<p>・指導事項別のページ数</p> <table border="1"> <tr> <th>指導事項</th> <th>ページ数</th> </tr> <tr> <td>文字文化</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>学習場面への活用</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>実生活場面への活用</td> <td>13</td> </tr> </table> <p>・文字文化に親しむ内容は、「文字の歴史を探る」「全国文字マップ」「物語を千年書き継ぐ」「書初め」等。</p> <p>・学んだことを実生活や学習場面に活用する内容は、「目標を書こう」「壁新聞を作ろう」「冊子にまとめよう」等。</p>	指導事項	ページ数	文字文化	11	学習場面への活用	7	実生活場面への活用	13																	
指導事項	ページ数																																			
文字文化	17																																			
学習場面への活用	14																																			
実生活場面への活用	7																																			
指導事項	ページ数																																			
文字文化	11																																			
学習場面への活用	7																																			
実生活場面への活用	13																																			

1 学習指導要領に示された目標

【社会科の目標】

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料が様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

【地理的分野の目標】

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

技能 知識 及び	(1) 我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
力、思考力、 表現力等 判断	(2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
等 学 力 び に 向 人 間 性 性	(3) 日本や世界の地域に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。

2 教科独自の調査研究の観点

(1) 世界と日本の地域構成	<ul style="list-style-type: none"> ①世界や日本の地域構成を位置や分布などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、世界と日本の地域構成を大観し理解することについて、どのように示されているか。 ②世界や日本の地域構成の特色を多面的・多角的に考察し、表現することについて、どのように示されているか。
(2) 世界の様々な地域	<ul style="list-style-type: none"> ①人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、影響を与えたりすることや人々の生活や環境の多様性を理解することについて、どのように示されているか。 ②世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現することについて、どのように示されているか。
(3) 日本の様々な地域	<ul style="list-style-type: none"> ①観察や野外調査、文献調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方の基礎を理解すること、地形図や主題図の読図、目的や用途に適した地図の作成などの地理的技能を身に付けることについて、どのように示されているか。 ②適切な主題や調査、まとめとなるように、調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現することについて、どのように示されているか。

【 社会 (地理的分野) 】

発行者		2 東 書		17 教 出																																																																		
観 点	単元・題材の構成及び内容の取扱い	<p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む学習(言語活動等)が促されるよう、どのように示されているか。</p> <p>④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。</p>	<p>・単元ごとのページ数と割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>単元</th> <th>ページ数</th> <th>割合(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>巻頭・巻末の写真、資料等</td><td>5</td><td>1.8</td></tr> <tr><td>世界の姿</td><td>12</td><td>4.4</td></tr> <tr><td>日本の姿</td><td>12</td><td>4.4</td></tr> <tr><td>世界各地の人々の生活と環境</td><td>20</td><td>7.3</td></tr> <tr><td>世界の諸地域</td><td>86</td><td>31.0</td></tr> <tr><td>地域調査の手法</td><td>16</td><td>5.8</td></tr> <tr><td>日本の地域の特徴と地域区分</td><td>27</td><td>9.8</td></tr> <tr><td>日本の諸地域</td><td>87</td><td>31.1</td></tr> <tr><td>地域の在り方</td><td>12</td><td>4.4</td></tr> <tr><td>合計</td><td>277</td><td>100</td></tr> </tbody> </table> <p>・原則として1単位時間の学習内容を見開きに編集している。1単位時間に学習課題と様々な視点から考えさせる資料等が示されている。</p> <p>・大項目ごとに「導入の活動」等があり、写真、図などが示されている。</p> <p>・ゴシック体で示されている重要語句の数は342。</p> <p>・単元のまとめに設定された基礎的・基本的な知識を問う問題の数は18。</p> <p>・単元のまとめとして示された言語活動の数は18。</p> <p>・学び方・調べ方のヒントを示した数は286。</p> <p>・学習内容に関連する発展的なテーマ学習の数は15。</p>	単元	ページ数	割合(%)	巻頭・巻末の写真、資料等	5	1.8	世界の姿	12	4.4	日本の姿	12	4.4	世界各地の人々の生活と環境	20	7.3	世界の諸地域	86	31.0	地域調査の手法	16	5.8	日本の地域の特徴と地域区分	27	9.8	日本の諸地域	87	31.1	地域の在り方	12	4.4	合計	277	100	<p>・単元ごとのページ数と割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>単元</th> <th>ページ数</th> <th>割合(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>巻頭・巻末の写真、資料等</td><td>5</td><td>1.8</td></tr> <tr><td>世界の地域構成</td><td>10</td><td>3.6</td></tr> <tr><td>日本の地域構成</td><td>8</td><td>2.9</td></tr> <tr><td>世界各地の人々の生活と環境</td><td>19</td><td>6.9</td></tr> <tr><td>世界の諸地域</td><td>83</td><td>30.3</td></tr> <tr><td>地域調査の方法を学ぶ</td><td>14</td><td>5.1</td></tr> <tr><td>日本の特色と地域区分</td><td>26</td><td>9.6</td></tr> <tr><td>日本の諸地域</td><td>101</td><td>36.9</td></tr> <tr><td>地域の在り方</td><td>8</td><td>2.9</td></tr> <tr><td>合計</td><td>274</td><td>100</td></tr> </tbody> </table> <p>・原則として1単位時間の学習内容を見開きに編集している。1単位時間に学習課題と様々な視点から考えさせる資料等が示されている。</p> <p>・大項目ごとに「導入部分」があり、写真が示されている。</p> <p>・ゴシック体で示されている重要語句の数は386。</p> <p>・単元のまとめに設定された基礎的・基本的な知識を問う問題の数は15。</p> <p>・単元のまとめとして示された言語活動の数は15。</p> <p>・学び方・調べ方のヒントを示した数は207。</p> <p>・学習内容に関連する発展的なテーマ学習の数は13。</p>	単元	ページ数	割合(%)	巻頭・巻末の写真、資料等	5	1.8	世界の地域構成	10	3.6	日本の地域構成	8	2.9	世界各地の人々の生活と環境	19	6.9	世界の諸地域	83	30.3	地域調査の方法を学ぶ	14	5.1	日本の特色と地域区分	26	9.6	日本の諸地域	101	36.9	地域の在り方	8	2.9	合計	274	100
	単元	ページ数	割合(%)																																																																			
	巻頭・巻末の写真、資料等	5	1.8																																																																			
世界の姿	12	4.4																																																																				
日本の姿	12	4.4																																																																				
世界各地の人々の生活と環境	20	7.3																																																																				
世界の諸地域	86	31.0																																																																				
地域調査の手法	16	5.8																																																																				
日本の地域の特徴と地域区分	27	9.8																																																																				
日本の諸地域	87	31.1																																																																				
地域の在り方	12	4.4																																																																				
合計	277	100																																																																				
単元	ページ数	割合(%)																																																																				
巻頭・巻末の写真、資料等	5	1.8																																																																				
世界の地域構成	10	3.6																																																																				
日本の地域構成	8	2.9																																																																				
世界各地の人々の生活と環境	19	6.9																																																																				
世界の諸地域	83	30.3																																																																				
地域調査の方法を学ぶ	14	5.1																																																																				
日本の特色と地域区分	26	9.6																																																																				
日本の諸地域	101	36.9																																																																				
地域の在り方	8	2.9																																																																				
合計	274	100																																																																				
教科 共通	資料等	<p>①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。</p>	<p>・見開きごとに学習活動の導入や展開で用いる写真等の資料が示されている。</p> <p>・資料を読み取る視点の数は139。</p> <p>・二次元コードの数は1。(東書ホームページへリンク→コンテンツ種別を明記)</p>	<p>・見開きごとに学習活動の導入や展開で用いる写真等の資料が示されている。</p> <p>・資料を読み取る視点の数は101。</p> <p>・二次元コードの数は6。(教出ホームページへリンク→関連欄等へ接続)</p>																																																																		
	統計等	<p>①挿絵・図表・統計等どのように示されているか。</p>	<p>・掲載されている資料の数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地図</th> <th>年表</th> <th>総図</th> <th>写真</th> <th>統計資料</th> <th>読み物資料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>194</td> <td>2</td> <td>35</td> <td>575</td> <td>142</td> <td>41</td> </tr> </tbody> </table>	地図	年表	総図	写真	統計資料	読み物資料	194	2	35	575	142	41	<p>・掲載されている資料の数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地図</th> <th>年表</th> <th>総図</th> <th>写真</th> <th>統計資料</th> <th>読み物資料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>204</td> <td>5</td> <td>14</td> <td>606</td> <td>124</td> <td>51</td> </tr> </tbody> </table>	地図	年表	総図	写真	統計資料	読み物資料	204	5	14	606	124	51																																										
地図	年表	総図	写真	統計資料	読み物資料																																																																	
194	2	35	575	142	41																																																																	
地図	年表	総図	写真	統計資料	読み物資料																																																																	
204	5	14	606	124	51																																																																	
教科 独自	世界と日本の地域構成	<p>①世界や日本の地域構成を位置や分布などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、世界と日本の地域構成を大観し理解することについて、どのように示されているか。</p> <p>②世界や日本の地域構成の特色を多面的・多角的に考察し、表現することについて、どのように示されているか。</p>	<p>・世界の地域構成を大観させるための資料の数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>六大陸と三大洋の形状と位置関係を示した地図(写真及び図も含む)</th> <th>位置と名称が掲載されている国の数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table> <p>・日本の地域構成を大観させるための資料の数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日本の地域構成を捉えさせるための地図等の数</th> <th>世界と比較した統計の数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>(領土について)</p> <ul style="list-style-type: none"> 以下の領土について、歴史的経緯を踏まえ、地図や図、写真を用いて我が国の固有の領土であることを明確に示している。 北方領土については、「不法に占拠」と記述。 竹島については、「不法に占拠」と記述。 尖閣諸島については、領土問題はないが、中国や台湾が領有権を主張していることについて記述。 <p>・言語活動として「条件を付けて説明する」「世界1周旅行を企画する」等が設定されている。</p>	六大陸と三大洋の形状と位置関係を示した地図(写真及び図も含む)	位置と名称が掲載されている国の数	20	20	日本の地域構成を捉えさせるための地図等の数	世界と比較した統計の数	8	3	<p>・世界の地域構成を大観させるための資料の数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>六大陸と三大洋の形状と位置関係を示した地図(写真及び図も含む)</th> <th>位置と名称が掲載されている国の数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>21</td> <td>22</td> </tr> </tbody> </table> <p>・日本の地域構成を大観させるための資料の数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日本の地域構成を捉えさせるための地図等の数</th> <th>世界と比較した統計の数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(領土について)</p> <ul style="list-style-type: none"> 以下の領土について、歴史的経緯を踏まえ、地図や図、写真を用いて我が国の固有の領土であることを明確に示している。 北方領土については、「不法に占拠」と記述。ビザなし交流の写真あり。 竹島については、「不法に占拠」と記述。 尖閣諸島については、中国船がたびたび日本の領海などに侵入する事態が生じていることについて記述。 <p>・言語活動として「条件を満たすようにまとめる」「話し合い活動」等が設定されている。</p>	六大陸と三大洋の形状と位置関係を示した地図(写真及び図も含む)	位置と名称が掲載されている国の数	21	22	日本の地域構成を捉えさせるための地図等の数	世界と比較した統計の数	3	1																																																		
	六大陸と三大洋の形状と位置関係を示した地図(写真及び図も含む)	位置と名称が掲載されている国の数																																																																				
	20	20																																																																				
日本の地域構成を捉えさせるための地図等の数	世界と比較した統計の数																																																																					
8	3																																																																					
六大陸と三大洋の形状と位置関係を示した地図(写真及び図も含む)	位置と名称が掲載されている国の数																																																																					
21	22																																																																					
日本の地域構成を捉えさせるための地図等の数	世界と比較した統計の数																																																																					
3	1																																																																					
世界の様々な地域	①人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、影響を与えたりすることや人々の生活や環境の多様性を理解することについて、どのように示されているか。 <p>②世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現することについて、どのように示されているか。</p>	<p>・人々の生活を自然及び社会的条件から考察させるために次のように配列している。</p> <p>自然(気候)→伝統的な生活と変化→宗教</p> <p>・地域的特色を捉えさせるための主題と資料の数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>州名</th> <th>主 題</th> <th>写真</th> <th>図表等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アジア</td> <td>急速な都市の成長と変化</td> <td>30</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>欧州</td> <td>国どうしの統合による変化</td> <td>25</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>アフリカ</td> <td>国際的な支援から自立に向けて</td> <td>23</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>北米</td> <td>多くの人々を引き付ける地域</td> <td>32</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>南米</td> <td>開発の進展と環境問題</td> <td>27</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>オセアニア</td> <td>強まるアジアとの結びつき</td> <td>31</td> <td>17</td> </tr> </tbody> </table> <p>・言語活動として「話し合い活動」「説明をする」等が設定されている。</p>	州名	主 題	写真	図表等	アジア	急速な都市の成長と変化	30	36	欧州	国どうしの統合による変化	25	25	アフリカ	国際的な支援から自立に向けて	23	24	北米	多くの人々を引き付ける地域	32	20	南米	開発の進展と環境問題	27	17	オセアニア	強まるアジアとの結びつき	31	17	<p>・人々の生活を自然及び社会的条件から考察させるために次のように配列している。</p> <p>自然(気候)→伝統的な生活と変化→言語→宗教</p> <p>・地域的特色を捉えさせるための主題と資料の数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>州名</th> <th>主 題</th> <th>写真</th> <th>図表等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アジア</td> <td>経済発展</td> <td>28</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>欧州</td> <td>国々の結びつきの強まり</td> <td>27</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>アフリカ</td> <td>他地域からの支援</td> <td>16</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>北米</td> <td>先導的で多様な産業の発達</td> <td>27</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>南米</td> <td>自然破壊や都市の人口増加</td> <td>25</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>オセアニア</td> <td>他地域との関係の強まり</td> <td>19</td> <td>17</td> </tr> </tbody> </table> <p>・言語活動として「理由を説明する」「話し合い」等が設定されている。</p>	州名	主 題	写真	図表等	アジア	経済発展	28	32	欧州	国々の結びつきの強まり	27	25	アフリカ	他地域からの支援	16	16	北米	先導的で多様な産業の発達	27	20	南米	自然破壊や都市の人口増加	25	16	オセアニア	他地域との関係の強まり	19	17											
	州名	主 題	写真	図表等																																																																		
アジア	急速な都市の成長と変化	30	36																																																																			
欧州	国どうしの統合による変化	25	25																																																																			
アフリカ	国際的な支援から自立に向けて	23	24																																																																			
北米	多くの人々を引き付ける地域	32	20																																																																			
南米	開発の進展と環境問題	27	17																																																																			
オセアニア	強まるアジアとの結びつき	31	17																																																																			
州名	主 題	写真	図表等																																																																			
アジア	経済発展	28	32																																																																			
欧州	国々の結びつきの強まり	27	25																																																																			
アフリカ	他地域からの支援	16	16																																																																			
北米	先導的で多様な産業の発達	27	20																																																																			
南米	自然破壊や都市の人口増加	25	16																																																																			
オセアニア	他地域との関係の強まり	19	17																																																																			
日本の様々な地域	<p>①観察や野外調査、文献調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方の基礎を理解すること、地形図や主題図の読図、目的や用途に適した地図の作成などの地理的スキルを身に付けることについて、どのように示されているか。</p> <p>②適切な主題や調査、まとめとなるように、調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現することについて、どのように示されているか。</p>	<p>・地域的特色を捉えさせるための学習の視点と資料の数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地域名</th> <th>中核とする学習の視点</th> <th>写真</th> <th>図表等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>九州</td> <td>自然環境</td> <td>22</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>中国四国</td> <td>交通・通信</td> <td>15</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>近畿</td> <td>人口、都市・村落</td> <td>20</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>中部</td> <td>産業</td> <td>23</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>関東</td> <td>交通・通信</td> <td>14</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>東北</td> <td>生活・文化</td> <td>19</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>北海道</td> <td>自然環境</td> <td>16</td> <td>21</td> </tr> </tbody> </table> <p>・地域的特色を捉えさせるための地域構成及び地域区分を示す地図の数は9。</p> <p>・調査を行うための学習過程を示している数は15。</p> <p>・身近な地域の調査では、高知県高知市を例として取り上げている。</p>	地域名	中核とする学習の視点	写真	図表等	九州	自然環境	22	15	中国四国	交通・通信	15	21	近畿	人口、都市・村落	20	20	中部	産業	23	25	関東	交通・通信	14	23	東北	生活・文化	19	21	北海道	自然環境	16	21	<p>・地域的特色を捉えさせるための学習の視点と資料の数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地域名</th> <th>中核とする学習の視点</th> <th>写真</th> <th>図表等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>九州</td> <td>自然環境とその保全</td> <td>32</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>中国四国</td> <td>人口集中・人口減少</td> <td>24</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>近畿</td> <td>歴史との関連</td> <td>29</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>中部</td> <td>産業</td> <td>31</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>関東</td> <td>交通・通信</td> <td>30</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>東北</td> <td>伝統文化と地域の変化</td> <td>32</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>北海道</td> <td>自然環境と関連する産業</td> <td>35</td> <td>22</td> </tr> </tbody> </table> <p>・地域的特色を捉えさせるための地域構成及び地域区分を示す地図の数は8。</p> <p>・調査を行うための学習過程を示している数は6。</p> <p>・身近な地域の調査では、愛知県名古屋市を例として取り上げている。</p>	地域名	中核とする学習の視点	写真	図表等	九州	自然環境とその保全	32	13	中国四国	人口集中・人口減少	24	15	近畿	歴史との関連	29	21	中部	産業	31	24	関東	交通・通信	30	21	東北	伝統文化と地域の変化	32	16	北海道	自然環境と関連する産業	35	22			
地域名	中核とする学習の視点	写真	図表等																																																																			
九州	自然環境	22	15																																																																			
中国四国	交通・通信	15	21																																																																			
近畿	人口、都市・村落	20	20																																																																			
中部	産業	23	25																																																																			
関東	交通・通信	14	23																																																																			
東北	生活・文化	19	21																																																																			
北海道	自然環境	16	21																																																																			
地域名	中核とする学習の視点	写真	図表等																																																																			
九州	自然環境とその保全	32	13																																																																			
中国四国	人口集中・人口減少	24	15																																																																			
近畿	歴史との関連	29	21																																																																			
中部	産業	31	24																																																																			
関東	交通・通信	30	21																																																																			
東北	伝統文化と地域の変化	32	16																																																																			
北海道	自然環境と関連する産業	35	22																																																																			

【 社会（地理的分野） 】

観点		発行者	46 帝国	116 日文																																																														
教科共通	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 単元ごとのページ数と割合 <table border="1"> <thead> <tr> <th>単元</th> <th>ページ数</th> <th>割合(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>巻頭・巻末の写真、資料等</td><td>5</td><td>1.7</td></tr> <tr><td>世界の姿</td><td>12</td><td>4.0</td></tr> <tr><td>日本の姿</td><td>12</td><td>4.0</td></tr> <tr><td>人々の生活と環境</td><td>21</td><td>7.0</td></tr> <tr><td>世界の諸地域</td><td>83</td><td>27.8</td></tr> <tr><td>身近な地域の調査</td><td>12</td><td>4.0</td></tr> <tr><td>日本の地域的特色</td><td>28</td><td>9.4</td></tr> <tr><td>日本の諸地域</td><td>115</td><td>38.4</td></tr> <tr><td>地域の在り方</td><td>11</td><td>3.7</td></tr> <tr><td>合計</td><td>299</td><td>100</td></tr> </tbody> </table> 原則として1単位時間の学習内容を見開きに編集している。1単位時間に学習課題と様々な視点から考えさせる資料等が示されている。・大項目ごとの「導入」に関するページはない。 ゴシック体で示されている重要語句の数は400。 単元のまとめに設定された基礎的・基本的な知識を問う問題の数は18。 単元のまとめとして示された言語活動の数は17。 学び方・調べ方のヒントを示した数は229。 学習内容に関連する発展的なテーマ学習の数は13。 見開きごとに学習活動の導入や展開で用いる写真等の資料が示されている。 資料を読み取る視点の数は183。 二次元コードの数は53。(153コンテンツ) 	単元	ページ数	割合(%)	巻頭・巻末の写真、資料等	5	1.7	世界の姿	12	4.0	日本の姿	12	4.0	人々の生活と環境	21	7.0	世界の諸地域	83	27.8	身近な地域の調査	12	4.0	日本の地域的特色	28	9.4	日本の諸地域	115	38.4	地域の在り方	11	3.7	合計	299	100	<ul style="list-style-type: none"> 単元ごとのページ数と割合 <table border="1"> <thead> <tr> <th>単元</th> <th>ページ数</th> <th>割合(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>巻頭・巻末の写真、資料等</td><td>10</td><td>3.5</td></tr> <tr><td>世界の地域構成</td><td>12</td><td>4.2</td></tr> <tr><td>日本の地域構成</td><td>11</td><td>3.9</td></tr> <tr><td>世界各地の人々の生活と環境</td><td>20</td><td>7.0</td></tr> <tr><td>世界の諸地域</td><td>75</td><td>26.4</td></tr> <tr><td>日本の地域的特色と地域区分</td><td>25</td><td>8.8</td></tr> <tr><td>日本の諸地域</td><td>100</td><td>35.3</td></tr> <tr><td>地域の在り方</td><td>11</td><td>3.9</td></tr> <tr><td>合計</td><td>284</td><td>100</td></tr> </tbody> </table> 原則として1単位時間の学習内容を見開きに編集している。1単位時間に学習課題と様々な視点から考えさせる資料等が示されている。・大項目ごとに1ページの「導入部分」があり、写真・表等が示されている。 ゴシック体で示されている重要語句の数は338。 単元のまとめに設定された基礎的・基本的な知識を問う問題の数は11。 単元のまとめとして示された言語活動の数は13。 学び方・調べ方のヒントを示した数は295。 学習内容に関連する発展的なテーマ学習の数は13。 見開きごとに学習活動の導入や展開で用いる写真等の資料が示されている。 資料を読み取る視点の数は170。 二次元コードの数は1。(東書ホームページへリンク→コンテンツ種別を明記) 	単元	ページ数	割合(%)	巻頭・巻末の写真、資料等	10	3.5	世界の地域構成	12	4.2	日本の地域構成	11	3.9	世界各地の人々の生活と環境	20	7.0	世界の諸地域	75	26.4	日本の地域的特色と地域区分	25	8.8	日本の諸地域	100	35.3	地域の在り方	11	3.9	合計	284	100
	単元	ページ数	割合(%)																																																															
	巻頭・巻末の写真、資料等	5	1.7																																																															
世界の姿	12	4.0																																																																
日本の姿	12	4.0																																																																
人々の生活と環境	21	7.0																																																																
世界の諸地域	83	27.8																																																																
身近な地域の調査	12	4.0																																																																
日本の地域的特色	28	9.4																																																																
日本の諸地域	115	38.4																																																																
地域の在り方	11	3.7																																																																
合計	299	100																																																																
単元	ページ数	割合(%)																																																																
巻頭・巻末の写真、資料等	10	3.5																																																																
世界の地域構成	12	4.2																																																																
日本の地域構成	11	3.9																																																																
世界各地の人々の生活と環境	20	7.0																																																																
世界の諸地域	75	26.4																																																																
日本の地域的特色と地域区分	25	8.8																																																																
日本の諸地域	100	35.3																																																																
地域の在り方	11	3.9																																																																
合計	284	100																																																																
資料等	①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 掲載されている資料の数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>地図</th> <th>年表</th> <th>総図</th> <th>写真</th> <th>統計資料</th> <th>読み物資料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>203</td> <td>1</td> <td>36</td> <td>518</td> <td>155</td> <td>36</td> </tr> </tbody> </table> 世界の地域構成を大観させるための資料の数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>六大陸と三大洋の形状と位置関係を示した地図(写真及び図も含む)</th> <th>位置と名称が掲載されている国の数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>14</td> <td>124</td> </tr> </tbody> </table> 日本の地域構成を大観させるための資料の数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>日本の地域構成を捉えさせるための地図等の数</th> <th>世界と比較した統計の数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> 以下の領土について、歴史的経緯を踏まえ、地図や図、写真を用いて我が国の固有の領土であることを明確に示している。 北方領土については、「不法に占拠」と記述、ビザなし交流の写真あり。 竹島については、「不法に占拠」と記述。 尖閣諸島については、ほかの国との間で解決すべき領有をめぐる問題がないことについて記述。 言語活動として「条件を付けて説明する」「表にまとめる」活動などが設定されている。 	地図	年表	総図	写真	統計資料	読み物資料	203	1	36	518	155	36	六大陸と三大洋の形状と位置関係を示した地図(写真及び図も含む)	位置と名称が掲載されている国の数	14	124	日本の地域構成を捉えさせるための地図等の数	世界と比較した統計の数	8	2	<ul style="list-style-type: none"> 掲載されている資料の数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>地図</th> <th>年表</th> <th>総図</th> <th>写真</th> <th>統計資料</th> <th>読み物資料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>158</td> <td>4</td> <td>27</td> <td>676</td> <td>159</td> <td>46</td> </tr> </tbody> </table> 世界の地域構成を大観させるための資料の数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>六大陸と三大洋の形状と位置関係を示した地図(写真及び図も含む)</th> <th>位置と名称が掲載されている国の数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>13</td> <td>33</td> </tr> </tbody> </table> 日本の地域構成を大観させるための資料の数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>日本の地域構成を捉えさせるための地図等の数</th> <th>世界と比較した統計の数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> 以下の領土について、歴史的経緯を踏まえ、地図や図、写真を用いて我が国の固有の領土であることを明確に示している。 北方領土については、「不法に占拠」と記述、ビザなし交流の写真あり。 竹島については、「不法に占拠」と記述。 尖閣諸島については、領土問題は存在していないが、中国船がたびたび日本の領海などに侵入する事態が生じていることについて記述。 言語活動として「条件を付けて説明する」「条件を満たすようにまとめる」活動が設定されている。 	地図	年表	総図	写真	統計資料	読み物資料	158	4	27	676	159	46	六大陸と三大洋の形状と位置関係を示した地図(写真及び図も含む)	位置と名称が掲載されている国の数	13	33	日本の地域構成を捉えさせるための地図等の数	世界と比較した統計の数	8	1																							
地図	年表	総図	写真	統計資料	読み物資料																																																													
203	1	36	518	155	36																																																													
六大陸と三大洋の形状と位置関係を示した地図(写真及び図も含む)	位置と名称が掲載されている国の数																																																																	
14	124																																																																	
日本の地域構成を捉えさせるための地図等の数	世界と比較した統計の数																																																																	
8	2																																																																	
地図	年表	総図	写真	統計資料	読み物資料																																																													
158	4	27	676	159	46																																																													
六大陸と三大洋の形状と位置関係を示した地図(写真及び図も含む)	位置と名称が掲載されている国の数																																																																	
13	33																																																																	
日本の地域構成を捉えさせるための地図等の数	世界と比較した統計の数																																																																	
8	1																																																																	
統計等	①挿絵・図表・統計等がどのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 挿絵・図表・統計等	<ul style="list-style-type: none"> 挿絵・図表・統計等																																																															

教科独自	世界の様々な地域	①世界や日本の地域構成を位置や分布などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、世界と日本の地域構成を大観し理解することについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 世界の地域構成を大観させるための資料の数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>六大陸と三大洋の形状と位置関係を示した地図(写真及び図も含む)</th> <th>位置と名称が掲載されている国の数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>14</td> <td>124</td> </tr> </tbody> </table> 日本の地域構成を大観させるための資料の数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>日本の地域構成を捉えさせるための地図等の数</th> <th>世界と比較した統計の数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> 以下の領土について、歴史的経緯を踏まえ、地図や図、写真を用いて我が国の固有の領土であることを明確に示している。 北方領土については、「不法に占拠」と記述、ビザなし交流の写真あり。 竹島については、「不法に占拠」と記述。 尖閣諸島については、ほかの国との間で解決すべき領有をめぐる問題がないことについて記述。 言語活動として「条件を付けて説明する」「表にまとめる」活動などが設定されている。 	六大陸と三大洋の形状と位置関係を示した地図(写真及び図も含む)	位置と名称が掲載されている国の数	14	124	日本の地域構成を捉えさせるための地図等の数	世界と比較した統計の数	8	2	<ul style="list-style-type: none"> 世界の地域構成を大観させるための資料の数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>六大陸と三大洋の形状と位置関係を示した地図(写真及び図も含む)</th> <th>位置と名称が掲載されている国の数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>13</td> <td>33</td> </tr> </tbody> </table> 日本の地域構成を大観させるための資料の数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>日本の地域構成を捉えさせるための地図等の数</th> <th>世界と比較した統計の数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> 以下の領土について、歴史的経緯を踏まえ、地図や図、写真を用いて我が国の固有の領土であることを明確に示している。 北方領土については、「不法に占拠」と記述、ビザなし交流の写真あり。 竹島については、「不法に占拠」と記述。 尖閣諸島については、領土問題は存在していないが、中国船がたびたび日本の領海などに侵入する事態が生じていることについて記述。 言語活動として「条件を付けて説明する」「条件を満たすようにまとめる」活動が設定されている。 	六大陸と三大洋の形状と位置関係を示した地図(写真及び図も含む)	位置と名称が掲載されている国の数	13	33	日本の地域構成を捉えさせるための地図等の数	世界と比較した統計の数	8	1																																														
		六大陸と三大洋の形状と位置関係を示した地図(写真及び図も含む)	位置と名称が掲載されている国の数																																																															
		14	124																																																															
日本の地域構成を捉えさせるための地図等の数	世界と比較した統計の数																																																																	
8	2																																																																	
六大陸と三大洋の形状と位置関係を示した地図(写真及び図も含む)	位置と名称が掲載されている国の数																																																																	
13	33																																																																	
日本の地域構成を捉えさせるための地図等の数	世界と比較した統計の数																																																																	
8	1																																																																	
②世界や日本の地域構成の特色を多面的・多角的に考察し、表現することについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 人々の生活を自然及び社会的条件から考察させるために次のように配列している。 自然(気候)→伝統的な生活と変化→宗教 地域的特色を捉えさせるための主題と資料の数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>州名</th> <th>主 題</th> <th>写真</th> <th>図表等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アジア</td> <td>急速な経済成長</td> <td>32</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>欧州</td> <td>国どうしの結びつきの強まり</td> <td>31</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>アフリカ</td> <td>特定の産物に頼る経済</td> <td>23</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>北米</td> <td>巨大な産業</td> <td>28</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>南米</td> <td>農地や鉱山の開発</td> <td>25</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>オセアニア</td> <td>他地域との関係</td> <td>21</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table> 言語活動として「説明をする」「表にまとめる」等が設定されている。 	州名	主 題	写真	図表等	アジア	急速な経済成長	32	31	欧州	国どうしの結びつきの強まり	31	26	アフリカ	特定の産物に頼る経済	23	15	北米	巨大な産業	28	22	南米	農地や鉱山の開発	25	18	オセアニア	他地域との関係	21	15	<ul style="list-style-type: none"> 人々の生活を自然及び社会的条件から考察させるために次のように配列している。 自然(気候)→伝統的な生活と変化→言語→宗教 地域的特色を捉えさせるための主題と資料の数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>州名</th> <th>主 題</th> <th>写真</th> <th>図表等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アジア</td> <td>人口や経済発展</td> <td>31</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>欧州</td> <td>国境を越えた統合</td> <td>23</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>アフリカ</td> <td>自立のための開発と国際協力</td> <td>28</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>北米</td> <td>世界に影響を与える産業</td> <td>27</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>南米</td> <td>開発と環境保全</td> <td>26</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>オセアニア</td> <td>多文化が共生する社会</td> <td>24</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table> 言語活動として「理由を説明する」「表に整理する」等が設定されている。 	州名	主 題	写真	図表等	アジア	人口や経済発展	31	24	欧州	国境を越えた統合	23	23	アフリカ	自立のための開発と国際協力	28	18	北米	世界に影響を与える産業	27	25	南米	開発と環境保全	26	15	オセアニア	多文化が共生する社会	24	16								
州名	主 題	写真	図表等																																																															
アジア	急速な経済成長	32	31																																																															
欧州	国どうしの結びつきの強まり	31	26																																																															
アフリカ	特定の産物に頼る経済	23	15																																																															
北米	巨大な産業	28	22																																																															
南米	農地や鉱山の開発	25	18																																																															
オセアニア	他地域との関係	21	15																																																															
州名	主 題	写真	図表等																																																															
アジア	人口や経済発展	31	24																																																															
欧州	国境を越えた統合	23	23																																																															
アフリカ	自立のための開発と国際協力	28	18																																																															
北米	世界に影響を与える産業	27	25																																																															
南米	開発と環境保全	26	15																																																															
オセアニア	多文化が共生する社会	24	16																																																															
①観察や野外調査、文献調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方の基礎を理解すること、地形図や主題図の読図、目的や用途に適した地図の作成などの地理的技能を身に付けることについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 地域的特色を捉えさせるための学習の視点と資料の数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>地域名</th> <th>中核とする学習の視点</th> <th>写真</th> <th>図表等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>九州</td> <td>自然環境</td> <td>28</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>中国四国</td> <td>交通・通信</td> <td>29</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>近畿</td> <td>環境保全</td> <td>23</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>中部</td> <td>産業</td> <td>32</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>関東</td> <td>人口や都市・村落</td> <td>30</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>東北</td> <td>生活・文化</td> <td>30</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>北海道</td> <td>自然環境</td> <td>35</td> <td>19</td> </tr> </tbody> </table> 地域的特色を捉えさせるための地域構成及び地域区分を示す地図の数は7。 調査を行うための学習過程を示している数は9。 身近な地域の調査では、東京都練馬区を例として取り上げている。 	地域名	中核とする学習の視点	写真	図表等	九州	自然環境	28	18	中国四国	交通・通信	29	24	近畿	環境保全	23	22	中部	産業	32	19	関東	人口や都市・村落	30	26	東北	生活・文化	30	21	北海道	自然環境	35	19	<ul style="list-style-type: none"> 地域的特色を捉えさせるための学習の視点と資料の数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>地域名</th> <th>中核とする学習の視点</th> <th>写真</th> <th>図表等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>九州</td> <td>自然環境</td> <td>34</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>中国四国</td> <td>人口や都市・村落</td> <td>32</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>近畿</td> <td>歴史的背景</td> <td>35</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>中部</td> <td>産業</td> <td>28</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>関東</td> <td>交通・通信</td> <td>33</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>東北</td> <td>持続可能な社会づくり</td> <td>38</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>北海道</td> <td>自然環境</td> <td>32</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table> 地域的特色を捉えさせるための地域構成及び地域区分を示す地図の数は2。 調査を行うための学習過程を示している数は19。 身近な地域の調査では、京都府京都市伏見区を例として取り上げている。 	地域名	中核とする学習の視点	写真	図表等	九州	自然環境	34	15	中国四国	人口や都市・村落	32	23	近畿	歴史的背景	35	14	中部	産業	28	17	関東	交通・通信	33	16	東北	持続可能な社会づくり	38	17	北海道	自然環境	32	15
地域名	中核とする学習の視点	写真	図表等																																																															
九州	自然環境	28	18																																																															
中国四国	交通・通信	29	24																																																															
近畿	環境保全	23	22																																																															
中部	産業	32	19																																																															
関東	人口や都市・村落	30	26																																																															
東北	生活・文化	30	21																																																															
北海道	自然環境	35	19																																																															
地域名	中核とする学習の視点	写真	図表等																																																															
九州	自然環境	34	15																																																															
中国四国	人口や都市・村落	32	23																																																															
近畿	歴史的背景	35	14																																																															
中部	産業	28	17																																																															
関東	交通・通信	33	16																																																															
東北	持続可能な社会づくり	38	17																																																															
北海道	自然環境	32	15																																																															
②適切な主題や調査、まとめとなるように、調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現することについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 適切な主題や調査、まとめとなるように、調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現することについて、どのように示されているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 適切な主題や調査、まとめとなるように、調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現することについて、どのように示されているか。 																																																																

1 学習指導要領に示された目標

【社会科の目標】

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料が様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

【地理的分野の目標】

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

技能 知識 及び	(1) 我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
力、思考力、 表現力等 判断	(2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
等 学 力 び に 人 間 性 か	(3) 日本や世界の地域に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。

2 教科独自の調査研究の観点

(1) 地図の活用を通して、情報を適切に調べまとめる技能	<ul style="list-style-type: none"> ①地図から地理的事象を発見したり、地図から地域的特色や地域的課題を捉えたりするなど、読図に関する技能を高めることについて、どのように示されているか。 ②観察や調査の活動を通して明らかになったことを地図上に描くといった作図に関する技能を高めることについて、どのように示されているか。 ③地理・歴史・公民との関連はどのように示されているか。
------------------------------	--

【 地 図 】

観点		発行者	2 東 書	4 6 帝 国																																										
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 掲載されている地図の数 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>世界</td> <td>日本</td> </tr> <tr> <td>総ページ数</td> <td></td> <td>192</td> </tr> <tr> <td>全図の数</td> <td>40</td> <td>56</td> </tr> <tr> <td>州別・地方別地図の数</td> <td>63</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>諸島図の数</td> <td>2</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>詳しい地図の数</td> <td>40</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>索引に掲載されている日本(世界)の地名数</td> <td>1358</td> <td>2152</td> </tr> </table> 		世界	日本	総ページ数		192	全図の数	40	56	州別・地方別地図の数	63	65	諸島図の数	2	12	詳しい地図の数	40	55	索引に掲載されている日本(世界)の地名数	1358	2152	<ul style="list-style-type: none"> 掲載されている地図の数 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>世界</td> <td>日本</td> </tr> <tr> <td>総ページ数</td> <td></td> <td>188</td> </tr> <tr> <td>全図の数</td> <td>31</td> <td>72</td> </tr> <tr> <td>州別・地方別地図の数</td> <td>72</td> <td>66</td> </tr> <tr> <td>諸島図の数</td> <td>2</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>詳しい地図の数</td> <td>85</td> <td>109</td> </tr> <tr> <td>索引に掲載されている日本(世界)の地名数</td> <td>1750</td> <td>2566</td> </tr> </table> 		世界	日本	総ページ数		188	全図の数	31	72	州別・地方別地図の数	72	66	諸島図の数	2	16	詳しい地図の数	85	109	索引に掲載されている日本(世界)の地名数	1750	2566
			世界	日本																																										
		総ページ数		192																																										
全図の数	40	56																																												
州別・地方別地図の数	63	65																																												
諸島図の数	2	12																																												
詳しい地図の数	40	55																																												
索引に掲載されている日本(世界)の地名数	1358	2152																																												
	世界	日本																																												
総ページ数		188																																												
全図の数	31	72																																												
州別・地方別地図の数	72	66																																												
諸島図の数	2	16																																												
詳しい地図の数	85	109																																												
索引に掲載されている日本(世界)の地名数	1750	2566																																												
②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 「地図帳の活用方法」が巻頭に設けられている。 地図帳の使い方のガイダンスのページ数は2。 	<ul style="list-style-type: none"> 「地図帳の活用方法」が巻頭に設けられている。 地図帳の使い方のガイダンスのページ数は3。 																																												
③思考力、判断力、表現力等を育む学習(言語活動等)が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 日本の地域別地図では、縮尺を100万分の1に統一し、互いの比較が容易にできる。 自然災害・防災対策について見開き2ページこわたり、主な地震の震源やプレート断層等が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の地域別地図では、縮尺を100万分の1に統一し、互いの比較が容易にできる。 自然災害・防災対策について見開き2ページこわたり、主な地震の震源やプレート断層等が示されている。地方ごとの防災対策が示されている。 																																												
④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 索引は、国名や首都名、自然地名を印や色で分けて記載している。また、資料索引を掲載しており、目的に応じて調べられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 索引は、国名や首都名を印や色で分けて記載している。また、索引の引き方をの説明を記載している。 																																												
資料等	①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> テーマを決めた学習の例としてヨーロッパを取り上げている。 二次元コードの数は1。(東書ホームページヘリンク→コンテンツ種別を明記) 	<ul style="list-style-type: none"> テーマを決めた学習の例として大分県を取り上げている。 二次元コードの数は38。(111コンテンツ) 																																											
等 挿絵・図表・統計	①挿絵・図表・統計等はどのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 掲載されている国旗の数は197で、地図上の国々の位置と関連させて示している。 各地図が地球上や日本列島のどこに位置するかすぐに分かるように、地球儀や日本列島を模した位置図を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 掲載されている国旗の数は197で、地図上の国々の位置と関連させて示している。 各地図が地球上や日本列島のどこに位置するかすぐに分かるように、地球儀や日本列島を模した位置図を掲載している。また、日本との結びつきが分かる資料を各州、各地域ご取り入れている。 																																											
教科独自	地図の活用を通して、情報を適切に調べまとめる技能	①地図から地理的事象を発見したり、地図から地域的特色や地域的課題を捉えたりするなど、読図に関する技能を高めることについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 問いや学習課題を設定することで、読図の着眼点を示している。 <table border="1"> <tr> <td>学習課題の数</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>読図の着眼点の数</td> <td>7</td> </tr> </table> 	学習課題の数	20	読図の着眼点の数	7	<ul style="list-style-type: none"> 問いや学習課題を設定することで、読図の着眼点を示している。 <table border="1"> <tr> <td>学習課題の数</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>読図の着眼点の数</td> <td>91</td> </tr> </table> 	学習課題の数	14	読図の着眼点の数	91																																		
		学習課題の数	20																																											
		読図の着眼点の数	7																																											
学習課題の数	14																																													
読図の着眼点の数	91																																													
②観察や調査の活動を通して明らかになったことを地図上に描くといった作図に関する技能を高めることについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 地図記号は、凡例として227示されている。 関連する分布図を並べて掲載することで、作図に関する技能を高める視点を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 地図記号は、凡例として232示されており、地球儀の取り扱いについて1ページで扱っている。 関連する分布図を並べて掲載することで、作図に関する技能を高める視点を示している。また、作図の具体的な学習活動として2つ設定している。 																																												
③地理・歴史・公民との関連はどのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 地理、歴史、公民のそれぞれに関係ある資料を掲載している。また、歴史的建造物等を地図上に記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 地理、歴史、公民のそれぞれに関係ある資料を掲載している。また、歴史的建造物等を地図上に記載している。 																																												

1 学習指導要領に示された目標

【社会科の目標】

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

【歴史的分野の目標】

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

技能 知識 及び	(1) 我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
力、 思考力、 表現力等 判断	(2) 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
力、 学びに 向かう 人間性 等	(3) 歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとする大切さについての自覚などを深め、国際協調の精神を養う。

2 教科独自の調査研究の観点

(1) 歴史の大きな流れ	①学習した内容を活用して、時代の特色を大観し表現する学習と時代の転換の様子を捉える学習が、どのように示されているか。 ②我が国の歴史の背景となる世界の歴史が、どのように示されているか。
(2) 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色	①歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色について、どのように示されているか。 ②歴史に関わる事象相互の関連を多面的・多角的に考察する力、歴史に見られる課題を把握して、学習したことを基に複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断し、説明する力を育てる学習について、どのように示されているか。
(3) 国際関係や文化交流、国際協調の精神	①国際関係や文化交流のあらましを理解させ、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考えさせるとともに、他民族の文化、生活などに関心をもたせ、国際協調の精神を養う学習について、どのように示されているか。

【 社会（歴史的分野） 】

観点		発行者	2 東 書	17 教 出																																								
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 時代区分別ページ数と割合 (%) 及び総ページ数 <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th><th>総ページ数</th></tr> <tr><td>44 (14)</td><td>36 (12)</td><td>50 (16)</td><td>98 (32)</td><td>38 (13)</td><td>304</td></tr> </table> 巻頭、巻末等のページ数は38。 歴史の捉え方や地域調査等のページ数 <table border="1"> <tr><th>歴史の捉え方</th><th>地域調査</th><th>課題学習</th><th>各時代のまとめ</th></tr> <tr><td>8</td><td>16</td><td>26</td><td>24</td></tr> </table> 小学校での学習を踏まえ、歴史の流れが分かるイラストや年表、今後の学習に向けたポイントとなる活動が示されている。 各章の導入ページ数は2。人々の生活の様子が見えるイラスト等により、章の学習課題が示されている。 	古代	中世	近世	近代	現代	総ページ数	44 (14)	36 (12)	50 (16)	98 (32)	38 (13)	304	歴史の捉え方	地域調査	課題学習	各時代のまとめ	8	16	26	24	<ul style="list-style-type: none"> 時代区分別ページ数と割合 (%) 及び総ページ数 <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th><th>総ページ数</th></tr> <tr><td>42 (14)</td><td>35 (11)</td><td>49 (16)</td><td>106 (35)</td><td>37 (12)</td><td>307</td></tr> </table> 巻頭、巻末等のページ数は38。 歴史の捉え方や地域調査等のページ数 <table border="1"> <tr><th>歴史の捉え方</th><th>地域調査</th><th>課題学習</th><th>各時代のまとめ</th></tr> <tr><td>6</td><td>21</td><td>28</td><td>18</td></tr> </table> 小学校での学習を踏まえ、歴史の流れがゲーム形式で記載され、時代の区分と移り変わりが捉えられるように示されている。 各章の導入ページ数は3。一枚の写真や絵図を配し、キャラクターの問いかけにより、章の学習課題が示されている。 	古代	中世	近世	近代	現代	総ページ数	42 (14)	35 (11)	49 (16)	106 (35)	37 (12)	307	歴史の捉え方	地域調査	課題学習	各時代のまとめ	6	21	28	18
		古代	中世	近世	近代	現代	総ページ数																																					
		44 (14)	36 (12)	50 (16)	98 (32)	38 (13)	304																																					
		歴史の捉え方	地域調査	課題学習	各時代のまとめ																																							
8	16	26	24																																									
古代	中世	近世	近代	現代	総ページ数																																							
42 (14)	35 (11)	49 (16)	106 (35)	37 (12)	307																																							
歴史の捉え方	地域調査	課題学習	各時代のまとめ																																									
6	21	28	18																																									
②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るため、どのような工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 本文中ゴシック体で示す用語数は570。 章、単元の基礎的・基本的な課題数 <table border="1"> <tr><th></th><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>基礎的・基本的な課題</td><td>20</td><td>16</td><td>23</td><td>45</td><td>14</td></tr> </table> 		古代	中世	近世	近代	現代	基礎的・基本的な課題	20	16	23	45	14	<ul style="list-style-type: none"> 本文中ゴシック体で示す用語数は446。 章、単元の基礎的・基本的な課題数 <table border="1"> <tr><th></th><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>基礎的・基本的な課題</td><td>20</td><td>19</td><td>21</td><td>47</td><td>14</td></tr> </table> 		古代	中世	近世	近代	現代	基礎的・基本的な課題	20	19	21	47	14																		
	古代	中世	近世	近代	現代																																							
基礎的・基本的な課題	20	16	23	45	14																																							
	古代	中世	近世	近代	現代																																							
基礎的・基本的な課題	20	19	21	47	14																																							
③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 章、単元の思考・判断、議論を促す課題数 <table border="1"> <tr><th></th><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>思考・判断・表現に係る課題</td><td>3</td><td>2</td><td>3</td><td>8</td><td>3</td></tr> </table> 章の構成として、学習課題を提示し、章末にまとめの活動が示されている。 補充学習や発展学習として、学習のふり返りや時代の移り変わりを年表等で作業するように示されている。 		古代	中世	近世	近代	現代	思考・判断・表現に係る課題	3	2	3	8	3	<ul style="list-style-type: none"> 章、単元の思考・判断、議論を促す課題数 <table border="1"> <tr><th></th><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>思考・判断・表現に係る課題</td><td>4</td><td>3</td><td>4</td><td>9</td><td>3</td></tr> </table> 章の構成として、絵図の読み取りや学習課題を提示し、章末にまとめの活動が示されている。 補充学習や発展学習として、学習のまとめや時代の移り変わりを年表等で作業するように示されている。 		古代	中世	近世	近代	現代	思考・判断・表現に係る課題	4	3	4	9	3																		
	古代	中世	近世	近代	現代																																							
思考・判断・表現に係る課題	3	2	3	8	3																																							
	古代	中世	近世	近代	現代																																							
思考・判断・表現に係る課題	4	3	4	9	3																																							
④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 第1章で調べ学習の課題設定、調査、考察、まとめ、発表過程の学習展開例が示されている。 調べ方、学び方を示したコーナーの記載数は65。 	<ul style="list-style-type: none"> 第1章で調べ学習の課題設定、調査、考察、まとめ、発表過程の学習展開例が示されている。 調べ方、学び方を示したコーナーの記載数は37。 																																										
資料等	①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 学習課題が見開きで設定され、学習内容を説明できるように資料等が示されている。 見開きに導入資料が配置され、キャラクターによる学習課題解決の視点が示されている。 二次元コードの数35。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習資料や学習課題、学習内容の確認や表現する方法が、見開きで示されている。 見開きに導入資料が配置され、キャラクターによる学習課題解決の視点が示されている。 二次元コードの数46。 																																									
統計等	①挿絵・図表・統計等はどのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 資料の数 <table border="1"> <tr><th>写真・絵図</th><th>年表</th><th>グラフ・表</th><th>地図</th><th>テキスト</th></tr> <tr><td>829</td><td>109</td><td>63</td><td>77</td><td>96</td></tr> </table> 	写真・絵図	年表	グラフ・表	地図	テキスト	829	109	63	77	96	<ul style="list-style-type: none"> 資料の数 <table border="1"> <tr><th>写真・絵図</th><th>年表</th><th>グラフ・表</th><th>地図</th><th>テキスト</th></tr> <tr><td>787</td><td>106</td><td>53</td><td>76</td><td>72</td></tr> </table> 	写真・絵図	年表	グラフ・表	地図	テキスト	787	106	53	76	72																					
写真・絵図	年表	グラフ・表	地図	テキスト																																								
829	109	63	77	96																																								
写真・絵図	年表	グラフ・表	地図	テキスト																																								
787	106	53	76	72																																								
教科独自	歴史の大きな流れ	①学習した内容を活用して、時代の特色を大観し表現する学習と時代の転換の様子は、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 時代の特色を捉える学習として、歴史資料や年表、思考ツールや要約等の活動が示されている。 時代の転換を捉える視点として、文化、政治形態、生活の様子、開国、戦争、経済発展等の視点が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 時代の特色を捉える学習として、歴史新聞、時代や文化等を比較した表、関係図、要約等の活動が示されている。 時代の転換を捉える視点として、政治形態、文化、戦争、経済発展等の視点が示されている。 																																								
		②我が国の歴史の背景となる世界の歴史が、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 世界の歴史に関する学習箇所 <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>16</td><td>7</td><td>21</td><td>50</td><td>11</td></tr> </table> 人物索引中の世界人物の項目数 <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>7</td><td>4</td><td>19</td><td>36</td><td>6</td></tr> </table> 	古代	中世	近世	近代	現代	16	7	21	50	11	古代	中世	近世	近代	現代	7	4	19	36	6	<ul style="list-style-type: none"> 世界の歴史に関する学習箇所 <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>16</td><td>7</td><td>16</td><td>56</td><td>8</td></tr> </table> 人物索引中の世界人物の項目数 <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>8</td><td>5</td><td>17</td><td>40</td><td>12</td></tr> </table> 	古代	中世	近世	近代	現代	16	7	16	56	8	古代	中世	近世	近代	現代	8	5	17	40	12
		古代	中世	近世	近代	現代																																						
16	7	21	50	11																																								
古代	中世	近世	近代	現代																																								
7	4	19	36	6																																								
古代	中世	近世	近代	現代																																								
16	7	16	56	8																																								
古代	中世	近世	近代	現代																																								
8	5	17	40	12																																								
③歴史に関わる事象の意義や意義、伝統と文化の特色について、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 日本の文化に関する学習箇所 <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>15</td><td>11</td><td>10</td><td>18</td><td>4</td></tr> </table> 思考を深め、対話をするコーナーが設定されている。 現代的な諸課題を解決する態度を育成するため、環境エネルギー、人権平和、伝統文化、防災安全、情報技術等がテーマとして示されている。 	古代	中世	近世	近代	現代	15	11	10	18	4	<ul style="list-style-type: none"> 日本の文化に関する学習箇所 <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>12</td><td>10</td><td>12</td><td>15</td><td>6</td></tr> </table> 説明や発表するコーナーが設定されている。 現代的な諸課題を解決する態度を育成するため、SDGs、自然災害等がテーマとして示されている。 	古代	中世	近世	近代	現代	12	10	12	15	6																						
古代	中世	近世	近代	現代																																								
15	11	10	18	4																																								
古代	中世	近世	近代	現代																																								
12	10	12	15	6																																								
国際関係や文化交流の精神	①国際関係や文化交流のあらましを理解させ、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考えさせるとともに、他民族の文化、生活などに興味をもたせ、国際協調の精神を養う学習について、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 国際関係、文化交流に関する学習箇所 <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>10</td><td>9</td><td>13</td><td>38</td><td>14</td></tr> </table> 現在に伝わる文化遺産の写真、図絵の数 <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>129</td><td>87</td><td>146</td><td>192</td><td>29</td></tr> </table> 琉球やアイヌ民族について、本文やコラムを用いて記載されている。関連ページ数9。 北方領土、竹島、尖閣諸島について固有の領土であることが、地図、写真、年表、本文、解説、コラムを用いて扱われている。 	古代	中世	近世	近代	現代	10	9	13	38	14	古代	中世	近世	近代	現代	129	87	146	192	29	<ul style="list-style-type: none"> 国際関係、文化交流に関する学習箇所 <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>14</td><td>10</td><td>16</td><td>38</td><td>22</td></tr> </table> 現在に伝わる文化遺産の写真、図絵の数 <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>121</td><td>100</td><td>134</td><td>136</td><td>24</td></tr> </table> 琉球やアイヌ民族について、本文やコラムを用いて記載されている。関連ページ数12。 北方領土、竹島、尖閣諸島について固有の領土であることが、地図、写真、本文、解説、コラムを用いて扱われている。 	古代	中世	近世	近代	現代	14	10	16	38	22	古代	中世	近世	近代	現代	121	100	134	136	24	
古代	中世	近世	近代	現代																																								
10	9	13	38	14																																								
古代	中世	近世	近代	現代																																								
129	87	146	192	29																																								
古代	中世	近世	近代	現代																																								
14	10	16	38	22																																								
古代	中世	近世	近代	現代																																								
121	100	134	136	24																																								

【 社会（歴史的分野） 】

観点		発行者	46 帝国	81 山川																																																				
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 時代区別別ページ数と割合 (%) 及び総ページ数 <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th><th>総ページ数</th></tr> <tr><td>43</td><td>36</td><td>52</td><td>108</td><td>31</td><td>298</td></tr> <tr><td>(14)</td><td>(13)</td><td>(17)</td><td>(36)</td><td>(10)</td><td></td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 巻頭、巻末等のページ数は28。 歴史の捉え方や地域調査等のページ数 <table border="1"> <tr><th>歴史の捉え方</th><th>地域調査</th><th>課題学習</th><th>各時代のまとめ</th></tr> <tr><td>6</td><td>25</td><td>24</td><td>12</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 小学校での学習を踏まえ、歴史の流れやイラストや今後の学習に向けたポイントとなる活動が示されている。 各章の導入ページの設定はない。 	古代	中世	近世	近代	現代	総ページ数	43	36	52	108	31	298	(14)	(13)	(17)	(36)	(10)		歴史の捉え方	地域調査	課題学習	各時代のまとめ	6	25	24	12	<ul style="list-style-type: none"> 時代区別別ページ数と割合 (%) 及び総ページ数 <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th><th>総ページ数</th></tr> <tr><td>48</td><td>42</td><td>52</td><td>100</td><td>30</td><td>296</td></tr> <tr><td>(16)</td><td>(14)</td><td>(18)</td><td>(34)</td><td>(10)</td><td></td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 巻頭、巻末等のページ数は24。 歴史の捉え方や地域調査等のページ数 <table border="1"> <tr><th>歴史の捉え方</th><th>地域調査</th><th>課題学習</th><th>各時代のまとめ</th></tr> <tr><td>3</td><td>19</td><td>26</td><td>12</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 歴史学習における年代の表し方、時代区分の表し方、歴史上の人物などについて、イラストを用いて示されている。 各章の導入ページ数は2。文化遺産の写真、新聞記事、人物写真、絵図、年表が示されている。 	古代	中世	近世	近代	現代	総ページ数	48	42	52	100	30	296	(16)	(14)	(18)	(34)	(10)		歴史の捉え方	地域調査	課題学習	各時代のまとめ	3	19	26	12
		古代	中世	近世	近代	現代	総ページ数																																																	
		43	36	52	108	31	298																																																	
		(14)	(13)	(17)	(36)	(10)																																																		
歴史の捉え方	地域調査	課題学習	各時代のまとめ																																																					
6	25	24	12																																																					
古代	中世	近世	近代	現代	総ページ数																																																			
48	42	52	100	30	296																																																			
(16)	(14)	(18)	(34)	(10)																																																				
歴史の捉え方	地域調査	課題学習	各時代のまとめ																																																					
3	19	26	12																																																					
②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るため、どのような工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 本文中ゴシック体で示す用語数は539。 章、単元の基礎的・基本的な課題数 <table border="1"> <tr><th></th><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>基礎的・基本的な課題</td><td>19</td><td>13</td><td>23</td><td>47</td><td>14</td></tr> </table> 		古代	中世	近世	近代	現代	基礎的・基本的な課題	19	13	23	47	14	<ul style="list-style-type: none"> 本文中ゴシック体で示す用語数は896。 章、単元の基礎的・基本的な課題数 <table border="1"> <tr><th></th><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>基礎的・基本的な課題</td><td>24</td><td>17</td><td>40</td><td>70</td><td>26</td></tr> </table> 		古代	中世	近世	近代	現代	基礎的・基本的な課題	24	17	40	70	26																														
	古代	中世	近世	近代	現代																																																			
基礎的・基本的な課題	19	13	23	47	14																																																			
	古代	中世	近世	近代	現代																																																			
基礎的・基本的な課題	24	17	40	70	26																																																			
③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 章、単元の思考・判断、議論を促す課題数 <table border="1"> <tr><th></th><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>思考・判断・表現に係る課題</td><td>4</td><td>3</td><td>5</td><td>10</td><td>3</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 章の構成として、学習課題を提示し、章末に学習の振り返りをするように示されている。 補充学習や発展学習として、時代の移り変わりを年表等で作業するように示されている。 		古代	中世	近世	近代	現代	思考・判断・表現に係る課題	4	3	5	10	3	<ul style="list-style-type: none"> 章、単元の思考・判断、議論を促す課題数 <table border="1"> <tr><th></th><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>思考・判断・表現に係る課題</td><td>5</td><td>6</td><td>5</td><td>11</td><td>5</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 章の構成として、発問を提示し、章末にまとめをするように示されている。 補充学習や発展学習として、表にまとめる作業をするように示されている。 		古代	中世	近世	近代	現代	思考・判断・表現に係る課題	5	6	5	11	5																														
	古代	中世	近世	近代	現代																																																			
思考・判断・表現に係る課題	4	3	5	10	3																																																			
	古代	中世	近世	近代	現代																																																			
思考・判断・表現に係る課題	5	6	5	11	5																																																			
④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 第1章で調べ学習の課題設定、調査、考察、まとめ、発表過程の学習展開例が示されている。 調べ方、学び方を示したコーナーの記載数は33。 	<ul style="list-style-type: none"> 第1章で調べ学習の課題設定、調査、考察、まとめ、発表過程の学習展開例が示されている。 調べ方、学び方を示したコーナーの記載数は14。 																																																						
資料等	①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 学習資料や学習課題、学習の確認や説明ができるように資料等が、見開きで示されている。 見開きに導入資料が配置され、キャラクターによる資料読み取りの視点が示されている。 二次元コードの数22。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習資料や学習課題が、見開きで示されている。 見開きに導入資料が配置され、歴史的な事象の理解を促す歴史資料が示されている。 二次元コードの数16。 																																																					
		②資料の数	<table border="1"> <tr><th>写真・絵図</th><th>年表</th><th>グラフ・表</th><th>地図</th><th>テキスト</th></tr> <tr><td>803</td><td>102</td><td>58</td><td>93</td><td>69</td></tr> </table>	写真・絵図	年表	グラフ・表	地図	テキスト	803	102	58	93	69	<table border="1"> <tr><th>写真・絵図</th><th>年表</th><th>グラフ・表</th><th>地図</th><th>テキスト</th></tr> <tr><td>692</td><td>13</td><td>54</td><td>104</td><td>136</td></tr> </table>	写真・絵図	年表	グラフ・表	地図	テキスト	692	13	54	104	136																																
写真・絵図	年表	グラフ・表	地図	テキスト																																																				
803	102	58	93	69																																																				
写真・絵図	年表	グラフ・表	地図	テキスト																																																				
692	13	54	104	136																																																				
教科独自	歴史の大きな流れ	①学習した内容を活用して、時代の特色を大観し表現する学習と時代の転換の様子を捉える学習が、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 時代の特色を捉える学習として、各節ごとの振り返りから考えをまとめ、説明する活動が示されている。 時代の転換を捉える視点として、生活の様子、産業、文化、戦争、経済発展等の視点が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 時代の特色を捉える学習として、まとめ等の作業をする活動が示されている。 時代の転換を捉える視点として、政治形態、宗教、社会のしくみ、経済、開国、戦争、国際情勢等の視点が示されている。 																																																				
		②我が国の歴史の背景となる世界の歴史が、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 世界の歴史に関する学習箇所 <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>18</td><td>6</td><td>15</td><td>50</td><td>11</td></tr> </table> 人物索引中の世界人物の項目数 <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>5</td><td>4</td><td>11</td><td>25</td><td>2</td></tr> </table> 	古代	中世	近世	近代	現代	18	6	15	50	11	古代	中世	近世	近代	現代	5	4	11	25	2	<ul style="list-style-type: none"> 世界の歴史に関する学習箇所 <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>25</td><td>11</td><td>17</td><td>48</td><td>9</td></tr> </table> 人物索引中の世界人物の項目数 <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>16</td><td>6</td><td>26</td><td>43</td><td>10</td></tr> </table> 	古代	中世	近世	近代	現代	25	11	17	48	9	古代	中世	近世	近代	現代	16	6	26	43	10												
	古代	中世	近世	近代	現代																																																			
	18	6	15	50	11																																																			
古代	中世	近世	近代	現代																																																				
5	4	11	25	2																																																				
古代	中世	近世	近代	現代																																																				
25	11	17	48	9																																																				
古代	中世	近世	近代	現代																																																				
16	6	26	43	10																																																				
歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色	①歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色について、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 日本の文化に関する学習箇所 <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>14</td><td>10</td><td>14</td><td>16</td><td>6</td></tr> </table> 	古代	中世	近世	近代	現代	14	10	14	16	6	<ul style="list-style-type: none"> 日本の文化に関する学習箇所 <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>13</td><td>9</td><td>12</td><td>12</td><td>4</td></tr> </table> 	古代	中世	近世	近代	現代	13	9	12	12	4																																	
	古代	中世	近世	近代	現代																																																			
14	10	14	16	6																																																				
古代	中世	近世	近代	現代																																																				
13	9	12	12	4																																																				
②歴史に関わる事象相互の関連を多面的・多角的に考察する力、歴史に見られる課題を把握して、学習したことを基に複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断し、説明する力を育てる学習について、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 思考を深め、説明するコーナーが設定されている。 現代的な諸課題を解決する態度を育成するため、SDGs等のテーマが示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 比較検討や説明するコーナーが設定されている。 現代的な諸課題を解決する態度を育成するため、環境・資源、領土問題、国際紛争等のテーマが示されている。 																																																						
国際関係や文化交流	①国際関係や文化交流のあらましを理解させ、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考えさせるとともに、他民族の文化、生活などに関心をもたせ、国際協調の精神を養う学習について、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 国際関係、文化交流に関する学習箇所 <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>19</td><td>11</td><td>17</td><td>56</td><td>20</td></tr> </table> 現在に伝わる文化遺産の写真、図絵の数 <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>116</td><td>65</td><td>137</td><td>198</td><td>31</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 琉球やアイヌ民族について、本文やコラムを用いて記載されている。関連ページ数14。 北方領土、竹島、尖閣諸島について固有の領土であることが、地図、写真、年表、本文、解説、コラムを用いて扱われている。 	古代	中世	近世	近代	現代	19	11	17	56	20	古代	中世	近世	近代	現代	116	65	137	198	31	<ul style="list-style-type: none"> 国際関係、文化交流に関する学習箇所 <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>17</td><td>8</td><td>19</td><td>50</td><td>14</td></tr> </table> 現在に伝わる文化遺産の写真、図絵の数 <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>119</td><td>87</td><td>93</td><td>184</td><td>22</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 琉球やアイヌ民族について、本文やコラムを用いて記載されている。関連ページ数8。 北方領土、竹島、尖閣諸島について固有の領土であることが、地図、写真、解説を記載したコラム（4群島の一括返還）を用いて扱われている。 	古代	中世	近世	近代	現代	17	8	19	50	14	古代	中世	近世	近代	現代	119	87	93	184	22													
古代	中世	近世	近代	現代																																																				
19	11	17	56	20																																																				
古代	中世	近世	近代	現代																																																				
116	65	137	198	31																																																				
古代	中世	近世	近代	現代																																																				
17	8	19	50	14																																																				
古代	中世	近世	近代	現代																																																				
119	87	93	184	22																																																				

【 社会（歴史的分野） 】

観点		発行者	116 日 文	227 育鵬社																																																				
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 時代区分別ページ数と割合 (%) 及び総ページ数 <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th><th>総ページ数</th></tr> <tr><td>50</td><td>42</td><td>52</td><td>102</td><td>37</td><td>326</td></tr> <tr><td>(15)</td><td>(13)</td><td>(16)</td><td>(31)</td><td>(11)</td><td></td></tr> </table> 巻頭、巻末等のページ数は43。 歴史の捉え方や地域調査等のページ数 <table border="1"> <tr><th>歴史の捉え方</th><th>地域調査</th><th>課題学習</th><th>各時代のまとめ</th></tr> <tr><td>4</td><td>20</td><td>16</td><td>12</td></tr> </table> 小学校での学習を踏まえ、歴史の流れを表すイラストや歴史上の人物や年表により、今後の学習に向けたポイントとなる活動が示されている。 各章の導入ページ数は4。年表や写真等を複数掲示し、世界地図を用いて、世界の動きも示されている。 	古代	中世	近世	近代	現代	総ページ数	50	42	52	102	37	326	(15)	(13)	(16)	(31)	(11)		歴史の捉え方	地域調査	課題学習	各時代のまとめ	4	20	16	12	<ul style="list-style-type: none"> 時代区分別ページ数と割合 (%) 及び総ページ数 <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th><th>総ページ数</th></tr> <tr><td>50</td><td>34</td><td>52</td><td>102</td><td>32</td><td>313</td></tr> <tr><td>(16)</td><td>(11)</td><td>(17)</td><td>(32)</td><td>(10)</td><td></td></tr> </table> 巻頭、巻末等のページ数は43。 歴史の捉え方や地域調査等のページ数 <table border="1"> <tr><th>歴史の捉え方</th><th>地域調査</th><th>課題学習</th><th>各時代のまとめ</th></tr> <tr><td>8</td><td>10</td><td>36</td><td>12</td></tr> </table> 小学校での学習を踏まえ、人物カードをつくり、時代区分で分けて歴史の流れを確認する活動が示されている。 各章の導入ページ数は3。絵図を用いた絵巻形式で歴史の流れを図解し、絵図で人々の暮らしについて示されている。 	古代	中世	近世	近代	現代	総ページ数	50	34	52	102	32	313	(16)	(11)	(17)	(32)	(10)		歴史の捉え方	地域調査	課題学習	各時代のまとめ	8	10	36	12
		古代	中世	近世	近代	現代	総ページ数																																																	
		50	42	52	102	37	326																																																	
		(15)	(13)	(16)	(31)	(11)																																																		
歴史の捉え方	地域調査	課題学習	各時代のまとめ																																																					
4	20	16	12																																																					
古代	中世	近世	近代	現代	総ページ数																																																			
50	34	52	102	32	313																																																			
(16)	(11)	(17)	(32)	(10)																																																				
歴史の捉え方	地域調査	課題学習	各時代のまとめ																																																					
8	10	36	12																																																					
②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るため、どのような工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 本文中ゴシック体で示す用語数は515。 章、単元の基礎的・基本的な課題数 <table border="1"> <tr><th></th><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>基礎的・基本的な課題</td><td>16</td><td>14</td><td>15</td><td>39</td><td>13</td></tr> </table> 		古代	中世	近世	近代	現代	基礎的・基本的な課題	16	14	15	39	13	<ul style="list-style-type: none"> 本文中ゴシック体で示す用語数は469。 章、単元の基礎的・基本的な課題数 <table border="1"> <tr><th></th><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>基礎的・基本的な課題</td><td>19</td><td>15</td><td>23</td><td>33</td><td>11</td></tr> </table> 		古代	中世	近世	近代	現代	基礎的・基本的な課題	19	15	23	33	11																														
	古代	中世	近世	近代	現代																																																			
基礎的・基本的な課題	16	14	15	39	13																																																			
	古代	中世	近世	近代	現代																																																			
基礎的・基本的な課題	19	15	23	33	11																																																			
③思考力、判断力、表現力等を育む学習(言語活動等)が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 章、単元の思考・判断、議論を促す課題数 <table border="1"> <tr><th></th><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>思考・判断・表現に係る課題</td><td>7</td><td>6</td><td>6</td><td>8</td><td>4</td></tr> </table> 章の構成として、学習課題を提示し、章末に学習の整理をするように示されている。 補充学習や発展学習として、時代の移り変わりを年表等で作業するように示されている。 		古代	中世	近世	近代	現代	思考・判断・表現に係る課題	7	6	6	8	4	<ul style="list-style-type: none"> 章、単元の思考・判断、議論を促す課題数 <table border="1"> <tr><th></th><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>思考・判断・表現に係る課題</td><td>5</td><td>5</td><td>6</td><td>12</td><td>4</td></tr> </table> 章の構成として、学習課題を提示し、章末に学習のまとめをするように示されている。 補充学習や発展学習として、時代の移り変わりを年表等で作業するように示されている。 		古代	中世	近世	近代	現代	思考・判断・表現に係る課題	5	5	6	12	4																														
	古代	中世	近世	近代	現代																																																			
思考・判断・表現に係る課題	7	6	6	8	4																																																			
	古代	中世	近世	近代	現代																																																			
思考・判断・表現に係る課題	5	5	6	12	4																																																			
④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 各調べ学習のコーナーで課題設定、調査、考察、まとめ、発表過程の学習展開例が示されている。 調べ方、学び方を示したコーナーの記載数は14。 	<ul style="list-style-type: none"> 序章で調べ学習の課題設定、調査、考察、まとめ、発表過程の学習展開例が示されている。 調べ方、学び方を示したコーナーの記載数は31。 																																																						
資料等	①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 学習課題や学習内容が確認できるように資料等が、見開きで示されている。 見開きに導入資料を配置し、キャラクターにより資料検討の視点が示されている。 二次元コードの数14。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題や学習内容のまとめができるように資料等が、見開きで示されている。 見開きに導入資料を配置し、キャラクターにより資料検討の視点が示されている。 二次元コードの記載はない。 																																																					
		②資料の数	<table border="1"> <tr><th>写真・絵図</th><th>年表</th><th>グラフ・表</th><th>地図</th><th>テキスト</th></tr> <tr><td>734</td><td>167</td><td>68</td><td>110</td><td>88</td></tr> </table>	写真・絵図	年表	グラフ・表	地図	テキスト	734	167	68	110	88	<table border="1"> <tr><th>写真・絵図</th><th>年表</th><th>グラフ・表</th><th>地図</th><th>テキスト</th></tr> <tr><td>829</td><td>18</td><td>61</td><td>88</td><td>49</td></tr> </table>	写真・絵図	年表	グラフ・表	地図	テキスト	829	18	61	88	49																																
写真・絵図	年表	グラフ・表	地図	テキスト																																																				
734	167	68	110	88																																																				
写真・絵図	年表	グラフ・表	地図	テキスト																																																				
829	18	61	88	49																																																				
教科独自	歴史の大きな流れ	①学習した内容を活用して、時代の特色を大観し表現する学習と時代の転換の様子を捉える学習が、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 時代の特色を捉える学習として、年表や地図を用いて整理する活動が示されている。 時代の転換を捉える視点として、経済、政治、戦争、経済発展等の視点が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 時代の特色を捉える学習として、年表や地図を用いた整理、分類や説明する活動が示されている。 時代の転換を捉える視点として、宗教、戦乱、鎖国、政治、経済発展等の視点が示されている。 																																																				
		②我が国の歴史の背景となる世界の歴史が、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 世界の歴史に関する学習箇所 <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>16</td><td>7</td><td>11</td><td>35</td><td>13</td></tr> </table> 人物索引中の世界人物の項目数 <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>7</td><td>4</td><td>6</td><td>28</td><td>3</td></tr> </table> 	古代	中世	近世	近代	現代	16	7	11	35	13	古代	中世	近世	近代	現代	7	4	6	28	3	<ul style="list-style-type: none"> 世界の歴史に関する学習箇所 <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>15</td><td>7</td><td>7</td><td>37</td><td>9</td></tr> </table> 人物索引中の世界人物の項目数 <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>8</td><td>10</td><td>7</td><td>39</td><td>11</td></tr> </table> 	古代	中世	近世	近代	現代	15	7	7	37	9	古代	中世	近世	近代	現代	8	10	7	39	11												
		古代	中世	近世	近代	現代																																																		
16	7	11	35	13																																																				
古代	中世	近世	近代	現代																																																				
7	4	6	28	3																																																				
古代	中世	近世	近代	現代																																																				
15	7	7	37	9																																																				
古代	中世	近世	近代	現代																																																				
8	10	7	39	11																																																				
③歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色について、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 日本の文化に関する学習箇所 <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>11</td><td>10</td><td>10</td><td>17</td><td>3</td></tr> </table> 資料選択や半断し、考えをまとめるコーナーが設定されている。 現代的な諸課題を解決する態度を育成するため、災害、政治参加、平和等のテーマが示されている。 	古代	中世	近世	近代	現代	11	10	10	17	3	<ul style="list-style-type: none"> 日本の文化に関する学習箇所 <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>18</td><td>10</td><td>16</td><td>21</td><td>5</td></tr> </table> 複数の資料から判断し、議論するコーナーが設定されている。 現代的な諸課題を解決する態度を育成するため、人口、震災等のテーマが示されている。 	古代	中世	近世	近代	現代	18	10	16	21	5																																		
古代	中世	近世	近代	現代																																																				
11	10	10	17	3																																																				
古代	中世	近世	近代	現代																																																				
18	10	16	21	5																																																				
国際関係や文化交流、国際協調の精神	①国際関係や文化交流のあらましを理解させ、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考えさせるとともに、他民族の文化、生活などに関心をもたせ、国際協調の精神を養う学習について、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 国際関係、文化交流に関する学習箇所 <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>17</td><td>13</td><td>13</td><td>48</td><td>22</td></tr> </table> 現在に伝わる文化遺産の写真、図絵の数 <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>104</td><td>111</td><td>132</td><td>187</td><td>25</td></tr> </table> 琉球やアイヌ民族について、本文やコラムを用いて記載されている。関連ページ数10。 北方領土、竹島、尖閣諸島について固有の領土であることが、地図、写真、解説、コラムを用いて扱われている。 	古代	中世	近世	近代	現代	17	13	13	48	22	古代	中世	近世	近代	現代	104	111	132	187	25	<ul style="list-style-type: none"> 国際関係、文化交流に関する学習箇所 <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>22</td><td>12</td><td>14</td><td>51</td><td>19</td></tr> </table> 現在に伝わる文化遺産の写真、図絵の数 <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>96</td><td>99</td><td>136</td><td>206</td><td>13</td></tr> </table> 琉球やアイヌ民族について、本文やコラムを用いて記載されている。関連ページ数6。 北方領土、竹島、尖閣諸島について固有の領土であることが、地図、写真、年表、本文、解説、コラム(すべての島の返還)を用いて扱われている。 	古代	中世	近世	近代	現代	22	12	14	51	19	古代	中世	近世	近代	現代	96	99	136	206	13													
		古代	中世	近世	近代	現代																																																		
17	13	13	48	22																																																				
古代	中世	近世	近代	現代																																																				
104	111	132	187	25																																																				
古代	中世	近世	近代	現代																																																				
22	12	14	51	19																																																				
古代	中世	近世	近代	現代																																																				
96	99	136	206	13																																																				

【 社会（歴史的分野） 】

観点		発行者	229 学び舎																																												
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱	<p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るため、どのような工夫がなされているか。</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。</p> <p>④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。</p>	<p>・時代区別ページ数と割合（％）及び総ページ数</p> <table border="1"> <tr> <th>古代</th> <th>中世</th> <th>近世</th> <th>近代</th> <th>現代</th> <th>総ページ数</th> </tr> <tr> <td>54 (17)</td> <td>32 (10)</td> <td>50 (16)</td> <td>110 (35)</td> <td>34 (11)</td> <td>315</td> </tr> </table> <p>・巻頭、巻末等のページ数は35。</p> <p>・歴史の捉え方や地域調査等のページ数</p> <table border="1"> <tr> <th>歴史の捉え方</th> <th>地域調査</th> <th>課題学習</th> <th>各時代のまとめ</th> </tr> <tr> <td>6</td> <td>2</td> <td>9</td> <td>18</td> </tr> </table> <p>・小学校での学習を踏まえ、人物や文化財のカードをつくり、年表に配置して歴史の流れを確認する活動が示されている。</p> <p>・各章の導入ページ数は2。章ごとにテーマを設け、世界地図を中心に各地の写真を複数掲示し、世界の様子が示されている。</p> <p>・本文中ゴシック体で示す用語はない。</p> <p>・章、単元の基礎的・基本的な課題数</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>古代</th> <th>中世</th> <th>近世</th> <th>近代</th> <th>現代</th> </tr> <tr> <td>基礎的・基本的な課題</td> <td>15</td> <td>13</td> <td>19</td> <td>39</td> <td>14</td> </tr> </table> <p>・章、単元の思考・判断、議論を促す課題数</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>古代</th> <th>中世</th> <th>近世</th> <th>近代</th> <th>現代</th> </tr> <tr> <td>思考・判断・表現に促す課題</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>15</td> <td>4</td> </tr> </table> <p>・章の構成として、学習課題を提示し、章末にふり返りをさせるように示されている。</p> <p>・補充学習や発展学習として、年表等で作業するように示されている。</p> <p>・特設ページで、調べ学習や体験学習が示されている。</p> <p>・調べ方、学び方を示したコーナーの記載数6。</p>	古代	中世	近世	近代	現代	総ページ数	54 (17)	32 (10)	50 (16)	110 (35)	34 (11)	315	歴史の捉え方	地域調査	課題学習	各時代のまとめ	6	2	9	18		古代	中世	近世	近代	現代	基礎的・基本的な課題	15	13	19	39	14		古代	中世	近世	近代	現代	思考・判断・表現に促す課題	6	4	6	15	4
	古代	中世	近世	近代	現代	総ページ数																																									
	54 (17)	32 (10)	50 (16)	110 (35)	34 (11)	315																																									
歴史の捉え方	地域調査	課題学習	各時代のまとめ																																												
6	2	9	18																																												
	古代	中世	近世	近代	現代																																										
基礎的・基本的な課題	15	13	19	39	14																																										
	古代	中世	近世	近代	現代																																										
思考・判断・表現に促す課題	6	4	6	15	4																																										
資料等	<p>①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。</p>	<p>・学習課題が見開きで示されている。</p> <p>・見開きに学習内容に関連する資料等が示されている。</p> <p>・二次元コードの記載はない。</p>																																													
統計等	<p>①挿絵・図表・統計等はどのように示されているか。</p>	<p>・資料の数</p> <table border="1"> <tr> <th>写真・絵図</th> <th>年表</th> <th>グラフ・表</th> <th>地図</th> <th>テキスト</th> </tr> <tr> <td>749</td> <td>12</td> <td>33</td> <td>103</td> <td>79</td> </tr> </table>	写真・絵図	年表	グラフ・表	地図	テキスト	749	12	33	103	79																																			
写真・絵図	年表	グラフ・表	地図	テキスト																																											
749	12	33	103	79																																											
教科独自	歴史の大きな流れ	<p>①学習した内容を活用して、時代の特色を大観し表現する学習と時代の転換の様子を捉える学習が、どのように示されているか。</p> <p>②我が国の歴史の背景となる世界の歴史が、どのように示されているか。</p>	<p>・時代の特色を捉える学習として、章ごとの振り返りの内容をまとめ、発表するように示されている。</p> <p>・時代の転換を捉える視点として、文化、歴史上の人物、政治、戦争の視点が示されている。</p> <p>・世界の歴史に関する学習箇所</p> <table border="1"> <tr> <th>古代</th> <th>中世</th> <th>近世</th> <th>近代</th> <th>現代</th> </tr> <tr> <td>26</td> <td>8</td> <td>15</td> <td>47</td> <td>13</td> </tr> </table> <p>・人物索引中の世界人物の項目数</p> <table border="1"> <tr> <th>古代</th> <th>中世</th> <th>近世</th> <th>近代</th> <th>現代</th> </tr> <tr> <td>12</td> <td>20</td> <td>17</td> <td>14</td> <td>20</td> </tr> </table>	古代	中世	近世	近代	現代	26	8	15	47	13	古代	中世	近世	近代	現代	12	20	17	14	20																								
	古代	中世	近世	近代	現代																																										
	26	8	15	47	13																																										
古代	中世	近世	近代	現代																																											
12	20	17	14	20																																											
歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色	<p>①歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色について、どのように示されているか。</p> <p>②歴史に関わる事象相互の関連を多面的・多角的に考察する力、歴史に見られる課題を把握して、学習したことを基に複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断し、説明する力を育てる学習について、どのように示されているか。</p>	<p>・日本の文化に関する学習箇所</p> <table border="1"> <tr> <th>古代</th> <th>中世</th> <th>近世</th> <th>近代</th> <th>現代</th> </tr> <tr> <td>8</td> <td>8</td> <td>15</td> <td>9</td> <td>3</td> </tr> </table> <p>・資料から判断し、考えをまとめ、説明や発表するコーナーが設定されている。</p> <p>・現代的な諸課題を解決する態度を育成するため、公害・環境、戦争・平和等のテーマが示されている。</p>	古代	中世	近世	近代	現代	8	8	15	9	3																																			
古代	中世	近世	近代	現代																																											
8	8	15	9	3																																											
国際関係や文化交流、国際協調の精神	<p>①国際関係や文化交流のあらましを理解させ、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考えさせるとともに、他民族の文化、生活などに関心をもたせ、国際協調の精神を養う学習について、どのように示されているか。</p>	<p>・国際関係、文化交流に関する学習箇所</p> <table border="1"> <tr> <th>古代</th> <th>中世</th> <th>近世</th> <th>近代</th> <th>現代</th> </tr> <tr> <td>16</td> <td>10</td> <td>22</td> <td>49</td> <td>24</td> </tr> </table> <p>・現在に伝わる文化遺産の写真、図絵の数</p> <table border="1"> <tr> <th>古代</th> <th>中世</th> <th>近世</th> <th>近代</th> <th>現代</th> </tr> <tr> <td>85</td> <td>93</td> <td>128</td> <td>159</td> <td>24</td> </tr> </table> <p>・琉球やアイヌ民族について、本文やコラムを用いて記載されている。関連ページ数9。</p> <p>・北方領土、竹島、尖閣諸島について固有の領土であることが、本文や解説で扱われている。</p>	古代	中世	近世	近代	現代	16	10	22	49	24	古代	中世	近世	近代	現代	85	93	128	159	24																									
古代	中世	近世	近代	現代																																											
16	10	22	49	24																																											
古代	中世	近世	近代	現代																																											
85	93	128	159	24																																											

1 学習指導要領に示された目標

【社会科の目標】

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

【公民的分野の目標】

現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

能 知 識 及 び 技	(1) 個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主主義、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深めるとともに、諸資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
力、 思 考 力、 表 現 力 等 判 断	(2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、現代社会に見られる課題について公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
等 う 学 力 に 向 か 人 間 性	(3) 現代の社会的事象について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

2 教科独自の調査研究の観点

(1) 基本的な人権の尊重、国民主権に関する学習	①個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主主義について個人と社会との関わりを中心に理解を深めることについて、どのように示されているか。
(2) 政治、経済、社会生活、国際関係に関する学習	①民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深めることについて、どのように示されているか。
(3) 国際理解に関する学習	①各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めることについて、どのように示されているか。
(4) 現代の社会的事象に関する関心	①現代の社会的事象について関心を高めることについて、どのように示されているか。

【 社会（公民的分野） 】

観点		発行者	2 東 書	17 教 出																																																												
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	<p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。</p> <p>④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。</p>	<p>・大項目ごとのページ数及び割合。</p> <table border="1"> <tr> <th>私たちと現代社会</th> <th>私たちと経済</th> <th>私たちと政治</th> <th>私たちと国際社会の諸課題</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>31 (15%)</td> <td>52 (24%)</td> <td>90 (42%)</td> <td>40 (19%)</td> <td>213 (100%)</td> </tr> </table> <p>・巻頭及び巻末のページ数は49。 ・大項目ごとの導入ページ数は概ね3。 ・大項目ごとに小学校で学習をした基本用語や写真資料等が示されるとともに、イラスト等の資料から話し合い等の活動をする教材が設定されている。 ・大項目ごとに何を学習するのが15行程度で示されている。</p> <p>・基本的な用語として本文中ゴシック体で示されている語句の数は409。また、巻末の索引数は562。 ・大項目ごとの基礎的・基本的事実に係る課題の数。</p> <table border="1"> <tr> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>7</td> <td>20</td> <td>26</td> <td>7</td> <td>60</td> </tr> </table> <p>・大項目ごとの思考・判断、議論を促す課題の数。</p> <table border="1"> <tr> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>4</td> <td>1</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>15</td> </tr> </table> <p>・マトリクス、座標軸等の思考ツールを紹介したり、ツールを使った話し合い活動を促したりする箇所が27箇所設けられている。</p> <p>・調べ学習は、「課題把握」「課題深求」「意思決定」「提案参加」の順で活動過程を示した6ページで構成され、それぞれに例やヒントが付されている。</p>	私たちと現代社会	私たちと経済	私たちと政治	私たちと国際社会の諸課題	合計	31 (15%)	52 (24%)	90 (42%)	40 (19%)	213 (100%)	現代社会	経済	政治	国際社会	合計	7	20	26	7	60	現代社会	経済	政治	国際社会	合計	4	1	6	4	15	<p>・大項目ごとのページ数及び割合。</p> <table border="1"> <tr> <th>私たちと現代社会</th> <th>私たちと経済</th> <th>私たちと政治</th> <th>私たちと国際社会の諸課題</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>26 (12%)</td> <td>64 (28%)</td> <td>90 (40%)</td> <td>44 (20%)</td> <td>224 (100%)</td> </tr> </table> <p>・巻頭及び巻末のページ数は48。 ・大項目ごとの導入ページ数は概ね3。 ・大項目ごとに基本用語や写真資料等が示されるとともに、イラスト等の資料から話し合い等の活動をする教材が設定されている。 ・大項目ごとに何を学習するのが20行程度で示されている。</p> <p>・基本的な用語として本文中ゴシック体で示されている語句の数は401。また、巻末の索引数は680。 ・大項目ごとの基礎的・基本的事実に係る課題の数。</p> <table border="1"> <tr> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>8</td> <td>21</td> <td>27</td> <td>11</td> <td>67</td> </tr> </table> <p>・大項目ごとの思考・判断、議論を促す課題の数。</p> <table border="1"> <tr> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>0</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>12</td> </tr> </table> <p>・マトリクス、ランキング等の思考ツールを紹介したり、ツールを使った話し合い活動を促したりする箇所が5箇所設けられている。</p> <p>・調べ学習は、「持続可能な未来と私たち」「私の提案『自分を変える、社会を変える』をつくろう」「持続可能な未来への対話」の8ページで構成され、それぞれの活動過程とともに例やヒントが付されている。</p>	私たちと現代社会	私たちと経済	私たちと政治	私たちと国際社会の諸課題	合計	26 (12%)	64 (28%)	90 (40%)	44 (20%)	224 (100%)	現代社会	経済	政治	国際社会	合計	8	21	27	11	67	現代社会	経済	政治	国際社会	合計	0	2	6	4	12
	私たちと現代社会	私たちと経済	私たちと政治	私たちと国際社会の諸課題	合計																																																											
	31 (15%)	52 (24%)	90 (42%)	40 (19%)	213 (100%)																																																											
	現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																																											
7	20	26	7	60																																																												
現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																																												
4	1	6	4	15																																																												
私たちと現代社会	私たちと経済	私たちと政治	私たちと国際社会の諸課題	合計																																																												
26 (12%)	64 (28%)	90 (40%)	44 (20%)	224 (100%)																																																												
現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																																												
8	21	27	11	67																																																												
現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																																												
0	2	6	4	12																																																												
資料等	①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	<p>・見開きごとに、学習課題とともに導入や展開で用いる写真等の資料が示されている。 ・資料を読み取るヒント箇所は73。 ・二次元コードは7箇所、二次元コードに関連することが13箇所示されている。</p>	<p>・見開きごとに、学習課題とともに導入や展開で用いる写真等の資料が示されている。 ・資料を読み取るヒント箇所は75。 ・二次元コードは8箇所。</p>																																																													
統計等	①挿絵・図表・統計等がどのように示されているか。	<p>・項目別資料数。</p> <table border="1"> <tr> <th>写真</th> <th>新聞記事</th> <th>テキスト</th> <th>グラフ</th> <th>図解・図表</th> </tr> <tr> <td>440</td> <td>31</td> <td>75</td> <td>89</td> <td>157</td> </tr> </table>	写真	新聞記事	テキスト	グラフ	図解・図表	440	31	75	89	157	<p>・項目別資料数。</p> <table border="1"> <tr> <th>写真</th> <th>新聞記事</th> <th>テキスト</th> <th>グラフ</th> <th>図解・図表</th> </tr> <tr> <td>442</td> <td>10</td> <td>59</td> <td>105</td> <td>138</td> </tr> </table>	写真	新聞記事	テキスト	グラフ	図解・図表	442	10	59	105	138																																									
写真	新聞記事	テキスト	グラフ	図解・図表																																																												
440	31	75	89	157																																																												
写真	新聞記事	テキスト	グラフ	図解・図表																																																												
442	10	59	105	138																																																												
教科独自	基本的な人権の尊重、国民民主権に関する学習	①個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主主義について個人と社会との関わりを中心に理解を深めることについて、どのように示されているか。	<p>・大項目ごとの、自由・権利、責任・義務の内容が示されている数。</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <th>自由・権利</th> <td>1</td> <td>9</td> <td>48</td> <td>2</td> <td>60</td> </tr> <tr> <th>責任・義務</th> <td>1</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>9</td> </tr> </table>		現代社会	経済	政治	国際社会	合計	自由・権利	1	9	48	2	60	責任・義務	1	5	3	0	9	<p>・大項目ごとの、自由・権利、責任・義務の内容が示されている数。</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <th>自由・権利</th> <td>0</td> <td>8</td> <td>49</td> <td>7</td> <td>64</td> </tr> <tr> <th>責任・義務</th> <td>2</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>13</td> </tr> </table>		現代社会	経済	政治	国際社会	合計	自由・権利	0	8	49	7	64	責任・義務	2	5	6	0	13																								
		現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																																										
	自由・権利	1	9	48	2	60																																																										
	責任・義務	1	5	3	0	9																																																										
	現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																																											
自由・権利	0	8	49	7	64																																																											
責任・義務	2	5	6	0	13																																																											
政治・経済・社会生活に関する学習	①民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深めることについて、どのように示されているか。	<p>・大項目ごとの法律・条例、制度や仕組みの名称が示されている数。</p> <table border="1"> <tr> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>3</td> <td>32</td> <td>61</td> <td>2</td> <td>98</td> </tr> </table>	現代社会	経済	政治	国際社会	合計	3	32	61	2	98	<p>・大項目ごとの法律・条例、制度や仕組みの名称が示されている数。</p> <table border="1"> <tr> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>2</td> <td>30</td> <td>91</td> <td>1</td> <td>124</td> </tr> </table>	現代社会	経済	政治	国際社会	合計	2	30	91	1	124																																									
現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																																												
3	32	61	2	98																																																												
現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																																												
2	30	91	1	124																																																												
国際理解に関する学習	①各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めることについて、どのように示されているか。	<p>・「これからの日本のエネルギーを考える」「パレスチナ問題と中東和平」が特設されている。 ・北方領土、竹島、尖閣諸島が扱われているページ数と資料(写真、地図、読み物、新聞)の数。</p> <table border="1"> <tr> <th>ページ</th> <th>写真</th> <th>地図</th> <th>年表</th> <th>新聞記事</th> </tr> <tr> <td>2.5</td> <td>7</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> </table>	ページ	写真	地図	年表	新聞記事	2.5	7	4	0	1	<p>・「日本の外交の今とこれから」「エルサレムの共存と対立」が特設されている。 ・北方領土、竹島、尖閣諸島が扱われているページ数と資料(写真、地図、読み物、新聞)の数。</p> <table border="1"> <tr> <th>ページ</th> <th>写真</th> <th>地図</th> <th>年表</th> <th>新聞記事</th> </tr> <tr> <td>2.5</td> <td>7</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table>	ページ	写真	地図	年表	新聞記事	2.5	7	2	0	0																																									
ページ	写真	地図	年表	新聞記事																																																												
2.5	7	4	0	1																																																												
ページ	写真	地図	年表	新聞記事																																																												
2.5	7	2	0	0																																																												
現代の社会的な事象に関する関心	①現代の社会的な事象について関心を高めることについて、どのように示されているか。	<p>・中学生と社会との関わりを示す項目別資料数。</p> <table border="1"> <tr> <th>写真</th> <th>新聞記事</th> <th>コラム</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>19</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>22</td> </tr> </table>	写真	新聞記事	コラム	合計	19	1	2	22	<p>・中学生と社会との関わりを示す項目別資料数。</p> <table border="1"> <tr> <th>写真</th> <th>新聞記事</th> <th>コラム</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>13</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>18</td> </tr> </table>	写真	新聞記事	コラム	合計	13	0	5	18																																													
写真	新聞記事	コラム	合計																																																													
19	1	2	22																																																													
写真	新聞記事	コラム	合計																																																													
13	0	5	18																																																													

【 社会（公民的分野） 】

観点		発行者	46 帝国	116 日文																																				
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 大項目ごとのページ数及び割合。 <table border="1"> <tr> <th>私たちと現代社会</th> <th>私たちと経済</th> <th>私たちと政治</th> <th>私たちと国際社会の諸課題</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>26 (12%)</td> <td>64 (31%)</td> <td>80 (38%)</td> <td>40 (19%)</td> <td>210 (100%)</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 巻頭及び巻末のページ数は38。 大項目ごとの導入ページ数は概ね2。 大項目ごとに小学校での学習との関連が示されるとともに、イラスト等の資料から読み取り等の活動を行う教材が設定されている。 大項目ごとに何を学習するのが10行程度で示されている。 	私たちと現代社会	私たちと経済	私たちと政治	私たちと国際社会の諸課題	合計	26 (12%)	64 (31%)	80 (38%)	40 (19%)	210 (100%)	<ul style="list-style-type: none"> 大項目ごとのページ数及び割合。 <table border="1"> <tr> <th>私たちと現代社会</th> <th>私たちと経済</th> <th>私たちと政治</th> <th>私たちと国際社会の諸課題</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>28 (13%)</td> <td>54 (25%)</td> <td>88 (41%)</td> <td>45 (21%)</td> <td>215 (100%)</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 巻頭及び巻末のページ数は49。 大項目ごとの導入ページ数は概ね2。 大項目ごとに、マンガや解説等が示され、問いかけに対して考える等の活動を行う教材が設定されている。 大項目ごとに何を学習するのが6行程度で示されている。 	私たちと現代社会	私たちと経済	私たちと政治	私たちと国際社会の諸課題	合計	28 (13%)	54 (25%)	88 (41%)	45 (21%)	215 (100%)																
		私たちと現代社会	私たちと経済	私たちと政治	私たちと国際社会の諸課題	合計																																		
		26 (12%)	64 (31%)	80 (38%)	40 (19%)	210 (100%)																																		
		私たちと現代社会	私たちと経済	私たちと政治	私たちと国際社会の諸課題	合計																																		
28 (13%)	54 (25%)	88 (41%)	45 (21%)	215 (100%)																																				
②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な用語として本文中ゴシック体で示されている語句の数は397。また、巻末の索引数は768。 大項目ごとの基礎的・基本的事項に係る課題の数。 <table border="1"> <tr> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>8</td> <td>24</td> <td>26</td> <td>10</td> <td>68</td> </tr> </table>	現代社会	経済	政治	国際社会	合計	8	24	26	10	68	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な用語として本文中ゴシック体で示されている語句の数は372。また、巻末の索引数は551。 大項目ごとの基礎的・基本的事項に係る課題の数。 <table border="1"> <tr> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>4</td> <td>18</td> <td>25</td> <td>12</td> <td>59</td> </tr> </table>	現代社会	経済	政治	国際社会	合計	4	18	25	12	59																		
現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																				
8	24	26	10	68																																				
現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																				
4	18	25	12	59																																				
③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 大項目ごとの思考・判断、議論を促す課題の数。 <table border="1"> <tr> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>5</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 座標軸、ランキング等の思考ツールを紹介したり、ツールを使った話し合い活動を促したりする箇所が10箇所で設けられている。 	現代社会	経済	政治	国際社会	合計	0	1	2	2	5	<ul style="list-style-type: none"> 大項目ごとの思考・判断、議論を促す課題の数。 <table border="1"> <tr> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>7</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>1</td> <td>18</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> マトリクス、座標軸等の思考ツールを紹介したり、ツールを使った話し合い活動を促したりする箇所が13箇所設けられている。 	現代社会	経済	政治	国際社会	合計	7	4	6	1	18																		
現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																				
0	1	2	2	5																																				
現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																				
7	4	6	1	18																																				
④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 調べ学習は、「課題を決めよう」「資料を集めよう」「考察しよう」「レポートを書こう」の順で活動過程を示した8ページで構成され、それぞれに例やヒントが付されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 調べ学習は、「テーマの設定」「資料の収集と読み取り」「考察と構想」「まとめと評価」の順で活動過程を示した9ページで構成され、それぞれに例やヒントが付されている。 																																						
資料等	資料等	①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 見開きごとに、学習課題とともに導入や展開で用いる写真等の資料が示されている。 資料を読み取るヒント箇所は135。 二次元コードは25箇所。 	<ul style="list-style-type: none"> 見開きごとに、学習課題とともに導入や展開で用いる写真等の資料が示されている。 資料を読み取るヒント箇所は88。 二次元コードは1箇所、二次元コードに関連することが12箇所示されている。 																																				
		統計等	①挿絵・図表・統計等はどのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 項目別資料数。 <table border="1"> <tr> <th>写真</th> <th>新聞記事</th> <th>テキスト</th> <th>グラフ</th> <th>図解・図表</th> </tr> <tr> <td>317</td> <td>8</td> <td>65</td> <td>89</td> <td>112</td> </tr> </table>	写真	新聞記事	テキスト	グラフ	図解・図表	317	8	65	89	112	<ul style="list-style-type: none"> 項目別資料数。 <table border="1"> <tr> <th>写真</th> <th>新聞記事</th> <th>テキスト</th> <th>グラフ</th> <th>図解・図表</th> </tr> <tr> <td>345</td> <td>22</td> <td>43</td> <td>126</td> <td>163</td> </tr> </table>	写真	新聞記事	テキスト	グラフ	図解・図表	345	22	43	126	163															
写真	新聞記事	テキスト	グラフ	図解・図表																																				
317	8	65	89	112																																				
写真	新聞記事	テキスト	グラフ	図解・図表																																				
345	22	43	126	163																																				
教科独自	重んずる学習	①個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主主義について個人と社会との関わりを中心に理解を深めることについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 大項目ごとの、自由・権利、責任・義務の内容が示されている数。 <table border="1"> <tr> <th></th> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <th>自由・権利</th> <td>2</td> <td>4</td> <td>49</td> <td>2</td> <td>57</td> </tr> <tr> <th>責任・義務</th> <td>1</td> <td>1</td> <td>9</td> <td>1</td> <td>12</td> </tr> </table>		現代社会	経済	政治	国際社会	合計	自由・権利	2	4	49	2	57	責任・義務	1	1	9	1	12	<ul style="list-style-type: none"> 大項目ごとの、自由・権利、責任・義務の内容が示されている数。 <table border="1"> <tr> <th></th> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <th>自由・権利</th> <td>2</td> <td>8</td> <td>44</td> <td>3</td> <td>57</td> </tr> <tr> <th>責任・義務</th> <td>1</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>9</td> </tr> </table>		現代社会	経済	政治	国際社会	合計	自由・権利	2	8	44	3	57	責任・義務	1	2	5	1	9
			現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																	
		自由・権利	2	4	49	2	57																																	
		責任・義務	1	1	9	1	12																																	
	現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																			
自由・権利	2	8	44	3	57																																			
責任・義務	1	2	5	1	9																																			
国際関係に関する学習	政治・経済・社会生活	①民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深めることについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 大項目ごとの法律・条例、制度や仕組みの名称が示されている数。 <table border="1"> <tr> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td>31</td> <td>70</td> <td>1</td> <td>103</td> </tr> </table>	現代社会	経済	政治	国際社会	合計	1	31	70	1	103	<ul style="list-style-type: none"> 大項目ごとの法律・条例、制度や仕組みの名称が示されている数。 <table border="1"> <tr> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td>31</td> <td>54</td> <td>2</td> <td>88</td> </tr> </table>	現代社会	経済	政治	国際社会	合計	1	31	54	2	88																
		現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																		
1	31	70	1	103																																				
現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																				
1	31	54	2	88																																				
国際理解に関する学習	国際関係に関する学習	①各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めることについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 「消えない相互不信 バレスチナ問題」「日本は難民をどう支援していくべきか？」が特設されている。 北方領土、竹島、尖閣諸島が扱われているページ数と資料(写真、地図、読み物、新聞)の数。 <table border="1"> <tr> <th>ページ</th> <th>写真</th> <th>地図</th> <th>年表</th> <th>新聞記事</th> </tr> <tr> <td>2</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table>	ページ	写真	地図	年表	新聞記事	2	3	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 「日本の領土をめぐる問題の解決に向けて」「バレスチナ問題」が特設されている。 北方領土、竹島、尖閣諸島が扱われているページ数と資料(写真、地図、読み物、新聞)の数。 <table border="1"> <tr> <th>ページ</th> <th>写真</th> <th>地図</th> <th>年表</th> <th>新聞記事</th> </tr> <tr> <td>4</td> <td>8</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table>	ページ	写真	地図	年表	新聞記事	4	8	1	0	0																
		ページ	写真	地図	年表	新聞記事																																		
2	3	2	0	0																																				
ページ	写真	地図	年表	新聞記事																																				
4	8	1	0	0																																				
現代の社会的現象に関する関心	現代の社会的現象	①現代の社会的現象について関心を高めることについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 中学生と社会との関わりを示す項目別資料数。 <table border="1"> <tr> <th>写真</th> <th>新聞記事</th> <th>コラム</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>10</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>15</td> </tr> </table>	写真	新聞記事	コラム	合計	10	0	5	15	<ul style="list-style-type: none"> 中学生と社会との関わりを示す項目別資料数。 <table border="1"> <tr> <th>写真</th> <th>新聞記事</th> <th>コラム</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>12</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>13</td> </tr> </table>	写真	新聞記事	コラム	合計	12	1	0	13																				
写真	新聞記事	コラム	合計																																					
10	0	5	15																																					
写真	新聞記事	コラム	合計																																					
12	1	0	13																																					

【 社会（公民的分野） 】

観点		発行者	225 自由社	227 育鵬社																																				
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 大項目ごとのページ数及び割合。 <table border="1"> <tr> <th>私たちと現代社会</th> <th>私たちと経済</th> <th>私たちと政治</th> <th>私たちと国際社会の諸課題</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>42 (19%)</td> <td>44 (20%)</td> <td>78 (35%)</td> <td>60 (26%)</td> <td>224 (100%)</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 巻頭及び巻末のページ数は46。 大項目ごとの導入ページ数は概ね1。 大項目ごとに学習内容に関わる問いかけが4行程度で示されている。 	私たちと現代社会	私たちと経済	私たちと政治	私たちと国際社会の諸課題	合計	42 (19%)	44 (20%)	78 (35%)	60 (26%)	224 (100%)	<ul style="list-style-type: none"> 大項目ごとのページ数及び割合。 <table border="1"> <tr> <th>私たちと現代社会</th> <th>私たちと経済</th> <th>私たちと政治</th> <th>私たちと国際社会の諸課題</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>28 (14%)</td> <td>52 (25%)</td> <td>80 (39%)</td> <td>46 (22%)</td> <td>206 (100%)</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 巻頭及び巻末のページ数は48。 大項目ごとの導入ページ数は概ね3。 大項目ごとに、基本用語や写真資料等が示されるとともに、図やグラフ等の資料から話し合い等の活動をする教材が設定されている。 大項目ごとの学習の意義が15行程度で、何を学習するのが10行程度で示されている。 	私たちと現代社会	私たちと経済	私たちと政治	私たちと国際社会の諸課題	合計	28 (14%)	52 (25%)	80 (39%)	46 (22%)	206 (100%)																
		私たちと現代社会	私たちと経済	私たちと政治	私たちと国際社会の諸課題	合計																																		
		42 (19%)	44 (20%)	78 (35%)	60 (26%)	224 (100%)																																		
		私たちと現代社会	私たちと経済	私たちと政治	私たちと国際社会の諸課題	合計																																		
28 (14%)	52 (25%)	80 (39%)	46 (22%)	206 (100%)																																				
②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な用語として本文中ゴシック体で示されている語句の数は412。また、巻末の索引数は713。 大項目ごとの基礎的・基本的事実に係る課題の数。 <table border="1"> <tr> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>9</td> <td>10</td> <td>25</td> <td>13</td> <td>57</td> </tr> </table>	現代社会	経済	政治	国際社会	合計	9	10	25	13	57	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な用語として本文中ゴシック体で示されている語句の数は382。また、巻末の索引数は715。 大項目ごとの基礎的・基本的事実に係る課題の数。 <table border="1"> <tr> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>8</td> <td>17</td> <td>27</td> <td>7</td> <td>59</td> </tr> </table>	現代社会	経済	政治	国際社会	合計	8	17	27	7	59																		
現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																				
9	10	25	13	57																																				
現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																				
8	17	27	7	59																																				
③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 大項目ごとの思考・判断、議論を促す課題の数。 <table border="1"> <tr> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>4</td> <td>7</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>15</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> マトリクス、ランキング等の思考ツールを紹介したり、ツールを使った話し合い活動を促したりする箇所が7箇所で設けられている。 	現代社会	経済	政治	国際社会	合計	4	7	2	2	15	<ul style="list-style-type: none"> 大項目ごとの思考・判断、議論を促す課題の数。 <table border="1"> <tr> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>14</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> マトリクス、座標軸等の思考ツールを紹介したり、ツールを使った話し合い活動を促したりする箇所が7箇所設けられている。 	現代社会	経済	政治	国際社会	合計	2	4	3	5	14																		
現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																				
4	7	2	2	15																																				
現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																				
2	4	3	5	14																																				
④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 調べ学習は、「レポートと卒業論文をつくろう」「ディベートをやってみよう」の10ページで構成され、それぞれの活動過程とともに例やヒントが付されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 調べ学習は、「テーマを決めよう」「課題探求の計画を立てよう」「プレゼンテーションしよう」「内容の見直し」「レポート作成」の順で活動過程を示した7ページで構成され、例やヒントが付されている。 																																						
資料等	資料等	①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 見開きごとに、学習課題とともに導入や展開で用いる写真等の資料が示されている。 資料を読み取るヒント箇所は32。 二次元コードは付されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 見開きごとに、学習課題とともに導入や展開で用いる写真等の資料が示されている。 資料を読み取るヒント箇所は91。 二次元コードは付されていない。 																																				
		統計等	①挿絵・図表・統計等はどのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 項目別資料数。 <table border="1"> <tr> <th>写真</th> <th>新聞記事</th> <th>テキスト</th> <th>グラフ</th> <th>図解・図表</th> </tr> <tr> <td>256</td> <td>2</td> <td>48</td> <td>41</td> <td>87</td> </tr> </table>	写真	新聞記事	テキスト	グラフ	図解・図表	256	2	48	41	87	<ul style="list-style-type: none"> 項目別資料数。 <table border="1"> <tr> <th>写真</th> <th>新聞記事</th> <th>テキスト</th> <th>グラフ</th> <th>図解・図表</th> </tr> <tr> <td>351</td> <td>28</td> <td>43</td> <td>92</td> <td>149</td> </tr> </table>	写真	新聞記事	テキスト	グラフ	図解・図表	351	28	43	92	149															
写真	新聞記事	テキスト	グラフ	図解・図表																																				
256	2	48	41	87																																				
写真	新聞記事	テキスト	グラフ	図解・図表																																				
351	28	43	92	149																																				
教科独自	基本的な人権の尊重・国民主権に関する学習	①個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主主義について個人と社会との関わりを中心に理解を深めることについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 大項目ごとの、自由・権利、責任・義務の内容が示されている数。 <table border="1"> <tr> <th></th> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <th>自由・権利</th> <td>9</td> <td>4</td> <td>37</td> <td>7</td> <td>57</td> </tr> <tr> <th>責任・義務</th> <td>3</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>6</td> </tr> </table>		現代社会	経済	政治	国際社会	合計	自由・権利	9	4	37	7	57	責任・義務	3	1	2	1	6	<ul style="list-style-type: none"> 大項目ごとの、自由・権利、責任・義務の内容が示されている数。 <table border="1"> <tr> <th></th> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <th>自由・権利</th> <td>2</td> <td>6</td> <td>41</td> <td>3</td> <td>52</td> </tr> <tr> <th>責任・義務</th> <td>1</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>7</td> </tr> </table>		現代社会	経済	政治	国際社会	合計	自由・権利	2	6	41	3	52	責任・義務	1	1	4	1	7
			現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																	
		自由・権利	9	4	37	7	57																																	
		責任・義務	3	1	2	1	6																																	
	現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																			
自由・権利	2	6	41	3	52																																			
責任・義務	1	1	4	1	7																																			
政治・経済・社会生活に関する学習	政治・経済・社会生活に関する学習	①民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深めることについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 大項目ごとの法律・条例、制度や仕組みの名称が示されている数。 <table border="1"> <tr> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td>44</td> <td>45</td> <td>7</td> <td>97</td> </tr> </table>	現代社会	経済	政治	国際社会	合計	1	44	45	7	97	<ul style="list-style-type: none"> 大項目ごとの法律・条例、制度や仕組みの名称が示されている数。 <table border="1"> <tr> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>9</td> <td>39</td> <td>65</td> <td>1</td> <td>114</td> </tr> </table>	現代社会	経済	政治	国際社会	合計	9	39	65	1	114																
		現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																		
1	44	45	7	97																																				
現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																				
9	39	65	1	114																																				
国際理解に関する学習	国際理解に関する学習	①各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めることについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 「国旗と国歌を考えてみよう」「わが国の領土問題」「国連改革とわが国の取り組み」「日本人拉致問題」「国際平和協力活動への取り組み」が特設されている。 北方領土、竹島、尖閣諸島が扱われているページ数と資料(写真、地図、読み物、新聞)の数。 <table border="1"> <tr> <th>ページ</th> <th>写真</th> <th>地図</th> <th>年表</th> <th>新聞記事</th> </tr> <tr> <td>5</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> </table>	ページ	写真	地図	年表	新聞記事	5	2	3	1	0	<ul style="list-style-type: none"> 「拉致問題と私たち」「日本の領土をめぐる問題」が特設されている。 北方領土、竹島、尖閣諸島が扱われているページ数と資料(写真、地図、読み物、新聞)の数。 <table border="1"> <tr> <th>ページ</th> <th>写真</th> <th>地図</th> <th>年表</th> <th>新聞記事</th> </tr> <tr> <td>4.5</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>0</td> </tr> </table>	ページ	写真	地図	年表	新聞記事	4.5	5	3	3	0																
		ページ	写真	地図	年表	新聞記事																																		
5	2	3	1	0																																				
ページ	写真	地図	年表	新聞記事																																				
4.5	5	3	3	0																																				
現代の社会的事象に関する関心	現代の社会的事象に関する関心	①現代の社会的事象について関心を高めることについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 中学生と社会との関わりを示す項目別資料数。 <table border="1"> <tr> <th>写真</th> <th>新聞記事</th> <th>コラム</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> </table>	写真	新聞記事	コラム	合計	1	0	1	2	<ul style="list-style-type: none"> 中学生と社会との関わりを示す項目別資料数。 <table border="1"> <tr> <th>写真</th> <th>新聞記事</th> <th>コラム</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>6</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>7</td> </tr> </table>	写真	新聞記事	コラム	合計	6	0	1	7																				
写真	新聞記事	コラム	合計																																					
1	0	1	2																																					
写真	新聞記事	コラム	合計																																					
6	0	1	7																																					

1 学習指導要領に示された目標

【数学科の目標】

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数理化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- (2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

【各学年の目標】

	第1学年	第2学年	第3学年
知識及び技能	(1) 正の数と負の数、文字を用いた式と一元一次方程式、平面図形と空間図形、比例と反比例、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数理的に捉えたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	(1) 文字を用いた式と連立二元一次方程式、平面図形と数学的な推論、一次関数、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	(1) 数の平方根、多項式と二次方程式、図形の相似、円周角と中心角の関係、三平方の定理、関数 $y = ax^2$ 、標本調査などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
思考力、判断力、表現力等	(2) 数の範囲を拡張し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素や構成の仕方に着目し図形の性質や関係を直観的に捉え論理的に考察する力、数量の変化や対応に着目して関数関係を見いだし、その特徴を表、式、グラフなどで考察する力、データの分布に着目し、その傾向を読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う。	(2) 文字を用いて数量の関係や法則などを考察する力、数学的な推論の過程に着目し、図形の性質や関係を論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、複数の集団のデータの分布に着目し、その傾向を比較して読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う。	(2) 数の範囲に着目し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、標本と母集団の関係に着目し母集団の傾向を推定し判断したり、調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を養う。
学びに向かう力、人間性等	(3) 数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って検討しようとする態度、多面的に捉え考えようとする態度を養う。	(3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとする態度を養う。	(3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとする態度を養う。

2 教科独自の調査研究の観点

(1) データの活用	① データの特徴や傾向をつかみ、見いだしたことを表現したり、身の回りの事象について表やグラフを用いて考察したりできることについて、どのように示されているか。
(2) 数学的活動	① 事象を数理的に捉え、数学の問題を見だし、問題を自立的、協働的に解決する過程について、どのように示されているか。
(3) 小学校との接続	① 生徒の学習を確実なものにするため、小学校算数の学び直しについて、どのように示されているか。

【 数 学 】

観 点		発行者	2 東 書	4 大日本																																																												
教科 共通	単元・ 題材の 構成及 び内容 の取扱 い	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。	・領域別のページ数及び割合は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>割合(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数と式</td> <td>102</td> <td>48</td> <td>84</td> <td>37.0</td> </tr> <tr> <td>図形</td> <td>68</td> <td>64</td> <td>82</td> <td>33.9</td> </tr> <tr> <td>関数</td> <td>40</td> <td>38</td> <td>34</td> <td>17.7</td> </tr> <tr> <td>データの活用</td> <td>24</td> <td>34</td> <td>14</td> <td>11.4</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>234</td> <td>184</td> <td>214</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table>		1年	2年	3年	割合(%)	数と式	102	48	84	37.0	図形	68	64	82	33.9	関数	40	38	34	17.7	データの活用	24	34	14	11.4	合計	234	184	214	100.0	・領域別のページ数及び割合は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>割合(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数と式</td> <td>112</td> <td>54</td> <td>90</td> <td>38.6</td> </tr> <tr> <td>図形</td> <td>74</td> <td>70</td> <td>82</td> <td>34.0</td> </tr> <tr> <td>関数</td> <td>40</td> <td>32</td> <td>34</td> <td>16.0</td> </tr> <tr> <td>データの活用</td> <td>26</td> <td>32</td> <td>18</td> <td>11.4</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>252</td> <td>188</td> <td>224</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table>		1年	2年	3年	割合(%)	数と式	112	54	90	38.6	図形	74	70	82	34.0	関数	40	32	34	16.0	データの活用	26	32	18	11.4	合計	252	188	224	100.0
			1年	2年	3年	割合(%)																																																										
		数と式	102	48	84	37.0																																																										
		図形	68	64	82	33.9																																																										
関数	40	38	34	17.7																																																												
データの活用	24	34	14	11.4																																																												
合計	234	184	214	100.0																																																												
	1年	2年	3年	割合(%)																																																												
数と式	112	54	90	38.6																																																												
図形	74	70	82	34.0																																																												
関数	40	32	34	16.0																																																												
データの活用	26	32	18	11.4																																																												
合計	252	188	224	100.0																																																												
②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。	・各学年の単元末の問題数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>72</td> <td>72</td> <td>80</td> <td>224</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	合計	72	72	80	224	・各学年の単元末の問題数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>67</td> <td>66</td> <td>77</td> <td>210</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	合計	67	66	77	210																																														
1年	2年	3年	合計																																																													
72	72	80	224																																																													
1年	2年	3年	合計																																																													
67	66	77	210																																																													
③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。	・太字で示した重要語句の数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>121</td> <td>46</td> <td>33</td> <td>200</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	合計	121	46	33	200	・太字で示した重要語句の数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>156</td> <td>63</td> <td>39</td> <td>258</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	合計	156	63	39	258																																														
1年	2年	3年	合計																																																													
121	46	33	200																																																													
1年	2年	3年	合計																																																													
156	63	39	258																																																													
④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。	・重要語句は黒太字、公式や定理は黒太字枠囲みで示している。 ・各学年で数学的な表現を用いて求め方を説明する場面を位置付けている問題数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>42</td> <td>23</td> <td>29</td> <td>94</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	合計	42	23	29	94	・重要語句は黒太字、公式や定理は黒太字枠囲みで示している。 ・各学年で数学的な表現を用いて求め方を説明する場面を位置付けている問題数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>75</td> <td>60</td> <td>44</td> <td>179</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	合計	75	60	44	179																																														
1年	2年	3年	合計																																																													
42	23	29	94																																																													
1年	2年	3年	合計																																																													
75	60	44	179																																																													
資料等	①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	・巻頭に「この本の使い方」「大切にしたい数学の学び方」「ノートの作り方」を例示している。 ・単元末にA・B 2段階の問題、巻末に「補充問題」を設定している。 ・二次元コードからアクセスできる数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>25</td> <td>16</td> <td>11</td> <td>52</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	合計	25	16	11	52	・巻頭に、「この教科書の使い方」「数学の学習の流れ」「ノートの作り方」を例示している。 ・単元末に2段階の問題、巻末に、「補充問題」「まとめ」を設定している。 ・二次元コードからアクセスできる数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>19</td> <td>11</td> <td>20</td> <td>50</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	合計	19	11	20	50																																													
	1年	2年	3年	合計																																																												
25	16	11	52																																																													
1年	2年	3年	合計																																																													
19	11	20	50																																																													
挿絵・ 図表・ 統計等	①挿絵・図表・統計等ほどのように示されているか。	・各学年で学習を補助する写真や挿絵を掲載しているページ数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>197</td> <td>136</td> <td>169</td> <td>502</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	合計	197	136	169	502	・各学年で学習を補助する写真や挿絵を掲載しているページ数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>173</td> <td>141</td> <td>162</td> <td>476</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	合計	173	141	162	476																																													
1年	2年	3年	合計																																																													
197	136	169	502																																																													
1年	2年	3年	合計																																																													
173	141	162	476																																																													
教科 独自	データの活用	①データの特徴や傾向をつかみ、見いだしたことを表現したり、身の回りの事象について表やグラフを用いて考察したりできることについて、どのように示されているか。	・絵や図、表、グラフを用いて、データの収集やデータの傾向や特徴を読み取り、判断する学年別の問題数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9</td> <td>11</td> <td>7</td> <td>27</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	合計	9	11	7	27	・絵や図、表、グラフを用いて、データの収集やデータの傾向や特徴を読み取り、判断する学年別の問題数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12</td> <td>17</td> <td>6</td> <td>35</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	合計	12	17	6	35																																												
	1年	2年	3年	合計																																																												
9	11	7	27																																																													
1年	2年	3年	合計																																																													
12	17	6	35																																																													
数学的 活動	①事象を数理的に捉え、数学の問題を見だし、問題を自立的、協働的に解決する過程について、どのように示されているか。	・各学年の数学的活動の種類ごとの問題数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日常の事象や社会の事象から問題を見だし解決する活動</td> <td>28</td> <td>10</td> <td>4</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>数学の事象から問題を見だし解決する活動</td> <td>105</td> <td>58</td> <td>90</td> <td>253</td> </tr> </tbody> </table>		1年	2年	3年	計	日常の事象や社会の事象から問題を見だし解決する活動	28	10	4	42	数学の事象から問題を見だし解決する活動	105	58	90	253	・各学年の数学的活動の種類ごとの問題数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日常の事象や社会の事象から問題を見だし解決する活動</td> <td>15</td> <td>8</td> <td>4</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>数学の事象から問題を見だし解決する活動</td> <td>113</td> <td>67</td> <td>85</td> <td>265</td> </tr> </tbody> </table>		1年	2年	3年	計	日常の事象や社会の事象から問題を見だし解決する活動	15	8	4	27	数学の事象から問題を見だし解決する活動	113	67	85	265																															
	1年	2年	3年	計																																																												
日常の事象や社会の事象から問題を見だし解決する活動	28	10	4	42																																																												
数学の事象から問題を見だし解決する活動	105	58	90	253																																																												
	1年	2年	3年	計																																																												
日常の事象や社会の事象から問題を見だし解決する活動	15	8	4	27																																																												
数学の事象から問題を見だし解決する活動	113	67	85	265																																																												
小学校との 接続	①生徒の学習を確実なものにするため、小学校算数の学び直しについて、どのように示されているか。	・第1学年の教科書にある、小学校算数の復習ページ数は2。巻末のP305～306で扱っている。 ・約分や通分について朱書きで説明、割合や速さの公式を黒太字で示している。	・第1学年の教科書にある、小学校算数の復習ページ数は6。巻末のP280～285で扱っている。 ・分数の計算や計算の決まりについての考え方を示している。 ・重要語句を朱書き、割合や速さの公式を黒太字で示している。 ・小学校のどの学年で学習したのかを明記している。																																																													

【 数 学 】

観 点		発行者	1 1 学 区	1 7 教 出																																																																																																												
教 科 共 通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	<p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。</p> <p>④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。</p>	<p>・領域別のページ数及び割合は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>割合(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数と式</td> <td>117</td> <td>59</td> <td>89</td> <td>38.5</td> </tr> <tr> <td>図形</td> <td>66</td> <td>70</td> <td>91</td> <td>32.9</td> </tr> <tr> <td>関数</td> <td>38</td> <td>38</td> <td>37</td> <td>16.4</td> </tr> <tr> <td>データの活用</td> <td>30</td> <td>36</td> <td>18</td> <td>12.2</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>251</td> <td>203</td> <td>235</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>・総単元数は22。 ・第3学年 二次方程式は、「二次方程式とその解」「因数分解による解き方」「平方根の考えを用いた解き方」「二次方程式の解の公式を用いた解き方」の順になっている。</p> <p>・各学年の単元末の問題数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>62</td> <td>63</td> <td>80</td> <td>205</td> </tr> </tbody> </table> <p>・太字で示した重要語句の数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>131</td> <td>54</td> <td>44</td> <td>229</td> </tr> </tbody> </table> <p>・重要語句は黒太字、公式や定理は黒太字枠囲みで示している。</p> <p>・各学年で数学的な表現を用いて求め方を説明する場面を位置付けている問題数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>36</td> <td>42</td> <td>41</td> <td>119</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「学習目標」を黒色の枠囲み、「どんなことが分かったのかな」等の吹き出しで、振り返りの例を四角囲みで示している。 ・その場面で必要な数学的な見方・考え方を枠囲みで示している。</p>		1年	2年	3年	割合(%)	数と式	117	59	89	38.5	図形	66	70	91	32.9	関数	38	38	37	16.4	データの活用	30	36	18	12.2	合計	251	203	235	100.0	1年	2年	3年	合計	62	63	80	205	1年	2年	3年	合計	131	54	44	229	1年	2年	3年	合計	36	42	41	119	<p>・領域別のページ数及び割合は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>割合(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数と式</td> <td>118</td> <td>54</td> <td>90</td> <td>38.4</td> </tr> <tr> <td>図形</td> <td>72</td> <td>80</td> <td>86</td> <td>34.8</td> </tr> <tr> <td>関数</td> <td>36</td> <td>34</td> <td>32</td> <td>14.9</td> </tr> <tr> <td>データの活用</td> <td>26</td> <td>38</td> <td>17</td> <td>11.9</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>252</td> <td>206</td> <td>225</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>・総単元数は23。 ・第3学年 二次方程式は、「二次方程式とその解」「因数分解による解き方」「平方根の考えを用いた解き方」「二次方程式の解の公式を用いた解き方」の順になっている。</p> <p>・各学年の単元末の問題数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>65</td> <td>49</td> <td>63</td> <td>177</td> </tr> </tbody> </table> <p>・太字で示した重要語句の数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>135</td> <td>55</td> <td>29</td> <td>219</td> </tr> </tbody> </table> <p>・重要語句は黒太字、公式や定理は黒太字枠囲みで示している。</p> <p>・各学年で数学的な表現を用いて求め方を説明する場面を位置付けている問題数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>61</td> <td>63</td> <td>43</td> <td>167</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「めあて」を学習項目の横に、「問題」をQの見出しで、四角囲みで示している。 ・解決の手立てとなる「ヒント」を黄色色の枠囲みで示している。</p>		1年	2年	3年	割合(%)	数と式	118	54	90	38.4	図形	72	80	86	34.8	関数	36	34	32	14.9	データの活用	26	38	17	11.9	合計	252	206	225	100.0	1年	2年	3年	合計	65	49	63	177	1年	2年	3年	合計	135	55	29	219	1年	2年	3年	合計	61	63	43	167
				1年	2年	3年	割合(%)																																																																																																									
			数と式	117	59	89	38.5																																																																																																									
			図形	66	70	91	32.9																																																																																																									
関数	38	38	37	16.4																																																																																																												
データの活用	30	36	18	12.2																																																																																																												
合計	251	203	235	100.0																																																																																																												
1年	2年	3年	合計																																																																																																													
62	63	80	205																																																																																																													
1年	2年	3年	合計																																																																																																													
131	54	44	229																																																																																																													
1年	2年	3年	合計																																																																																																													
36	42	41	119																																																																																																													
	1年	2年	3年	割合(%)																																																																																																												
数と式	118	54	90	38.4																																																																																																												
図形	72	80	86	34.8																																																																																																												
関数	36	34	32	14.9																																																																																																												
データの活用	26	38	17	11.9																																																																																																												
合計	252	206	225	100.0																																																																																																												
1年	2年	3年	合計																																																																																																													
65	49	63	177																																																																																																													
1年	2年	3年	合計																																																																																																													
135	55	29	219																																																																																																													
1年	2年	3年	合計																																																																																																													
61	63	43	167																																																																																																													
資料等	①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	<p>・巻頭に、「学び方」「ノートの使い方」を例示している。 ・単元末に「基本・応用・活用問題」、巻末に「補充問題」を設定している。</p> <p>・二次元コードからアクセスできる数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>14</td> <td>10</td> <td>17</td> <td>41</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	合計	14	10	17	41	<p>・巻頭に、「教科書の使い方」「学習するにあたって」「数学的な考え方」を例示している。 ・単元末に「学習のまとめ」、巻末に「補充問題」を設定している。 ・二次元コードからアクセスできる数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>13</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>27</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	合計	13	7	7	27																																																																																													
		1年	2年	3年	合計																																																																																																											
14	10	17	41																																																																																																													
1年	2年	3年	合計																																																																																																													
13	7	7	27																																																																																																													
挿絵・図表・統計等	①挿絵・図表・統計等がどのように示されているか。	<p>・各学年で学習を補助する写真や挿絵を掲載しているページ数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>205</td> <td>193</td> <td>182</td> <td>580</td> </tr> </tbody> </table> <p>・各学年で図、表、グラフ、数直線等を掲載しているページ数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>149</td> <td>166</td> <td>170</td> <td>485</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	合計	205	193	182	580	1年	2年	3年	合計	149	166	170	485	<p>・各学年で学習を補助する写真や挿絵を掲載しているページ数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>210</td> <td>168</td> <td>167</td> <td>545</td> </tr> </tbody> </table> <p>・各学年で図、表、グラフ、数直線等を掲載しているページ数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>149</td> <td>120</td> <td>135</td> <td>404</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	合計	210	168	167	545	1年	2年	3年	合計	149	120	135	404																																																																													
		1年	2年	3年	合計																																																																																																											
205	193	182	580																																																																																																													
1年	2年	3年	合計																																																																																																													
149	166	170	485																																																																																																													
1年	2年	3年	合計																																																																																																													
210	168	167	545																																																																																																													
1年	2年	3年	合計																																																																																																													
149	120	135	404																																																																																																													
データの活用	①データの特徴や傾向をつかみ、見いだしたことを表現したり、身の回りの事象について表やグラフを用いて考察したりできることについて、どのように示されているか。	<p>・絵や図、表、グラフを用いて、データの収集やデータの傾向や特徴を読み取り、判断する学年別の問題数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8</td> <td>15</td> <td>4</td> <td>27</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	合計	8	15	4	27	<p>・絵や図、表、グラフを用いて、データの収集やデータの傾向や特徴を読み取り、判断する学年別の問題数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>21</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	合計	6	10	5	21																																																																																													
		1年	2年	3年	合計																																																																																																											
8	15	4	27																																																																																																													
1年	2年	3年	合計																																																																																																													
6	10	5	21																																																																																																													
教科独自	①事象を数理的に捉え、数学の問題を見だし、問題を自立的、協働的に解決する過程について、どのように示されているか。	<p>・各学年の数学的活動の種類ごとの問題数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日常の事象や社会の事象から問題を見だし解決する活動</td> <td>27</td> <td>14</td> <td>6</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>数学の事象から問題を見だし解決する活動</td> <td>96</td> <td>63</td> <td>100</td> <td>259</td> </tr> </tbody> </table>		1年	2年	3年	計	日常の事象や社会の事象から問題を見だし解決する活動	27	14	6	47	数学の事象から問題を見だし解決する活動	96	63	100	259	<p>・各学年の数学的活動の種類ごとの問題数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日常の事象や社会の事象から問題を見だし解決する活動</td> <td>17</td> <td>13</td> <td>5</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>数学の事象から問題を見だし解決する活動</td> <td>93</td> <td>51</td> <td>86</td> <td>230</td> </tr> </tbody> </table>		1年	2年	3年	計	日常の事象や社会の事象から問題を見だし解決する活動	17	13	5	35	数学の事象から問題を見だし解決する活動	93	51	86	230																																																																															
			1年	2年	3年	計																																																																																																										
日常の事象や社会の事象から問題を見だし解決する活動	27	14	6	47																																																																																																												
数学の事象から問題を見だし解決する活動	96	63	100	259																																																																																																												
	1年	2年	3年	計																																																																																																												
日常の事象や社会の事象から問題を見だし解決する活動	17	13	5	35																																																																																																												
数学の事象から問題を見だし解決する活動	93	51	86	230																																																																																																												
小学校との接続	①生徒の学習を確実なものにするため、小学校算数の学び直しについて、どのように示されているか。	<p>・第1学年の教科書にある、小学校算数の復習ページ数は1。巻末のP282で扱っている。 ・内容はすべて計算問題。 ・約分や通分について説明している。</p>	<p>・第1学年の教科書にある、小学校算数の復習ページ数は9。巻末のP266～274で扱っている。 ・小学校算数の学習内容と中学校第1学年の数学の学習内容との関連性を図で示している。 ・分数の計算や小数のかけ算・わり算についての考え方を朱書きで示している。 ・重要語句を黒太字で示している。 ・小学校のどの学年で学習したのかを明記している。</p>																																																																																																													

【 数 学 】

観点		発行者	61 啓林館	104 数研																																																												
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。	・領域別のページ数及び割合は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>割合(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数と式</td> <td>102</td> <td>48</td> <td>80</td> <td>37.6</td> </tr> <tr> <td>図形</td> <td>68</td> <td>64</td> <td>82</td> <td>35.0</td> </tr> <tr> <td>関数</td> <td>34</td> <td>36</td> <td>30</td> <td>16.3</td> </tr> <tr> <td>データの活用</td> <td>26</td> <td>26</td> <td>16</td> <td>11.1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>230</td> <td>174</td> <td>208</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table>		1年	2年	3年	割合(%)	数と式	102	48	80	37.6	図形	68	64	82	35.0	関数	34	36	30	16.3	データの活用	26	26	16	11.1	合計	230	174	208	100.0	・領域別のページ数及び割合は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>割合(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数と式</td> <td>108</td> <td>54</td> <td>82</td> <td>38.1</td> </tr> <tr> <td>図形</td> <td>72</td> <td>66</td> <td>88</td> <td>35.3</td> </tr> <tr> <td>関数</td> <td>34</td> <td>36</td> <td>32</td> <td>16.0</td> </tr> <tr> <td>データの活用</td> <td>24</td> <td>28</td> <td>16</td> <td>10.6</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>238</td> <td>184</td> <td>218</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table>		1年	2年	3年	割合(%)	数と式	108	54	82	38.1	図形	72	66	88	35.3	関数	34	36	32	16.0	データの活用	24	28	16	10.6	合計	238	184	218	100.0
			1年	2年	3年	割合(%)																																																										
		数と式	102	48	80	37.6																																																										
		図形	68	64	82	35.0																																																										
関数	34	36	30	16.3																																																												
データの活用	26	26	16	11.1																																																												
合計	230	174	208	100.0																																																												
	1年	2年	3年	割合(%)																																																												
数と式	108	54	82	38.1																																																												
図形	72	66	88	35.3																																																												
関数	34	36	32	16.0																																																												
データの活用	24	28	16	10.6																																																												
合計	238	184	218	100.0																																																												
②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。	・総単元数は22。 ・第3学年 二次方程式は、「二次方程式とその解」「平方根の考えを用いた解き方」「二次方程式の解の公式を用いた解き方」「因数分解による解き方」の順になっている。 ・各学年の単元末の問題数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>106</td> <td>94</td> <td>129</td> <td>329</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	合計	106	94	129	329	・総単元数は22。 ・第3学年 二次方程式は、「二次方程式とその解」「因数分解による解き方」「平方根の考えを用いた解き方」「二次方程式の解の公式を用いた解き方」の順になっている。 ・各学年の単元末の問題数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>48</td> <td>53</td> <td>69</td> <td>170</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	合計	48	53	69	170																																														
1年	2年	3年	合計																																																													
106	94	129	329																																																													
1年	2年	3年	合計																																																													
48	53	69	170																																																													
③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。	・太字で示した重要語句の数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>135</td> <td>51</td> <td>27</td> <td>213</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	合計	135	51	27	213	・太字で示した重要語句の数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>170</td> <td>73</td> <td>47</td> <td>290</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	合計	170	73	47	290																																														
1年	2年	3年	合計																																																													
135	51	27	213																																																													
1年	2年	3年	合計																																																													
170	73	47	290																																																													
④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。	・重要語句は黒太字、公式や定理は枠囲みで示している。 ・各学年で数学的な表現を用いて求め方を説明する場面を位置付けている問題数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>44</td> <td>45</td> <td>28</td> <td>117</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	合計	44	45	28	117	・重要語句は黒太字、公式や定理は青枠囲みで示している。 ・各学年で数学的な表現を用いて求め方を説明する場面を位置付けている問題数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>16</td> <td>25</td> <td>28</td> <td>69</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	合計	16	25	28	69																																														
1年	2年	3年	合計																																																													
44	45	28	117																																																													
1年	2年	3年	合計																																																													
16	25	28	69																																																													
資料等	①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	・巻頭に、「教科書の使い方」「ノートのとり方」を例示している。 ・単元末に「学びをたしかめよう」「学びを身につけよう」の2段階の問題、巻末に「補充問題」「学びのあしあと」を設定している。 ・二次元コードからアクセスできる数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>49</td> <td>39</td> <td>54</td> <td>142</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	合計	49	39	54	142	・巻頭に、「教科書について」「学習の進め方」「ノートのつくり方」を例示している。 ・単元末にA・B2段階の問題、巻末に「補充問題」「まとめ」「学びの自己評価」を設定している。 ・二次元コードからアクセスできる数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>63</td> <td>50</td> <td>51</td> <td>164</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	合計	63	50	51	164																																													
		1年	2年	3年	合計																																																											
		49	39	54	142																																																											
1年	2年	3年	合計																																																													
63	50	51	164																																																													
挿絵・図表・統計等	①挿絵・図表・統計等ほどのように示されているか。	・各学年で学習を補助する写真や挿絵を掲載しているページ数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>174</td> <td>119</td> <td>117</td> <td>410</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	合計	174	119	117	410	・各学年で学習を補助する写真や挿絵を掲載しているページ数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>219</td> <td>164</td> <td>183</td> <td>566</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	合計	219	164	183	566																																													
		1年	2年	3年	合計																																																											
174	119	117	410																																																													
1年	2年	3年	合計																																																													
219	164	183	566																																																													
・各学年で図、表、グラフ、数直線等を掲載しているページ数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>147</td> <td>119</td> <td>130</td> <td>396</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	合計	147	119	130	396	・各学年で図、表、グラフ、数直線等を掲載しているページ数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>157</td> <td>129</td> <td>140</td> <td>426</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	合計	157	129	140	426																																															
1年	2年	3年	合計																																																													
147	119	130	396																																																													
1年	2年	3年	合計																																																													
157	129	140	426																																																													
教科独自	データの活用	①データの特徴や傾向をつかみ、見いだしたことを表現したり、身の回りの事象について表やグラフを用いて考察したりできることについて、どのように示されているか。	・絵や図、表、グラフを用いて、データの収集やデータの傾向や特徴を読み取り、判断する学年別の問題数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8</td> <td>13</td> <td>4</td> <td>25</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	合計	8	13	4	25	・絵や図、表、グラフを用いて、データの収集やデータの傾向や特徴を読み取り、判断する学年別の問題数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11</td> <td>17</td> <td>7</td> <td>35</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	合計	11	17	7	35																																												
		1年	2年	3年	合計																																																											
		8	13	4	25																																																											
1年	2年	3年	合計																																																													
11	17	7	35																																																													
数学的活動	①事象を数理的に捉え、数学の問題を見だし、問題を自立的、協働的に解決する過程について、どのように示されているか。	・各学年の数学的活動の種類ごとの問題数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日常の事象や社会の事象から問題を見だし解決する活動</td> <td>26</td> <td>12</td> <td>5</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>数学の事象から問題を見だし解決する活動</td> <td>121</td> <td>70</td> <td>101</td> <td>292</td> </tr> </tbody> </table>		1年	2年	3年	計	日常の事象や社会の事象から問題を見だし解決する活動	26	12	5	43	数学の事象から問題を見だし解決する活動	121	70	101	292	・各学年の数学的活動の種類ごとの問題数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日常の事象や社会の事象から問題を見だし解決する活動</td> <td>28</td> <td>9</td> <td>7</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>数学の事象から問題を見だし解決する活動</td> <td>117</td> <td>79</td> <td>135</td> <td>331</td> </tr> </tbody> </table>		1年	2年	3年	計	日常の事象や社会の事象から問題を見だし解決する活動	28	9	7	44	数学の事象から問題を見だし解決する活動	117	79	135	331																															
			1年	2年	3年	計																																																										
日常の事象や社会の事象から問題を見だし解決する活動	26	12	5	43																																																												
数学の事象から問題を見だし解決する活動	121	70	101	292																																																												
	1年	2年	3年	計																																																												
日常の事象や社会の事象から問題を見だし解決する活動	28	9	7	44																																																												
数学の事象から問題を見だし解決する活動	117	79	135	331																																																												
小学校との接続	①生徒の学習を確実なものにするため、小学校算数の学び直しについて、どのように示されているか。	・第1学年の教科書にある、小学校算数の復習ページ数は6。巻末冊子のP7～12で扱っている。 ・「速さ・道のり・時間」「割合」「小数・分数」の学習内容を振り返りができるように、関連する公式や考え方を示している。	・第1学年の教科書にある、小学校算数の復習ページ数は8。巻末のP284～291で扱っている。 ・中学校1年の数学の学習内容を、小学校の算数の学習内容と合わせて振り返りができるように上下に分かれて示している。 ・重要語句を黒太字で示している。																																																													

【 数 学 】

観点		発行者	116 日 文																																																									
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	<p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。</p> <p>④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。</p>	<p>・領域別のページ数及び割合は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>割合(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数と式</td> <td>110</td> <td>50</td> <td>78</td> <td>37.8</td> </tr> <tr> <td>図形</td> <td>60</td> <td>66</td> <td>76</td> <td>32.1</td> </tr> <tr> <td>関数</td> <td>40</td> <td>36</td> <td>34</td> <td>17.4</td> </tr> <tr> <td>データの活用</td> <td>34</td> <td>30</td> <td>16</td> <td>12.7</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>244</td> <td>182</td> <td>204</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>・総単元数は21。 ・第3学年 二次方程式は、「二次方程式とその解」「因数分解による解き方」「平方根の考えを用いた解き方」「二次方程式の解の公式を用いた解き方」の順になっている。</p> <p>・各学年の単元末の問題数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>62</td> <td>50</td> <td>66</td> <td>178</td> </tr> </tbody> </table> <p>・太字で示した重要語句の数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>128</td> <td>49</td> <td>32</td> <td>209</td> </tr> </tbody> </table> <p>・重要語句は黒太字、公式や定理は黒太字枠囲みで示している。</p> <p>・各学年で数学的な表現を用いて求め方を説明する場面を位置付けている問題数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>52</td> <td>44</td> <td>39</td> <td>135</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「めあて」を朱書き、その場面で必要な数学的な見方・考え方を示している。 ・設問ごとに「見通しをもとう」「考えよう」「話し合おう」等の具体的な学習活動を示している。</p>					1年	2年	3年	割合(%)	数と式	110	50	78	37.8	図形	60	66	76	32.1	関数	40	36	34	17.4	データの活用	34	30	16	12.7	合計	244	182	204	100.0	1年	2年	3年	合計	62	50	66	178	1年	2年	3年	合計	128	49	32	209	1年	2年	3年	合計	52	44	39	135
		1年	2年	3年	割合(%)																																																							
	数と式	110	50	78	37.8																																																							
	図形	60	66	76	32.1																																																							
関数	40	36	34	17.4																																																								
データの活用	34	30	16	12.7																																																								
合計	244	182	204	100.0																																																								
1年	2年	3年	合計																																																									
62	50	66	178																																																									
1年	2年	3年	合計																																																									
128	49	32	209																																																									
1年	2年	3年	合計																																																									
52	44	39	135																																																									
資料等	<p>①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。</p>	<p>・巻頭に「この本の使い方」「学び方」「ノートの作り方」を例示している。 ・単元の始めに「レディネス問題」、単元末に2段階の問題、巻末に「補充問題」「活用問題」を設定している。 ・二次元コードからアクセスできる数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>35</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>85</td> </tr> </tbody> </table>				1年	2年	3年	合計	35	25	25	85																																															
1年	2年	3年	合計																																																									
35	25	25	85																																																									
挿絵・図表・統計等	<p>①挿絵・図表・統計等がどのように示されているか。</p>	<p>・各学年で学習を補助する写真や挿絵を掲載しているページ数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>152</td> <td>106</td> <td>109</td> <td>367</td> </tr> </tbody> </table> <p>・各学年で図、表、グラフ、数直線等を掲載しているページ数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>162</td> <td>125</td> <td>152</td> <td>439</td> </tr> </tbody> </table>				1年	2年	3年	合計	152	106	109	367	1年	2年	3年	合計	162	125	152	439																																							
1年	2年	3年	合計																																																									
152	106	109	367																																																									
1年	2年	3年	合計																																																									
162	125	152	439																																																									
データの活用	<p>①データの特徴や傾向をつかみ、見いだしたことを表現したり、身の回りの事象について表やグラフを用いて考察したりできることについて、どのように示されているか。</p>	<p>・絵や図、表、グラフを用いて、データの収集やデータの傾向や特徴を読み取り、判断する学年別の問題数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12</td> <td>15</td> <td>8</td> <td>35</td> </tr> </tbody> </table>				1年	2年	3年	合計	12	15	8	35																																															
1年	2年	3年	合計																																																									
12	15	8	35																																																									
数学的活動	<p>①事象を数理的に捉え、数学の問題を見だし、問題を自立的、協働的に解決する過程について、どのように示されているか。</p>	<p>・各学年の数学的活動の種類ごとの問題数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日常の事象や社会の事象から問題を見だし解決する活動</td> <td>28</td> <td>14</td> <td>8</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>数学の事象から問題を見だし解決する活動</td> <td>113</td> <td>81</td> <td>127</td> <td>321</td> </tr> </tbody> </table>					1年	2年	3年	計	日常の事象や社会の事象から問題を見だし解決する活動	28	14	8	50	数学の事象から問題を見だし解決する活動	113	81	127	321																																								
	1年	2年	3年	計																																																								
日常の事象や社会の事象から問題を見だし解決する活動	28	14	8	50																																																								
数学の事象から問題を見だし解決する活動	113	81	127	321																																																								
小学校との接続	<p>①生徒の学習を確実なものにするため、小学校算数の学び直しについて、どのように示されているか。</p>	<p>・第1学年の教科書にある、小学校算数の復習ページ数は5。巻末のP274～278で扱っている。 ・分数の計算、図形の面積や立体の体積等の計算問題。例題で解答まで示し、その後に類題問題を解き、復習できるように示している。</p>																																																										

1 学習指導要領に示された目標

【理科の目標】

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- (3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

【各分野の目標】

	第1分野	第2分野
知識及び技能	(1) 物質やエネルギーに関する事物・現象についての観察、実験などを行い、身近な物理現象、電流とその利用、運動とエネルギー、身の回りの物質、化学変化と原子・分子、化学変化とイオンなどについて理解するとともに、科学技術の発展と人間生活との関わりについて認識を深めるようにする。また、それらを科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	(1) 生命や地球に関する事物・現象についての観察、実験などを行い、生物の体のつくりと働き、生命の連続性、大地の成り立ちと変化、気象とその変化、地球と宇宙などについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
思考力、判断力、表現力等	(2) 物質やエネルギーに関する事物・現象に関わり、それらの中に問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し表現するなど、科学的に探究する活動を通して、規則性を見いだしたり課題を解決したりする力を養う。	(2) 生命や地球に関する事物・現象に関わり、それらの中に問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し表現するなど、科学的に探究する活動を通して、多様性に気付くとともに規則性を見いだしたり課題を解決したりする力を養う。
学びに向かう力、人間性等	(3) 物質やエネルギーに関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。	(3) 生命や地球に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。

2 教科独自の調査研究の観点

(1) 生物の分類の仕方の取扱い	①いろいろな生物を比較して見いだした共通点や相違点を相互に関係付けて分類できることを見いださせる学習活動がどのように示されているか。
(2) 自然災害の取扱い	①第2分野において、自然の恵みと火山・地震・気象災害及び地域の災害との関連について、どのように示されているか。
(3) 学習過程の提示	①問題を見だし、解決する方法を立案し、その結果を分析・解釈し、探究の過程を振り返る学習活動がどのように示されているか。

【 理 科 】

観点		発行者	2 東 書	4 大日本																																																												
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。	<p>・内容別のページ数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1分野 (物質) (エネルギー)</td> <td>70</td> <td>76</td> <td>66</td> <td>212</td> </tr> <tr> <td></td> <td>52</td> <td>64</td> <td>62</td> <td>178</td> </tr> <tr> <td>第2分野 (生命) (地球)</td> <td>62</td> <td>82</td> <td>56</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td></td> <td>56</td> <td>64</td> <td>60</td> <td>180</td> </tr> <tr> <td>(科学技術と人間・自然と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>63</td> <td>63</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	1年	2年	3年	合計	第1分野 (物質) (エネルギー)	70	76	66	212		52	64	62	178	第2分野 (生命) (地球)	62	82	56	200		56	64	60	180	(科学技術と人間・自然と人間)	—	—	63	63	<p>・内容別のページ数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1分野 (物質) (エネルギー)</td> <td>64</td> <td>74</td> <td>60</td> <td>198</td> </tr> <tr> <td></td> <td>58</td> <td>74</td> <td>78</td> <td>210</td> </tr> <tr> <td>第2分野 (生命) (地球)</td> <td>64</td> <td>76</td> <td>52</td> <td>192</td> </tr> <tr> <td></td> <td>74</td> <td>66</td> <td>60</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>(科学技術と人間・自然と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>78</td> <td>78</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	1年	2年	3年	合計	第1分野 (物質) (エネルギー)	64	74	60	198		58	74	78	210	第2分野 (生命) (地球)	64	76	52	192		74	66	60	200	(科学技術と人間・自然と人間)	—	—	78	78
		区 分	1年	2年	3年	合計																																																										
		第1分野 (物質) (エネルギー)	70	76	66	212																																																										
			52	64	62	178																																																										
第2分野 (生命) (地球)	62	82	56	200																																																												
	56	64	60	180																																																												
(科学技術と人間・自然と人間)	—	—	63	63																																																												
区 分	1年	2年	3年	合計																																																												
第1分野 (物質) (エネルギー)	64	74	60	198																																																												
	58	74	78	210																																																												
第2分野 (生命) (地球)	64	76	52	192																																																												
	74	66	60	200																																																												
(科学技術と人間・自然と人間)	—	—	78	78																																																												
②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。	<p>・本文中にゴシック体等で強調された用語の数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1分野</td> <td>64</td> <td>70</td> <td>48</td> <td>182</td> </tr> <tr> <td>第2分野</td> <td>79</td> <td>94</td> <td>56</td> <td>229</td> </tr> <tr> <td>(科学技術と人間・自然と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>13</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	1年	2年	3年	合計	第1分野	64	70	48	182	第2分野	79	94	56	229	(科学技術と人間・自然と人間)	—	—	13	13	<p>・本文中にゴシック体等で強調された用語の数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1分野</td> <td>59</td> <td>61</td> <td>60</td> <td>180</td> </tr> <tr> <td>第2分野</td> <td>74</td> <td>86</td> <td>65</td> <td>225</td> </tr> <tr> <td>(科学技術と人間・自然と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>17</td> <td>17</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	1年	2年	3年	合計	第1分野	59	61	60	180	第2分野	74	86	65	225	(科学技術と人間・自然と人間)	—	—	17	17																						
区 分	1年	2年	3年	合計																																																												
第1分野	64	70	48	182																																																												
第2分野	79	94	56	229																																																												
(科学技術と人間・自然と人間)	—	—	13	13																																																												
区 分	1年	2年	3年	合計																																																												
第1分野	59	61	60	180																																																												
第2分野	74	86	65	225																																																												
(科学技術と人間・自然と人間)	—	—	17	17																																																												
③思考力、判断力、表現力等を育む学習(言語活動等)が促されるよう、どのように示されているか。	<p>・理科の探究の進め方、学び方を示したページ数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	合計	6	4	3	13	<p>・理科の探究の進め方、学び方を示したページ数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	合計	4	2	2	8																																														
1年	2年	3年	合計																																																													
6	4	3	13																																																													
1年	2年	3年	合計																																																													
4	2	2	8																																																													
④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。	<p>・単元末等に既習事項を活用して課題解決を図る学習活動や自由研究を示したページ数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1分野</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>第2分野</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>(科学技術と人間・自然と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	1年	2年	3年	合計	第1分野	1	1	1	3	第2分野	3	2	1	6	(科学技術と人間・自然と人間)	—	—	0	0	<p>・単元末等に既習事項を活用して課題解決を図る学習活動や自由研究を示したページ数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1分野</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>第2分野</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>(科学技術と人間・自然と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	1年	2年	3年	合計	第1分野	5	5	5	15	第2分野	5	5	5	15	(科学技術と人間・自然と人間)	—	—	1	1																						
区 分	1年	2年	3年	合計																																																												
第1分野	1	1	1	3																																																												
第2分野	3	2	1	6																																																												
(科学技術と人間・自然と人間)	—	—	0	0																																																												
区 分	1年	2年	3年	合計																																																												
第1分野	5	5	5	15																																																												
第2分野	5	5	5	15																																																												
(科学技術と人間・自然と人間)	—	—	1	1																																																												
資料等	①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	<p>・二次元コードからアクセスできる資料等の数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>17</td> <td>24</td> <td>30</td> <td>71</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	合計	17	24	30	71	<p>・二次元コードからアクセスできる資料等の数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>55</td> <td>48</td> <td>21</td> <td>124</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	合計	55	48	21	124																																													
		1年	2年	3年	合計																																																											
17	24	30	71																																																													
1年	2年	3年	合計																																																													
55	48	21	124																																																													
挿絵・図表・統計等	①挿絵・図表・統計等などのように示されているか。	<p>・本文中の図・表の数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1分野</td> <td>127</td> <td>131</td> <td>135</td> <td>393</td> </tr> <tr> <td>第2分野</td> <td>114</td> <td>146</td> <td>144</td> <td>404</td> </tr> <tr> <td>(科学技術と人間・自然と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>85</td> <td>85</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	1年	2年	3年	合計	第1分野	127	131	135	393	第2分野	114	146	144	404	(科学技術と人間・自然と人間)	—	—	85	85	<p>・本文中の図・表の数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1分野</td> <td>100</td> <td>107</td> <td>121</td> <td>328</td> </tr> <tr> <td>第2分野</td> <td>108</td> <td>126</td> <td>105</td> <td>339</td> </tr> <tr> <td>(科学技術と人間・自然と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>62</td> <td>62</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	1年	2年	3年	合計	第1分野	100	107	121	328	第2分野	108	126	105	339	(科学技術と人間・自然と人間)	—	—	62	62																					
		区 分	1年	2年	3年	合計																																																										
第1分野	127	131	135	393																																																												
第2分野	114	146	144	404																																																												
(科学技術と人間・自然と人間)	—	—	85	85																																																												
区 分	1年	2年	3年	合計																																																												
第1分野	100	107	121	328																																																												
第2分野	108	126	105	339																																																												
(科学技術と人間・自然と人間)	—	—	62	62																																																												
教科独自	生物の分類の仕方の取扱い	①いろいろな生物を比較して見いだした共通点や相違点を相互に関係付けて分類できることを見いださせる学習活動がどのように示されているか。	<p>・生物の共通点と相違点を相互に関係付けて分類できる学習活動が示されているページ数及び実習内容は、次のとおりである。</p> <p>ページ数： 4ページ 実習内容： ・野外観察をもとに生物カードを作成する。 ・生物カードに記録した様々な特徴を見比べ、共通した特徴を見つけ、グループをつくる。 ・ホワイトボードや紙に、生物名を書いた付せん紙を観点ごとに貼って分類する。</p>	<p>・生物の共通点と相違点を相互に関係付けて分類できる学習活動が示されているページ数及び実習内容は、次のとおりである。</p> <p>ページ数： 3ページ 実習内容： ・野外観察をもとに生物カードを作成する。 ・生物カードに記録した特徴などから2つの観点を考え、4グループに分ける。 ・黒板に書いた表に、2つの観点を沿って生物カードを貼って分類する。</p>																																																												
		自然災害の取扱い	①第2分野において、自然の恵みと火山・地震・気象災害及び地域の災害との関連について、どのように示されているか。	<p>・自然の恵みと自然災害に関する内容が示されているページ数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年 火山・地震災害</th> <th>2年 気象災害</th> <th>3年 地域の自然災害</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>	1年 火山・地震災害	2年 気象災害	3年 地域の自然災害	合計	5	3	4	12	<p>・自然の恵みと自然災害に関する内容が示されているページ数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年 火山・地震災害</th> <th>2年 気象災害</th> <th>3年 地域の自然災害</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>19</td> </tr> </tbody> </table>	1年 火山・地震災害	2年 気象災害	3年 地域の自然災害	合計	9	4	6	19																																											
			1年 火山・地震災害	2年 気象災害	3年 地域の自然災害	合計																																																										
5	3	4	12																																																													
1年 火山・地震災害	2年 気象災害	3年 地域の自然災害	合計																																																													
9	4	6	19																																																													
①問題を見いだし、解決する方法を立案し、その結果を分析・解釈し、探究の過程を振り返る学習活動がどのように示されているか。	<p>・問題を見いだし、観察、実験などを行い、その結果を分析・解釈し、探究の過程を振り返る学習活動の数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1分野</td> <td>13</td> <td>17</td> <td>14</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>第2分野</td> <td>12</td> <td>13</td> <td>10</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>(科学技術と人間・自然と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	1年	2年	3年	合計	第1分野	13	17	14	44	第2分野	12	13	10	35	(科学技術と人間・自然と人間)	—	—	5	5	<p>・問題を見いだし、観察、実験などを行い、その結果を分析・解釈し、探究の過程を振り返る学習活動の数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1分野</td> <td>10</td> <td>18</td> <td>13</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>第2分野</td> <td>12</td> <td>13</td> <td>8</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>(科学技術と人間・自然と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	1年	2年	3年	合計	第1分野	10	18	13	41	第2分野	12	13	8	33	(科学技術と人間・自然と人間)	—	—	1	1																						
区 分	1年	2年	3年	合計																																																												
第1分野	13	17	14	44																																																												
第2分野	12	13	10	35																																																												
(科学技術と人間・自然と人間)	—	—	5	5																																																												
区 分	1年	2年	3年	合計																																																												
第1分野	10	18	13	41																																																												
第2分野	12	13	8	33																																																												
(科学技術と人間・自然と人間)	—	—	1	1																																																												

【 理 科 】

観点		発行者	11 学 区	17 教 出																																								
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。	<p>・内容別のページ数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1分野 (物質) (エネルギー)</td> <td>64 60</td> <td>60 74</td> <td>54 64</td> <td>178 198</td> </tr> <tr> <td>第2分野 (生命) (地球)</td> <td>46 70</td> <td>70 58</td> <td>42 54</td> <td>158 182</td> </tr> <tr> <td>(科学技術と人間・自然と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>38</td> <td>38</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	1年	2年	3年	合計	第1分野 (物質) (エネルギー)	64 60	60 74	54 64	178 198	第2分野 (生命) (地球)	46 70	70 58	42 54	158 182	(科学技術と人間・自然と人間)	—	—	38	38	<p>・内容別のページ数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1分野 (物質) (エネルギー)</td> <td>74 62</td> <td>76 76</td> <td>62 76</td> <td>212 214</td> </tr> <tr> <td>第2分野 (生命) (地球)</td> <td>72 72</td> <td>74 70</td> <td>56 64</td> <td>202 206</td> </tr> <tr> <td>(科学技術と人間・自然と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>68</td> <td>68</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	1年	2年	3年	合計	第1分野 (物質) (エネルギー)	74 62	76 76	62 76	212 214	第2分野 (生命) (地球)	72 72	74 70	56 64	202 206	(科学技術と人間・自然と人間)	—	—	68	68
		区 分	1年	2年	3年	合計																																						
		第1分野 (物質) (エネルギー)	64 60	60 74	54 64	178 198																																						
		第2分野 (生命) (地球)	46 70	70 58	42 54	158 182																																						
(科学技術と人間・自然と人間)	—	—	38	38																																								
区 分	1年	2年	3年	合計																																								
第1分野 (物質) (エネルギー)	74 62	76 76	62 76	212 214																																								
第2分野 (生命) (地球)	72 72	74 70	56 64	202 206																																								
(科学技術と人間・自然と人間)	—	—	68	68																																								
②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。	<p>・本文中にゴシック体等で強調された用語の数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1分野</td> <td>68</td> <td>64</td> <td>46</td> <td>178</td> </tr> <tr> <td>第2分野</td> <td>79</td> <td>106</td> <td>60</td> <td>245</td> </tr> <tr> <td>(科学技術と人間・自然と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>9</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	1年	2年	3年	合計	第1分野	68	64	46	178	第2分野	79	106	60	245	(科学技術と人間・自然と人間)	—	—	9	9	<p>・本文中にゴシック体等で強調された用語の数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1分野</td> <td>68</td> <td>74</td> <td>60</td> <td>202</td> </tr> <tr> <td>第2分野</td> <td>95</td> <td>115</td> <td>57</td> <td>267</td> </tr> <tr> <td>(科学技術と人間・自然と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>14</td> <td>14</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	1年	2年	3年	合計	第1分野	68	74	60	202	第2分野	95	115	57	267	(科学技術と人間・自然と人間)	—	—	14	14		
区 分	1年	2年	3年	合計																																								
第1分野	68	64	46	178																																								
第2分野	79	106	60	245																																								
(科学技術と人間・自然と人間)	—	—	9	9																																								
区 分	1年	2年	3年	合計																																								
第1分野	68	74	60	202																																								
第2分野	95	115	57	267																																								
(科学技術と人間・自然と人間)	—	—	14	14																																								
③思考力、判断力、表現力等を育む学習(言語活動等)が促されるよう、どのように示されているか。	<p>・理科の探究の進め方、学び方を示したページ数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>22</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	合計	10	6	6	22	<p>・理科の探究の進め方、学び方を示したページ数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>19</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	合計	7	6	6	19																										
1年	2年	3年	合計																																									
10	6	6	22																																									
1年	2年	3年	合計																																									
7	6	6	19																																									
④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。	<p>・単元末等に既習事項を活用して課題解決を図る学習活動や自由研究を示したページ数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1分野</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>第2分野</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>(科学技術と人間・自然と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	1年	2年	3年	合計	第1分野	4	4	4	12	第2分野	4	4	4	12	(科学技術と人間・自然と人間)	—	—	2	2	<p>・単元末等に既習事項を活用して課題解決を図る学習活動や自由研究を示したページ数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1分野</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>第2分野</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>(科学技術と人間・自然と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	1年	2年	3年	合計	第1分野	1	1	1	3	第2分野	1	1	1	3	(科学技術と人間・自然と人間)	—	—	0	0		
区 分	1年	2年	3年	合計																																								
第1分野	4	4	4	12																																								
第2分野	4	4	4	12																																								
(科学技術と人間・自然と人間)	—	—	2	2																																								
区 分	1年	2年	3年	合計																																								
第1分野	1	1	1	3																																								
第2分野	1	1	1	3																																								
(科学技術と人間・自然と人間)	—	—	0	0																																								
資料等	①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	<p>・二次元コードからアクセスできる資料等の数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>37</td> <td>41</td> <td>47</td> <td>125</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	合計	37	41	47	125	<p>・二次元コードからアクセスできる資料等の数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>25</td> <td>16</td> <td>29</td> <td>70</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	合計	25	16	29	70																									
		1年	2年	3年	合計																																							
37	41	47	125																																									
1年	2年	3年	合計																																									
25	16	29	70																																									
挿絵・図表・統計等	①挿絵・図表・統計等がどのように示されているか。	<p>・本文中の図・表の数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1分野</td> <td>102</td> <td>106</td> <td>118</td> <td>326</td> </tr> <tr> <td>第2分野</td> <td>104</td> <td>122</td> <td>100</td> <td>326</td> </tr> <tr> <td>(科学技術と人間・自然と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>54</td> <td>54</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	1年	2年	3年	合計	第1分野	102	106	118	326	第2分野	104	122	100	326	(科学技術と人間・自然と人間)	—	—	54	54	<p>・本文中の図・表の数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1分野</td> <td>139</td> <td>140</td> <td>151</td> <td>430</td> </tr> <tr> <td>第2分野</td> <td>121</td> <td>133</td> <td>106</td> <td>360</td> </tr> <tr> <td>(科学技術と人間・自然と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>71</td> <td>71</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	1年	2年	3年	合計	第1分野	139	140	151	430	第2分野	121	133	106	360	(科学技術と人間・自然と人間)	—	—	71	71	
		区 分	1年	2年	3年	合計																																						
第1分野	102	106	118	326																																								
第2分野	104	122	100	326																																								
(科学技術と人間・自然と人間)	—	—	54	54																																								
区 分	1年	2年	3年	合計																																								
第1分野	139	140	151	430																																								
第2分野	121	133	106	360																																								
(科学技術と人間・自然と人間)	—	—	71	71																																								
教科独自	生物の分類の仕方の取扱い	<p>①いろいろな生物を比較して見いだした共通点や相違点を相互に関係付けて分類できることを見いださせる学習活動がどのように示されているか。</p>	<p>・生物の共通点と相違点を相互に関係付けて分類できる学習活動が示されているページ数及び実習内容は、次のとおりである。 ページ数： 3ページ 実習内容： ・身のまわりの生物を観察する。 ・分類する観点と基準について仮説を立て、観測点に沿って生物の特徴を調べる。 ・観測点を書いた一覧表に、生物名と生物の特徴を書いて分類する。</p>	<p>・生物の共通点と相違点を相互に関係付けて分類できる学習活動が示されているページ数及び実習内容は、次のとおりである。 ページ数： 7ページ 実習内容： ・作成した野外観察カードや教科書の付録の生物カードから複数の生物を選ぶ。 ・分類の観点と基準を考え、当てはまる生物を選ぶ。 ・分類の観点と基準を書いた記録用紙に、生物名を書いて分類する。</p>																																								
		①第2分野において、自然の恵みと火山・地震・気象災害及び地域の災害との関連について、どのように示されているか。	<p>・自然の恵みと自然災害に関する内容が示されているページ数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年 火山・地震災害</th> <th>2年 気象災害</th> <th>3年 地域の自然災害</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table>	1年 火山・地震災害	2年 気象災害	3年 地域の自然災害	合計	4	4	3	11	<p>・自然の恵みと自然災害に関する内容が示されているページ数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年 火山・地震災害</th> <th>2年 気象災害</th> <th>3年 地域の自然災害</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9</td> <td>10</td> <td>8</td> <td>27</td> </tr> </tbody> </table>	1年 火山・地震災害	2年 気象災害	3年 地域の自然災害	合計	9	10	8	27																								
		1年 火山・地震災害	2年 気象災害	3年 地域の自然災害	合計																																							
4	4	3	11																																									
1年 火山・地震災害	2年 気象災害	3年 地域の自然災害	合計																																									
9	10	8	27																																									
①問題を見いだし、解決する方法を立案し、その結果を分析・解釈し、探究の過程を振り返る学習活動がどのように示されているか。	<p>・問題を見いだし、観察、実験などを行い、その結果を分析・解釈し、探究の過程を振り返る学習活動の数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1分野</td> <td>16</td> <td>18</td> <td>19</td> <td>53</td> </tr> <tr> <td>第2分野</td> <td>12</td> <td>15</td> <td>11</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>(科学技術と人間・自然と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	1年	2年	3年	合計	第1分野	16	18	19	53	第2分野	12	15	11	38	(科学技術と人間・自然と人間)	—	—	3	3	<p>・問題を見いだし、観察、実験などを行い、その結果を分析・解釈し、探究の過程を振り返る学習活動の数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1分野</td> <td>13</td> <td>14</td> <td>12</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>第2分野</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>7</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>(科学技術と人間・自然と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	1年	2年	3年	合計	第1分野	13	14	12	39	第2分野	10	11	7	28	(科学技術と人間・自然と人間)	—	—	2	2		
区 分	1年	2年	3年	合計																																								
第1分野	16	18	19	53																																								
第2分野	12	15	11	38																																								
(科学技術と人間・自然と人間)	—	—	3	3																																								
区 分	1年	2年	3年	合計																																								
第1分野	13	14	12	39																																								
第2分野	10	11	7	28																																								
(科学技術と人間・自然と人間)	—	—	2	2																																								

【 理 科 】

観点		発行者
		61 啓林館
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	<p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。</p> <p>④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。</p>
	資料等	<p>①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。</p>
	挿絵・図表・統計等	<p>①挿絵・図表・統計等はどのように示されているか。</p>
	生物の分類の仕方の取扱い	<p>①いろいろな生物を比較して見いだした共通点や相違点を相互に関係付けて分類できることを見いださせる学習活動がどのように示されているか。</p>
教科独自	自然災害の取扱い	<p>①第2分野において、自然の恵みと火山・地震・気象災害及び地域の災害との関連について、どのように示されているか。</p>
	学習過程の提示	<p>①問題を見いだし、解決する方法を立案し、その結果を分析・解釈し、探究の過程を振り返る学習活動がどのように示されているか。</p>

・内容別のページ数は、次のとおりである。

区 分	1年	2年	3年	合計
第1分野 (物質) (エネルギー)	66	72	68	206
第2分野 (生命) (地球)	62	68	44	174
(科学技術と人間・自然と人間)	—	—	66	66

・本文中にゴシック体等で強調された用語の数は、次のとおりである。

区 分	1年	2年	3年	合計
第1分野	68	69	62	199
第2分野	90	83	53	226
(科学技術と人間・自然と人間)	—	—	9	9

・理科の探究の進め方、学び方を示したページ数は、次のとおりである。

1年	2年	3年	合計
2	2	2	6

・単元末等に既習事項を活用して課題解決を図る学習活動や自由研究を示したページ数は、次のとおりである。

区 分	1年	2年	3年	合計
第1分野	5	5	5	15
第2分野	5	5	5	15
(科学技術と人間・自然と人間)	—	—	1	1

・二次元コードからアクセスできる資料等の数は、次のとおりである。

1年	2年	3年	合計
87	98	104	289

・本文中の図・表の数は、次のとおりである。

区 分	1年	2年	3年	合計
第1分野	151	142	156	449
第2分野	116	151	109	376
(科学技術と人間・自然と人間)	—	—	89	89

・生物の共通点と相違点を相互に関係付けて分類できる学習活動が示されているページ数及び実習内容は、次のとおりである。

ページ数： 4ページ

実習内容：

- 身のまわりの生物名を付せん紙に書き出す。
- 分類する観点と基準について仮説を立て、生物を観察したり図鑑で調べたりして、考えた観点でなかま分けする。
- A3用紙などの台紙に、生物名を書いた付せん紙を観点ごとに貼って分類する。

・自然の恵みと自然災害に関する内容が示されているページ数は、次のとおりである。

1年	2年	3年	合計
火山・地震災害	気象災害	地域の自然災害	
7	4	6	17

・問題を見いだし、観察、実験などを行い、その結果を分析・解釈し、探究の過程を振り返る学習活動の数は、次のとおりである。

区 分	1年	2年	3年	合計
第1分野	13	16	15	44
第2分野	10	11	6	27
(科学技術と人間・自然と人間)	—	—	4	4

1 学習指導要領に示された目標

【音楽科の目標】

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

【各学年の目標】

	第1学年	第2学年及び第3学年
能 知識及び技	(1) 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。	(1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。
力、思考力、判断力、表現力等	(2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。	(2) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
力、学びに向かう力、人間性等	(3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。	(3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。

2 教科独自の調査研究の観点

(1) 表現の能力 (歌唱・創作)	①歌唱表現を創意工夫し、思いや意図をもって歌うことについて、どのように示されているか。 ②創作表現を創意工夫し、思いや意図をもって音楽をつくることについて、どのように示されているか。
(2) 鑑賞の能力	①曲想を感じ取りながら、音楽のよさや美しさを味わって聴くことについて、どのように示されているか。

【 音 楽 (一般) 】

観 点		発行者	17 教 出	27 教 芸																																																												
教科 共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。	・領域、分野別の題材数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>種別</th><th>1</th><th>2・3上</th><th>2・3下</th><th>合計</th></tr> <tr><td>歌 唱</td><td>23</td><td>18</td><td>18</td><td>59</td></tr> <tr><td>器 楽</td><td>4</td><td>6</td><td>2</td><td>12</td></tr> <tr><td>創 作</td><td>3</td><td>2</td><td>2</td><td>7</td></tr> <tr><td>鑑 賞</td><td>14</td><td>15</td><td>11</td><td>40</td></tr> <tr><td>合 計</td><td>44</td><td>41</td><td>33</td><td>118</td></tr> </table>	種別	1	2・3上	2・3下	合計	歌 唱	23	18	18	59	器 楽	4	6	2	12	創 作	3	2	2	7	鑑 賞	14	15	11	40	合 計	44	41	33	118	・領域、分野別の題材数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>種別</th><th>1</th><th>2・3上</th><th>2・3下</th><th>合計</th></tr> <tr><td>歌 唱</td><td>27</td><td>22</td><td>20</td><td>69</td></tr> <tr><td>器 楽</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td></tr> <tr><td>創 作</td><td>3</td><td>3</td><td>2</td><td>8</td></tr> <tr><td>鑑 賞</td><td>9</td><td>7</td><td>8</td><td>24</td></tr> <tr><td>合 計</td><td>40</td><td>32</td><td>30</td><td>102</td></tr> </table>	種別	1	2・3上	2・3下	合計	歌 唱	27	22	20	69	器 楽	1	0	0	1	創 作	3	3	2	8	鑑 賞	9	7	8	24	合 計	40	32	30	102
		種別	1	2・3上	2・3下	合計																																																										
		歌 唱	23	18	18	59																																																										
		器 楽	4	6	2	12																																																										
創 作	3	2	2	7																																																												
鑑 賞	14	15	11	40																																																												
合 計	44	41	33	118																																																												
種別	1	2・3上	2・3下	合計																																																												
歌 唱	27	22	20	69																																																												
器 楽	1	0	0	1																																																												
創 作	3	3	2	8																																																												
鑑 賞	9	7	8	24																																																												
合 計	40	32	30	102																																																												
②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。	・音楽を形づくっている要素や用語・記号が示されている教材数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>種別</th><th>1</th><th>2・3上</th><th>2・3下</th><th>合計</th></tr> <tr><td>歌 唱</td><td>11</td><td>6</td><td>5</td><td>22</td></tr> <tr><td>創 作</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>6</td></tr> <tr><td>鑑 賞</td><td>7</td><td>7</td><td>6</td><td>20</td></tr> </table>	種別	1	2・3上	2・3下	合計	歌 唱	11	6	5	22	創 作	2	2	2	6	鑑 賞	7	7	6	20	・音楽を形づくっている要素や用語・記号が示されている教材数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>種別</th><th>1</th><th>2・3上</th><th>2・3下</th><th>合計</th></tr> <tr><td>歌 唱</td><td>13</td><td>10</td><td>8</td><td>31</td></tr> <tr><td>創 作</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>6</td></tr> <tr><td>鑑 賞</td><td>9</td><td>6</td><td>6</td><td>21</td></tr> </table>	種別	1	2・3上	2・3下	合計	歌 唱	13	10	8	31	創 作	2	2	2	6	鑑 賞	9	6	6	21																						
種別	1	2・3上	2・3下	合計																																																												
歌 唱	11	6	5	22																																																												
創 作	2	2	2	6																																																												
鑑 賞	7	7	6	20																																																												
種別	1	2・3上	2・3下	合計																																																												
歌 唱	13	10	8	31																																																												
創 作	2	2	2	6																																																												
鑑 賞	9	6	6	21																																																												
③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が足されるよう、どのように示されているか。	・聴きとったこと、思いや意図、楽曲の魅力、調べたこと等を記入する活動が示されている教材数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>種別</th><th>1</th><th>2・3上</th><th>2・3下</th><th>合計</th></tr> <tr><td>歌 唱</td><td>1</td><td>2</td><td>2</td><td>5</td></tr> <tr><td>創 作</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>6</td></tr> <tr><td>鑑 賞</td><td>8</td><td>8</td><td>9</td><td>25</td></tr> </table>	種別	1	2・3上	2・3下	合計	歌 唱	1	2	2	5	創 作	2	2	2	6	鑑 賞	8	8	9	25	・聴きとったこと、思いや意図、楽曲の魅力、調べたこと等を記入する活動が示されている教材数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>種別</th><th>1</th><th>2・3上</th><th>2・3下</th><th>合計</th></tr> <tr><td>歌 唱</td><td>3</td><td>1</td><td>0</td><td>4</td></tr> <tr><td>創 作</td><td>3</td><td>3</td><td>2</td><td>8</td></tr> <tr><td>鑑 賞</td><td>3</td><td>0</td><td>3</td><td>6</td></tr> </table>	種別	1	2・3上	2・3下	合計	歌 唱	3	1	0	4	創 作	3	3	2	8	鑑 賞	3	0	3	6																						
種別	1	2・3上	2・3下	合計																																																												
歌 唱	1	2	2	5																																																												
創 作	2	2	2	6																																																												
鑑 賞	8	8	9	25																																																												
種別	1	2・3上	2・3下	合計																																																												
歌 唱	3	1	0	4																																																												
創 作	3	3	2	8																																																												
鑑 賞	3	0	3	6																																																												
④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。	・学習のめあてを掲載している教材数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>種別</th><th>1</th><th>2・3上</th><th>2・3下</th><th>合計</th></tr> <tr><td>歌 唱</td><td>18</td><td>15</td><td>16</td><td>49</td></tr> <tr><td>創 作</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>6</td></tr> <tr><td>鑑 賞</td><td>10</td><td>10</td><td>9</td><td>29</td></tr> </table>	種別	1	2・3上	2・3下	合計	歌 唱	18	15	16	49	創 作	2	2	2	6	鑑 賞	10	10	9	29	・学習のめあてを掲載している教材数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>種別</th><th>1</th><th>2・3上</th><th>2・3下</th><th>合計</th></tr> <tr><td>歌 唱</td><td>9</td><td>10</td><td>8</td><td>27</td></tr> <tr><td>創 作</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>6</td></tr> <tr><td>鑑 賞</td><td>7</td><td>6</td><td>6</td><td>19</td></tr> </table>	種別	1	2・3上	2・3下	合計	歌 唱	9	10	8	27	創 作	2	2	2	6	鑑 賞	7	6	6	19																						
種別	1	2・3上	2・3下	合計																																																												
歌 唱	18	15	16	49																																																												
創 作	2	2	2	6																																																												
鑑 賞	10	10	9	29																																																												
種別	1	2・3上	2・3下	合計																																																												
歌 唱	9	10	8	27																																																												
創 作	2	2	2	6																																																												
鑑 賞	7	6	6	19																																																												
資料等	① 資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	・二次元コード等により、インターネットを利用して参考資料を閲覧できる教材数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>種別</th><th>1</th><th>2・3上</th><th>2・3下</th><th>合計</th></tr> <tr><td>歌 唱</td><td>2</td><td>3</td><td>2</td><td>7</td></tr> <tr><td>創 作</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>3</td></tr> <tr><td>鑑 賞</td><td>2</td><td>3</td><td>3</td><td>8</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> </table>	種別	1	2・3上	2・3下	合計	歌 唱	2	3	2	7	創 作	1	1	1	3	鑑 賞	2	3	3	8	その他	0	0	0	0	・二次元コード等により、インターネットを利用して参考資料を閲覧できる教材数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>種別</th><th>1</th><th>2・3上</th><th>2・3下</th><th>合計</th></tr> <tr><td>歌 唱</td><td>2</td><td>4</td><td>2</td><td>8</td></tr> <tr><td>創 作</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>鑑 賞</td><td>5</td><td>2</td><td>2</td><td>9</td></tr> <tr><td>その他</td><td>1</td><td>3</td><td>2</td><td>6</td></tr> </table>	種別	1	2・3上	2・3下	合計	歌 唱	2	4	2	8	創 作	0	0	0	0	鑑 賞	5	2	2	9	その他	1	3	2	6											
	種別	1	2・3上	2・3下	合計																																																											
歌 唱	2	3	2	7																																																												
創 作	1	1	1	3																																																												
鑑 賞	2	3	3	8																																																												
その他	0	0	0	0																																																												
種別	1	2・3上	2・3下	合計																																																												
歌 唱	2	4	2	8																																																												
創 作	0	0	0	0																																																												
鑑 賞	5	2	2	9																																																												
その他	1	3	2	6																																																												
表・挿絵・図・統計等	①挿絵・図表・統計等どのように示されているか。	・領域、分野別の写真の掲載枚数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>種別</th><th>1</th><th>2・3上</th><th>2・3下</th><th>合計</th></tr> <tr><td>歌 唱</td><td>13</td><td>16</td><td>14</td><td>43</td></tr> <tr><td>創 作</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>鑑 賞</td><td>26</td><td>60</td><td>49</td><td>135</td></tr> </table>	種別	1	2・3上	2・3下	合計	歌 唱	13	16	14	43	創 作	0	0	0	0	鑑 賞	26	60	49	135	・領域、分野別の写真の掲載枚数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>種別</th><th>1</th><th>2・3上</th><th>2・3下</th><th>合計</th></tr> <tr><td>歌 唱</td><td>12</td><td>26</td><td>25</td><td>63</td></tr> <tr><td>創 作</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>鑑 賞</td><td>36</td><td>48</td><td>101</td><td>185</td></tr> </table>	種別	1	2・3上	2・3下	合計	歌 唱	12	26	25	63	創 作	0	0	0	0	鑑 賞	36	48	101	185																					
種別	1	2・3上	2・3下	合計																																																												
歌 唱	13	16	14	43																																																												
創 作	0	0	0	0																																																												
鑑 賞	26	60	49	135																																																												
種別	1	2・3上	2・3下	合計																																																												
歌 唱	12	26	25	63																																																												
創 作	0	0	0	0																																																												
鑑 賞	36	48	101	185																																																												
教科 独自	表現の能力（歌唱・創作）	①歌唱表現を創意工夫し、思いや意図をもって歌うことについて、どのように示されているか。	・演奏形態を示している歌唱教材数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>種別</th><th>1</th><th>2・3上</th><th>2・3下</th><th>合計</th></tr> <tr><td>斉 唱</td><td>6</td><td>5</td><td>5</td><td>16</td></tr> <tr><td>二部合唱</td><td>6</td><td>1</td><td>2</td><td>9</td></tr> <tr><td>三部合唱</td><td>7</td><td>10</td><td>4</td><td>21</td></tr> <tr><td>四部合唱</td><td>0</td><td>0</td><td>6</td><td>6</td></tr> </table>	種別	1	2・3上	2・3下	合計	斉 唱	6	5	5	16	二部合唱	6	1	2	9	三部合唱	7	10	4	21	四部合唱	0	0	6	6	・演奏形態を示している歌唱教材数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>種別</th><th>1</th><th>2・3上</th><th>2・3下</th><th>合計</th></tr> <tr><td>斉 唱</td><td>7</td><td>6</td><td>7</td><td>20</td></tr> <tr><td>二部合唱</td><td>11</td><td>3</td><td>2</td><td>16</td></tr> <tr><td>三部合唱</td><td>7</td><td>12</td><td>6</td><td>25</td></tr> <tr><td>四部合唱</td><td>0</td><td>0</td><td>3</td><td>3</td></tr> </table>	種別	1	2・3上	2・3下	合計	斉 唱	7	6	7	20	二部合唱	11	3	2	16	三部合唱	7	12	6	25	四部合唱	0	0	3	3										
		種別	1	2・3上	2・3下	合計																																																										
	斉 唱	6	5	5	16																																																											
二部合唱	6	1	2	9																																																												
三部合唱	7	10	4	21																																																												
四部合唱	0	0	6	6																																																												
種別	1	2・3上	2・3下	合計																																																												
斉 唱	7	6	7	20																																																												
二部合唱	11	3	2	16																																																												
三部合唱	7	12	6	25																																																												
四部合唱	0	0	3	3																																																												
②創作表現を創意工夫し、思いや意図をもって音楽をつくることについて、どのように示されているか。	・歌唱表現の工夫に対してアドバイス等が示されている教材数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>種別</th><th>1</th><th>2・3上</th><th>2・3下</th><th>合計</th></tr> <tr><td>斉 唱</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>6</td></tr> <tr><td>二部合唱</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td>三部合唱</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>3</td></tr> <tr><td>四部合唱</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> </table>	種別	1	2・3上	2・3下	合計	斉 唱	2	2	2	6	二部合唱	1	0	1	2	三部合唱	1	1	1	3	四部合唱	0	0	0	0	・歌唱表現の工夫に対してアドバイス等が示されている教材数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>種別</th><th>1</th><th>2・3上</th><th>2・3下</th><th>合計</th></tr> <tr><td>斉 唱</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>15</td></tr> <tr><td>二部合唱</td><td>10</td><td>3</td><td>1</td><td>14</td></tr> <tr><td>三部合唱</td><td>7</td><td>11</td><td>6</td><td>24</td></tr> <tr><td>四部合唱</td><td>0</td><td>0</td><td>3</td><td>3</td></tr> </table>	種別	1	2・3上	2・3下	合計	斉 唱	5	5	5	15	二部合唱	10	3	1	14	三部合唱	7	11	6	24	四部合唱	0	0	3	3												
種別	1	2・3上	2・3下	合計																																																												
斉 唱	2	2	2	6																																																												
二部合唱	1	0	1	2																																																												
三部合唱	1	1	1	3																																																												
四部合唱	0	0	0	0																																																												
種別	1	2・3上	2・3下	合計																																																												
斉 唱	5	5	5	15																																																												
二部合唱	10	3	1	14																																																												
三部合唱	7	11	6	24																																																												
四部合唱	0	0	3	3																																																												
鑑賞の能力	①曲想を感じ取りながら、音楽のよさや美しさを味わって聴くことについて、どのように示されているか。	・鑑賞領域の教材数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>種別</th><th>1</th><th>2・3上</th><th>2・3下</th><th>合計</th></tr> <tr><td>歌 曲</td><td>3</td><td>0</td><td>0</td><td>3</td></tr> <tr><td>器楽曲</td><td>4</td><td>7</td><td>3</td><td>14</td></tr> <tr><td>その他</td><td>14</td><td>16</td><td>9</td><td>39</td></tr> </table>	種別	1	2・3上	2・3下	合計	歌 曲	3	0	0	3	器楽曲	4	7	3	14	その他	14	16	9	39	・鑑賞領域の教材数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>種別</th><th>1</th><th>2・3上</th><th>2・3下</th><th>合計</th></tr> <tr><td>歌 曲</td><td>2</td><td>0</td><td>0</td><td>2</td></tr> <tr><td>器楽曲</td><td>8</td><td>4</td><td>3</td><td>15</td></tr> <tr><td>その他</td><td>11</td><td>7</td><td>12</td><td>30</td></tr> </table>	種別	1	2・3上	2・3下	合計	歌 曲	2	0	0	2	器楽曲	8	4	3	15	その他	11	7	12	30																					
		種別	1	2・3上	2・3下	合計																																																										
歌 曲	3	0	0	3																																																												
器楽曲	4	7	3	14																																																												
その他	14	16	9	39																																																												
種別	1	2・3上	2・3下	合計																																																												
歌 曲	2	0	0	2																																																												
器楽曲	8	4	3	15																																																												
その他	11	7	12	30																																																												
		<p><その他> 1年：和楽器3、日本の民謡6、諸外国の民謡3、諸外国の楽器2 2・3年上：雅楽3、郷土の芸能12、日本の伝統芸術1 2・3年下：オペラ1、バレエ1、日本の伝統芸術3、ミュージカル1、諸外国の伝統芸能3</p>	<p><その他> 1年：雅楽1、和楽器1、日本の民謡等4、諸外国の音楽5 2・3年上：オペラ1、日本の伝統芸術2、諸外国の伝統芸能4 2・3年下：和楽器1、日本の伝統芸術5、諸外国の音楽3 ポピュラー音楽3</p>																																																													
		・音楽のよさや美しさを味わって聴くことへのアドバイス等が示されている教材数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>学 年</th><th>1</th><th>2・3上</th><th>2・3下</th><th>合計</th></tr> <tr><td>教材数</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>6</td></tr> </table>	学 年	1	2・3上	2・3下	合計	教材数	2	2	2	6	・音楽のよさや美しさを味わって聴くことへのアドバイス等が示されている教材数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>学 年</th><th>1</th><th>2・3上</th><th>2・3下</th><th>合計</th></tr> <tr><td>教材数</td><td>3</td><td>3</td><td>2</td><td>8</td></tr> </table>	学 年	1	2・3上	2・3下	合計	教材数	3	3	2	8																																									
学 年	1	2・3上	2・3下	合計																																																												
教材数	2	2	2	6																																																												
学 年	1	2・3上	2・3下	合計																																																												
教材数	3	3	2	8																																																												
		・鑑賞領域の教材数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>種別</th><th>1</th><th>2・3上</th><th>2・3下</th><th>合計</th></tr> <tr><td>歌 曲</td><td>3</td><td>0</td><td>0</td><td>3</td></tr> <tr><td>器楽曲</td><td>4</td><td>7</td><td>3</td><td>14</td></tr> <tr><td>その他</td><td>14</td><td>16</td><td>9</td><td>39</td></tr> </table>	種別	1	2・3上	2・3下	合計	歌 曲	3	0	0	3	器楽曲	4	7	3	14	その他	14	16	9	39	・鑑賞領域の教材数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>種別</th><th>1</th><th>2・3上</th><th>2・3下</th><th>合計</th></tr> <tr><td>歌 曲</td><td>2</td><td>0</td><td>0</td><td>2</td></tr> <tr><td>器楽曲</td><td>8</td><td>4</td><td>3</td><td>15</td></tr> <tr><td>その他</td><td>11</td><td>7</td><td>12</td><td>30</td></tr> </table>	種別	1	2・3上	2・3下	合計	歌 曲	2	0	0	2	器楽曲	8	4	3	15	その他	11	7	12	30																					
種別	1	2・3上	2・3下	合計																																																												
歌 曲	3	0	0	3																																																												
器楽曲	4	7	3	14																																																												
その他	14	16	9	39																																																												
種別	1	2・3上	2・3下	合計																																																												
歌 曲	2	0	0	2																																																												
器楽曲	8	4	3	15																																																												
その他	11	7	12	30																																																												
		・音楽のよさや美しさを味わって聴くことへのアドバイス等が示されている教材数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>学 年</th><th>1</th><th>2・3上</th><th>2・3下</th><th>合計</th></tr> <tr><td>教材数</td><td>19</td><td>14</td><td>10</td><td>43</td></tr> </table>	学 年	1	2・3上	2・3下	合計	教材数	19	14	10	43	・音楽のよさや美しさを味わって聴くことへのアドバイス等が示されている教材数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>学 年</th><th>1</th><th>2・3上</th><th>2・3下</th><th>合計</th></tr> <tr><td>教材数</td><td>9</td><td>7</td><td>8</td><td>24</td></tr> </table>	学 年	1	2・3上	2・3下	合計	教材数	9	7	8	24																																									
学 年	1	2・3上	2・3下	合計																																																												
教材数	19	14	10	43																																																												
学 年	1	2・3上	2・3下	合計																																																												
教材数	9	7	8	24																																																												

1 学習指導要領に示された目標

【音楽科の目標】

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

【各学年の目標】

	第1学年	第2学年及び第3学年
能 知識及び技	(1) 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。	(1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。
力、思考力、判断力、表現力等	(2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。	(2) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
力、学びに向かう力、人間性等	(3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。	(3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。

2 教科独自の調査研究の観点

(1) 表現の能力 (器楽)	①器楽表現を創意工夫し、思いや意図をもって演奏することについて、どのように示されているか。 ②楽器の特徴や奏法について、どのように示されているか。
-------------------	--

【 音 楽 (器楽合奏) 】

観 点		発 行 者	17 教 出	27 教 芸																																																																																																																																																																								
教科 共通	単元・ 題材の 構成及び 内容の 取扱い	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。	<p>・掲載されている楽器の種類・名称は、次のとおりである。 ①リコーダー ②篠笛 ③尺八 ④ギター ⑤箏 ⑥三味線 ⑦太鼓 ⑧小太鼓 ⑨大太鼓 ⑩ボンゴ ⑪コンガ ⑫カホン</p> <p>・歌唱、創作、鑑賞の教材数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>歌 唱</th><th>創 作</th><th>鑑 賞</th><th>合 計</th></tr> <tr><td>13</td><td>6</td><td>7</td><td>26</td></tr> </table>	歌 唱	創 作	鑑 賞	合 計	13	6	7	26	<p>・掲載されている楽器の種類・名称は、次のとおりである。 ①リコーダー ②ギター ③箏 ④三味線 ⑤太鼓 ⑥篠笛 ⑦尺八 ⑧クラベス ⑨シェーカー ⑩カウベル ⑪アゴゴ ⑫ボンゴ ⑬コンガ ⑭カスターネット ⑮タンブリン ⑯鈴 ⑰シンバル ⑱小太鼓 ⑲大太鼓 ⑳カホン ㉑ジャンベ ㉒ドラムセット</p> <p>・歌唱、創作、鑑賞の教材数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>歌 唱</th><th>創 作</th><th>鑑 賞</th><th>合 計</th></tr> <tr><td>5</td><td>1</td><td>15</td><td>21</td></tr> </table>	歌 唱	創 作	鑑 賞	合 計	5	1	15	21																																																																																																																																																								
		歌 唱	創 作	鑑 賞	合 計																																																																																																																																																																							
		13	6	7	26																																																																																																																																																																							
歌 唱	創 作	鑑 賞	合 計																																																																																																																																																																									
5	1	15	21																																																																																																																																																																									
②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。	<p>・楽器別の教材数（練習曲除く。）は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>リコーダー</th><th>ギター</th><th>箏</th><th>三味線</th><th>太鼓</th></tr> <tr><td>21</td><td>4</td><td>2</td><td>2</td><td>0</td></tr> <tr><th>篠笛</th><th>尺八</th><th>打楽器</th><th>合奏</th><th>合計</th></tr> <tr><td>5</td><td>1</td><td>0</td><td>32</td><td>67</td></tr> </table>	リコーダー	ギター	箏	三味線	太鼓	21	4	2	2	0	篠笛	尺八	打楽器	合奏	合計	5	1	0	32	67	<p>・楽器別の教材数（練習曲除く。）は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>リコーダー</th><th>ギター</th><th>箏</th><th>三味線</th><th>太鼓</th></tr> <tr><td>21</td><td>2</td><td>4</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr><th>篠笛</th><th>尺八</th><th>打楽器</th><th>合奏</th><th>合計</th></tr> <tr><td>4</td><td>1</td><td>0</td><td>15</td><td>51</td></tr> </table>	リコーダー	ギター	箏	三味線	太鼓	21	2	4	2	2	篠笛	尺八	打楽器	合奏	合計	4	1	0	15	51																																																																																																																																		
リコーダー	ギター	箏	三味線	太鼓																																																																																																																																																																								
21	4	2	2	0																																																																																																																																																																								
篠笛	尺八	打楽器	合奏	合計																																																																																																																																																																								
5	1	0	32	67																																																																																																																																																																								
リコーダー	ギター	箏	三味線	太鼓																																																																																																																																																																								
21	2	4	2	2																																																																																																																																																																								
篠笛	尺八	打楽器	合奏	合計																																																																																																																																																																								
4	1	0	15	51																																																																																																																																																																								
③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。	<p>・聴きとったこと、思いや意図、楽曲の魅力を記入する活動が示されている教材数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>器 楽</th><th>創 作</th><th>鑑 賞</th><th>合 計</th></tr> <tr><td>1</td><td>4</td><td>2</td><td>7</td></tr> </table>	器 楽	創 作	鑑 賞	合 計	1	4	2	7	<p>・聴きとったこと、思いや意図、楽曲の魅力を記入する活動が示されている教材数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>器 楽</th><th>創 作</th><th>鑑 賞</th><th>合 計</th></tr> <tr><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td></tr> </table>	器 楽	創 作	鑑 賞	合 計	0	1	0	1																																																																																																																																																										
器 楽	創 作	鑑 賞	合 計																																																																																																																																																																									
1	4	2	7																																																																																																																																																																									
器 楽	創 作	鑑 賞	合 計																																																																																																																																																																									
0	1	0	1																																																																																																																																																																									
資料等	①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	<p>・二次元コード等により、インターネットを利用して参考資料を閲覧できる教材数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>リコーダー</th><th>ギター</th><th>箏</th><th>三味線</th><th>太鼓</th></tr> <tr><td>1</td><td>4</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td></tr> <tr><th>篠笛</th><th>尺八</th><th>打楽器</th><th>合奏</th><th>合計</th></tr> <tr><td>4</td><td>1</td><td>1</td><td>2</td><td>28</td></tr> </table> <p>・節奏や楽器の奏法等を閲覧できる。</p>	リコーダー	ギター	箏	三味線	太鼓	1	4	5	5	5	篠笛	尺八	打楽器	合奏	合計	4	1	1	2	28	<p>・二次元コード等により、インターネットを利用して参考資料を閲覧できる教材数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>リコーダー</th><th>ギター</th><th>箏</th><th>三味線</th><th>太鼓</th></tr> <tr><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><th>篠笛</th><th>尺八</th><th>打楽器</th><th>合奏</th><th>合計</th></tr> <tr><td>1</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>7</td></tr> </table> <p>・演奏者の紹介を閲覧できる。</p>	リコーダー	ギター	箏	三味線	太鼓	1	1	1	1	1	篠笛	尺八	打楽器	合奏	合計	1	1	0	0	7																																																																																																																																	
		リコーダー	ギター	箏	三味線	太鼓																																																																																																																																																																						
		1	4	5	5	5																																																																																																																																																																						
篠笛	尺八	打楽器	合奏	合計																																																																																																																																																																								
4	1	1	2	28																																																																																																																																																																								
リコーダー	ギター	箏	三味線	太鼓																																																																																																																																																																								
1	1	1	1	1																																																																																																																																																																								
篠笛	尺八	打楽器	合奏	合計																																																																																																																																																																								
1	1	0	0	7																																																																																																																																																																								
②挿絵・図表・統計等	<p>・挿絵・図表・統計等はどのように示されているか。</p> <table border="1"> <tr><th>リコーダー</th><th>ギター</th><th>箏</th><th>三味線</th><th>太鼓</th></tr> <tr><td>6</td><td>18</td><td>25</td><td>28</td><td>40</td></tr> <tr><th>篠笛</th><th>尺八</th><th>打楽器</th><th>合奏</th><th>合計</th></tr> <tr><td>19</td><td>8</td><td>9</td><td>11</td><td>164</td></tr> </table>	リコーダー	ギター	箏	三味線	太鼓	6	18	25	28	40	篠笛	尺八	打楽器	合奏	合計	19	8	9	11	164	<p>・楽器別の写真の掲載枚数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>リコーダー</th><th>ギター</th><th>箏</th><th>三味線</th><th>太鼓</th></tr> <tr><td>8</td><td>21</td><td>34</td><td>34</td><td>26</td></tr> <tr><th>篠笛</th><th>尺八</th><th>打楽器</th><th>合奏</th><th>合計</th></tr> <tr><td>13</td><td>10</td><td>45</td><td>1</td><td>192</td></tr> </table>	リコーダー	ギター	箏	三味線	太鼓	8	21	34	34	26	篠笛	尺八	打楽器	合奏	合計	13	10	45	1	192																																																																																																																																		
リコーダー	ギター	箏	三味線	太鼓																																																																																																																																																																								
6	18	25	28	40																																																																																																																																																																								
篠笛	尺八	打楽器	合奏	合計																																																																																																																																																																								
19	8	9	11	164																																																																																																																																																																								
リコーダー	ギター	箏	三味線	太鼓																																																																																																																																																																								
8	21	34	34	26																																																																																																																																																																								
篠笛	尺八	打楽器	合奏	合計																																																																																																																																																																								
13	10	45	1	192																																																																																																																																																																								
教科 独自	表現の 能力 器楽	①器楽表現を創意工夫し、思いや意図をもって演奏することについて、どのように示されているか。	<p>・演奏形態を示している教材数（練習曲除く。）は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>独奏</th><th>二重奏</th><th>三重奏</th><th>四重奏以上</th><th>合計</th></tr> <tr><th>リコーダー</th><td>23</td><td>13</td><td>2</td><td>1</td><td>39</td></tr> <tr><th>ギター</th><td>3</td><td>2</td><td>0</td><td>0</td><td>5</td></tr> <tr><th>箏</th><td>3</td><td>5</td><td>0</td><td>0</td><td>8</td></tr> <tr><th>三味線</th><td>1</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>2</td></tr> <tr><th>大鼓・小鼓</th><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td></tr> <tr><th>篠笛</th><td>4</td><td>1</td><td>2</td><td>0</td><td>7</td></tr> <tr><th>尺八</th><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td></tr> <tr><th>太鼓</th><td>0</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td><td>2</td></tr> <tr><th>旋律楽器</th><td>0</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td><td>2</td></tr> <tr><th>低音楽器</th><td>0</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td><td>2</td></tr> <tr><th>身体表現</th><td>0</td><td>0</td><td>2</td><td>0</td><td>2</td></tr> <tr><th>打楽器</th><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td></tr> <tr><th>その他</th><td>0</td><td>0</td><td>3</td><td>0</td><td>3</td></tr> </table> <p><その他>楽器指定がない教材</p>		独奏	二重奏	三重奏	四重奏以上	合計	リコーダー	23	13	2	1	39	ギター	3	2	0	0	5	箏	3	5	0	0	8	三味線	1	0	1	0	2	大鼓・小鼓	0	0	1	0	1	篠笛	4	1	2	0	7	尺八	1	0	0	0	1	太鼓	0	1	1	0	2	旋律楽器	0	1	1	0	2	低音楽器	0	1	1	0	2	身体表現	0	0	2	0	2	打楽器	0	0	1	0	1	その他	0	0	3	0	3	<p>・演奏形態を示している教材数（練習曲除く。）は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>独奏</th><th>二重奏</th><th>三重奏</th><th>四重奏以上</th><th>合計</th></tr> <tr><th>リコーダー</th><td>15</td><td>13</td><td>2</td><td>0</td><td>30</td></tr> <tr><th>ギター</th><td>1</td><td>1</td><td>3</td><td>0</td><td>5</td></tr> <tr><th>箏</th><td>4</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>4</td></tr> <tr><th>三味線</th><td>2</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>3</td></tr> <tr><th>大鼓・小鼓</th><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td></tr> <tr><th>篠笛</th><td>3</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td><td>5</td></tr> <tr><th>尺八</th><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td></tr> <tr><th>太鼓</th><td>0</td><td>2</td><td>1</td><td>0</td><td>3</td></tr> <tr><th>旋律楽器</th><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td></tr> <tr><th>低音楽器</th><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td></tr> <tr><th>身体表現</th><td>0</td><td>0</td><td>2</td><td>0</td><td>2</td></tr> <tr><th>打楽器</th><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><th>その他</th><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td></tr> </table> <p><その他>楽器指定がない教材</p>		独奏	二重奏	三重奏	四重奏以上	合計	リコーダー	15	13	2	0	30	ギター	1	1	3	0	5	箏	4	0	0	0	4	三味線	2	0	1	0	3	大鼓・小鼓	0	0	1	0	1	篠笛	3	1	1	0	5	尺八	1	0	0	0	1	太鼓	0	2	1	0	3	旋律楽器	0	0	1	0	1	低音楽器	0	1	0	0	1	身体表現	0	0	2	0	2	打楽器	0	0	0	1	1	その他	0	0	0	1	1
			独奏	二重奏	三重奏	四重奏以上	合計																																																																																																																																																																					
		リコーダー	23	13	2	1	39																																																																																																																																																																					
ギター	3	2	0	0	5																																																																																																																																																																							
箏	3	5	0	0	8																																																																																																																																																																							
三味線	1	0	1	0	2																																																																																																																																																																							
大鼓・小鼓	0	0	1	0	1																																																																																																																																																																							
篠笛	4	1	2	0	7																																																																																																																																																																							
尺八	1	0	0	0	1																																																																																																																																																																							
太鼓	0	1	1	0	2																																																																																																																																																																							
旋律楽器	0	1	1	0	2																																																																																																																																																																							
低音楽器	0	1	1	0	2																																																																																																																																																																							
身体表現	0	0	2	0	2																																																																																																																																																																							
打楽器	0	0	1	0	1																																																																																																																																																																							
その他	0	0	3	0	3																																																																																																																																																																							
	独奏	二重奏	三重奏	四重奏以上	合計																																																																																																																																																																							
リコーダー	15	13	2	0	30																																																																																																																																																																							
ギター	1	1	3	0	5																																																																																																																																																																							
箏	4	0	0	0	4																																																																																																																																																																							
三味線	2	0	1	0	3																																																																																																																																																																							
大鼓・小鼓	0	0	1	0	1																																																																																																																																																																							
篠笛	3	1	1	0	5																																																																																																																																																																							
尺八	1	0	0	0	1																																																																																																																																																																							
太鼓	0	2	1	0	3																																																																																																																																																																							
旋律楽器	0	0	1	0	1																																																																																																																																																																							
低音楽器	0	1	0	0	1																																																																																																																																																																							
身体表現	0	0	2	0	2																																																																																																																																																																							
打楽器	0	0	0	1	1																																																																																																																																																																							
その他	0	0	0	1	1																																																																																																																																																																							
②楽器の特徴や奏法について、どのように示されているか。	<p>・器楽表現の工夫に対してアドバイス等が示されている教材数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>リコーダー</th><th>ギター</th><th>箏</th><th>三味線</th><th>太鼓</th></tr> <tr><td>13</td><td>3</td><td>1</td><td>2</td><td>0</td></tr> <tr><th>篠笛</th><th>尺八</th><th>打楽器</th><th>合奏</th><th>合計</th></tr> <tr><td>5</td><td>1</td><td>0</td><td>32</td><td>57</td></tr> </table>	リコーダー	ギター	箏	三味線	太鼓	13	3	1	2	0	篠笛	尺八	打楽器	合奏	合計	5	1	0	32	57	<p>・器楽表現の工夫に対してアドバイス等が示されている教材数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>リコーダー</th><th>ギター</th><th>箏</th><th>三味線</th><th>太鼓</th></tr> <tr><td>16</td><td>2</td><td>4</td><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><th>篠笛</th><th>尺八</th><th>打楽器</th><th>合奏</th><th>合計</th></tr> <tr><td>3</td><td>1</td><td>0</td><td>15</td><td>44</td></tr> </table>	リコーダー	ギター	箏	三味線	太鼓	16	2	4	1	2	篠笛	尺八	打楽器	合奏	合計	3	1	0	15	44																																																																																																																																		
リコーダー	ギター	箏	三味線	太鼓																																																																																																																																																																								
13	3	1	2	0																																																																																																																																																																								
篠笛	尺八	打楽器	合奏	合計																																																																																																																																																																								
5	1	0	32	57																																																																																																																																																																								
リコーダー	ギター	箏	三味線	太鼓																																																																																																																																																																								
16	2	4	1	2																																																																																																																																																																								
篠笛	尺八	打楽器	合奏	合計																																																																																																																																																																								
3	1	0	15	44																																																																																																																																																																								
		<p>・楽器の構造や名称、奏法を説明している写真・イラストの掲載枚数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>姿勢</th><th>名称</th><th>運指</th><th>奏法</th><th>合計</th></tr> <tr><th>リコーダー</th><td>2</td><td>1</td><td>26</td><td>7</td><td>36</td></tr> <tr><th>ギター</th><td>2</td><td>1</td><td>9</td><td>8</td><td>20</td></tr> <tr><th>箏</th><td>4</td><td>4</td><td>2</td><td>14</td><td>24</td></tr> <tr><th>三味線</th><td>3</td><td>5</td><td>0</td><td>18</td><td>26</td></tr> <tr><th>太鼓</th><td>5</td><td>5</td><td>0</td><td>24</td><td>34</td></tr> <tr><th>篠笛</th><td>1</td><td>3</td><td>1</td><td>16</td><td>21</td></tr> <tr><th>尺八</th><td>1</td><td>2</td><td>1</td><td>4</td><td>8</td></tr> <tr><th>打楽器</th><td>2</td><td>0</td><td>0</td><td>5</td><td>7</td></tr> <tr><th>合奏</th><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>11</td><td>12</td></tr> </table>		姿勢	名称	運指	奏法	合計	リコーダー	2	1	26	7	36	ギター	2	1	9	8	20	箏	4	4	2	14	24	三味線	3	5	0	18	26	太鼓	5	5	0	24	34	篠笛	1	3	1	16	21	尺八	1	2	1	4	8	打楽器	2	0	0	5	7	合奏	0	1	0	11	12	<p>・楽器の構造や名称、奏法を説明している写真・イラストの掲載枚数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>姿勢</th><th>名称</th><th>運指</th><th>奏法</th><th>合計</th></tr> <tr><th>リコーダー</th><td>2</td><td>1</td><td>16</td><td>6</td><td>25</td></tr> <tr><th>ギター</th><td>2</td><td>1</td><td>13</td><td>9</td><td>25</td></tr> <tr><th>箏</th><td>4</td><td>6</td><td>0</td><td>20</td><td>30</td></tr> <tr><th>三味線</th><td>3</td><td>5</td><td>0</td><td>16</td><td>24</td></tr> <tr><th>太鼓</th><td>5</td><td>3</td><td>0</td><td>13</td><td>21</td></tr> <tr><th>篠笛</th><td>1</td><td>3</td><td>1</td><td>8</td><td>13</td></tr> <tr><th>尺八</th><td>3</td><td>2</td><td>1</td><td>3</td><td>9</td></tr> <tr><th>打楽器</th><td>4</td><td>1</td><td>1</td><td>41</td><td>47</td></tr> <tr><th>合奏</th><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>3</td><td>3</td></tr> </table>		姿勢	名称	運指	奏法	合計	リコーダー	2	1	16	6	25	ギター	2	1	13	9	25	箏	4	6	0	20	30	三味線	3	5	0	16	24	太鼓	5	3	0	13	21	篠笛	1	3	1	8	13	尺八	3	2	1	3	9	打楽器	4	1	1	41	47	合奏	0	0	0	3	3																																																	
	姿勢	名称	運指	奏法	合計																																																																																																																																																																							
リコーダー	2	1	26	7	36																																																																																																																																																																							
ギター	2	1	9	8	20																																																																																																																																																																							
箏	4	4	2	14	24																																																																																																																																																																							
三味線	3	5	0	18	26																																																																																																																																																																							
太鼓	5	5	0	24	34																																																																																																																																																																							
篠笛	1	3	1	16	21																																																																																																																																																																							
尺八	1	2	1	4	8																																																																																																																																																																							
打楽器	2	0	0	5	7																																																																																																																																																																							
合奏	0	1	0	11	12																																																																																																																																																																							
	姿勢	名称	運指	奏法	合計																																																																																																																																																																							
リコーダー	2	1	16	6	25																																																																																																																																																																							
ギター	2	1	13	9	25																																																																																																																																																																							
箏	4	6	0	20	30																																																																																																																																																																							
三味線	3	5	0	16	24																																																																																																																																																																							
太鼓	5	3	0	13	21																																																																																																																																																																							
篠笛	1	3	1	8	13																																																																																																																																																																							
尺八	3	2	1	3	9																																																																																																																																																																							
打楽器	4	1	1	41	47																																																																																																																																																																							
合奏	0	0	0	3	3																																																																																																																																																																							

1 学習指導要領に示された目標

【美術科の目標】

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

【各学年の目標】

	第1学年	第2学年及び第3学年
技能 知識 及び	(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。	(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。
表現力等 思考力、 判断力、	(2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。	(2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
等 う学 力、 びに 人間 性か	(3) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。	(3) 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

2 教科独自の調査研究の観点

(1) 表現に関する活動	①主題を生み出し豊かに発想し構想を練ることについて、どのように示されているか。 ②意図に応じて表現方法を工夫して表し、追求し、創造的に表すことについて、どのように示されているか。
(2) 鑑賞に関する活動	①美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げ、深めることについて、どのように示されているか。 ②表現と鑑賞の活動を相互に関連させる活動について、どのように示されているか。
(3) [共通事項] に関すること	①形や色彩、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解させることについて、どのように示されているか。

【 美術 】

観点		発行者	9 開隆堂	38 光村																																																																																																																								
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	<p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。</p> <p>④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。</p>	<p>・表現領域の絵・彫刻・デザイン・工芸、鑑賞領域の題材数</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>絵・彫刻</th><th>デザイン・工芸</th><th>鑑賞</th></tr> <tr><td>美術1</td><td>6</td><td>6</td><td>5</td></tr> <tr><td>美術2・3</td><td>9</td><td>12</td><td>18</td></tr> </table> <p>・用具や材料の扱い方に関する図版の数 【美術1】97 【美術2・3】45</p> <p>・アイデアスケッチの図版の数 【美術1】19 【美術2・3】6</p> <p>・活動の見通しを持つために、生徒の活動の様子を表した図版の数 【美術1】26 【美術2・3】28</p>		絵・彫刻	デザイン・工芸	鑑賞	美術1	6	6	5	美術2・3	9	12	18	<p>・表現領域の絵・彫刻・デザイン・工芸、鑑賞領域の題材数</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>絵・彫刻</th><th>デザイン・工芸</th><th>鑑賞</th></tr> <tr><td>美術1</td><td>8</td><td>7</td><td>5</td></tr> <tr><td>美術2・3</td><td>10</td><td>6</td><td>6</td></tr> </table> <p>・用具や材料の扱い方に関する図版の数 【美術1】165 【美術2・3】31</p> <p>・アイデアスケッチの図版の数 【美術1】10 【美術2・3】24</p> <p>・活動の見通しを持つために、生徒の活動の様子を表した図版の数 【美術1】17 【美術2・3】23</p>		絵・彫刻	デザイン・工芸	鑑賞	美術1	8	7	5	美術2・3	10	6	6																																																																																																
		絵・彫刻	デザイン・工芸	鑑賞																																																																																																																								
	美術1	6	6	5																																																																																																																								
美術2・3	9	12	18																																																																																																																									
	絵・彫刻	デザイン・工芸	鑑賞																																																																																																																									
美術1	8	7	5																																																																																																																									
美術2・3	10	6	6																																																																																																																									
資料等	<p>①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。</p>	<p>・二次元コードの数と美術1の巻頭コードの内容 【美術1】25 【美術2・3】50</p> <p>・巻頭で紹介されている作家の作品が河蔵されている美術館のホームページを閲覧できるようになっている。</p>	<p>・二次元コードの数と美術1の巻頭コードの内容 【美術1】19 【美術2・3】24</p> <p>・巻頭で紹介されている詩人の朗読と字幕とともに美術作品や自然物等の写真がスライドで流れるようになっている。</p>																																																																																																																									
等表挿 ・統 ・計 ・図	<p>①挿絵・図表・統計等どのように示されているか。</p>	<p>・掲載されている図版の数は1ページにつき平均 【美術1】7.6 【美術2・3】6.0</p>	<p>・掲載されている図版の数は1ページにつき平均 【美術1】8.3 【美術2・3】6.8</p>																																																																																																																									
教科独自	表現に関する活動	<p>①主題を生み出し豊かに発想し構想を練ることについて、どのように示されているか。</p> <p>②意図に応じて表現方法を工夫して表し、追求し、創造的に表すことについて、どのように示されているか。</p>	<p>・構想を練るヒントとして示されている作家や生徒の言葉の数</p> <p>美術1</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>絵・彫刻</th><th>デザイン</th><th>鑑賞</th><th>特設ページ</th></tr> <tr><td>作家</td><td>9</td><td>2</td><td>5</td><td>1</td></tr> <tr><td>生徒</td><td>8</td><td>8</td><td>0</td><td>0</td></tr> </table> <p>美術2・3</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>絵・彫刻</th><th>デザイン</th><th>鑑賞</th><th>特設ページ</th></tr> <tr><td>作家</td><td>6</td><td>6</td><td>4</td><td>6</td></tr> <tr><td>生徒</td><td>20</td><td>9</td><td>0</td><td>0</td></tr> </table> <p>・題材等の中で紹介されている「材料」「道具」の種類の数</p> <p>美術1</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>絵・彫刻</th><th>デザイン</th><th>鑑賞</th><th>特設ページ</th></tr> <tr><td>材料</td><td>50</td><td>15</td><td>27</td><td>23</td></tr> <tr><td>道具</td><td>0</td><td>6</td><td>0</td><td>37</td></tr> </table> <p>美術2・3</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>絵・彫刻</th><th>デザイン</th><th>鑑賞</th><th>特設ページ</th></tr> <tr><td>材料</td><td>48</td><td>40</td><td>42</td><td>28</td></tr> <tr><td>道具</td><td>10</td><td>4</td><td>0</td><td>39</td></tr> </table>		絵・彫刻	デザイン	鑑賞	特設ページ	作家	9	2	5	1	生徒	8	8	0	0		絵・彫刻	デザイン	鑑賞	特設ページ	作家	6	6	4	6	生徒	20	9	0	0		絵・彫刻	デザイン	鑑賞	特設ページ	材料	50	15	27	23	道具	0	6	0	37		絵・彫刻	デザイン	鑑賞	特設ページ	材料	48	40	42	28	道具	10	4	0	39	<p>・構想を練るヒントとして示されている作家や生徒の言葉の数</p> <p>美術1</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>絵・彫刻</th><th>デザイン</th><th>鑑賞</th><th>特設ページ</th></tr> <tr><td>作家</td><td>1</td><td>0</td><td>2</td><td>0</td></tr> <tr><td>生徒</td><td>7</td><td>8</td><td>5</td><td>1</td></tr> </table> <p>美術2・3</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>絵・彫刻</th><th>デザイン</th><th>鑑賞</th><th>特設ページ</th></tr> <tr><td>作家</td><td>3</td><td>0</td><td>2</td><td>0</td></tr> <tr><td>生徒</td><td>10</td><td>8</td><td>7</td><td>0</td></tr> </table> <p>・題材等の中で紹介されている「材料」「道具」の種類の数</p> <p>美術1</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>絵・彫刻</th><th>デザイン</th><th>鑑賞</th><th>特設ページ</th></tr> <tr><td>材料</td><td>21</td><td>11</td><td>54</td><td>35</td></tr> <tr><td>道具</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td><td>30</td></tr> </table> <p>美術2・3</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>絵・彫刻</th><th>デザイン</th><th>鑑賞</th><th>特設ページ</th></tr> <tr><td>材料</td><td>41</td><td>30</td><td>33</td><td>53</td></tr> <tr><td>道具</td><td>6</td><td>0</td><td>0</td><td>22</td></tr> </table>		絵・彫刻	デザイン	鑑賞	特設ページ	作家	1	0	2	0	生徒	7	8	5	1		絵・彫刻	デザイン	鑑賞	特設ページ	作家	3	0	2	0	生徒	10	8	7	0		絵・彫刻	デザイン	鑑賞	特設ページ	材料	21	11	54	35	道具	1	1	0	30		絵・彫刻	デザイン	鑑賞	特設ページ	材料	41	30	33	53	道具	6	0	0	22
		絵・彫刻	デザイン	鑑賞	特設ページ																																																																																																																							
作家	9	2	5	1																																																																																																																								
生徒	8	8	0	0																																																																																																																								
	絵・彫刻	デザイン	鑑賞	特設ページ																																																																																																																								
作家	6	6	4	6																																																																																																																								
生徒	20	9	0	0																																																																																																																								
	絵・彫刻	デザイン	鑑賞	特設ページ																																																																																																																								
材料	50	15	27	23																																																																																																																								
道具	0	6	0	37																																																																																																																								
	絵・彫刻	デザイン	鑑賞	特設ページ																																																																																																																								
材料	48	40	42	28																																																																																																																								
道具	10	4	0	39																																																																																																																								
	絵・彫刻	デザイン	鑑賞	特設ページ																																																																																																																								
作家	1	0	2	0																																																																																																																								
生徒	7	8	5	1																																																																																																																								
	絵・彫刻	デザイン	鑑賞	特設ページ																																																																																																																								
作家	3	0	2	0																																																																																																																								
生徒	10	8	7	0																																																																																																																								
	絵・彫刻	デザイン	鑑賞	特設ページ																																																																																																																								
材料	21	11	54	35																																																																																																																								
道具	1	1	0	30																																																																																																																								
	絵・彫刻	デザイン	鑑賞	特設ページ																																																																																																																								
材料	41	30	33	53																																																																																																																								
道具	6	0	0	22																																																																																																																								
鑑賞に関する活動	<p>①美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げ、深めることについて、どのように示されているか。</p> <p>②表現と鑑賞の活動を相互に関連させる活動について、どのように示されているか。</p>	<p>・鑑賞を主とした題材における鑑賞対象の図版の数</p> <p>美術1</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>絵・彫刻</th><th>デザイン・工芸</th></tr> <tr><td>作家の作品</td><td>14</td><td>28</td></tr> <tr><td>生徒の作品</td><td>0</td><td>0</td></tr> </table> <p>美術2・3</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>絵・彫刻</th><th>デザイン・工芸</th></tr> <tr><td>作家の作品</td><td>117</td><td>37</td></tr> <tr><td>生徒の作品</td><td>1</td><td>0</td></tr> </table> <p>・美術1の巻末の資料において「美術館ってどんなところ？」や「美術館へ行こう」などのコーナーが位置付けられている。</p> <p>・表現を主とした題材における鑑賞対象の図版の数</p> <p>美術1</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>絵・彫刻</th><th>デザイン・工芸</th></tr> <tr><td>作家の作品</td><td>19</td><td>28</td></tr> <tr><td>生徒の作品</td><td>35</td><td>29</td></tr> </table> <p>美術2・3</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>絵・彫刻</th><th>デザイン・工芸</th></tr> <tr><td>作家の作品</td><td>46</td><td>84</td></tr> <tr><td>生徒の作品</td><td>33</td><td>45</td></tr> </table>		絵・彫刻	デザイン・工芸	作家の作品	14	28	生徒の作品	0	0		絵・彫刻	デザイン・工芸	作家の作品	117	37	生徒の作品	1	0		絵・彫刻	デザイン・工芸	作家の作品	19	28	生徒の作品	35	29		絵・彫刻	デザイン・工芸	作家の作品	46	84	生徒の作品	33	45	<p>・鑑賞を主とした題材における鑑賞対象の図版の数</p> <p>美術1</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>絵・彫刻</th><th>デザイン・工芸</th></tr> <tr><td>作家の作品</td><td>18</td><td>26</td></tr> <tr><td>生徒の作品</td><td>2</td><td>0</td></tr> </table> <p>美術2・3</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>絵・彫刻</th><th>デザイン・工芸</th></tr> <tr><td>作家の作品</td><td>55</td><td>30</td></tr> <tr><td>生徒の作品</td><td>6</td><td>1</td></tr> </table> <p>・美術1の巻末の資料において「美術館を楽しもう」や「美術館を楽しむ手がかかり」などのコーナーが位置付けられている。</p> <p>・表現を主とした題材における鑑賞対象の図版の数</p> <p>美術1</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>絵・彫刻</th><th>デザイン・工芸</th></tr> <tr><td>作家の作品</td><td>17</td><td>68</td></tr> <tr><td>生徒の作品</td><td>41</td><td>19</td></tr> </table> <p>美術2・3</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>絵・彫刻</th><th>デザイン・工芸</th></tr> <tr><td>作家の作品</td><td>38</td><td>86</td></tr> <tr><td>生徒の作品</td><td>41</td><td>29</td></tr> </table>		絵・彫刻	デザイン・工芸	作家の作品	18	26	生徒の作品	2	0		絵・彫刻	デザイン・工芸	作家の作品	55	30	生徒の作品	6	1		絵・彫刻	デザイン・工芸	作家の作品	17	68	生徒の作品	41	19		絵・彫刻	デザイン・工芸	作家の作品	38	86	生徒の作品	41	29																																																	
	絵・彫刻	デザイン・工芸																																																																																																																										
作家の作品	14	28																																																																																																																										
生徒の作品	0	0																																																																																																																										
	絵・彫刻	デザイン・工芸																																																																																																																										
作家の作品	117	37																																																																																																																										
生徒の作品	1	0																																																																																																																										
	絵・彫刻	デザイン・工芸																																																																																																																										
作家の作品	19	28																																																																																																																										
生徒の作品	35	29																																																																																																																										
	絵・彫刻	デザイン・工芸																																																																																																																										
作家の作品	46	84																																																																																																																										
生徒の作品	33	45																																																																																																																										
	絵・彫刻	デザイン・工芸																																																																																																																										
作家の作品	18	26																																																																																																																										
生徒の作品	2	0																																																																																																																										
	絵・彫刻	デザイン・工芸																																																																																																																										
作家の作品	55	30																																																																																																																										
生徒の作品	6	1																																																																																																																										
	絵・彫刻	デザイン・工芸																																																																																																																										
作家の作品	17	68																																																																																																																										
生徒の作品	41	19																																																																																																																										
	絵・彫刻	デザイン・工芸																																																																																																																										
作家の作品	38	86																																																																																																																										
生徒の作品	41	29																																																																																																																										
(共通事項)に関する活動	<p>①形や色彩、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解させることについて、どのように示されているか。</p>	<p>・巻末の資料における、形や色彩、光についての学習の中の図版数とページ数</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>図版</th><th>ページ数</th></tr> <tr><td>美術1</td><td>66</td><td>5</td></tr> <tr><td>美術2・3</td><td>69</td><td>3</td></tr> </table> <p>・美術1の巻末資料における、色や光の学習のページは片観音開きになっており、「構成美の要素」「色彩の種類」「三原色と混色」などの項目が位置付けられている。</p>		図版	ページ数	美術1	66	5	美術2・3	69	3	<p>・巻末の資料における、形や色彩、光についての学習の中の図版数とページ数</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>図版</th><th>ページ数</th></tr> <tr><td>美術1</td><td>85</td><td>7</td></tr> <tr><td>美術2・3</td><td>83</td><td>4</td></tr> </table> <p>・美術1の巻末資料における、色や光の学習のページは片観音開きになっており、「三原色から生まれる色」「光による見え方の違い」「色による印象や効果」などの項目が位置付けられている。</p>		図版	ページ数	美術1	85	7	美術2・3	83	4																																																																																																							
	図版	ページ数																																																																																																																										
美術1	66	5																																																																																																																										
美術2・3	69	3																																																																																																																										
	図版	ページ数																																																																																																																										
美術1	85	7																																																																																																																										
美術2・3	83	4																																																																																																																										

【 美 術 】

観点		発行者	116 日 文																																																												
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	<p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。</p> <p>④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。</p>	<p>・表現領域の絵・彫刻・デザイン・工芸、鑑賞領域の題材数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>絵・彫刻</th> <th>デザイン・工芸</th> <th>鑑賞</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>美術1</td> <td>7</td> <td>9</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>美術2・3上下</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table> <p>・用具や材料の扱い方に関する図版の数 【美術】168 【美術2・3上下】74</p> <p>・アイデアスケッチの図版の数 【美術1】11 【美術2・3上下】19</p> <p>・活動の見通しを持つために、生徒の活動の様子を表した図版の数 【美術1】43 【美術2・3上下】27</p>		絵・彫刻	デザイン・工芸	鑑賞	美術1	7	9	3	美術2・3上下	12	12	11																																																
		絵・彫刻	デザイン・工芸	鑑賞																																																											
	美術1	7	9	3																																																											
美術2・3上下	12	12	11																																																												
資料等	<p>①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。</p>	<p>・二次元コードの数と美術1の巻頭コードの内容 【美術1】29 【美術2・3上下】17</p> <p>・動画や音声、字幕を用い、教科書の使い方、美術との出会い等について説明している。</p>																																																													
等表挿 ・統計 ・図	<p>①挿絵・図表・統計等がどのように示されているか。</p>	<p>・掲載されている図版の数は1ページにつき平均 【美術1】7.7 【美術2・3上下】6.1</p>																																																													
教科独自	表現に関する活動	<p>①主題を生み出し豊かに発想し構想を練ることについて、どのように示されているか。</p> <p>②意図に応じて表現方法を工夫して表し、追求し、創造的に表すことについて、どのように示されているか。</p>	<p>・構想を練るヒントとして示されている作家や生徒の言葉の数</p> <p>美術1</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>絵・彫刻</th> <th>デザイン</th> <th>鑑賞</th> <th>特設ページ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>作家</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>生徒</td> <td>18</td> <td>7</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>美術2・3上・下</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>絵・彫刻</th> <th>デザイン</th> <th>鑑賞</th> <th>特設ページ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>作家</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>生徒</td> <td>21</td> <td>21</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>・題材等の中で紹介されている「材料」「道具」の種類の数</p> <p>美術1</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>絵・彫刻</th> <th>デザイン</th> <th>鑑賞</th> <th>特設ページ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>材料</td> <td>43</td> <td>26</td> <td>16</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>道具</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>48</td> </tr> </tbody> </table> <p>美術2・3上下</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>絵・彫刻</th> <th>デザイン</th> <th>鑑賞</th> <th>特設ページ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>材料</td> <td>40</td> <td>60</td> <td>47</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>道具</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>23</td> </tr> </tbody> </table>		絵・彫刻	デザイン	鑑賞	特設ページ	作家	2	3	4	2	生徒	18	7	0	0		絵・彫刻	デザイン	鑑賞	特設ページ	作家	4	2	5	4	生徒	21	21	1	0		絵・彫刻	デザイン	鑑賞	特設ページ	材料	43	26	16	20	道具	3	2	0	48		絵・彫刻	デザイン	鑑賞	特設ページ	材料	40	60	47	13	道具	1	3	6	23
		絵・彫刻	デザイン	鑑賞	特設ページ																																																										
	作家	2	3	4	2																																																										
生徒	18	7	0	0																																																											
	絵・彫刻	デザイン	鑑賞	特設ページ																																																											
作家	4	2	5	4																																																											
生徒	21	21	1	0																																																											
	絵・彫刻	デザイン	鑑賞	特設ページ																																																											
材料	43	26	16	20																																																											
道具	3	2	0	48																																																											
	絵・彫刻	デザイン	鑑賞	特設ページ																																																											
材料	40	60	47	13																																																											
道具	1	3	6	23																																																											
鑑賞に関する活動	<p>①美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げ、深めることについて、どのように示されているか。</p> <p>②表現と鑑賞の活動を相互に関連させる活動について、どのように示されているか。</p>	<p>・鑑賞を主とした題材における鑑賞対象の図版の数</p> <p>美術1</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>絵・彫刻</th> <th>デザイン・工芸</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>作家の作品</td> <td>11</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>生徒の作品</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>美術2・3上下</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>絵・彫刻</th> <th>デザイン・工芸</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>作家の作品</td> <td>29</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>生徒の作品</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>・美術1の巻末の資料において「美術館の役割」や「美術館を楽しむコツ」などのコーナーが位置付けられている。</p> <p>・表現を主とした題材における鑑賞対象の図版の数</p> <p>美術1</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>絵・彫刻</th> <th>デザイン・工芸</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>作家の作品</td> <td>12</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>生徒の作品</td> <td>37</td> <td>39</td> </tr> </tbody> </table> <p>美術2・3上下</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>絵・彫刻</th> <th>デザイン・工芸</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>作家の作品</td> <td>43</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>生徒の作品</td> <td>65</td> <td>75</td> </tr> </tbody> </table>		絵・彫刻	デザイン・工芸	作家の作品	11	15	生徒の作品	0	0		絵・彫刻	デザイン・工芸	作家の作品	29	63	生徒の作品	0	0		絵・彫刻	デザイン・工芸	作家の作品	12	50	生徒の作品	37	39		絵・彫刻	デザイン・工芸	作家の作品	43	70	生徒の作品	65	75																									
	絵・彫刻	デザイン・工芸																																																													
作家の作品	11	15																																																													
生徒の作品	0	0																																																													
	絵・彫刻	デザイン・工芸																																																													
作家の作品	29	63																																																													
生徒の作品	0	0																																																													
	絵・彫刻	デザイン・工芸																																																													
作家の作品	12	50																																																													
生徒の作品	37	39																																																													
	絵・彫刻	デザイン・工芸																																																													
作家の作品	43	70																																																													
生徒の作品	65	75																																																													
〔共通事項〕に関すること	<p>①形や色彩、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解させることについて、どのように示されているか。</p>	<p>・巻末の資料における、形や色彩、光についての学習の中の図版数とページ数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>図版</th> <th>ページ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>美術1</td> <td>129</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>美術2・3上下</td> <td>68</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>・美術1の巻末資料における、色や光の学習のページは片断音開きになっており、「三原色」「絵の具の混色と重色」「色の三属性」などの項目が位置付けられている。</p>		図版	ページ数	美術1	129	6	美術2・3上下	68	3																																																				
	図版	ページ数																																																													
美術1	129	6																																																													
美術2・3上下	68	3																																																													

1 学習指導要領に示された目標

【保健体育科の目標】

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (3) 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

【体育分野の目標】

	第1学年・第2学年	第3学年
能 知 識 及 び 技	(1) 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けることができるようにする。	(1) 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けることができるようにする。
表 判 思 現 断 考 力 力 力 等	(2) 運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養うことができるようにする。	(2) 運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養うことができるようにする。
力、学 びに 向 か う 等	(3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を養うことができるようにする。	(3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって運動に親しむ態度を養うことができるようにする。

【保健分野の目標】

	全学年
技 及 知 能 び 識	(1) 個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
表 判 思 現 断 考 力 力 力 等	(2) 健康について自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
人 か 学 間 っ び 性 っ 力 等 向 に 向	(3) 生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

2 教科独自の調査研究の観点

(1) 体育分野	①運動やスポーツが多様であることを理解することについて、どのように示されているか。 ②運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方を理解することについて、どのように示されているか。 ③文化としてのスポーツの意義を理解することについて、どのように示されているか。
(2) 保健分野	①健康な生活と疾病の予防、健康と環境について課題を発見し、課題の解決に向けて思考・判断するとともに、それらを表現することについて、どのように示されているか。 ②心身の機能の発達と心の健康について課題を発見し、課題の解決に向けて思考・判断するとともに、それらを表現することについて、どのように示されているか。 ③傷害の防止について理解し応急手当をすることや、危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現することについて、どのように示されているか。

【保健体育】

観点		発行者	2 東書	4 大日本																																																
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。	・「体育編」「保健編」で次のとおり配置されている。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>各学年の章数・単元数</th> <th>章数</th> <th>単元数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">1年</td> <td>体育編</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>保健編</td> <td>2</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2年</td> <td>体育編</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>保健編</td> <td>2</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3年</td> <td>体育編</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>保健編</td> <td>2</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table>	各学年の章数・単元数	章数	単元数	1年	体育編	1	3	保健編	2	15	2年	体育編	1	3	保健編	2	16	3年	体育編	1	3	保健編	2	13	・「体育編」「保健編」で次のとおり配置されている。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>各学年の章数・単元数</th> <th>章数</th> <th>単元数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">1年</td> <td>体育編</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>保健編</td> <td>2</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2年</td> <td>体育編</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>保健編</td> <td>2</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3年</td> <td>体育編</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>保健編</td> <td>2</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>	各学年の章数・単元数	章数	単元数	1年	体育編	1	3	保健編	2	14	2年	体育編	1	3	保健編	2	14	3年	体育編	1	3	保健編	2	12
		各学年の章数・単元数	章数	単元数																																																
		1年	体育編	1	3																																															
			保健編	2	15																																															
2年	体育編	1	3																																																	
	保健編	2	16																																																	
3年	体育編	1	3																																																	
	保健編	2	13																																																	
各学年の章数・単元数	章数	単元数																																																		
1年	体育編	1	3																																																	
	保健編	2	14																																																	
2年	体育編	1	3																																																	
	保健編	2	14																																																	
3年	体育編	1	3																																																	
	保健編	2	12																																																	
②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。	・基礎的な内容を実践的に理解するためのチェック項目、記述欄、コラムやトピックスの数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>コラム・トピックス</th> <th>チェック項目</th> <th>関連</th> <th>実習・実験</th> <th>解説</th> <th>太字</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>27</td> <td>5</td> <td>122</td> <td>5</td> <td>48</td> <td>182</td> </tr> </tbody> </table>	コラム・トピックス	チェック項目	関連	実習・実験	解説	太字	27	5	122	5	48	182	・基礎的な内容を実践的に理解するためのチェック項目、記述欄、コラムやトピックスの数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>コラム・トピックス</th> <th>チェック項目</th> <th>関連</th> <th>実習・実験</th> <th>解説</th> <th>太字</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>49</td> <td>49</td> <td>69</td> <td>6</td> <td>41</td> <td>226</td> </tr> </tbody> </table>	コラム・トピックス	チェック項目	関連	実習・実験	解説	太字	49	49	69	6	41	226																										
コラム・トピックス	チェック項目	関連	実習・実験	解説	太字																																															
27	5	122	5	48	182																																															
コラム・トピックス	チェック項目	関連	実習・実験	解説	太字																																															
49	49	69	6	41	226																																															
③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。	・ディスカッション、ブレインストーミング、ロールプレイングなどに発展できる学習活動が48設けられている。 ・課題、発問の数は147。 ・一項目の基本的な学習の流れは「見つける」→「課題の解決」→「広げる」の3段階で構成されている。 ・1単位時間の学習内容が見開きで2ページとされている。	・ディスカッション、ブレインストーミング、ロールプレイングなどに発展できる学習活動が54設けられている。 ・課題、発問の数は49。 ・一項目の基本的な学習の流れは「つかもう」→「やってみよう・話し合おう・調べてみよう」→「活用して深めよう」の3段階で構成されている。 ・1単位時間の学習内容が見開きで2ページとされている。																																																		
④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。	・課題を引き受けさせるための問いかけ数27。 ・各単元の終わりに章末問題、学習のまとめが、80設けられている。 ・牽引の項目数は350。語句や本文についての解読数は189。 ・参考資料や動画を閲覧できる、二次元コード、URL、Webサイトなどの数は52。	・課題を引き受けさせるための問いかけ数17。 ・各単元の終わりにある章末問題、学習のまとめは本誌には記載がないが、ウェブサイトへ接続した際に表示される。 ・牽引の項目数は303。語句や本文についての解読数は116。 ・参考資料や動画を閲覧できる、二次元コード、URL、Webサイトなどの数は22。																																																		
資料等	①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	・牽引の項目数は350。語句や本文についての解読数は189。 ・参考資料や動画を閲覧できる、二次元コード、URL、Webサイトなどの数は52。	・牽引の項目数は303。語句や本文についての解読数は116。 ・参考資料や動画を閲覧できる、二次元コード、URL、Webサイトなどの数は22。																																																	
	挿絵・図表・統計等	①挿絵・図表・統計等がどのように示されているか。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>図表</th> <th>写真</th> <th>統計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>303</td> <td>130</td> <td>72</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>巻頭</th> <th>巻末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>50</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>	図表	写真	統計	303	130	72	巻頭	巻末	50	10	・図表、写真、統計の数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>図表</th> <th>写真</th> <th>統計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>313</td> <td>162</td> <td>45</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>巻頭</th> <th>巻末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>48</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>	図表	写真	統計	313	162	45	巻頭	巻末	48	6																													
図表	写真	統計																																																		
303	130	72																																																		
巻頭	巻末																																																			
50	10																																																			
図表	写真	統計																																																		
313	162	45																																																		
巻頭	巻末																																																			
48	6																																																			
教科独自	体育分野	①運動やスポーツが多様であることを理解することについて、どのように示されているか。	・運動やスポーツの多様性について <table border="1"> <thead> <tr> <th>発問数</th> <th>資料数</th> <th>コラム・トピックス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12</td> <td>18</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	発問数	資料数	コラム・トピックス	12	18	1	・運動やスポーツの多様性について <table border="1"> <thead> <tr> <th>発問数</th> <th>資料数</th> <th>コラム・トピックス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10</td> <td>17</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	発問数	資料数	コラム・トピックス	10	17	4																																				
		発問数	資料数	コラム・トピックス																																																
		12	18	1																																																
発問数	資料数	コラム・トピックス																																																		
10	17	4																																																		
②運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について、どのように示されているか。	・運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について <table border="1"> <thead> <tr> <th>発問数</th> <th>資料数</th> <th>コラム・トピックス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>16</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	発問数	資料数	コラム・トピックス	15	16	2	・運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について <table border="1"> <thead> <tr> <th>発問数</th> <th>資料数</th> <th>コラム・トピックス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10</td> <td>22</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	発問数	資料数	コラム・トピックス	10	22	3																																						
発問数	資料数	コラム・トピックス																																																		
15	16	2																																																		
発問数	資料数	コラム・トピックス																																																		
10	22	3																																																		
③文化としてのスポーツの意義を理解することについて、どのように示されているか。	・文化としてのスポーツの意義について <table border="1"> <thead> <tr> <th>発問数</th> <th>資料数</th> <th>コラム・トピックス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>18</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	発問数	資料数	コラム・トピックス	5	18	3	・文化としてのスポーツの意義について <table border="1"> <thead> <tr> <th>発問数</th> <th>資料数</th> <th>コラム・トピックス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>24</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	発問数	資料数	コラム・トピックス	3	24	3																																						
発問数	資料数	コラム・トピックス																																																		
5	18	3																																																		
発問数	資料数	コラム・トピックス																																																		
3	24	3																																																		
保健分野	①健康な生活と疾病の予防、健康と環境について課題を発見し、課題の解決に向けて思考・判断するとともに、それら表現することについて、どのように示されているか。	・健康な生活と疾病の予防、健康と環境について <table border="1"> <thead> <tr> <th>発問数</th> <th>資料数</th> <th>コラム・トピックス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20</td> <td>80</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table>	発問数	資料数	コラム・トピックス	20	80	9	・健康な生活と疾病の予防、健康と環境について <table border="1"> <thead> <tr> <th>発問数</th> <th>資料数</th> <th>コラム・トピックス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>64</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table>	発問数	資料数	コラム・トピックス	5	64	13																																					
	発問数	資料数	コラム・トピックス																																																	
	20	80	9																																																	
発問数	資料数	コラム・トピックス																																																		
5	64	13																																																		
②心身の機能の発達と心の健康について課題を発見し、課題の解決に向けて思考・判断するとともに、それら表現することについて、どのように示されているか。	・心身の機能の発達と心の健康について <table border="1"> <thead> <tr> <th>発問数</th> <th>資料数</th> <th>コラム・トピックス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>54</td> <td>46</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	発問数	資料数	コラム・トピックス	54	46	3	・心身の機能の発達と心の健康について <table border="1"> <thead> <tr> <th>発問数</th> <th>資料数</th> <th>コラム・トピックス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>28</td> <td>40</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>	発問数	資料数	コラム・トピックス	28	40	10																																						
発問数	資料数	コラム・トピックス																																																		
54	46	3																																																		
発問数	資料数	コラム・トピックス																																																		
28	40	10																																																		
③傷害の防止について理解し応急手当をすることや、危険の予測やその回避の方法を考え、それら表現することについて、どのように示されているか。	・傷害の防止について <table border="1"> <thead> <tr> <th>発問数</th> <th>資料数</th> <th>コラム・トピックス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12</td> <td>49</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	発問数	資料数	コラム・トピックス	12	49	3	・傷害の防止について <table border="1"> <thead> <tr> <th>発問数</th> <th>資料数</th> <th>コラム・トピックス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6</td> <td>51</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table>	発問数	資料数	コラム・トピックス	6	51	8																																						
発問数	資料数	コラム・トピックス																																																		
12	49	3																																																		
発問数	資料数	コラム・トピックス																																																		
6	51	8																																																		

【保健体育】

観点		発行者	50 大修館	224 学研																																																		
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。	・「体育理論」「保健」で次のとおり配置されている。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>各学年の章数・単元数</th> <th>章数</th> <th>単元数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">1年</td> <td>体育理論</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>保健</td> <td>2</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2年</td> <td>体育理論</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>保健</td> <td>2</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3年</td> <td>体育理論</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>保健</td> <td>2</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table>		各学年の章数・単元数	章数	単元数	1年	体育理論	1	3	保健	2	16	2年	体育理論	1	3	保健	2	16	3年	体育理論	1	3	保健	2	16	・「体育編」「保健編」で次のとおり配置されている。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>各学年の章数・単元数</th> <th>章数</th> <th>単元数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">1年</td> <td>体育編</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>保健編</td> <td>2</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2年</td> <td>体育編</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>保健編</td> <td>2</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3年</td> <td>体育編</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>保健編</td> <td>2</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table>		各学年の章数・単元数	章数	単元数	1年	体育編	1	3	保健編	2	12	2年	体育編	1	3	保健編	2	12	3年	体育編	1	3	保健編	2	11
			各学年の章数・単元数	章数	単元数																																																	
		1年	体育理論	1	3																																																	
			保健	2	16																																																	
2年	体育理論	1	3																																																			
	保健	2	16																																																			
3年	体育理論	1	3																																																			
	保健	2	16																																																			
	各学年の章数・単元数	章数	単元数																																																			
1年	体育編	1	3																																																			
	保健編	2	12																																																			
2年	体育編	1	3																																																			
	保健編	2	12																																																			
3年	体育編	1	3																																																			
	保健編	2	11																																																			
②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。	・基礎的な内容を実践的に理解するためのチェック項目、記述欄、コラムやトピックスの数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>コラム・トピックス</th> <th>チェック項目</th> <th>関連</th> <th>実習・実験</th> <th>解説</th> <th>太字</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>36</td> <td>61</td> <td>50</td> <td>3</td> <td>81</td> <td>216</td> </tr> </tbody> </table>	コラム・トピックス	チェック項目	関連	実習・実験	解説	太字	36	61	50	3	81	216	・基礎的な内容を実践的に理解するためのチェック項目、記述欄、コラムやトピックスの数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>コラム・トピックス</th> <th>チェック項目</th> <th>関連</th> <th>実習・実験</th> <th>解説</th> <th>太字</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>38</td> <td>66</td> <td>46</td> <td>7</td> <td>115</td> <td>184</td> </tr> </tbody> </table>	コラム・トピックス	チェック項目	関連	実習・実験	解説	太字	38	66	46	7	115	184																												
コラム・トピックス	チェック項目	関連	実習・実験	解説	太字																																																	
36	61	50	3	81	216																																																	
コラム・トピックス	チェック項目	関連	実習・実験	解説	太字																																																	
38	66	46	7	115	184																																																	
③思考力、判断力、表現力等を育成する学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。	・ディスカッション、ブレインストーミング、ロールプレイングなどに発展できる学習活動が30設けられている。 ・課題、発問の数は54。 ・一項目の基本的な学習の流れは「つかむ」→「身に付ける・考える」→「まとめる・振り返る」の3段階で構成されている。 ・1単位時間の学習内容は、主に見開きで2ページとされている。	・ディスカッション、ブレインストーミング、ロールプレイングなどに発展できる学習活動が41設けられている。 ・課題、発問の数は47。 ・一項目の基本的な学習の流れは「学習の目標」→「課題をつかむ」→「考える・調べる」→「まとめ・深める」の4段階で構成されている。 ・1単位時間の学習内容は、主に見開きで2ページとされている。																																																				
④学びに向かう力を育てるために、どのような工夫がなされているか。	・課題を引き受けさせるための問いかけ数は9。 ・各単元の終わりに章末問題、学習のまとめが、103設けられている。	・課題を引き受けさせるための問いかけ数33。 ・各単元の終わりに章末問題、学習のまとめが、49設けられている。																																																				
資料等	①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	・牽引の項目数は414。語句や本文についての解説数は93。 ・参考資料や動画を閲覧できる、二次元コード、URL、Webサイトなどの数は24。	・牽引の項目数は457。語句や本文についての解説数は116。 ・参考資料や動画を閲覧できる、二次元コード、URL、Webサイトなどの数は24。																																																			
	挿絵・図表・統計等	①挿絵・図表・統計等どのように示されているか。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>図表</th> <th>写真</th> <th>統計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>350</td> <td>139</td> <td>57</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>巻頭</th> <th>巻末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>51</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table>	図表	写真	統計	350	139	57	巻頭	巻末	51	7	①図表、写真、統計の数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>図表</th> <th>写真</th> <th>統計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>495</td> <td>160</td> <td>41</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>巻頭</th> <th>巻末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>40</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table>	図表	写真	統計	495	160	41	巻頭	巻末	40	16																															
図表	写真	統計																																																				
350	139	57																																																				
巻頭	巻末																																																					
51	7																																																					
図表	写真	統計																																																				
495	160	41																																																				
巻頭	巻末																																																					
40	16																																																					
教科独自	体育分野	①運動やスポーツが多様であることを理解することについて、どのように示されているか。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>発問数</th> <th>資料数</th> <th>コラム・トピックス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>16</td> <td>13</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	発問数	資料数	コラム・トピックス	16	13	1	①運動やスポーツの多様性について <table border="1"> <thead> <tr> <th>発問数</th> <th>資料数</th> <th>コラム・トピックス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>25</td> <td>13</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	発問数	資料数	コラム・トピックス	25	13	3																																							
		発問数	資料数	コラム・トピックス																																																		
		16	13	1																																																		
発問数	資料数	コラム・トピックス																																																				
25	13	3																																																				
②運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方を理解することについて、どのように示されているか。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>発問数</th> <th>資料数</th> <th>コラム・トピックス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>18</td> <td>19</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	発問数	資料数	コラム・トピックス	18	19	1	②運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について <table border="1"> <thead> <tr> <th>発問数</th> <th>資料数</th> <th>コラム・トピックス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>24</td> <td>13</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	発問数	資料数	コラム・トピックス	24	13	4																																									
発問数	資料数	コラム・トピックス																																																				
18	19	1																																																				
発問数	資料数	コラム・トピックス																																																				
24	13	4																																																				
③文化としてのスポーツの意義を理解することについて、どのように示されているか。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>発問数</th> <th>資料数</th> <th>コラム・トピックス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>14</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>	発問数	資料数	コラム・トピックス	3	14	12	③文化としてのスポーツの意義について <table border="1"> <thead> <tr> <th>発問数</th> <th>資料数</th> <th>コラム・トピックス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>17</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>	発問数	資料数	コラム・トピックス	3	17	6																																									
発問数	資料数	コラム・トピックス																																																				
3	14	12																																																				
発問数	資料数	コラム・トピックス																																																				
3	17	6																																																				
保健分野	①健康な生活と疾病の予防、健康と環境について課題を発見し、課題の解決に向けて思考・判断するとともに、それらを表現することについて、どのように示されているか。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>発問数</th> <th>資料数</th> <th>コラム・トピックス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>16</td> <td>67</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table>	発問数	資料数	コラム・トピックス	16	67	9	①健康な生活と疾病の予防、健康と環境について <table border="1"> <thead> <tr> <th>発問数</th> <th>資料数</th> <th>コラム・トピックス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11</td> <td>53</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>	発問数	資料数	コラム・トピックス	11	53	10																																								
	発問数	資料数	コラム・トピックス																																																			
	16	67	9																																																			
発問数	資料数	コラム・トピックス																																																				
11	53	10																																																				
②心身の機能の発達と心の健康について課題を発見し、課題の解決に向けて思考・判断するとともに、それらを表現することについて、どのように示されているか。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>発問数</th> <th>資料数</th> <th>コラム・トピックス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>56</td> <td>45</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>	発問数	資料数	コラム・トピックス	56	45	10	②心身の機能の発達と心の健康について <table border="1"> <thead> <tr> <th>発問数</th> <th>資料数</th> <th>コラム・トピックス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>52</td> <td>39</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	発問数	資料数	コラム・トピックス	52	39	2																																									
発問数	資料数	コラム・トピックス																																																				
56	45	10																																																				
発問数	資料数	コラム・トピックス																																																				
52	39	2																																																				
③傷害の防止について理解し応急手当をすることや、危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現することについて、どのように示されているか。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>発問数</th> <th>資料数</th> <th>コラム・トピックス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6</td> <td>41</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>	発問数	資料数	コラム・トピックス	6	41	5	③傷害の防止について <table border="1"> <thead> <tr> <th>発問数</th> <th>資料数</th> <th>コラム・トピックス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6</td> <td>35</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>	発問数	資料数	コラム・トピックス	6	35	6																																									
発問数	資料数	コラム・トピックス																																																				
6	41	5																																																				
発問数	資料数	コラム・トピックス																																																				
6	35	6																																																				

1 学習指導要領に示された目標

【技術・家庭科の目標】

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

【技術分野の目標】

	全学年
技能 知識 及び	(1) 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。
力、 思考 表現 力等	(2) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。
等 学 び に 向 か う 力 、 人 間 性	(3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

2 教科独自の調査研究の観点

(1) 材料と加工の技術	①生活や社会を支える材料と加工の技術について調べる活動等は、どのように示されているか。 ②材料の選択や成形の方法等を構想して設計を具体化し、製作等について考える学習活動について、どのように示されているか。
(2) 生物育成の技術	①生活や社会を支える生物育成の技術について調べる活動等は、どのように示されているか。 ②育成環境の調節方法を構想して育成計画を立て、栽培又は飼育等について考える学習活動について、どのように示されているか。
(3) エネルギー変換の技術	①生活や社会を支えるエネルギー変換の技術について調べる活動等は、どのように示されているか。 ②電気回路又は力学的な機構等を構想して設計を具体化し、製作等について考える学習活動について、どのように示されているか。
(4) 情報の技術	①生活や社会を支える情報の技術について調べる活動等は、どのように示されているか。 ②ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミングの学習活動について、どのように示されているか。

【 技術・家庭（技術分野） 】

観点		発行者	2 東 書							6 教 図								
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。	・題材の構成及び内容の取扱いに関する項目数							・題材の構成及び内容の取扱いに関する項目数								
		②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。	①							①								
		③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。	②							②								
		④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。	③							③								
			④							④								
	調査内容	ページ数	ページ数の割合%	題材数	小題材数	習得状況の確保項目数	言語活動の項目数	生徒が自ら関連させた学習内容の数	調査内容	ページ数	ページ数の割合%	題材数	小題材数	習得状況の確保項目数	言語活動の項目数	生徒が自ら関連させた学習内容の数		
	内容								内容									
	材料と加工	70	25	12	24	18	12	15	材料と加工	68	26	12	36	17	4	11		
	生物育成	50	18	12	28	17	11	17	生物育成	42	16	12	21	17	3	11		
	エネルギー変換	60	22	16	31	11	9	19	エネルギー変換	64	25	16	27	19	6	4		
	情報	96	35	19	31	23	13	21	情報	84	33	18	35	25	9	17		
	合 計	276	100	59	114	69	45	72	合 計	258	100	58	119	78	22	43		
教科独自	資料等	①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	①参考資料、発展学習、二次元コードの数							①参考資料、発展学習、二次元コードの数								
			参考資料の項目数 41							参考資料の項目数 43								
			発展学習の項目数 35							発展学習の項目数 27								
			二次元コードの数 36							二次元コードの数 56								
				・工具等の使い方を示した別冊技術ハンドブックがある。							・工具等の使い方を示した別冊技術ハンドブックがある。							
教科独自	挿絵・図表・統計等	①挿絵・図表・統計等どのように示されているか。	①技術のしくみ、工具等の使い方の挿絵・図表数							①技術のしくみ、工具等の使い方の挿絵・図表数								
			技術のしくみに関する挿絵・図表数 58							技術のしくみに関する挿絵・図表数 29								
			工具等の使い方の挿絵数 109							工具等の使い方の挿絵数 104								
		教科独自	材料と加工の技術	①生活や社会を支える材料と加工の技術について調べる活動等は、どのように示されているか。	①材料と加工の技術について調べる活動等の事例数							①材料と加工の技術について調べる活動等の事例数						
					調べる活動等の事例数 4							調べる活動等の事例数 12						
②材料の選択や成形の方法等を構想して設計を具体化し、製作等について考える学習活動について、どのように示されているか。	②製作等について考える学習内容の数							②製作等について考える学習内容の数										
	材料の種類の数 24							材料の種類の数 26										
	製作事例数 9							製作事例数 9										
	安全指導の項目数 11							安全指導の項目数 23										
		・構想の具体化としてスケッチや文章で表す活動が示されている。							・構想の具体化として材料取り図で表す活動が示されている。									
教科独自	生物育成の技術	①生活や社会を支える生物育成の技術について調べる活動等は、どのように示されているか。	①生物育成の技術について調べる活動等の事例数							①生物育成の技術について調べる活動等の事例数								
			調べる活動等の事例数 4							調べる活動等の事例数 8								
		②育成環境の調節方法を構想して育成計画を立て、栽培又は飼育等について考える学習活動について、どのように示されているか。	②栽培又は飼育等について考える学習内容の数							②栽培又は飼育等について考える学習内容の数								
			育成生物の種類の数 26							育成生物の種類の数 23								
			育成事例数 11							育成事例数 6								
	安全指導の項目数 4							安全指導の項目数 7										
		・育成計画として栽培計画表を作成する活動が示されている。							・育成計画として栽培計画表を作成する活動が示されている。									
教科独自	エネルギー変換の技術	①生活や社会を支えるエネルギー変換の技術について調べる活動等は、どのように示されているか。	①エネルギー変換の技術について調べる活動等の事例数							①エネルギー変換の技術について調べる活動等の事例数								
			調べる活動等の事例数 6							調べる活動等の事例数 12								
		②電気回路又は力学的な機構等を構想して設計を具体化し、製作等について考える学習活動について、どのように示されているか。	②製作等について考える学習内容の数							②製作等について考える学習内容の数								
			電気回路等の種類の数 9							電気回路等の種類の数 9								
			製作事例数 5							製作事例数 7								
	安全指導の項目数 2							安全指導の項目数 14										
		・構想の具体化として図や試作で表す活動が示されている。							・構想の具体化として設計計画表を作成する活動が示されている。									
教科独自	情報の技術	①生活や社会を支える情報の技術について調べる活動等は、どのように示されているか。	①情報の技術について調べる活動等の事例数							①情報の技術について調べる活動等の事例数								
			調べる活動等の事例数 5							調べる活動等の事例数 28								
		②ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミングの学習活動について、どのように示されているか。	②双方向性のプログラミングによる学習内容の数							②双方向性のプログラミングによる学習内容の数								
			プログラムの種類の数 4							プログラムの種類の数 3								
			制作事例数 7							制作事例数 10								
	安全指導の項目数 6							安全指導の項目数 2										
		・双方向性のあるコンテンツの制作例として、学校紹介Webページ等の8つの例が示されている。							・双方向性のあるコンテンツの制作例として、案内マップ等の2つの例が示されている。									

【 技術・家庭（技術分野） 】

観点		発行者	9 開隆堂							
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。	・題材の構成及び内容の取扱いに関する項目数							
		②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。	調査内容 内容	①		②	③	④		
		③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。		ページ数	ページ数の割合%	題材数	小題材数	習得状況の確認項目数	言語活動の項目数	生活や社会に関連させた学習内容の数
		④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。	材料と加工	77	28	6	17	9	7	13
教科独自	資料等	①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	①参考資料、発展学習、二次元コードの数							
		挿絵・図表・統計等	①挿絵・図表・統計等どのように示されているか。	参考資料の項目数		88				
				発展学習の項目数		36				
				二次元コードの数		53				
教科独自	材料と加工の技術	①生活や社会を支える材料と加工の技術について調べる活動等は、どのように示されているか。	①材料と加工の技術について調べる活動等の事例数							
		②材料の選択や成形の方法等を構想して設計を具体化し、製作等について考える学習活動について、どのように示されているか。	調べる活動等の事例数		14					
			②製作等について考える学習活動の内容数							
			材料の種類の数	26						
教科独自	生物育成の技術	①生活や社会を支える生物育成の技術について調べる活動等は、どのように示されているか。	①生物育成の技術について調べる活動等の事例数							
		②育成環境の調節方法を構想して育成計画を立て、栽培又は飼育等について考える学習活動について、どのように示されているか。	調べる活動等の事例数		9					
			②栽培又は飼育等について考える学習活動の内容数							
			育成生物の種類の数	34						
教科独自	エネルギー変換の技術	①生活や社会を支えるエネルギー変換の技術について調べる活動等は、どのように示されているか。	①エネルギー変換の技術について調べる活動等の事例数							
		②電気回路又は力学的な機構等を構想して設計を具体化し、製作等について考える学習活動について、どのように示されているか。	調べる活動等の事例数		13					
			②製作等について考える学習活動の内容数							
			電気回路等の種類の数	17						
教科独自	情報の技術	①生活や社会を支える情報の技術について調べる活動等は、どのように示されているか。	①情報の技術について調べる活動等の事例数							
		②ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミングの学習活動について、どのように示されているか。	調べる活動等の事例数		20					
			②双方向性のプログラミングによる学習活動の内容数							
			プログラムの種類の数	8						
			制作事例数		9					
			安全指導の項目数		6					
			・双方向性のあるコンテンツの制作例として、メッセージ交換アプリ等の5つの例が示されている。							

1 学習指導要領に示された目標

【技術・家庭科の目標】

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

【家庭分野の目標】

全学年	
技能 知識 及び	(1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
力、 思考力、 表現力等 判断	(2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。
間 性 等	(3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

2 教科独自の調査研究の観点

(1) 「A 家族・家庭生活」 の内容	①高齢者など地域の人々と協働することの必要性や、介護など高齢者との関わり方について、どのように示されているか。 ②家族、幼児の生活又は地域の生活を見直して課題を設定し、計画、実践、評価・改善という学習活動について、どのように示されているか。
(2) 「B 衣食住の生活」 の内容	①食事の役割や、地域の食材を用いた和食の調理、加熱調理の仕方などについて、どのように示されているか。 ②衣服の選択と手入れや、布を用いた製作について、どのように示されているか。 ③住居の機能と安全な住まい方について、どのように示されているか。
(3) 「C 消費生活・環境」 の内容	①金銭の管理と購入、消費者の権利と責任などについて、どのように示されているか。 ②自分や家族の消費生活を見直して課題を設定し、計画、実践、評価・改善という学習活動について、どのように示されているか。

【 技術・家庭（家庭分野） 】

観 点		発行者	2 東 書	6 教 図																																																																						
教科 共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。	<p>・内容ごとのページ数と題材の数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>ページ数</th> <th>割合</th> <th>大題数</th> <th>小題数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家族・家庭生活</td> <td>74</td> <td>25%</td> <td>4</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>衣食住の生活</td> <td>164</td> <td>56%</td> <td>7</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>消費生活・環境</td> <td>28</td> <td>10%</td> <td>2</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>生活の課題と実践</td> <td>11</td> <td>4%</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>その他資料</td> <td>14</td> <td>5%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>291</td> <td>100%</td> <td>14</td> <td>62</td> </tr> </tbody> </table>		ページ数	割合	大題数	小題数	家族・家庭生活	74	25%	4	17	衣食住の生活	164	56%	7	33	消費生活・環境	28	10%	2	9	生活の課題と実践	11	4%	1	3	その他資料	14	5%			合 計	291	100%	14	62	<p>・内容ごとのページ数と題材の数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>ページ数</th> <th>割合</th> <th>大題数</th> <th>小題数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家族・家庭生活</td> <td>68</td> <td>23%</td> <td>2</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>衣食住の生活</td> <td>168</td> <td>57%</td> <td>6</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>消費生活・環境</td> <td>44</td> <td>15%</td> <td>2</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>生活の課題と実践</td> <td>10</td> <td>3%</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>その他資料</td> <td>5</td> <td>2%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>295</td> <td>100%</td> <td>11</td> <td>66</td> </tr> </tbody> </table>		ページ数	割合	大題数	小題数	家族・家庭生活	68	23%	2	17	衣食住の生活	168	57%	6	36	消費生活・環境	44	15%	2	12	生活の課題と実践	10	3%	1	1	その他資料	5	2%			合 計	295	100%	11	66
			ページ数	割合	大題数	小題数																																																																				
		家族・家庭生活	74	25%	4	17																																																																				
		衣食住の生活	164	56%	7	33																																																																				
消費生活・環境	28	10%	2	9																																																																						
生活の課題と実践	11	4%	1	3																																																																						
その他資料	14	5%																																																																								
合 計	291	100%	14	62																																																																						
	ページ数	割合	大題数	小題数																																																																						
家族・家庭生活	68	23%	2	17																																																																						
衣食住の生活	168	57%	6	36																																																																						
消費生活・環境	44	15%	2	12																																																																						
生活の課題と実践	10	3%	1	1																																																																						
その他資料	5	2%																																																																								
合 計	295	100%	11	66																																																																						
②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。	<p>・身に付けたい基礎的・基本的な知識・技能が「目標」「キーワード」として示され、本文では「いつも確かめよう」「まとめよう」「生活にいかそう」として示されている。</p> <p>・重要語句の数は154で、字体はゴシック黒字。</p>	<p>・身に付けたい基礎的・基本的な知識・技能が「めあて」「キーワード」として示され、本文では「見つめる・学ぶ・ふり返る」として示されている。</p> <p>・重要語句の数は184で、字体はゴシック青字。</p>																																																																								
③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。	<p>・内容ごとの言語活動の数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>話し合う</th> <th>調べる</th> <th>考える</th> <th>実習・実践する</th> <th>探究・活用する</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家族・家庭生活</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>15</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>衣食住の生活</td> <td>6</td> <td>9</td> <td>24</td> <td>9</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>消費生活・環境</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>8</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>11</td> <td>14</td> <td>47</td> <td>15</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>		話し合う	調べる	考える	実習・実践する	探究・活用する	家族・家庭生活	3	4	15	5	5	衣食住の生活	6	9	24	9	6	消費生活・環境	2	1	8	1	1	合 計	11	14	47	15	12	<p>・内容ごとの言語活動の数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>話し合う</th> <th>調べる</th> <th>考える</th> <th>実習・実践する</th> <th>探究・活用する</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家族・家庭生活</td> <td>7</td> <td>4</td> <td>8</td> <td>4</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>衣食住の生活</td> <td>15</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>10</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>消費生活・環境</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>9</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>28</td> <td>19</td> <td>28</td> <td>17</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table>		話し合う	調べる	考える	実習・実践する	探究・活用する	家族・家庭生活	7	4	8	4	2	衣食住の生活	15	11	11	10	5	消費生活・環境	6	4	9	3	2	合 計	28	19	28	17	9												
	話し合う	調べる	考える	実習・実践する	探究・活用する																																																																					
家族・家庭生活	3	4	15	5	5																																																																					
衣食住の生活	6	9	24	9	6																																																																					
消費生活・環境	2	1	8	1	1																																																																					
合 計	11	14	47	15	12																																																																					
	話し合う	調べる	考える	実習・実践する	探究・活用する																																																																					
家族・家庭生活	7	4	8	4	2																																																																					
衣食住の生活	15	11	11	10	5																																																																					
消費生活・環境	6	4	9	3	2																																																																					
合 計	28	19	28	17	9																																																																					
④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。	<p>・学んだことを実践する際の参考資料や解説の数は57。発展学習の項目の数は9。</p>	<p>・学んだことを実践する際の参考資料や解説の数は37。発展学習の項目の数は6。</p>																																																																								
資料等	①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	<p>・学びのポイントは「リンク」「小学校」「プロに聞く」「NEXT」「実習例」のマークで示されている。マークの数は276。</p> <p>・関連する他教科の学習内容は「他教科」のマークで示されている。マークの数は33。</p> <p>・関連する資料閲覧のための二次元コードの数は7。但し、含まれるコンテンツの数は44。</p>	<p>・学びのポイントは「リンク」「センパイに聞こう」「メッセージ」「実習例」のマークで示されている。マークの数は134。</p> <p>・関連する他教科の学習内容は「リンク」のマークで示されている。マークの数は10。</p> <p>・関連する資料閲覧のための二次元コードの数は54。</p>																																																																							
	②挿絵・図表・統計等どのように示されているか。	<p>・各題材の冒頭に、学習内容に関連する日常生活の場面や学習内容に関連する写真や挿絵、図表が掲載されている。</p>	<p>・各題材の冒頭に、学習内容に関連する日常生活の場面や学習内容に関連する写真や挿絵、アニメーション及び図表が掲載されている。</p>																																																																							
教科 独自	「A 家族・家庭生活」の内容	①高齢者など地域の人々と協働することの必要性や、介護など高齢者との関わり方について、どのように示されているか。	<p>・高齢者など地域の人々との協働や関わり方について、8ページこわって示され、学習過程は6段階で構成されている。</p> <p>・介助についての事例の数は3。</p>	<p>・高齢者など地域の人々との協働や関わり方について、10ページこわって示され、学習過程は8段階で構成されている。</p> <p>・介助についての事例の数は2。</p>																																																																						
		②家族、幼児の生活又は地域の生活を見直して課題を設定し、計画、実践、評価・改善という学習活動について、どのように示されているか。	<p>・「家族・家庭生活の課題と実践」の例の数は4。</p>	<p>・「家族・家庭生活の課題と実践」の例の数は1。</p>																																																																						
		③住居の機能と安全な住まい方について、どのように示されているか。	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>「食事の役割」についてのページ数</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>調理実習例の数</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>調理実習例のうち「和食の調理」の数</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>調理実習例のうち「蒸す調理」の数</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	「食事の役割」についてのページ数	2	調理実習例の数	45	調理実習例のうち「和食の調理」の数	22	調理実習例のうち「蒸す調理」の数	2	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>「食事の役割」についてのページ数</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>調理実習例の数</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>調理実習例のうち「和食の調理」の数</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>調理実習例のうち「蒸す調理」の数</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	「食事の役割」についてのページ数	2	調理実習例の数	41	調理実習例のうち「和食の調理」の数	18	調理実習例のうち「蒸す調理」の数	3																																																						
「食事の役割」についてのページ数	2																																																																									
調理実習例の数	45																																																																									
調理実習例のうち「和食の調理」の数	22																																																																									
調理実習例のうち「蒸す調理」の数	2																																																																									
「食事の役割」についてのページ数	2																																																																									
調理実習例の数	41																																																																									
調理実習例のうち「和食の調理」の数	18																																																																									
調理実習例のうち「蒸す調理」の数	3																																																																									
「B 衣食住の生活」の内容	①食事の役割や、地域の食材を用いた和食の調理、加熱調理の仕方などについて、どのように示されているか。	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>衣生活に関わる体験・実験・実習等の数</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>実習のうち「生活を豊かにするための布を用いた製作」の数</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>「和服の着装」についてのページ数</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	衣生活に関わる体験・実験・実習等の数	43	実習のうち「生活を豊かにするための布を用いた製作」の数	18	「和服の着装」についてのページ数	4	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>衣生活に関わる体験・実験・実習等の数</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>実習のうち「生活を豊かにするための布を用いた製作」の数</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>「和服の着装」についてのページ数</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	衣生活に関わる体験・実験・実習等の数	29	実習のうち「生活を豊かにするための布を用いた製作」の数	7	「和服の着装」についてのページ数	2																																																											
	衣生活に関わる体験・実験・実習等の数	43																																																																								
	実習のうち「生活を豊かにするための布を用いた製作」の数	18																																																																								
「和服の着装」についてのページ数	4																																																																									
衣生活に関わる体験・実験・実習等の数	29																																																																									
実習のうち「生活を豊かにするための布を用いた製作」の数	7																																																																									
「和服の着装」についてのページ数	2																																																																									
②衣服の選択と手入れや、布を用いた製作について、どのように示されているか。	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>「安全な住まい方」についてのページ数</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>住生活に関わる体験・実験・実習等の数</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>	「安全な住まい方」についてのページ数	8	住生活に関わる体験・実験・実習等の数	6	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>「安全な住まい方」についてのページ数</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>住生活に関わる体験・実験・実習等の数</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>	「安全な住まい方」についてのページ数	10	住生活に関わる体験・実験・実習等の数	5																																																																
「安全な住まい方」についてのページ数	8																																																																									
住生活に関わる体験・実験・実習等の数	6																																																																									
「安全な住まい方」についてのページ数	10																																																																									
住生活に関わる体験・実験・実習等の数	5																																																																									
③住居の機能と安全な住まい方について、どのように示されているか。	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>「安全な住まい方」についてのページ数</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>住生活に関わる体験・実験・実習等の数</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>	「安全な住まい方」についてのページ数	8	住生活に関わる体験・実験・実習等の数	6	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>「安全な住まい方」についてのページ数</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>住生活に関わる体験・実験・実習等の数</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>	「安全な住まい方」についてのページ数	10	住生活に関わる体験・実験・実習等の数	5																																																																
「安全な住まい方」についてのページ数	8																																																																									
住生活に関わる体験・実験・実習等の数	6																																																																									
「安全な住まい方」についてのページ数	10																																																																									
住生活に関わる体験・実験・実習等の数	5																																																																									
「C 消費生活・環境」の内容	①金銭の管理と購入、消費者の権利と責任などについて、どのように示されているか。	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>① キャッシュレス決済の例の数</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>三者間契約についてのページ数</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>消費者被害の例の数</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>持続可能な社会と消費生活についてのページ数</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>② 「消費生活・環境の課題と実践」の例の数</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	① キャッシュレス決済の例の数	2	三者間契約についてのページ数	1	消費者被害の例の数	13	持続可能な社会と消費生活についてのページ数	7	② 「消費生活・環境の課題と実践」の例の数	4	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>① キャッシュレス決済の例の数</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>三者間契約についてのページ数</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>消費者被害の例の数</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>持続可能な社会と消費生活についてのページ数</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>② 「消費生活・環境の課題と実践」の例の数</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	① キャッシュレス決済の例の数	4	三者間契約についてのページ数	1	消費者被害の例の数	9	持続可能な社会と消費生活についてのページ数	12	② 「消費生活・環境の課題と実践」の例の数	2																																																			
	① キャッシュレス決済の例の数	2																																																																								
三者間契約についてのページ数	1																																																																									
消費者被害の例の数	13																																																																									
持続可能な社会と消費生活についてのページ数	7																																																																									
② 「消費生活・環境の課題と実践」の例の数	4																																																																									
① キャッシュレス決済の例の数	4																																																																									
三者間契約についてのページ数	1																																																																									
消費者被害の例の数	9																																																																									
持続可能な社会と消費生活についてのページ数	12																																																																									
② 「消費生活・環境の課題と実践」の例の数	2																																																																									
②自分や家族の消費生活を見直して課題を設定し、計画、実践、評価・改善という学習活動について、どのように示されているか。	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>① キャッシュレス決済の例の数</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>三者間契約についてのページ数</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>消費者被害の例の数</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>持続可能な社会と消費生活についてのページ数</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>② 「消費生活・環境の課題と実践」の例の数</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	① キャッシュレス決済の例の数	2	三者間契約についてのページ数	1	消費者被害の例の数	13	持続可能な社会と消費生活についてのページ数	7	② 「消費生活・環境の課題と実践」の例の数	4	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>① キャッシュレス決済の例の数</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>三者間契約についてのページ数</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>消費者被害の例の数</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>持続可能な社会と消費生活についてのページ数</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>② 「消費生活・環境の課題と実践」の例の数</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	① キャッシュレス決済の例の数	4	三者間契約についてのページ数	1	消費者被害の例の数	9	持続可能な社会と消費生活についてのページ数	12	② 「消費生活・環境の課題と実践」の例の数	2																																																				
① キャッシュレス決済の例の数	2																																																																									
三者間契約についてのページ数	1																																																																									
消費者被害の例の数	13																																																																									
持続可能な社会と消費生活についてのページ数	7																																																																									
② 「消費生活・環境の課題と実践」の例の数	4																																																																									
① キャッシュレス決済の例の数	4																																																																									
三者間契約についてのページ数	1																																																																									
消費者被害の例の数	9																																																																									
持続可能な社会と消費生活についてのページ数	12																																																																									
② 「消費生活・環境の課題と実践」の例の数	2																																																																									

【 技術・家庭（家庭分野） 】

観 点		発行者	9 開隆堂																																			
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 内容ごとのページ数と題材の数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>ページ数</th> <th>割合</th> <th>大題材</th> <th>小題材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家族・家庭生活</td> <td>67</td> <td>22%</td> <td>5</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>衣食住の生活</td> <td>158</td> <td>53%</td> <td>14</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>消費生活・環境</td> <td>40</td> <td>13%</td> <td>4</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>生活の課題と実践</td> <td>12</td> <td>4%</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>その他資料</td> <td>22</td> <td>8%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>299</td> <td>100%</td> <td>24</td> <td>77</td> </tr> </tbody> </table> 		ページ数	割合	大題材	小題材	家族・家庭生活	67	22%	5	21	衣食住の生活	158	53%	14	38	消費生活・環境	40	13%	4	15	生活の課題と実践	12	4%	1	3	その他資料	22	8%			合 計	299	100%	24	77
			ページ数	割合	大題材	小題材																																
		家族・家庭生活	67	22%	5	21																																
		衣食住の生活	158	53%	14	38																																
消費生活・環境	40	13%	4	15																																		
生活の課題と実践	12	4%	1	3																																		
その他資料	22	8%																																				
合 計	299	100%	24	77																																		
②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 身に付けたい基礎的・基本的な知識・技能が「学習の目標」として示され、本文では「ふり返り」として示されている。 重要語句の数は185で、字体はゴシック黒字。 																																					
③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 内容ごとの言語活動の数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>話し合う</th> <th>調べる</th> <th>考える</th> <th>実習・実践する</th> <th>探究・活用する</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家族・家庭生活</td> <td>7</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>衣食住の生活</td> <td>12</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>7</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>消費生活・環境</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>24</td> <td>1</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table> 		話し合う	調べる	考える	実習・実践する	探究・活用する	家族・家庭生活	7	1	5	5	4	衣食住の生活	12	0	3	7	9	消費生活・環境	5	0	5	1	3	合 計	24	1	13	13	16							
	話し合う	調べる	考える	実習・実践する	探究・活用する																																	
家族・家庭生活	7	1	5	5	4																																	
衣食住の生活	12	0	3	7	9																																	
消費生活・環境	5	0	5	1	3																																	
合 計	24	1	13	13	16																																	
④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 学んだことを実践する際の参考資料や解説の数は39。発展学習の項目の数は5。 																																					
	資料等	①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 学びのポイントは「リンク」「小学校の学び」「先輩からのエール」「実習例」のマークで示されている。マークの数は139。 関連する他教科の学習内容は「他教科他分野」のマークで示されている。マークの数は50。 関連する資料閲覧のための二次元コードの数は63。 																																			
	表・挿絵・図	①挿絵・図表・統計等はどのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 各題材の冒頭に、学習内容に関連する日常生活の場面や学習内容に関連する写真や挿絵、図表が掲載されている。 																																			
教科独自	「A 家族・家庭生活」の内容	①高齢者など地域の人々と協働することの必要性や、介護など高齢者との関わり方について、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者など地域の人々との協働や関わり方について、4ページにわたって示され、学習過程は6段階で構成されている。 介助についての事例の数は2。 																																			
		②家族、幼児の生活又は地域の生活を見直して課題を設定し、計画、実践、評価・改善という学習活動について、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 「家族・家庭生活の課題と実践」の例の数は3。 																																			
	「B 衣食住の生活」の内容	①食事の役割や、地域の食材を用いた和食の調理、加熱調理の仕方などについて、どのように示されているか。	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>「食事の役割」についてのページ数</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>調理実習例の数</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>調理実習例のうち「和食の調理」の数</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>調理実習例のうち「蒸す調理」の数</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	「食事の役割」についてのページ数	2	調理実習例の数	35	調理実習例のうち「和食の調理」の数	24	調理実習例のうち「蒸す調理」の数	1																											
「食事の役割」についてのページ数	2																																					
調理実習例の数	35																																					
調理実習例のうち「和食の調理」の数	24																																					
調理実習例のうち「蒸す調理」の数	1																																					
②衣服の選択と手入れや、布を用いた製作について、どのように示されているか。	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>衣生活に関わる体験・実験・実習等の数</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>実習のうち「生活を豊かにするための布を用いた製作」の数</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>「和服の着装」についてのページ数</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	衣生活に関わる体験・実験・実習等の数	30	実習のうち「生活を豊かにするための布を用いた製作」の数	6	「和服の着装」についてのページ数	4																															
衣生活に関わる体験・実験・実習等の数	30																																					
実習のうち「生活を豊かにするための布を用いた製作」の数	6																																					
「和服の着装」についてのページ数	4																																					
③住居の機能と安全な住まい方について、どのように示されているか。	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>「安全な住まい方」についてのページ数</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>住生活に関わる体験・実験・実習等の数</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	「安全な住まい方」についてのページ数	8	住生活に関わる体験・実験・実習等の数	2																																	
「安全な住まい方」についてのページ数	8																																					
住生活に関わる体験・実験・実習等の数	2																																					
	「C 消費生活・環境」の内容	①金銭の管理と購入、消費者の権利と責任などについて、どのように示されているか。	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>① キャッシュレス決済の例の数</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>三者間契約についてのページ数</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>消費者被害の例の数</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>持続可能な社会と消費生活についてのページ数</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table>	① キャッシュレス決済の例の数	3	三者間契約についてのページ数	1	消費者被害の例の数	16	持続可能な社会と消費生活についてのページ数	8																											
① キャッシュレス決済の例の数	3																																					
三者間契約についてのページ数	1																																					
消費者被害の例の数	16																																					
持続可能な社会と消費生活についてのページ数	8																																					
		②自分や家族の消費生活を見直して課題を設定し、計画、実践、評価・改善という学習活動について、どのように示されているか。	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>② 「消費生活・環境の課題と実践」の例の数</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	② 「消費生活・環境の課題と実践」の例の数	3																																	
② 「消費生活・環境の課題と実践」の例の数	3																																					

1 学習指導要領に示された目標

【外国語科の目標】

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。
- (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

【英語の目標】

聞くこと	ア はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができるようにする。 イ はっきりと話されれば、日常的な話題について、話の概要を捉えることができるようにする。 ウ はっきりと話されれば、社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができるようにする。
読むこと	ア 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができるようにする。 イ 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。 ウ 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができるようにする。
「話すこと」 「やり取り」	ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようにする。 イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。 ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるようにする。
「話すこと」 「発表」	ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようにする。 イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。 ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができるようにする。
書くこと	ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようにする。 イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。 ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができるようにする。

2 教科独自の調査研究の観点

(1) 4技能5領域の総合的な指導	①4技能5領域を総合的に活用し、コミュニケーションを図る資質・能力を育成するための自己表現の題材について、どのように示されているか。
(2) 対話的な言語活動の充実	①関心のある事柄を、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合ったり話したりすることについて、どのように示されているか。
(3) 小学校外国語との接続	①小学校で学習した簡単な語句や基本的な表現などの学習内容を、繰り返し指導し定着を図ることについて、どのように示されているか。

【 外国語（英語） 】

観点		発行者	2 東 書	9 開隆堂																																																		
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 各学年の総頁数及び単元数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>総頁数</td><td>167</td><td>159</td><td>155</td><td>481</td></tr> <tr><td>単元数</td><td>12</td><td>8</td><td>7</td><td>27</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 多くの単元で、各単元は Preview→Story/Scene→Mini Activity→Read and Think→Unit Activity のような順で配列されている。 		1年	2年	3年	合計	総頁数	167	159	155	481	単元数	12	8	7	27	<ul style="list-style-type: none"> 各学年の総頁数及び単元数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>総頁数</td><td>159</td><td>159</td><td>151</td><td>469</td></tr> <tr><td>単元数</td><td>10</td><td>8</td><td>7</td><td>25</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 多くの単元で、各単元はとびら→Scenes→Think→Retell→Interact→英語のしくみのような順で配列されている。 		1年	2年	3年	合計	総頁数	159	159	151	469	単元数	10	8	7	25																				
			1年	2年	3年	合計																																																
		総頁数	167	159	155	481																																																
		単元数	12	8	7	27																																																
	1年	2年	3年	合計																																																		
総頁数	159	159	151	469																																																		
単元数	10	8	7	25																																																		
②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 各学年で扱う単語数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>新出単語数</td><td>829</td><td>495</td><td>406</td><td>1730</td></tr> <tr><td>重要語数</td><td>255</td><td>168</td><td>96</td><td>519</td></tr> </table>		1年	2年	3年	合計	新出単語数	829	495	406	1730	重要語数	255	168	96	519	<ul style="list-style-type: none"> 各学年で扱う単語数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>新出単語数</td><td>613</td><td>619</td><td>545</td><td>1777</td></tr> <tr><td>重要語数</td><td>180</td><td>116</td><td>33</td><td>329</td></tr> </table>		1年	2年	3年	合計	新出単語数	613	619	545	1777	重要語数	180	116	33	329																						
	1年	2年	3年	合計																																																		
新出単語数	829	495	406	1730																																																		
重要語数	255	168	96	519																																																		
	1年	2年	3年	合計																																																		
新出単語数	613	619	545	1777																																																		
重要語数	180	116	33	329																																																		
③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 各単元で習得した言語材料を使って行う活動の数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>17</td><td>65</td><td>54</td><td>136</td></tr> </table>	1年	2年	3年	合計	17	65	54	136	<ul style="list-style-type: none"> 各単元で習得した言語材料を使って行う活動の数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>14</td><td>51</td><td>38</td><td>103</td></tr> </table>	1年	2年	3年	合計	14	51	38	103																																				
1年	2年	3年	合計																																																			
17	65	54	136																																																			
1年	2年	3年	合計																																																			
14	51	38	103																																																			
④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 国内外の文化や他者との相互理解についての題材数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>日本理解</td><td>6</td><td>1</td><td>1</td><td>8</td></tr> <tr><td>国際理解</td><td>4</td><td>2</td><td>3</td><td>9</td></tr> <tr><td>相互理解</td><td>2</td><td>5</td><td>3</td><td>10</td></tr> </table>		1年	2年	3年	合計	日本理解	6	1	1	8	国際理解	4	2	3	9	相互理解	2	5	3	10	<ul style="list-style-type: none"> 国内外の文化や他者との相互理解についての題材数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>日本理解</td><td>5</td><td>2</td><td>1</td><td>8</td></tr> <tr><td>国際理解</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>9</td></tr> <tr><td>相互理解</td><td>2</td><td>3</td><td>3</td><td>8</td></tr> </table>		1年	2年	3年	合計	日本理解	5	2	1	8	国際理解	3	3	3	9	相互理解	2	3	3	8												
	1年	2年	3年	合計																																																		
日本理解	6	1	1	8																																																		
国際理解	4	2	3	9																																																		
相互理解	2	5	3	10																																																		
	1年	2年	3年	合計																																																		
日本理解	5	2	1	8																																																		
国際理解	3	3	3	9																																																		
相互理解	2	3	3	8																																																		
資料等	①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 学習の見通しをもつためのコーナーが設定されている。 まとめ・振り返りをするための記述欄が設けられている。 生徒が4段階で自己評価をするCan-Doリストがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の見通しをもつためのコーナーが設定されている。 まとめ・振り返りをするための記述欄が設けられている。 生徒が4回自己評価をするCan-Doリストがある。 																																																			
		②巻末等に掲載されている資料数は、次のとおりである。	<ul style="list-style-type: none"> 巻末等に掲載されている資料数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>学び方</td><td>5</td><td>4</td><td>4</td><td>13</td></tr> <tr><td>読み物</td><td>4</td><td>6</td><td>7</td><td>17</td></tr> <tr><td>歌</td><td>4</td><td>2</td><td>0</td><td>6</td></tr> <tr><td>言語</td><td>7</td><td>11</td><td>11</td><td>29</td></tr> </table>		1年	2年	3年	合計	学び方	5	4	4	13	読み物	4	6	7	17	歌	4	2	0	6	言語	7	11	11	29	<ul style="list-style-type: none"> 巻末等に掲載されている資料数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>学び方</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>3</td></tr> <tr><td>読み物</td><td>1</td><td>3</td><td>5</td><td>9</td></tr> <tr><td>歌</td><td>3</td><td>0</td><td>0</td><td>3</td></tr> <tr><td>言語</td><td>14</td><td>15</td><td>9</td><td>38</td></tr> </table>		1年	2年	3年	合計	学び方	1	1	1	3	読み物	1	3	5	9	歌	3	0	0	3	言語	14	15	9	38
			1年	2年	3年	合計																																																
学び方	5	4	4	13																																																		
読み物	4	6	7	17																																																		
歌	4	2	0	6																																																		
言語	7	11	11	29																																																		
	1年	2年	3年	合計																																																		
学び方	1	1	1	3																																																		
読み物	1	3	5	9																																																		
歌	3	0	0	3																																																		
言語	14	15	9	38																																																		
③二次元コードの数は、次のとおりである。	<ul style="list-style-type: none"> 二次元コードの数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>80</td><td>69</td><td>60</td><td>209</td></tr> </table>	1年	2年	3年	合計	80	69	60	209	<ul style="list-style-type: none"> 二次元コードの数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>37</td><td>34</td><td>30</td><td>101</td></tr> </table>	1年	2年	3年	合計	37	34	30	101																																				
1年	2年	3年	合計																																																			
80	69	60	209																																																			
1年	2年	3年	合計																																																			
37	34	30	101																																																			
統計等	①挿絵・図表・統計等どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 直接記入できる表等のある頁数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>84</td><td>62</td><td>53</td><td>199</td></tr> </table>	1年	2年	3年	合計	84	62	53	199	<ul style="list-style-type: none"> 直接記入できる表等のある頁数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>61</td><td>43</td><td>36</td><td>140</td></tr> </table>	1年	2年	3年	合計	61	43	36	140																																			
		1年	2年	3年	合計																																																	
84	62	53	199																																																			
1年	2年	3年	合計																																																			
61	43	36	140																																																			
教科独自	①4技能5領域を総合的に活用し、コミュニケーションを図る資質・能力を育成するための自己表現の題材について、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 自己表現活動で扱われているテーマの数と内容は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th></tr> <tr><td>3</td><td>3</td><td>3</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 自分の好きなことについて、つながらのある文章を書こう 好きな有名人や尊敬する人について、たずねたり、説明したりしよう 思い出に残った学校行事について発表しよう 	1年	2年	3年	3	3	3	<ul style="list-style-type: none"> 自己表現活動で扱われているテーマの数と内容は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th></tr> <tr><td>3</td><td>3</td><td>3</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> あなたの知らない私 この人を知っていますか 私が選んだ1枚 「夢の旅」を企画しよう こんな人になりたい この1年で得た「宝物」 「記者会見を開こう あなたの町を世界にPRしよう 中学校の思い出を残そう 	1年	2年	3年	3	3	3																																							
		1年	2年	3年																																																		
		3	3	3																																																		
1年	2年	3年																																																				
3	3	3																																																				
②関心のある事柄を、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合ったり話したりすることについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 即興で伝え合ったり話したりすることに関する活動の数とテーマは、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th></tr> <tr><td>40</td><td>31</td><td>26</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> お願い 体調 道案内 等 	1年	2年	3年	40	31	26	<ul style="list-style-type: none"> 即興で伝え合ったり話したりすることに関する活動の数とテーマは、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th></tr> <tr><td>39</td><td>32</td><td>29</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ハンバーガーショップへ行く 持ち主をたずねよう 道案内をしよう(駅ビル) 等 	1年	2年	3年	39	32	29																																								
1年	2年	3年																																																				
40	31	26																																																				
1年	2年	3年																																																				
39	32	29																																																				
③小学校で学習した簡単な語句や基本的な表現などの学習内容を、繰り返し指導し定着を図ることについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 第1学年の教科書に、小学校の学習を振り返る単元(Unit 0)が設けられている。 小学校で学習した表現を使って話す活動(Enjoy Communication)が設けられている。 各単元や巻末資料において、小学校で学習した単語が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 第1学年の教科書に、小学校の学習を振り返る単元(Get Ready, PROGRAM 0)が設けられている。 小学校で学習した表現について、4技能を通して振り返る活動が設けられている。 目次に小学校で学習した表現との関係が示されている。 																																																				

【 外国語（英語） 】

観点		発行者	15 三省堂	17 教出																																																	
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 各学年の総頁数及び単元数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>総頁数</td><td>183</td><td>175</td><td>183</td><td>541</td></tr> <tr><td>単元数</td><td>8</td><td>7</td><td>7</td><td>22</td></tr> </table> 多くの単元で、各単元は GET→USE→Take Action→GET Plus→文法のまとめのような順で配列されている。 		1年	2年	3年	合計	総頁数	183	175	183	541	単元数	8	7	7	22	<ul style="list-style-type: none"> 各学年の総頁数及び単元数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>総頁数</td><td>163</td><td>167</td><td>167</td><td>497</td></tr> <tr><td>単元数</td><td>9</td><td>9</td><td>7</td><td>25</td></tr> </table> 多くの単元で、各単元は Part→Review→Task→Grammar→ふり返りのような順で配列されている。 		1年	2年	3年	合計	総頁数	163	167	167	497	単元数	9	9	7	25																			
			1年	2年	3年	合計																																															
		総頁数	183	175	183	541																																															
		単元数	8	7	7	22																																															
	1年	2年	3年	合計																																																	
総頁数	163	167	167	497																																																	
単元数	9	9	7	25																																																	
②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 各学年で扱う単語数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>新出単語数</td><td>764</td><td>597</td><td>500</td><td>1861</td></tr> <tr><td>重要語数</td><td>265</td><td>210</td><td>107</td><td>582</td></tr> </table> 		1年	2年	3年	合計	新出単語数	764	597	500	1861	重要語数	265	210	107	582	<ul style="list-style-type: none"> 各学年で扱う単語数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>新出単語数</td><td>437</td><td>512</td><td>582</td><td>1531</td></tr> <tr><td>重要語数</td><td>208</td><td>194</td><td>76</td><td>478</td></tr> </table> 		1年	2年	3年	合計	新出単語数	437	512	582	1531	重要語数	208	194	76	478																					
	1年	2年	3年	合計																																																	
新出単語数	764	597	500	1861																																																	
重要語数	265	210	107	582																																																	
	1年	2年	3年	合計																																																	
新出単語数	437	512	582	1531																																																	
重要語数	208	194	76	478																																																	
③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 各単元で習得した言語材料を使って行う活動の数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td></td><td>29</td><td>28</td><td>25</td><td>82</td></tr> </table> 		1年	2年	3年	合計		29	28	25	82	<ul style="list-style-type: none"> 各単元で習得した言語材料を使って行う活動の数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td></td><td>27</td><td>24</td><td>19</td><td>70</td></tr> </table> 		1年	2年	3年	合計		27	24	19	70																															
	1年	2年	3年	合計																																																	
	29	28	25	82																																																	
	1年	2年	3年	合計																																																	
	27	24	19	70																																																	
④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 国内外の文化や他者との相互理解についての題材数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>日本理解</td><td>3</td><td>2</td><td>2</td><td>7</td></tr> <tr><td>国際理解</td><td>2</td><td>4</td><td>3</td><td>9</td></tr> <tr><td>相互理解</td><td>3</td><td>1</td><td>2</td><td>6</td></tr> </table> 		1年	2年	3年	合計	日本理解	3	2	2	7	国際理解	2	4	3	9	相互理解	3	1	2	6	<ul style="list-style-type: none"> 国内外の文化や他者との相互理解についての題材数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>日本理解</td><td>2</td><td>1</td><td>1</td><td>4</td></tr> <tr><td>国際理解</td><td>1</td><td>2</td><td>2</td><td>5</td></tr> <tr><td>相互理解</td><td>6</td><td>6</td><td>4</td><td>16</td></tr> </table> 		1年	2年	3年	合計	日本理解	2	1	1	4	国際理解	1	2	2	5	相互理解	6	6	4	16											
	1年	2年	3年	合計																																																	
日本理解	3	2	2	7																																																	
国際理解	2	4	3	9																																																	
相互理解	3	1	2	6																																																	
	1年	2年	3年	合計																																																	
日本理解	2	1	1	4																																																	
国際理解	1	2	2	5																																																	
相互理解	6	6	4	16																																																	
資料等	①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 学習の見通しをもつためのコーナーが設定されている。 まとめ・振り返りをするための記述欄が設けられている。 生徒が3段階で自己評価をする Can-Do リストがある。 巻末等に掲載されている資料数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>学び方</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>3</td></tr> <tr><td>読み物</td><td>4</td><td>8</td><td>8</td><td>20</td></tr> <tr><td>歌</td><td>1</td><td>1</td><td>4</td><td>6</td></tr> <tr><td>言語</td><td>14</td><td>12</td><td>10</td><td>36</td></tr> </table> 		1年	2年	3年	合計	学び方	1	1	1	3	読み物	4	8	8	20	歌	1	1	4	6	言語	14	12	10	36	<ul style="list-style-type: none"> 学習の見通しをもつためのコーナーが設定されている。 まとめ・振り返りをするための記述欄が設けられている。 生徒が4段階で自己評価をする Can-Do リストがある。 巻末等に掲載されている資料数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>学び方</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>6</td></tr> <tr><td>読み物</td><td>5</td><td>6</td><td>8</td><td>19</td></tr> <tr><td>歌</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>6</td></tr> <tr><td>言語</td><td>10</td><td>11</td><td>9</td><td>30</td></tr> </table> 		1年	2年	3年	合計	学び方	2	2	2	6	読み物	5	6	8	19	歌	2	2	2	6	言語	10	11	9	30
			1年	2年	3年	合計																																															
		学び方	1	1	1	3																																															
読み物	4	8	8	20																																																	
歌	1	1	4	6																																																	
言語	14	12	10	36																																																	
	1年	2年	3年	合計																																																	
学び方	2	2	2	6																																																	
読み物	5	6	8	19																																																	
歌	2	2	2	6																																																	
言語	10	11	9	30																																																	
②二次元コードの数は、次のとおりである。	<table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td></td><td>62</td><td>56</td><td>52</td><td>170</td></tr> </table>		1年	2年	3年	合計		62	56	52	170	<ul style="list-style-type: none"> 二次元コードの数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td></td><td>15</td><td>14</td><td>12</td><td>41</td></tr> </table> 		1年	2年	3年	合計		15	14	12	41																															
	1年	2年	3年	合計																																																	
	62	56	52	170																																																	
	1年	2年	3年	合計																																																	
	15	14	12	41																																																	
③挿絵・図表・統計等がどのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 直接記入できる表等のある頁数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td></td><td>69</td><td>55</td><td>46</td><td>170</td></tr> </table> 		1年	2年	3年	合計		69	55	46	170	<ul style="list-style-type: none"> 直接記入できる表等のある頁数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td></td><td>59</td><td>63</td><td>39</td><td>161</td></tr> </table> 		1年	2年	3年	合計		59	63	39	161																															
	1年	2年	3年	合計																																																	
	69	55	46	170																																																	
	1年	2年	3年	合計																																																	
	59	63	39	161																																																	
教科独自	4技能5領域の総合的な指導	①4技能5領域を総合的に活用し、コミュニケーションを図る資質・能力を育成するための自己表現の題材について、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 自己表現活動で扱われているテーマの数と内容は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th></tr> <tr><td></td><td>3</td><td>3</td><td>3</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 理想のロボットを発表しよう 英語のタウンガイドを作ろう 大切なものを紹介しよう 		1年	2年	3年		3	3	3	<ul style="list-style-type: none"> 自己表現活動で扱われているテーマの数と内容は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th></tr> <tr><td></td><td>2</td><td>3</td><td>3</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> オリジナルの標識を考えて発表しよう！ アンケート調査をして発表しよう！ 		1年	2年	3年		2	3	3																																	
			1年	2年	3年																																																
			3	3	3																																																
	1年	2年	3年																																																		
	2	3	3																																																		
②関心のある事柄を、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合ったり話したりすることについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 即興で伝え合ったり話したりすることに関する活動の数とテーマは、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th></tr> <tr><td></td><td>26</td><td>15</td><td>17</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ねえ、聞いて！ サイコロトークをしよう 青いTシャツはいいがですか 等 		1年	2年	3年		26	15	17	<ul style="list-style-type: none"> 即興で伝え合ったり話したりすることに関する活動の数とテーマは、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th></tr> <tr><td></td><td>19</td><td>12</td><td>5</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 自己紹介 友達とチャット 海外の中学校とビデオ通話 等 		1年	2年	3年		19	12	5																																			
	1年	2年	3年																																																		
	26	15	17																																																		
	1年	2年	3年																																																		
	19	12	5																																																		
③小学校で学習した簡単な語句や基本的な表現などの学習内容を、繰り返し指導し定着を図ることに、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 第1学年の教科書に、小学校の学習を振り返る単元（Starter）が設けられている。 小学校で学習した表現を聞いたり話したりする活動（Starter1～3）が設けられている。 各単元に小学校で学習した語句が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 第1学年の教科書に、小学校の学習を振り返る単元（Spring board）が設けられている。 小学校で学習した表現を聞いたり話したりする活動（Springboard, Activities Plus 1）が設けられている。 巻末資料に小学校で学習した語句が示されている。 																																																			

【 外国語（英語） 】

観点		発行者	38 光村	61 啓林館																																																		
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 各学年の総頁数及び単元数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>総頁数</td><td>175</td><td>175</td><td>175</td><td>525</td></tr> <tr><td>単元数</td><td>8</td><td>8</td><td>8</td><td>24</td></tr> </table> 多くの単元で、各単元は扉→Part→Goal のような順で配列されている。 		1年	2年	3年	合計	総頁数	175	175	175	525	単元数	8	8	8	24	<ul style="list-style-type: none"> 各学年の総頁数及び単元数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>総頁数</td><td>151</td><td>159</td><td>143</td><td>453</td></tr> <tr><td>単元数</td><td>10</td><td>8</td><td>6</td><td>24</td></tr> </table> 多くの単元で、各単元はPart→Read & Think→Express Yourself/More Information のような順で配列されている。 		1年	2年	3年	合計	総頁数	151	159	143	453	単元数	10	8	6	24																				
			1年	2年	3年	合計																																																
		総頁数	175	175	175	525																																																
		単元数	8	8	8	24																																																
	1年	2年	3年	合計																																																		
総頁数	151	159	143	453																																																		
単元数	10	8	6	24																																																		
②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 各学年で扱う単語数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>新出単語数</td><td>619</td><td>657</td><td>536</td><td>1812</td></tr> <tr><td>重要語数</td><td>445</td><td>334</td><td>180</td><td>959</td></tr> </table> 		1年	2年	3年	合計	新出単語数	619	657	536	1812	重要語数	445	334	180	959	<ul style="list-style-type: none"> 各学年で扱う単語数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>新出単語数</td><td>664</td><td>590</td><td>418</td><td>1672</td></tr> <tr><td>重要語数</td><td>393</td><td>199</td><td>67</td><td>659</td></tr> </table> 		1年	2年	3年	合計	新出単語数	664	590	418	1672	重要語数	393	199	67	659																						
	1年	2年	3年	合計																																																		
新出単語数	619	657	536	1812																																																		
重要語数	445	334	180	959																																																		
	1年	2年	3年	合計																																																		
新出単語数	664	590	418	1672																																																		
重要語数	393	199	67	659																																																		
③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 各単元で習得した言語材料を使って行う活動の数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td></td><td>8</td><td>26</td><td>25</td><td>59</td></tr> </table> 		1年	2年	3年	合計		8	26	25	59	<ul style="list-style-type: none"> 各単元で習得した言語材料を使って行う活動の数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td></td><td>4</td><td>37</td><td>31</td><td>72</td></tr> </table> 		1年	2年	3年	合計		4	37	31	72																																
	1年	2年	3年	合計																																																		
	8	26	25	59																																																		
	1年	2年	3年	合計																																																		
	4	37	31	72																																																		
④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 国内外の文化や他者との相互理解についての題材数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>日本理解</td><td>2</td><td>1</td><td>2</td><td>5</td></tr> <tr><td>国際理解</td><td>1</td><td>3</td><td>2</td><td>6</td></tr> <tr><td>相互理解</td><td>5</td><td>4</td><td>4</td><td>13</td></tr> </table> 		1年	2年	3年	合計	日本理解	2	1	2	5	国際理解	1	3	2	6	相互理解	5	4	4	13	<ul style="list-style-type: none"> 国内外の文化や他者との相互理解についての題材数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>日本理解</td><td>4</td><td>2</td><td>2</td><td>8</td></tr> <tr><td>国際理解</td><td>1</td><td>2</td><td>2</td><td>5</td></tr> <tr><td>相互理解</td><td>5</td><td>4</td><td>2</td><td>11</td></tr> </table> 		1年	2年	3年	合計	日本理解	4	2	2	8	国際理解	1	2	2	5	相互理解	5	4	2	11												
	1年	2年	3年	合計																																																		
日本理解	2	1	2	5																																																		
国際理解	1	3	2	6																																																		
相互理解	5	4	4	13																																																		
	1年	2年	3年	合計																																																		
日本理解	4	2	2	8																																																		
国際理解	1	2	2	5																																																		
相互理解	5	4	2	11																																																		
資料等	①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 学習の見通しをもつためのコーナーが設定されている。 まとめ・振り返りをするための記述欄が設けられている。 生徒が4段階で自己評価をするCan-Doリストがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の見通しをもつためのコーナーが設定されている。 まとめ・振り返りをするための記述欄が設けられている。 生徒が2段階で自己評価をするCan-Doリストがある。 																																																			
		②巻末等に掲載されている資料数は、次のとおりである。	<table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>学び方</td><td>5</td><td>6</td><td>6</td><td>17</td></tr> <tr><td>読み物</td><td>3</td><td>5</td><td>6</td><td>14</td></tr> <tr><td>歌</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>9</td></tr> <tr><td>言語</td><td>6</td><td>6</td><td>7</td><td>19</td></tr> </table>		1年	2年	3年	合計	学び方	5	6	6	17	読み物	3	5	6	14	歌	3	3	3	9	言語	6	6	7	19	<table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>学び方</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>3</td></tr> <tr><td>読み物</td><td>4</td><td>9</td><td>8</td><td>21</td></tr> <tr><td>歌</td><td>3</td><td>2</td><td>2</td><td>7</td></tr> <tr><td>言語</td><td>12</td><td>11</td><td>13</td><td>36</td></tr> </table>		1年	2年	3年	合計	学び方	1	1	1	3	読み物	4	9	8	21	歌	3	2	2	7	言語	12	11	13	36
			1年	2年	3年	合計																																																
学び方	5	6	6	17																																																		
読み物	3	5	6	14																																																		
歌	3	3	3	9																																																		
言語	6	6	7	19																																																		
	1年	2年	3年	合計																																																		
学び方	1	1	1	3																																																		
読み物	4	9	8	21																																																		
歌	3	2	2	7																																																		
言語	12	11	13	36																																																		
③二次元コードの数は、次のとおりである。	<table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td></td><td>68</td><td>64</td><td>60</td><td>192</td></tr> </table>		1年	2年	3年	合計		68	64	60	192	<table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td></td><td>42</td><td>41</td><td>32</td><td>115</td></tr> </table>		1年	2年	3年	合計		42	41	32	115																																
	1年	2年	3年	合計																																																		
	68	64	60	192																																																		
	1年	2年	3年	合計																																																		
	42	41	32	115																																																		
統計等	①挿絵・図表・統計等どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 直接記入できる表等のある頁数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td></td><td>73</td><td>68</td><td>60</td><td>201</td></tr> </table> 		1年	2年	3年	合計		73	68	60	201	<ul style="list-style-type: none"> 直接記入できる表等のある頁数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td></td><td>49</td><td>50</td><td>40</td><td>139</td></tr> </table> 		1年	2年	3年	合計		49	50	40	139																															
			1年	2年	3年	合計																																																
	73	68	60	201																																																		
	1年	2年	3年	合計																																																		
	49	50	40	139																																																		
②4技能5領域を総合的に活用し、コミュニケーションを図る資質・能力を育成するための自己表現の題材について、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 自己表現活動で扱われているテーマの数と内容は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th></tr> <tr><td></td><td>3</td><td>3</td><td>3</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 自己紹介で共通点・相違点を見つけよう 「ドリームファミリー」を紹介しよう 学校行事の紹介ページを作ろう わが町観光プランをおすすめしよう 職業診断のチャートを作ろう 日本のおもしろいものを紹介しよう 「過去」と「現在」の相違点を挙げよう 学校に必要なものを考えて意見を伝えよう 3年間を締めくくる言葉を考えよう 		1年	2年	3年		3	3	3	<ul style="list-style-type: none"> 自己表現活動で扱われているテーマの数と内容は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th></tr> <tr><td></td><td>3</td><td>3</td><td>4</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 自己紹介をしよう 友だちにインタビューをしよう 日記を書こう 学校を紹介しよう あこがれの職業を発表しよう 自分の意見を言おう 有名人にインタビューしよう 日本の伝統行事を紹介しよう ディスカッションをしよう 中学校生活の思い出を書こう 		1年	2年	3年		3	3	4																																				
	1年	2年	3年																																																			
	3	3	3																																																			
	1年	2年	3年																																																			
	3	3	4																																																			
教科独自	①関心のある事柄を、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合ったり話したりすることについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 即興で伝え合ったり話したりすることに関する活動の数とテーマは、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th></tr> <tr><td></td><td>30</td><td>27</td><td>25</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 自分の好きなものの 自分ができることできないこと 行きたい場所、そこでしたいこと等 小学生の頃になりたかった職業 来週の予定 何かを比べて説明し合おう 考えや意見をやり取りしよう 聞き上手になる 先週の出来事 		1年	2年	3年		30	27	25	<ul style="list-style-type: none"> 即興で伝え合ったり話したりすることに関する活動の数とテーマは、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th></tr> <tr><td></td><td>60</td><td>38</td><td>30</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 時刻 私ものです ショッピング等 待ち合わせ 旅行の準備 体調 食事 体調 道案内 		1年	2年	3年		60	38	30																																			
			1年	2年	3年																																																	
	30	27	25																																																			
	1年	2年	3年																																																			
	60	38	30																																																			
②小学校で学習した簡単な語句や基本的な表現などの学習内容を、繰り返し指導し定着を図ることについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 第1学年の教科書に、小学校の学習を振り返る単元(Let's Be Friends!)が設けられている。 小学校で学習した表現について、4技能を通して振り返る活動が設けられている。 巻末付録に小学校で学習した単語(Word List)が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 第1学年の教科書に、小学校の学習を振り返る単元(Let's Start)が設けられている。 小学校で学習した表現について、4技能を通して振り返る活動が設けられている。 																																																				

1 学習指導要領に示された目標

【道徳科の目標】

第1章総則の第1の2に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

○道徳的価値についての理解

日常生活場面や教材との出会いから道徳的価値を理解したり、価値葛藤した結果から理解したりすること

○自己を見つめる

これまでの経験から自己と向き合い、その時の考え方、感じ方など自己理解を深めること

○多面的・多角的に考える

多様な価値観の存在を前提に、他者と対話し協働しながら、物事を広い視野から多面的・多角的に考えること

○人間としての生き方についての考えを深める

人間とは何かという問いをもち、生き方の探求を通して主体的な価値判断や、よりよい道徳的实践へつなげること

【道徳科に用いられる教材の具備する要件】

- ①生徒の発達の段階に即し、ねらいを達成するのにふさわしいものであること。
- ②人間尊重の精神にかなうものであって、悩みや葛藤等の心の揺れ、人間関係の理解等の課題も含め、生徒が深く考えることができ、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えられるものであること。
- ③多様な見方や考え方でできる事柄を取り扱う場合には、特定の見方や考え方に偏った取扱いがなされていないものであること。

2 教科独自の調査研究の観点

(1) 人間尊重の精神	①生命の尊さ等を題材とした教材は、どのように示されているか。
(2) 悩みや葛藤、人間関係等の課題	①道徳的価値の意義や大切さを考えることができるよう、体験活動を通じた日常生活の振り返りについて、どのように示されているか。 ②学級や学校生活における具体的事柄や葛藤などの課題に関わる教材は、どのように示されているか。
(3) 生きる喜びや勇気	①先人等の多様な生き方が織り込まれ、生きる勇気や知恵などを感じる教材は、どのように示されているか。

【 道 徳 】

観点		発行者	2 東 書	17 教 出																																
教科 共通	単元・題材の構成及び内容の取扱	<p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。</p> <p>③思考力、判断力、表現力等をはぐくむ学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。</p> <p>④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。</p>	<p>・読み物教材の数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>29</td><td>27</td><td>28</td><td>84</td></tr> </table> <p>・読み物教材の道徳的価値の示し方は、次のとおりである。</p> <p>教材名の前に、道徳的価値に関するテーマを示している。また、教材文の後ろに、考え、話し合うための問いかけがある。</p> <p>・書き込みのページ数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>51</td><td>48</td><td>50</td><td>149</td></tr> </table> <p>・道徳科の学習のオリエンテーションの示し方は、次のとおりである。</p> <p>学習の流れと話し合いの約束や、進め方を例示している。また、4つの視点の学習内容を提示しつつ、1年間の学習の見通しを示している。</p>	1年	2年	3年	合計	29	27	28	84	1年	2年	3年	合計	51	48	50	149	<p>・読み物教材の数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>26</td><td>27</td><td>26</td><td>79</td></tr> </table> <p>・読み物教材の道徳的価値の示し方は、次のとおりである。</p> <p>教材名の前に、道徳的価値を4つに分類した視点をテーマに示している。また、教材文の前と後ろに、考え、話し合うための問いかけがある。</p> <p>・書き込みのページ数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>16</td><td>11</td><td>9</td><td>36</td></tr> </table> <p>・道徳科の学習のオリエンテーションの示し方は、次のとおりである。</p> <p>1時間の道徳の授業の流れを例示している。また、4つの視点の学習内容を提示しつつ、1年間の学習の見通しを示している。</p>	1年	2年	3年	合計	26	27	26	79	1年	2年	3年	合計	16	11	9	36
	1年	2年	3年	合計																																
	29	27	28	84																																
1年	2年	3年	合計																																	
51	48	50	149																																	
1年	2年	3年	合計																																	
26	27	26	79																																	
1年	2年	3年	合計																																	
16	11	9	36																																	
資料等	<p>①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。</p>	<p>・難解な言葉についての注釈は、生徒の発達段階を考慮した端的な表現で、ページ下段に表記している。</p> <p>・読み物教材以外の補助教材(コラム等)数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>11</td><td>11</td><td>11</td><td>33</td></tr> </table> <p>・二次元コードからアクセスして見られる資料数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>10</td><td>9</td><td>16</td><td>35</td></tr> </table>	1年	2年	3年	合計	11	11	11	33	1年	2年	3年	合計	10	9	16	35	<p>・難解な言葉についての注釈は、生徒の発達段階を考慮した端的な表現で、ページ下段に表記している。</p> <p>・読み物教材以外の補助教材(コラム等)数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>8</td><td>7</td><td>7</td><td>22</td></tr> </table> <p>・二次元コードからアクセスして見られる資料数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>14</td><td>18</td><td>14</td><td>46</td></tr> </table>	1年	2年	3年	合計	8	7	7	22	1年	2年	3年	合計	14	18	14	46	
1年	2年	3年	合計																																	
11	11	11	33																																	
1年	2年	3年	合計																																	
10	9	16	35																																	
1年	2年	3年	合計																																	
8	7	7	22																																	
1年	2年	3年	合計																																	
14	18	14	46																																	
統計等	<p>①挿絵・図表・統計等がどのように示されているか。</p>	<p>・統計資料を使用する教材の数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>2</td><td>2</td><td>3</td><td>7</td></tr> </table> <p>・別冊はない。</p>	1年	2年	3年	合計	2	2	3	7	<p>・統計資料を使用する教材の数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr> </table> <p>・別冊はない。</p>	1年	2年	3年	合計	0	1	2	3																	
1年	2年	3年	合計																																	
2	2	3	7																																	
1年	2年	3年	合計																																	
0	1	2	3																																	
教科 独自	人間尊重の精神	<p>①生命の尊さ等を題材とした教材は、どのように示されているか。</p>	<p>・「生命の尊さ」を題材とした教材の例は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>1年</th><td>命の大切さや、骨髄バンク第1号を取り上げている教材がある。</td></tr> <tr><th>2年</th><td>命を3つの視点から捉え、命の尊さを取り上げている教材がある。</td></tr> <tr><th>3年</th><td>助産師からのメッセージや、尊厳死を取り上げている教材がある。</td></tr> </table>	1年	命の大切さや、骨髄バンク第1号を取り上げている教材がある。	2年	命を3つの視点から捉え、命の尊さを取り上げている教材がある。	3年	助産師からのメッセージや、尊厳死を取り上げている教材がある。	<p>・「生命の尊さ」を題材とした教材の例は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>1年</th><td>命をいただいて生かされているという考え方に触れた教材がある。</td></tr> <tr><th>2年</th><td>心臓病の我が子が両親に与えた幸せを取り上げた教材がある。</td></tr> <tr><th>3年</th><td>スラム街の人々に献身的な愛情を注ぐマザー・テレサの生き方を取り上げた教材がある。</td></tr> </table>	1年	命をいただいて生かされているという考え方に触れた教材がある。	2年	心臓病の我が子が両親に与えた幸せを取り上げた教材がある。	3年	スラム街の人々に献身的な愛情を注ぐマザー・テレサの生き方を取り上げた教材がある。																				
	1年	命の大切さや、骨髄バンク第1号を取り上げている教材がある。																																		
	2年	命を3つの視点から捉え、命の尊さを取り上げている教材がある。																																		
3年	助産師からのメッセージや、尊厳死を取り上げている教材がある。																																			
1年	命をいただいて生かされているという考え方に触れた教材がある。																																			
2年	心臓病の我が子が両親に与えた幸せを取り上げた教材がある。																																			
3年	スラム街の人々に献身的な愛情を注ぐマザー・テレサの生き方を取り上げた教材がある。																																			
悩む葛藤 人間関係等の課題	<p>①道徳的価値の意義や大切さを考えることができるよう、体験活動を通じた日常生活の振り返りについて、どのように示されているか。</p> <p>②学級や学校生活における具体的な事柄や葛藤などの課題に関わる教材は、どのように示されているか。</p>	<p>・役割演技、動作化等の体験的活動を取り上げたページ数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>6</td></tr> </table> <p>・「いじめ問題」に関わる教材の例は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>1年</th><td>当事者や観衆、傍観者の心情を考えながら、自分たちにできることを考える教材がある。</td></tr> <tr><th>2年</th><td>学級の中で起きている困りや問題に、自分ごととして向き合う大切さを考える教材がある。</td></tr> <tr><th>3年</th><td>嫌な出来事を友だちと共有した結果、うわさがいじめを生むことについて考える教材がある。</td></tr> </table>	1年	2年	3年	合計	2	2	2	6	1年	当事者や観衆、傍観者の心情を考えながら、自分たちにできることを考える教材がある。	2年	学級の中で起きている困りや問題に、自分ごととして向き合う大切さを考える教材がある。	3年	嫌な出来事を友だちと共有した結果、うわさがいじめを生むことについて考える教材がある。	<p>・役割演技、動作化等の体験的活動を取り上げたページ数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>2</td><td>2</td><td>1</td><td>5</td></tr> </table> <p>・「いじめ問題」に関わる教材の例は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>1年</th><td>「いじり」と「いじめ」の違いから相手の気持ちを考えることの大切さを扱った教材がある。</td></tr> <tr><th>2年</th><td>学級の中で起きている困りや問題に、自分ごととして向き合う大切さを考える教材がある。</td></tr> <tr><th>3年</th><td>人との違いを認め、人それぞれの価値と個性を認めることの大切さを扱った教材がある。</td></tr> </table>	1年	2年	3年	合計	2	2	1	5	1年	「いじり」と「いじめ」の違いから相手の気持ちを考えることの大切さを扱った教材がある。	2年	学級の中で起きている困りや問題に、自分ごととして向き合う大切さを考える教材がある。	3年	人との違いを認め、人それぞれの価値と個性を認めることの大切さを扱った教材がある。					
1年	2年	3年	合計																																	
2	2	2	6																																	
1年	当事者や観衆、傍観者の心情を考えながら、自分たちにできることを考える教材がある。																																			
2年	学級の中で起きている困りや問題に、自分ごととして向き合う大切さを考える教材がある。																																			
3年	嫌な出来事を友だちと共有した結果、うわさがいじめを生むことについて考える教材がある。																																			
1年	2年	3年	合計																																	
2	2	1	5																																	
1年	「いじり」と「いじめ」の違いから相手の気持ちを考えることの大切さを扱った教材がある。																																			
2年	学級の中で起きている困りや問題に、自分ごととして向き合う大切さを考える教材がある。																																			
3年	人との違いを認め、人それぞれの価値と個性を認めることの大切さを扱った教材がある。																																			
生きる喜びや勇氣	<p>①先人等の多様な生き方が織り込まれ、生きる勇氣や知恵などを感じる教材は、どのように示されているか。</p>	<p>・先人等の生き方を扱った教材の数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>10</td><td>11</td><td>13</td><td>34</td></tr> </table> <p>・取り上げられている人物の例は、次のとおりである。 (○)は大分県に由来する人物</p> <table border="1"> <tr><th>1年</th><td>マララ・ユスフザイ、星野富弘、山口富蔵(和菓子職人)、福沢諭吉(○) 他6人</td></tr> <tr><th>2年</th><td>萩野公介、杉原千敏、柳家金語楼(落語家) 他8人</td></tr> <tr><th>3年</th><td>黒田博樹、池上彰、野口聡一(宇宙飛行士)、三浦雄一郎(登山家)、小平奈緒 他8人</td></tr> </table>	1年	2年	3年	合計	10	11	13	34	1年	マララ・ユスフザイ、星野富弘、山口富蔵(和菓子職人)、福沢諭吉(○) 他6人	2年	萩野公介、杉原千敏、柳家金語楼(落語家) 他8人	3年	黒田博樹、池上彰、野口聡一(宇宙飛行士)、三浦雄一郎(登山家)、小平奈緒 他8人	<p>・先人等の生き方を扱った教材の数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>9</td><td>9</td><td>10</td><td>28</td></tr> </table> <p>・取り上げられている人物の例は、次のとおりである。 (○)は大分県に由来する人物</p> <table border="1"> <tr><th>1年</th><td>イチロー、緒方貞子(国連難民高等弁務官)、桂米朝、福沢諭吉(○) 他5人</td></tr> <tr><th>2年</th><td>杉原千敏、野村萬斎(狂言師)、長嶋茂雄、朝倉文夫(○) 他5人</td></tr> <tr><th>3年</th><td>藤井聡太、マザー・テレサ、五嶋みどり(バイオリニスト)、油屋熊八(○) 他6人</td></tr> </table>	1年	2年	3年	合計	9	9	10	28	1年	イチロー、緒方貞子(国連難民高等弁務官)、桂米朝、福沢諭吉(○) 他5人	2年	杉原千敏、野村萬斎(狂言師)、長嶋茂雄、朝倉文夫(○) 他5人	3年	藤井聡太、マザー・テレサ、五嶋みどり(バイオリニスト)、油屋熊八(○) 他6人					
1年	2年	3年	合計																																	
10	11	13	34																																	
1年	マララ・ユスフザイ、星野富弘、山口富蔵(和菓子職人)、福沢諭吉(○) 他6人																																			
2年	萩野公介、杉原千敏、柳家金語楼(落語家) 他8人																																			
3年	黒田博樹、池上彰、野口聡一(宇宙飛行士)、三浦雄一郎(登山家)、小平奈緒 他8人																																			
1年	2年	3年	合計																																	
9	9	10	28																																	
1年	イチロー、緒方貞子(国連難民高等弁務官)、桂米朝、福沢諭吉(○) 他5人																																			
2年	杉原千敏、野村萬斎(狂言師)、長嶋茂雄、朝倉文夫(○) 他5人																																			
3年	藤井聡太、マザー・テレサ、五嶋みどり(バイオリニスト)、油屋熊八(○) 他6人																																			

【 道 徳 】

観点		発行者	38 光 村	116 日 文																																
教科 共通	単元・題材の構成及び内容の取扱	<p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。</p> <p>③思考力、判断力、表現力等をはぐくむ学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。</p> <p>④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。</p>	<p>・読み物教材の数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>23</td><td>23</td><td>25</td><td>71</td></tr> </table> <p>・読み物教材の道徳的価値の示し方は、次のとおりである。</p> <p>教材名の前に、その教材で扱う道徳的価値を、学習指導要領の分類に合わせて明記している。また、教材文の後ろに、考え、話し合うための問いかけがある。</p> <p>・書き込みのページ数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>9</td><td>14</td><td>14</td><td>37</td></tr> </table> <p>・道徳科の学習のオリエンテーションの示し方は、次のとおりである。</p> <p>道徳科のねらいと1時間の学習の流れを例示している。また、4つの視点の学習内容を3つに分けて示し、1年間と学期ごとの学習の見通しを示している。</p>	1年	2年	3年	合計	23	23	25	71	1年	2年	3年	合計	9	14	14	37	<p>・読み物教材の数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>33</td><td>34</td><td>33</td><td>100</td></tr> </table> <p>・読み物教材の道徳的価値の示し方は、次のとおりである。</p> <p>教材名の前に、道徳的価値に関する小さな見出しを示している。また、教材文の後ろに、考え、話し合うための問いかけや、「学習の進め方」がある。</p> <p>・書き込みのページ数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> </table> <p>・道徳科の学習のオリエンテーションの示し方は、次のとおりである。</p> <p>道徳科のねらいと1時間の学習の流れを例示している。また、4つの視点の学習内容を示し、1年間の学習の見通しと振り返りを示している。</p>	1年	2年	3年	合計	33	34	33	100	1年	2年	3年	合計	0	0	0	0
	1年	2年	3年	合計																																
	23	23	25	71																																
	1年	2年	3年	合計																																
9	14	14	37																																	
1年	2年	3年	合計																																	
33	34	33	100																																	
1年	2年	3年	合計																																	
0	0	0	0																																	
資料等	<p>①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。</p>	<p>・難解な言葉についての注釈は、生徒の発達段階を考慮した端的な表現で、ページ下段に表記している。</p> <p>・読み物教材以外の補助教材(コラム等)数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>8</td><td>7</td><td>9</td><td>24</td></tr> </table> <p>・二次元コードからアクセスして見られる資料数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>15</td><td>18</td><td>21</td><td>54</td></tr> </table>	1年	2年	3年	合計	8	7	9	24	1年	2年	3年	合計	15	18	21	54	<p>・難解な言葉についての注釈は、生徒の発達段階を考慮した端的な表現で、ページ下段に表記している。</p> <p>・読み物教材以外の補助教材(コラム等)数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>15</td><td>16</td><td>15</td><td>46</td></tr> </table> <p>・二次元コードからアクセスして見られる資料数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>15</td></tr> </table>	1年	2年	3年	合計	15	16	15	46	1年	2年	3年	合計	5	5	5	15	
1年	2年	3年	合計																																	
8	7	9	24																																	
1年	2年	3年	合計																																	
15	18	21	54																																	
1年	2年	3年	合計																																	
15	16	15	46																																	
1年	2年	3年	合計																																	
5	5	5	15																																	
統計等	<p>①挿絵・図表・統計等がどのように示されているか。</p>	<p>・統計資料を使用する教材の数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>1</td><td>1</td><td>2</td><td>4</td></tr> </table> <p>・別冊はない。</p>	1年	2年	3年	合計	1	1	2	4	<p>・統計資料を使用する教材の数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>1</td><td>0</td><td>1</td><td>2</td></tr> </table> <p>・各学年に別冊「道徳ノート」がある。</p>	1年	2年	3年	合計	1	0	1	2																	
1年	2年	3年	合計																																	
1	1	2	4																																	
1年	2年	3年	合計																																	
1	0	1	2																																	
人間尊重の精神	<p>①生命の尊さ等を題材とした教材は、どのように示されているか。</p>	<p>・「生命の尊さ」を題材とした教材の例は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>1年</th><td>東日本大震災で家族を失った作者の思いから命の尊さを取り上げた教材がある。</td></tr> <tr><th>2年</th><td>出産の場面や臓器移植の記事から命のつながり・尊さを取り上げた教材がある。</td></tr> <tr><th>3年</th><td>尊厳死から命について問いかけ、生命尊重を取り上げた教材がある。</td></tr> </table>	1年	東日本大震災で家族を失った作者の思いから命の尊さを取り上げた教材がある。	2年	出産の場面や臓器移植の記事から命のつながり・尊さを取り上げた教材がある。	3年	尊厳死から命について問いかけ、生命尊重を取り上げた教材がある。	<p>・「生命の尊さ」を題材とした教材の例は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>1年</th><td>お年寄りと共に生きる意味を取り上げ、生きることの大切さを取り上げた教材がある。</td></tr> <tr><th>2年</th><td>骨肉腫と闘う少女から、限りある命を、懸命に生きるすばらしさを取り上げた教材がある。</td></tr> <tr><th>3年</th><td>臓器ドナーを通して自他の生命の尊さを取り上げた教材がある。</td></tr> </table>	1年	お年寄りと共に生きる意味を取り上げ、生きることの大切さを取り上げた教材がある。	2年	骨肉腫と闘う少女から、限りある命を、懸命に生きるすばらしさを取り上げた教材がある。	3年	臓器ドナーを通して自他の生命の尊さを取り上げた教材がある。																					
1年	東日本大震災で家族を失った作者の思いから命の尊さを取り上げた教材がある。																																			
2年	出産の場面や臓器移植の記事から命のつながり・尊さを取り上げた教材がある。																																			
3年	尊厳死から命について問いかけ、生命尊重を取り上げた教材がある。																																			
1年	お年寄りと共に生きる意味を取り上げ、生きることの大切さを取り上げた教材がある。																																			
2年	骨肉腫と闘う少女から、限りある命を、懸命に生きるすばらしさを取り上げた教材がある。																																			
3年	臓器ドナーを通して自他の生命の尊さを取り上げた教材がある。																																			
悩みや葛藤 人間関係等の課題	<p>①道徳的価値の意義や大切さを考えることができるよう、体験活動を通して日常生活の振り返りについて、どのように示されているか。</p> <p>②学級や学校生活における具体的な事柄や葛藤などの課題に関わる教材は、どのように示されているか。</p>	<p>・役割演技、動作化等の体験的活動を取り上げたページ数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>8</td><td>11</td><td>5</td><td>24</td></tr> </table> <p>・「いじめ問題」に関わる教材の例は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>1年</th><td>性別や性格に関係なく、誰でも同じように接することの大切さを考える教材がある。</td></tr> <tr><th>2年</th><td>「いじめを許さない」との意思表示を仲間と行い、よりよい社会を考える教材がある。</td></tr> <tr><th>3年</th><td>学校の雰囲気改善のために、生徒が何を考え行動すべきかを考える教材がある。</td></tr> </table>	1年	2年	3年	合計	8	11	5	24	1年	性別や性格に関係なく、誰でも同じように接することの大切さを考える教材がある。	2年	「いじめを許さない」との意思表示を仲間と行い、よりよい社会を考える教材がある。	3年	学校の雰囲気改善のために、生徒が何を考え行動すべきかを考える教材がある。	<p>・役割演技、動作化等の体験的活動を取り上げたページ数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>6</td></tr> </table> <p>・「いじめ問題」に関わる教材の例は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>1年</th><td>運動が苦手な友だちを支える主人公の姿から協力することの大切さを考える教材がある。</td></tr> <tr><th>2年</th><td>同じ出来事を違う視点で描いた文章から、良好な人間関係に大切なものを考える教材がある。</td></tr> <tr><th>3年</th><td>登場人物の心情から、いじめをしたことの後悔や、何が大切かを考える教材がある。</td></tr> </table>	1年	2年	3年	合計	2	2	2	6	1年	運動が苦手な友だちを支える主人公の姿から協力することの大切さを考える教材がある。	2年	同じ出来事を違う視点で描いた文章から、良好な人間関係に大切なものを考える教材がある。	3年	登場人物の心情から、いじめをしたことの後悔や、何が大切かを考える教材がある。					
1年	2年	3年	合計																																	
8	11	5	24																																	
1年	性別や性格に関係なく、誰でも同じように接することの大切さを考える教材がある。																																			
2年	「いじめを許さない」との意思表示を仲間と行い、よりよい社会を考える教材がある。																																			
3年	学校の雰囲気改善のために、生徒が何を考え行動すべきかを考える教材がある。																																			
1年	2年	3年	合計																																	
2	2	2	6																																	
1年	運動が苦手な友だちを支える主人公の姿から協力することの大切さを考える教材がある。																																			
2年	同じ出来事を違う視点で描いた文章から、良好な人間関係に大切なものを考える教材がある。																																			
3年	登場人物の心情から、いじめをしたことの後悔や、何が大切かを考える教材がある。																																			
生きる喜びや勇氣	<p>①先人等の多様な生き方が織り込まれ、生きる勇氣や知恵などを感じる教材は、どのように示されているか。</p>	<p>・先人等の生き方を扱った教材の数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>6</td><td>8</td><td>10</td><td>24</td></tr> </table> <p>・取り上げられている人物の例は、次のとおりである。 (○)は大分県に由来する人物</p> <table border="1"> <tr><th>1年</th><td>さかなクン、北村麻子(ぬぶた師)、吉田レイ子(フォトジャーナリスト) 他3人</td></tr> <tr><th>2年</th><td>二條実徳(パラ車いすテニス選手)、スガシカオ、川上容子(アイヌ民謡歌手) 他5人</td></tr> <tr><th>3年</th><td>外尾悦郎(彫刻家)、吉田真美(義足彫造)、菱田春草(日本画家)、了海(○青の洞門) 他6人</td></tr> </table>	1年	2年	3年	合計	6	8	10	24	1年	さかなクン、北村麻子(ぬぶた師)、吉田レイ子(フォトジャーナリスト) 他3人	2年	二條実徳(パラ車いすテニス選手)、スガシカオ、川上容子(アイヌ民謡歌手) 他5人	3年	外尾悦郎(彫刻家)、吉田真美(義足彫造)、菱田春草(日本画家)、了海(○青の洞門) 他6人	<p>・先人等の生き方を扱った教材の数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>13</td><td>8</td><td>14</td><td>35</td></tr> </table> <p>・取り上げられている人物の例は、次のとおりである。 (○)は大分県に由来する人物</p> <table border="1"> <tr><th>1年</th><td>高橋陽一(漫画家)、塚本こなみ(樹木医)、新津春子(環境マイカー)、崎原真弓(バカイト) 他9人</td></tr> <tr><th>2年</th><td>国枝真吾(パラ車いすテニス選手)、坂茂(建築家)、山本美香(戦場特派員)、井上康生 他4人</td></tr> <tr><th>3年</th><td>吉田沙保里、杉原千畝、山中伸弥、中村裕(○太陽の家) 他10人</td></tr> </table>	1年	2年	3年	合計	13	8	14	35	1年	高橋陽一(漫画家)、塚本こなみ(樹木医)、新津春子(環境マイカー)、崎原真弓(バカイト) 他9人	2年	国枝真吾(パラ車いすテニス選手)、坂茂(建築家)、山本美香(戦場特派員)、井上康生 他4人	3年	吉田沙保里、杉原千畝、山中伸弥、中村裕(○太陽の家) 他10人					
1年	2年	3年	合計																																	
6	8	10	24																																	
1年	さかなクン、北村麻子(ぬぶた師)、吉田レイ子(フォトジャーナリスト) 他3人																																			
2年	二條実徳(パラ車いすテニス選手)、スガシカオ、川上容子(アイヌ民謡歌手) 他5人																																			
3年	外尾悦郎(彫刻家)、吉田真美(義足彫造)、菱田春草(日本画家)、了海(○青の洞門) 他6人																																			
1年	2年	3年	合計																																	
13	8	14	35																																	
1年	高橋陽一(漫画家)、塚本こなみ(樹木医)、新津春子(環境マイカー)、崎原真弓(バカイト) 他9人																																			
2年	国枝真吾(パラ車いすテニス選手)、坂茂(建築家)、山本美香(戦場特派員)、井上康生 他4人																																			
3年	吉田沙保里、杉原千畝、山中伸弥、中村裕(○太陽の家) 他10人																																			

【 道 徳 】

観 点		発 行 者	2 2 4 学 研				2 3 2 廣あかつき																			
教 科 共 通	単 元・題 材 の 構 成 及 び 内 容 の 取 扱 い	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・読み物教材の数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>31</td><td>30</td><td>28</td><td>89</td></tr> </table>				1年	2年	3年	合計	31	30	28	89	<ul style="list-style-type: none"> ・読み物教材の数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>33</td><td>33</td><td>33</td><td>99</td></tr> </table>				1年	2年	3年	合計	33	33	33	99
		1年	2年	3年	合計																					
	31	30	28	89																						
	1年	2年	3年	合計																						
33	33	33	99																							
②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・読み物教材の道徳的価値の示し方は、次のとおりである。 <p>教材名の前に、道徳的価値を4つに分類した視点をマークで示している。また、教材文の後に、考え、話し合うための問いかけがある。</p>				<ul style="list-style-type: none"> ・読み物教材の道徳的価値の示し方は、次のとおりである。 <p>教材名の下に、道徳的価値を4つに分類した視点をマークで示している。また、教材文の後に、考え、話し合うための問いかけがある。</p>																					
③思考力、判断力、表現力等をはぐくむ学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・書き込みのページ数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>44</td><td>47</td><td>40</td><td>131</td></tr> </table>				1年	2年	3年	合計	44	47	40	131	<ul style="list-style-type: none"> ・書き込みのページ数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> </table>				1年	2年	3年	合計	0	0	0	0		
1年	2年	3年	合計																							
44	47	40	131																							
1年	2年	3年	合計																							
0	0	0	0																							
④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳科の学習のオリエンテーションの示し方は、次のとおりである。 <p>道徳科のねらいと1時間の学習の流れを図やイラストで示している。また、4つの視点の学習内容を提示しつつ、1年間の学習の見通しを示している。</p>				<ul style="list-style-type: none"> ・道徳科の学習のオリエンテーションの示し方は、次のとおりである。 <p>道徳科のねらいを示している。また、4つの視点の学習内容を別冊の「道徳ノート」にまとめ、1年間の学習の見通しを示している。</p>																					
資 料 等	①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・難解な言葉についての注釈は、生徒の発達段階を考慮した端的な表現で、ページ下段に表記している。 				<ul style="list-style-type: none"> ・難解な言葉についての注釈は、生徒の発達段階を考慮した端的な表現で、ページ下段に表記している。 																				
	②読み物教材以外の補助教材(コラム等)数は、次のとおりである。	<table border="1"> <tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>21</td><td>20</td><td>19</td><td>60</td></tr> </table>				1年	2年	3年	合計	21	20	19	60	<ul style="list-style-type: none"> ・読み物教材以外の補助教材(コラム等)数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>7</td><td>7</td><td>7</td><td>21</td></tr> </table>				1年	2年	3年	合計	7	7	7	21	
1年	2年	3年	合計																							
21	20	19	60																							
1年	2年	3年	合計																							
7	7	7	21																							
統 計 等	①挿絵・図表・統計等がどのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・統計資料を使用する教材の数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>2</td><td>4</td><td>2</td><td>8</td></tr> </table>				1年	2年	3年	合計	2	4	2	8	<ul style="list-style-type: none"> ・統計資料を使用する教材の数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>1</td><td>2</td><td>1</td><td>4</td></tr> </table>				1年	2年	3年	合計	1	2	1	4	
	1年	2年	3年	合計																						
2	4	2	8																							
1年	2年	3年	合計																							
1	2	1	4																							
②別冊はない。	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年に別冊「道徳ノート」がある。 																									
人 間 尊 重 の 精 神	①生命の尊さ等を題材とした教材は、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・「生命の尊さ」を題材とした教材の例は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>1年</th><td>子が誕生した時の感動や感謝、母親の愛情を取り上げた教材がある。</td></tr> <tr><th>2年</th><td>死産だった我が子と一晩ともにした母親の悲しみから生きることを考える教材がある。</td></tr> <tr><th>3年</th><td>余命宣告を受け、自分の死と向き合いながら、生きる主人公の姿を描いた教材がある。</td></tr> </table>				1年	子が誕生した時の感動や感謝、母親の愛情を取り上げた教材がある。	2年	死産だった我が子と一晩ともにした母親の悲しみから生きることを考える教材がある。	3年	余命宣告を受け、自分の死と向き合いながら、生きる主人公の姿を描いた教材がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・「生命の尊さ」を題材とした教材の例は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>1年</th><td>産声から新しい生命の誕生と命の重さを考える教材がある。</td></tr> <tr><th>2年</th><td>延命措置や在宅死から人の尊厳や生命の尊さとして取り上げている教材がある。</td></tr> <tr><th>3年</th><td>ドナーの問題から生命の尊重、人の尊厳について考える教材がある。</td></tr> </table>				1年	産声から新しい生命の誕生と命の重さを考える教材がある。	2年	延命措置や在宅死から人の尊厳や生命の尊さとして取り上げている教材がある。	3年	ドナーの問題から生命の尊重、人の尊厳について考える教材がある。					
	1年	子が誕生した時の感動や感謝、母親の愛情を取り上げた教材がある。																								
2年	死産だった我が子と一晩ともにした母親の悲しみから生きることを考える教材がある。																									
3年	余命宣告を受け、自分の死と向き合いながら、生きる主人公の姿を描いた教材がある。																									
1年	産声から新しい生命の誕生と命の重さを考える教材がある。																									
2年	延命措置や在宅死から人の尊厳や生命の尊さとして取り上げている教材がある。																									
3年	ドナーの問題から生命の尊重、人の尊厳について考える教材がある。																									
悩 み や 葛 藤 人 間 関 係 等 の 課 題	①道徳的価値の意義や大切さを考えることができるよう、体験活動を通じた日常生活の振り返りについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・役割演技、動作化等の体験的活動を取り上げたページ数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>0</td><td>2</td><td>2</td><td>4</td></tr> </table>				1年	2年	3年	合計	0	2	2	4	<ul style="list-style-type: none"> ・役割演技、動作化等の体験的活動を取り上げたページ数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> </table>				1年	2年	3年	合計	0	0	0	0	
	1年	2年	3年	合計																						
0	2	2	4																							
1年	2年	3年	合計																							
0	0	0	0																							
②学級や学校生活における具体的な事柄や葛藤などの課題に関わる教材は、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・「いじめ問題」に関わる教材の例は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>1年</th><td>SNSでの会話から、偏見をもたず人と接することの大切さを考える教材がある。</td></tr> <tr><th>2年</th><td>見た目や先入観にとらわれず、相手を尊重し公平に接することの大切さを考える教材がある。</td></tr> <tr><th>3年</th><td>自他ともに個性を理解し、相手を認めようとする行動の大切さを考える教材がある。</td></tr> </table>				1年	SNSでの会話から、偏見をもたず人と接することの大切さを考える教材がある。	2年	見た目や先入観にとらわれず、相手を尊重し公平に接することの大切さを考える教材がある。	3年	自他ともに個性を理解し、相手を認めようとする行動の大切さを考える教材がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・「いじめ問題」に関わる教材の例は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>1年</th><td>より良い人間関係を築くために、誰にでも公平に接することの大切さを考える教材がある。</td></tr> <tr><th>2年</th><td>いじめの卑劣さを知り、正義と公平さを重んじる精神について考える教材がある。</td></tr> <tr><th>3年</th><td>登場人物の心情から、いじめをしたことの後悔や、何が大切かを考える教材がある。</td></tr> </table>				1年	より良い人間関係を築くために、誰にでも公平に接することの大切さを考える教材がある。	2年	いじめの卑劣さを知り、正義と公平さを重んじる精神について考える教材がある。	3年	登場人物の心情から、いじめをしたことの後悔や、何が大切かを考える教材がある。						
1年	SNSでの会話から、偏見をもたず人と接することの大切さを考える教材がある。																									
2年	見た目や先入観にとらわれず、相手を尊重し公平に接することの大切さを考える教材がある。																									
3年	自他ともに個性を理解し、相手を認めようとする行動の大切さを考える教材がある。																									
1年	より良い人間関係を築くために、誰にでも公平に接することの大切さを考える教材がある。																									
2年	いじめの卑劣さを知り、正義と公平さを重んじる精神について考える教材がある。																									
3年	登場人物の心情から、いじめをしたことの後悔や、何が大切かを考える教材がある。																									
生 き る 喜 び や 勇 気	①先人等の多様な生き方が織り込まれ、生きる勇気や知恵などを感じる教材は、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・先人等の生き方を扱った教材の数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>22</td><td>15</td><td>17</td><td>54</td></tr> </table>				1年	2年	3年	合計	22	15	17	54	<ul style="list-style-type: none"> ・先人等の生き方を扱った教材の数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>4</td><td>7</td><td>7</td><td>18</td></tr> </table>				1年	2年	3年	合計	4	7	7	18	
	1年	2年	3年	合計																						
22	15	17	54																							
1年	2年	3年	合計																							
4	7	7	18																							
②取り上げられている人物の例は、次のとおりである。(○)は大分県に由来する人物	<table border="1"> <tr><th>1年</th><td>イチロー、森繁久弥、村岡花子、嘉納治五郎 他18人</td></tr> <tr><th>2年</th><td>緒方洪庵、山中伸弥、宇崎童童、高梨沙羅 他11人</td></tr> <tr><th>3年</th><td>杉原千畝、伊能忠敬、伊調馨、山本敏晴(国際協力師) 他13人</td></tr> </table>				1年	イチロー、森繁久弥、村岡花子、嘉納治五郎 他18人	2年	緒方洪庵、山中伸弥、宇崎童童、高梨沙羅 他11人	3年	杉原千畝、伊能忠敬、伊調馨、山本敏晴(国際協力師) 他13人	<ul style="list-style-type: none"> ・取り上げられている人物の例は、次のとおりである。(○)は大分県に由来する人物 <table border="1"> <tr><th>1年</th><td>ワンガリ・マータイ、安藤百福、成田真由美(パラリンピック水泳選手) 他1人</td></tr> <tr><th>2年</th><td>王貞治、マザー・テレサ、三浦知良 他4人</td></tr> <tr><th>3年</th><td>松井秀喜、宮澤崇史(ロードレーサー)、ネルソン・マンデラ 他4人</td></tr> </table>				1年	ワンガリ・マータイ、安藤百福、成田真由美(パラリンピック水泳選手) 他1人	2年	王貞治、マザー・テレサ、三浦知良 他4人	3年	松井秀喜、宮澤崇史(ロードレーサー)、ネルソン・マンデラ 他4人						
1年	イチロー、森繁久弥、村岡花子、嘉納治五郎 他18人																									
2年	緒方洪庵、山中伸弥、宇崎童童、高梨沙羅 他11人																									
3年	杉原千畝、伊能忠敬、伊調馨、山本敏晴(国際協力師) 他13人																									
1年	ワンガリ・マータイ、安藤百福、成田真由美(パラリンピック水泳選手) 他1人																									
2年	王貞治、マザー・テレサ、三浦知良 他4人																									
3年	松井秀喜、宮澤崇史(ロードレーサー)、ネルソン・マンデラ 他4人																									

【 道 徳 】

観 点		発 行 者	2 3 3 日 科																						
教 科 共 通	単元・題材の構成及び内容の取扱	<p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。</p> <p>③思考力、判断力、表現力等をはぐくむ学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。</p> <p>④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。</p>	<p>・読み物教材の数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>34</td><td>35</td><td>34</td><td>103</td></tr> </table> <p>・読み物教材の道徳的価値の示し方は、次のとおりである。</p> <p>教材名に付けた番号が、学習指導要領の道徳的価値を表す分類番号と合致している。また、教材の後に、考え、話し合うための問いかけがある。</p> <p>・書き込みのページ数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>8</td><td>5</td><td>5</td><td>18</td></tr> </table> <p>・道徳科の学習のオリエンテーションの示し方は、次のとおりである。</p> <p>4つの視点の学習内容ごとに教材をまとめ、配置している。また、道徳科のねらいや学び方を、図やイラストで示している。</p>				1年	2年	3年	合計	34	35	34	103	1年	2年	3年	合計	8	5	5	18			
	1年	2年	3年	合計																					
	34	35	34	103																					
1年	2年	3年	合計																						
8	5	5	18																						
資料等	<p>①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。</p>	<p>・難解な言葉についての注釈は、生徒の発達段階を考慮した端的な表現で、ページ下段に表記している。</p> <p>・読み物教材以外の補助教材(ロム等)数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>12</td><td>14</td><td>9</td><td>35</td></tr> </table> <p>・二次元コードからアクセスして見られる資料数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> </table>				1年	2年	3年	合計	12	14	9	35	1年	2年	3年	合計	0	0	0	0				
1年	2年	3年	合計																						
12	14	9	35																						
1年	2年	3年	合計																						
0	0	0	0																						
統計等	<p>①挿絵・図表・統計等がどのように示されているか。</p>	<p>・統計資料を使用する教材の数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>0</td><td>1</td><td>1</td><td>2</td></tr> </table> <p>・別冊はない。</p>				1年	2年	3年	合計	0	1	1	2												
1年	2年	3年	合計																						
0	1	1	2																						
教 科 独 自	人間尊重の精神	<p>①生命の尊厳等を題材とした教材は、どのように示されているか。</p>	<p>・「生命の尊厳」を題材とした教材の例は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><td>1年</td><td colspan="3">余命1月を宣言された母親が、我が子に愛情を尽くす姿が描かれた教材がある。</td></tr> <tr><td>2年</td><td colspan="3">日本人医師がドクターヘリで子どもの命を救うまでの場面を取り上げた教材がある。</td></tr> <tr><td>3年</td><td colspan="3">臓器移植の「提供する側」「提供される側」の双方の考えや問題を取り上げた教材がある。</td></tr> </table>				1年	余命1月を宣言された母親が、我が子に愛情を尽くす姿が描かれた教材がある。			2年	日本人医師がドクターヘリで子どもの命を救うまでの場面を取り上げた教材がある。			3年	臓器移植の「提供する側」「提供される側」の双方の考えや問題を取り上げた教材がある。									
	1年	余命1月を宣言された母親が、我が子に愛情を尽くす姿が描かれた教材がある。																							
	2年	日本人医師がドクターヘリで子どもの命を救うまでの場面を取り上げた教材がある。																							
3年	臓器移植の「提供する側」「提供される側」の双方の考えや問題を取り上げた教材がある。																								
悩みや葛藤 人間関係等の課題	<p>①道徳的価値の意義や大切さを考えることができるよう、体験活動を通した日常生活の振り返りについて、どのように示されているか。</p> <p>②学級や学校生活における具体的な事柄や葛藤などの課題に関わる教材は、どのように示されているか。</p>	<p>・役割演技、動作化等の体験的活動を取り上げたページ数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>1</td><td>2</td><td>0</td><td>3</td></tr> </table> <p>・「いじめ問題」に関わる教材の例は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><td>1年</td><td colspan="3">心から信頼できる、互いに励まし合い、高め合う友だち関係の在り方を考える教材がある。</td></tr> <tr><td>2年</td><td colspan="3">SNSでのトラブルを通して、責任ある自分の言葉や、意思疎通の在り方を考える教材がある。</td></tr> <tr><td>3年</td><td colspan="3">人それぞれ様々な見方・考え方が存在すること、謙虚に学ぶことの大切さを考える教材がある。</td></tr> </table>				1年	2年	3年	合計	1	2	0	3	1年	心から信頼できる、互いに励まし合い、高め合う友だち関係の在り方を考える教材がある。			2年	SNSでのトラブルを通して、責任ある自分の言葉や、意思疎通の在り方を考える教材がある。			3年	人それぞれ様々な見方・考え方が存在すること、謙虚に学ぶことの大切さを考える教材がある。		
1年	2年	3年	合計																						
1	2	0	3																						
1年	心から信頼できる、互いに励まし合い、高め合う友だち関係の在り方を考える教材がある。																								
2年	SNSでのトラブルを通して、責任ある自分の言葉や、意思疎通の在り方を考える教材がある。																								
3年	人それぞれ様々な見方・考え方が存在すること、謙虚に学ぶことの大切さを考える教材がある。																								
生きる喜びや勇氣	<p>①先人等の多様な生き方が織り込まれ、生きる勇氣や知恵などを感じる教材は、どのように示されているか。</p>	<p>・先人等の生き方を扱った教材の数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>8</td><td>12</td><td>10</td><td>30</td></tr> </table> <p>・取り上げられている人物の例は、次のとおりである。 (○)は大分県に由来する人物</p> <table border="1"> <tr><td>1年</td><td colspan="3">ジャッキー・ロビンソン、国枝真吾(車いすテニス選手)、八田與一(台湾総督府技師) 他5人</td></tr> <tr><td>2年</td><td colspan="3">広瀬淡窓(○)、山極勝三郎(病理学者)、新渡戸稲造 他9人</td></tr> <tr><td>3年</td><td colspan="3">島津斉彬、杉原千畝、小泉八雲 他7人</td></tr> </table>				1年	2年	3年	合計	8	12	10	30	1年	ジャッキー・ロビンソン、国枝真吾(車いすテニス選手)、八田與一(台湾総督府技師) 他5人			2年	広瀬淡窓(○)、山極勝三郎(病理学者)、新渡戸稲造 他9人			3年	島津斉彬、杉原千畝、小泉八雲 他7人		
1年	2年	3年	合計																						
8	12	10	30																						
1年	ジャッキー・ロビンソン、国枝真吾(車いすテニス選手)、八田與一(台湾総督府技師) 他5人																								
2年	広瀬淡窓(○)、山極勝三郎(病理学者)、新渡戸稲造 他9人																								
3年	島津斉彬、杉原千畝、小泉八雲 他7人																								

